

恵庭市

柏木川4遺跡(2) - A・C地区-

-柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書-

平成17・18年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター

図絵 1



調査風景（東から）



KH-2(奥)・3(前)掘上げ土検出状況(南西から)

図絵2



KH-2 出土土器



KH-3 出土土器

図絵 3



基本土層（南西から）



KH-2(右側)・KP-85(左側) 挖上げ土セクション（東から）



調査風景（南から）

図絵4



KP - 166出土土器



KP - 166土器出土状況（西から）



KP - 166出土土器 上面の文様



KP - 166出土土器 底部の文様

例　　言

- 1 本書は、北海道石狩支庁が行う柏木川基幹河川改修工事に伴い、財団法人北海道埋蔵文化財センターが平成17（2005）年度に発掘調査を実施した、恵庭市柏木川4遺跡A地区・C地区の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査および整理作業は第1調査部第2調査課が担当した。
- 3 本書の執筆は、村田 大、吉田裕吏洋が行い、編集は村田が行った。各章・節などの執筆者は文末に記している。
- 4 遺構は調査を担当した調査員がそれぞれ整理した。遺物は現地における一次整理を平成17年7月26日まで立田 理が担当し、平成17年7月27日以降は村田が担当した。二次整理は土器等および石器・礫等を村田が、フローテーション試料を土肥研晶が担当した。金属製品の保存処理は第1調査部第1調査課の田口 尚が担当した。
- 5 発掘での写真撮影および、室内での遺物の写真撮影・焼付けなどは吉田が行った。
- 6 分析・同定について、下記に依頼・委託した。

(放射性炭素年代測定)	株式会社 加速器分析研究所
(炭化樹種同定)	株式会社 パレオ・ラボ
(種実遺体同定)	株式会社 パレオ・ラボ
- 7 石器等の石材鑑定は村田が行った。
- 8 出土資料および記録類は、恵庭市教育委員会で保管する。
- 9 調査にあたっては、下記の諸機関および人々の指導、ご協力をいただいた（順不同・敬称略）。

北海道教育庁生涯学習部文化課、恵庭市郷土資料館、千歳市教育委員会
恵庭市郷土資料館：上屋真一・松谷純一・森 秀之・長町章弘
千歳市教育委員会：田村俊之・松田淳子・豊田宏良
札幌大学 木村英明、野村 崇、大沼忠春

記号等の説明

1 遺構名・遺構図について

(1) 遺構名は以下の略号を用い、原則として確認順に番号を付した。なお、発掘区と区別するため、

アルファベット1文字の略号は柏木川4遺跡の頭文字「K」を頭に付している。

KH：竪穴住居跡 KP：土壤 KF：焼土

KS：礫集中 SP：柱穴状小ピット

(2) 掲載した遺構図等の縮尺は、原則として以下のとおりであり、各図面にスケールを付した。

遺構図 1:40 遺物出土状況 1:20

(3) 遺構図にはグリッド線に従って、方位記号を付したものがある。真北はアルファベットラインの基線に対して西偏42度44分19秒である。レベルは標高（単位：m）を示す。

(4) 遺構の規模は以下の要領で示した。なお一部破壊されているものや不明確なものについては、現存長を「()」で、不明のものは「-」で示した。（単位：m）

住居跡・土壤…確認面の長軸長／床面・壌底面の長軸長×確認面の短軸長／床面・壌底面の短軸長×最大の深さ

焼土……………確認面の長軸長×確認面の短軸長×最大厚

集石……………確認範囲の長軸長×短軸長

(5) 出土遺物分布図等での表示は、遺物の種類別に以下のシンボルマークで示したものがある。

●・○：土器・土製品 ▲・△：剥片石器・剥片 ■・□：礫石器・礫

黒塗りは床面・壌底面出土、白抜きは覆土出土

また焼土等はスクリーントーンで示したものがある。

2 遺物について

(1) 掲載した実測図等の縮尺は、原則として以下のとおりであり、各図面にスケールを付した。

復元土器 1:3 土器拓影 1:3 土製品・石製品 1:2

剥片石器 1:2 磨製石器 1:2 級石器 1:3 (一部1:4)

(2) 石器・土製品・石製品の大きさは以下の要領で示した。なお破損しているものについては現存最大長を()で示した。

最大長×最大幅×最大厚（単位：cm）

3 土層について

(1) 基本土層はローマ数字で、遺構の覆土はアラビア数字で示した。

(2) 土層の混合状態を表現するために、以下のように表記してある。

A+B: AとBが同量混じる。 A>B: AにBが少量混じる。

A>>B: AにBが微量混じる。 A≒B: AとBはほぼ等しい。

(3) 土層の色調には『新版標準土色帖』(小山・竹原1967)を使用し、カラーチャートの番号を付したものがある。

目 次

口 絵
例 言
記号等の説明
目 次
挿図目次・表目次・写真図版目次

I 章 調査の概要	
1 調査要項	1
2 調査体制	1
3 調査に至る経緯	1
4 調査の方法	4
(1) 発掘区の設定	
(2) 発掘調査の方法	
(3) 土 層	
(4) 整理作業の方法	
(5) 遺物の分類	
5 調査結果の概要	11
II 章 遺跡の位置と周辺の遺跡	
1 遺跡の立地と環境	17
2 周辺の遺跡	18
III 章 縄文時代の遺構と遺物	
1 概 要	25
(1) 穴住居跡	
(2) 土 壤	
(3) 烧 土	
(4) 集 石	
(5) 柱穴状小ピット	
(6) 遺構出土の遺物	
表	101
IV 章 撥文時代の遺構と遺物	
1 概 要	111
(1) 穴住居跡	
(2) 集 石	
2 包含層出土の遺物	134
(1) 土 器	

(2) 金属製品	
表	136
V章 自然科学的分析	
1 放射性炭素年代測定（株式会社 加速器研究所）	141
2 炭化樹種同定（株式会社 バレオ・ラボ）	144
3 炭化種実同定（株式会社 バレオ・ラボ）	148
VI章 小 括	
1 遺跡について	151
2 付 記	151
表	152
参考文献	
写真図版	155
• 現地調査状況	
• 出土遺物	
報告書抄録	
奥 付	

挿図目次

図 I - 1 遺跡の位置	2	図 III - 12 土壌(11)	
図 I - 2 柏木川改修工事関連調査遺跡位置図		KP- 119 ~ 123	44
	3	図 III - 13 土壌(12)	
図 I - 3 発掘区設定図、調査予定範囲、 調査区呼称	5	KP- 124 ~ 127、129	45
図 I - 4 基本土層模式図、 基本土層(51ライン)(1)	8	図 III - 14 土壌(13)	
図 I - 5 基本土層(51ライン)(2)	9	KP- 134、135、137、138	46
図 I - 6 遺構位置図	12	図 III - 15 土壌(14)	
図 I - 7 A地区遺構位置図	13	KP- 141 ~ 145	47
図 I - 8 C地区遺構位置図	14	図 III - 16 土壌(15)	
図 II - 1 遺跡周辺の地形(1)	19	KP- 146、147、149、150、154	48
図 II - 2 遺跡周辺の地形(2)	20	図 III - 17 土壌(16)	
図 II - 3 遺跡周辺の空中写真(1)	21	KP- 156 ~ 160	49
図 II - 4 遺跡周辺の空中写真(2)	22	図 III - 18 土壌(17)	
図 II - 5 周辺の遺跡	23	KP- 161、164、165、173、174	50
図 III - 1 穫穴住居跡 KH- 4	26	図 III - 19 土壌(18)	
図 III - 2 土壌(1)		KP- 175 ~ 178、180	51
	34	図 III - 20 土壌(19)	
図 III - 3 土壌(2)		KP- 181 ~ 185	52
	35	図 III - 21 土壌(20)	
図 III - 4 土壌(3)		KP- 186 ~ 190	53
	36	図 III - 22 土壌(21)	
図 III - 5 土壌(4)		KP- 191 ~ 195、198	54
	37	図 III - 23 土壌(22)	
図 III - 6 土壌(5)		KP- 201 ~ 206	55
	38	図 III - 24 土壌(23)	
図 III - 7 土壌(6)		KP- 207 ~ 211	56
	39	図 III - 25 土壌(24)	
図 III - 8 土壌(7)		KP- 213、215 ~ 219	57
	40	図 III - 26 土壌(25)	
図 III - 9 土壌(8)		KP- 220 ~ 225	58
	41	図 III - 27 土壌(26)	
図 III - 10 土壌(9)		KP- 226 ~ 231	59
	42	図 III - 28 土壌(27)	
図 III - 11 土壌(10)		KP- 237 ~ 241、243	60
	43	図 III - 29 土壌(28)	
		KP- 244 ~ 248	61

図III- 30 土壌(29)	84
KP- 249、251~255	62
図III- 31 土壌(30)	85
KP- 257~262	63
図III- 32 土壌(31)	87
KP- 263~267	64
図III- 33 土壌(32)	88
KP- 268、269、273~276	65
図III- 34 土壌(33)	89
KP- 277、280、281、283、285	66
図III- 35 土壌(34)	90
KP- 286~288、290、291	67
図III- 36 土壌(35)	91
KP- 80	68
図III- 37 土壌(36)	92
KP- 81、82、103、131	69
図III- 38 土壌(37)	93
KP- 132、133、148、153、179	70
図III- 39 土壌(38)	94
KP- 197、200、232、233、256	71
図III- 40 土壌(39)	95
KP- 278、279、282、284、289	72
図III- 41 土壌(40)	96
KP- 85	73
図III- 42 土壌(41)	97
KP- 94、155、199、234、236	74
図III- 43 土壌(42)	98
KP- 79、87、88、104、106	75
図III- 44 土壌(43)	99
KP- 105、107~110、167、168	76
図III- 45 土壌(44)	112
P- 169~172	77
図III- 46 焼土(1)	113
.....	78
図III- 47 焼土(2)	114
.....	79
図III- 48 焼土(3)	115
.....	80
図III- 49 焼土(4)	116
.....	81
図III- 50 焼土(5)	117
.....	82
図III- 51 焼土(6)	118
.....	83
図III- 52 焼土(7)	119
.....	84
図III- 53 集石・柱穴状小ピット	120
.....	85
図III- 54 土壌出土の遺物(1)	121
.....	87
図III- 55 土壌出土の遺物(2)	122
.....	88
図III- 56 土壌出土の遺物(3)	123
.....	89
図III- 57 土壌出土の遺物(4)	124
.....	90
図III- 58 土壌出土の遺物(5)	125
.....	91
図III- 59 土壌出土の遺物(6)	126
.....	92
図III- 60 土壌出土の遺物(7)	127
.....	93
図III- 61 土壌出土の遺物(8)	128
.....	94
図III- 62 土壌出土の遺物(9)	129
.....	95
図III- 63 土壌出土の遺物(10)	130
.....	96
図III- 64 土壌出土の遺物(11)	131
.....	97
図III- 65 土壌出土の遺物(12)	132
.....	98
図III- 66 土壌出土の遺物(13)	133
.....	99
図IV- 1 竪穴住居跡 KH- 2(1)	134
.....	112
図IV- 2 竪穴住居跡 KH- 2(2)	135
.....	113
図IV- 3 竪穴住居跡 KH- 2(3)	136
.....	114
図IV- 4 竪穴住居跡 KH- 2(4)	137
.....	115
図IV- 5 竪穴住居跡 KH- 2(5)	138
.....	116
図IV- 6 KH- 2 出土の遺物(1)	139
.....	118
図IV- 7 KH- 2 出土の遺物(2)	140
.....	119
図IV- 8 KH- 2 出土の遺物(3)	141
.....	120
図IV- 9 KH- 2 出土の遺物(4)	142
.....	121
図IV- 10 竪穴住居跡 KH- 3(1)	143
.....	123
図IV- 11 竪穴住居跡 KH- 3(2)	144
.....	124
図IV- 12 竪穴住居跡 KH- 3(3)	145
.....	125
図IV- 13 竪穴住居跡 KH- 3(4)	146
.....	126
図IV- 14 竪穴住居跡 KH- 3(5)	147
.....	127
図IV- 15 KH- 3 出土の遺物(1)	148
.....	128
図IV- 16 KH- 3 出土の遺物(2)	149
.....	129
図IV- 17 KH- 3 出土の遺物(3)	150
.....	130
図IV- 18 KH- 3 出土の遺物(4)	151
.....	131
図IV- 19 集石 KS- 4・5	152
.....	133
図IV- 20 包含層出土Ⅶ群土器分布図	153
.....	134
図IV- 21 包含層出土のⅧ群土器	154
.....	135
図V- 1 放射性年代測定試料採取位置図	155
.....	141
図V- 2 炭化樹種同定試料採取位置図	156
.....	144

表 目 次

表 I - 1 遺構一覧	16	表 IV - 3 撥文時代遺構出土掲載石器等一覧	139
表 I - 2 出土遺物一覧	16	表 IV - 4 撇文時代遺構出土遺物一覧	139
表 II - 1 周辺の遺跡一覧	24	表 IV - 5 包含層出土Ⅶ群掲載土器一覧	140
表 III - 1 繪文時代遺構規模一覧	101	表 V - 1 放射性炭素年代測定分析試料一覧	141
表 III - 2 繪文時代遺構出土掲載土器一覧	106	表 V - 2 KH- 2 採取炭化材同定分析試料一覧	144
表 III - 3 繪文時代遺構出土掲載石器等一覧	108	表 V - 3 KH- 3 採取炭化材同定分析試料一覧	144
表 III - 4 繪文時代遺構出土遺物一覧	109	表 VI - 1 平成16年度包含層出土遺物一覧	152
表 IV - 1 撇文時代遺構規模一覧	136		
表 IV - 2 撇文時代遺構出土土器一覧	136		

写真図版目次

口絵 1 - 1 調査風景(東から)	図版 8 土壌(2)
口絵 1 - 2 KH- 2 (奥)・3 (前)掘上げ土 検出状況(南西から)	KP- 81・82・83・84
口絵 2 - 1 KH- 2 出土土器	図版 9 土壌(3)
口絵 2 - 2 KH- 3 出土土器	KP- 85
口絵 3 - 1 基本土層(南西から)	図版 10 土壌(4)
口絵 3 - 2 KH- 2 (右側)・KP- 85 (左側) 掘上げ土セクション(東から)	KP- 85
口絵 3 - 3 調査風景(南から)	図版 11 土壌(5)
口絵 4 - 1 KP- 166出土土器	KP- 87・88・89
口絵 4 - 2 KP- 166土器出土状況	図版 12 土壌(6)
口絵 4 - 3 KP- 166出土土器上面の文様	KP- 90・91・92
口絵 4 - 4 KP- 166出土土器底部の文様	図版 13 土壌(7)
図版 1 調査前状況	KP- 93・94・95・96
図版 2 調査風景(1)	図版 14 土壌(8)
図版 3 調査風景(2)	KP- 97・98・99
図版 4 調査終了状況	図版 15 土壌(9)
図版 5 基本土層	KP- 100・101・102
図版 6 KH- 4	図版 16 土壌(10)
図版 7 土壌(1)	KP- 103・104・105
KP- 79・80・86	図版 17 土壌(11)
	KP- 106・107・108
	図版 18 土壌(12)
	KP- 109・110・111

- 图版19 土壤(13)
KP- 112·113·114
- 图版20 土壤(14)
KP- 115·116·117
- 图版21 土壤(15)
KP- 118·119·120
- 图版22 土壤(16)
KP- 121·122·123
- 图版23 土壤(17)
KP- 124·125·126
- 图版24 土壤(18)
KP- 127·128·129
- 图版25 土壤(19)
KP- 130·131·132
- 图版26 土壤(20)
KP- 133·134·135·137
- 图版27 土壤(21)
KP- 138·139
- 图版28 土壤(22)
KP- 140·141·142·143
- 图版29 土壤(23)
KP- 144·145·146
- 图版30 土壤(24)
KP- 147·148·149·151
- 图版31 土壤(25)
KP- 139·150·151·152·153
- 图版32 土壤(26)
KP- 154·155·156·157
- 图版33 土壤(27)
KP- 158·159·160
- 图版34 土壤(28)
KP- 161·162·163
- 图版35 土壤(29)
KP- 164·165·166·167
- 图版36 土壤(30)
KP- 168·169·170
- 图版37 土壤(31)
KP- 171·172·173
- 图版38 土壤(32)
KP- 174·175·176·177
- 图版39 土壤(33)
KP- 178·179·180·181
- 图版40 土壤(34)
KP- 182·183·184·185·186
- 图版41 土壤(35)
KP- 81·181·187·188·189
- 图版42 土壤(36)
KP- 190·191·192·193·194·195
- 图版43 土壤(37)
KP- 196·197·198·199
- 图版44 土壤(38)
KP- 200·201·202·203
- 图版45 土壤(39)
KP- 202·203·204·205·206
- 图版46 土壤(40)
KP- 207·208·209
- 图版47 土壤(41)
KP- 210·211·212·213·214·232
- 图版48 土壤(42)
KP- 215·216·218
- 图版49 土壤(43)
KP- 217·219·220·221
- 图版50 土壤(44)
KP- 222·223·224
- 图版51 土壤(45)
KP- 224·225·226·227
- 图版52 土壤(46)
KP- 226·227·228·229
- 图版53 土壤(47)
KP- 214·230·231·232
- 图版54 土壤(48)
KP- 233·234·236
- 图版55 土壤(49)
KP- 237·238·239·240
- 图版56 土壤(50)
KP- 241·242·243·244·245·246
- 图版57 土壤(51)
KP- 247·248·249·250
- 图版58 土壤(52)
KP- 245·251·252·253·255

- | | |
|--|---|
| 図版59 土壌(53)
KP- 256・257・258 | 図版80 遺構出土の遺物(10)
KP- 166 |
| 図版60 土壌(54)
KP- 259・260・276 | 図版81 遺構出土の遺物(11)
KP- 199・201・202・206・209・210・
215 |
| 図版61 土壌(55)
KP- 254・261・262・263・264 | 図版82 遺構出土の遺物(12)
KP- 213・214・225・227・233 |
| 図版62 土壌(56)
KP- 265・266・267・268 | 図版83 遺構出土の遺物(13)
KP- 234・235・239・242・245・247 |
| 図版63 土壌(57)
KP- 269・270・271 | 図版84 遺構出土の遺物(14)
KP- 246・249・250・251・253・254 |
| 図版64 土壌(58)
KP- 272・273・274 | 図版85 遺構出土の遺物(15)
KP- 262・263・270・274 |
| 図版65 土壌(59)
KP- 275・277・278・279 | 図版86 遺構出土の遺物(16)
KP- 271・272 |
| 図版66 土壌(60)
KP- 280・281・282・283・285 | 図版87 遺構出土の遺物(17)
KP- 283・285・286・289 |
| 図版67 土壌(61)
KP- 284・286・287 | 図版88 遺構出土の遺物(18)
KP- 67・83・72・88・104・KS- 3 |
| 図版68 土壌(62)
KP- 288・289・290・291 | 図版89 KH- 2(1) |
| 図版69 KF・KS- 3 | 図版90 KH- 2(2) |
| 図版70 SP- 2・5 | 図版91 KH- 2(3) |
| 図版71 遺構出土の遺物(1)
KH- 4・KP- 80・81・82 | 図版92 KH- 2(4) |
| 図版72 遺構出土の遺物(2)
KP- 83・85・91 | 図版93 KH- 2(5) |
| 図版73 遺構出土の遺物(3)
KP- 92・93・94・96・100・101 | 図版94 KH- 2(6) |
| 図版74 遺構出土の遺物(4)
KP- 102・113・121 | 図版95 KH- 2(7) |
| 図版75 遺構出土の遺物(5)
KP- 117・124・126・128・129 | 図版96 KH- 2(8) |
| 図版76 遺構出土の遺物(6)
KP- 130・131・135・138 | 図版97 KH- 2出土の遺物(1) |
| 図版77 遺構出土の遺物(7)
KP- 139 | 図版98 KH- 2出土の遺物(2) |
| 図版78 遺構出土の遺物(8)
KP- 140・142・147・151・152・155 | 図版99 KH- 2出土の遺物(3) |
| 図版79 遺構出土の遺物(9)
KP- 156・162・163・167・178 | 図版100 KH- 2出土の遺物(4) |
| | 図版101 KH- 2出土の遺物(5) |
| | 図版102 KH- 2出土の遺物(6) |
| | 図版103 KH- 3(1) |
| | 図版104 KH- 3(2) |
| | 図版105 KH- 3(3) |
| | 図版106 KH- 3(4) |
| | 図版107 KH- 3(5) |
| | 図版108 KH- 3(6) |
| | 図版109 KH- 3出土の遺物(1) |

図版110 KH- 3出土の遺物(2)
図版111 KH- 3出土の遺物(3)
図版112 KH- 3出土の遺物(4)
図版113 KH- 3出土の遺物(5)

図版114 KH- 3出土の遺物(6)
図版115 KS- 4・5
図版116 包含層出土のⅦ群土器(1)
図版117 包含層出土のⅦ群土器(2)

I 調査の概要

1 調査要項

遺跡名：柏木川4遺跡（北海道教育委員会登載番号 A-04-21）

事業名：柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財調査

委託者：北海道石狩支庁

所在地：恵庭市柏木町610、612ほか

調査面積：14,140m²

発掘期間：平成17年5月9日～10月28日

整理期間：平成17年10月31日～平成18年6月30日

2 調査体制

平成17年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター

理事長 森重樹一

専務理事 宮崎勝

常務理事 佐藤俊和

総務部長 牧野義則

第1調査部長 千葉英一

第2調査課課長 佐藤和雄

主査 村田大（発掘担当者：A地区、7月27日から一次整理および二次整理担当）

主任 土肥研晶

主任 立田理（発掘担当者：B地区、7月26日まで一次整理担当）

主任 吉田裕吏洋（発掘担当者：C地区、写真担当）

3 調査に至る経緯

調査に至る経緯に関しては、過年度に刊行された北海道埋蔵文化財センター調査報告書（「西島松5遺跡 第178集」「西島松5遺跡2」「西島松5遺跡3」「西島松5遺跡4」「西島松5遺跡5」「西島松5遺跡6」「西島松5遺跡7」「西島松5遺跡8」「西島松5遺跡9」「西島松5遺跡10」「西島松5遺跡11」「西島松5遺跡12」「西島松5遺跡13」「西島松5遺跡14」「西島松5遺跡15」「西島松5遺跡16」「西島松5遺跡17」「西島松5遺跡18」「西島松5遺跡19」「西島松5遺跡20」「西島松5遺跡21」）に記載があるので、合わせて参照していただきたい。

柏木川改修計画は昭和58（1983）年に策定され、昭和61（1986）年から現河川拡幅の改修工事が下流側から上流側（市道西六線～道々江別・恵庭大通付近）へ進められてきた。その後、平成7（1995）年に柏木川改修の延長と遊水地が計画され、平成9（1997）年4月に柏木川改修計画増の区間（道々江別・恵庭線～道央自動車道）と第1・第2遊水地建設が決定された。工事主体である北海道札幌土木現業所から北海道教育委員会に第1遊水地建設について埋蔵文化財保護のための事前協議書が提出され、これを受けて北海道教育委員会は平成15（2003）年7月15日～17日と10月15日に第1遊水地内に含まれる柏木川4遺跡の試掘調査を実施した。その結果、発掘を必要とする面積34,000m²、そのうち本発掘調査21,000m²と遺構確認調査および工事立会的調査13,000m²が提示された。この結果を受

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

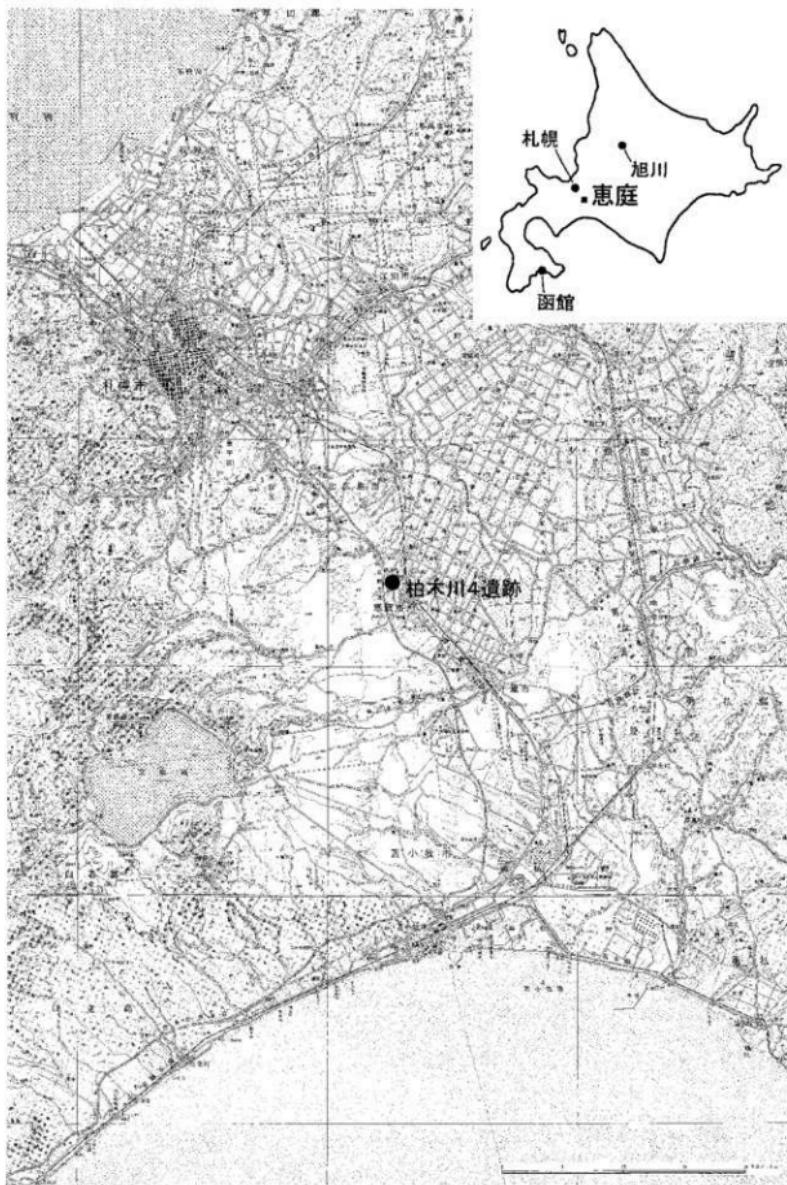


図 I - 1 遺跡の位置 (この図は国土地理院発行20万分の1地勢図「札幌」「苫小牧」を複製、加筆したものである)

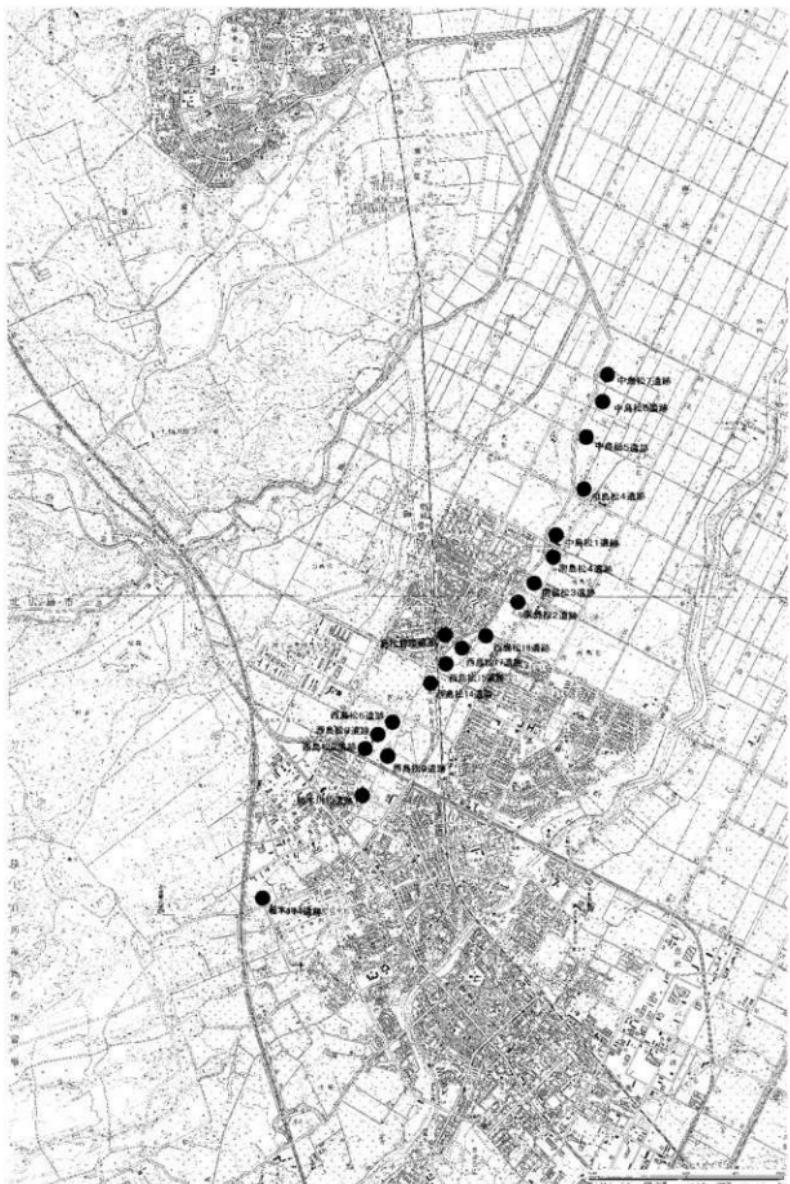


図 I - 2 柏木川改修工事関連調査遺跡位置図

(この図は国土地理院発行 2万5千分の1地形図「恵庭」「石狩広島」を複製、加筆したものである)

けて関係者による協議が行われ、工事の性格上計画変更是極めて困難であることから、当センターが記録保存のための発掘調査を平成16(2004)年5月から実施することになった。

平成16年度の調査では、縄文時代前期の竪穴住居跡1軒、縄文時代晩期を主体とする土塙78基、焼土19ヵ所、集石2ヵ所の遺構が検出され、7096点の遺物が出土した。調査報告書「柏木川4遺跡・柏木川13遺跡(2)(北埋調報211)」が刊行されている。

なお、昭和61年から柏木川改修工事に伴い、恵庭市教育委員会によって、中島松1・4・5A地点、6・7遺跡、南島松2・3・4遺跡、西島松14・15・15B地点、17・18遺跡、仲町遺跡、柏木川13遺跡の発掘調査が行われ、報告書が刊行されている。
(村田 大)

4 調査の方法

(1) 発掘区の設定

平成16年度の調査区を延長した。柏木川4遺跡の発掘区の設定に当たっては、北海道土木現業所の「第1遊水地全体平面図 1/100分の1図」を使用した。工事予定範囲のほぼ中央を通る基準線上の中心杭であるSP200とSP300を通る線を基軸のMラインとし、SP200を基準に5m方眼を設定した。Mラインと並行に南東へ向かってN、O、P、...、北西へ向かってL、K、J...とした。更に、SP200を通りそれに直行する線を40ラインとし、北東へ向かって41、42、43...、南西へ向かって39、38、37...とした。この方眼は南西端交点をアルファベットとアラビア数字の組み合わせで呼称する(例: SP200はM-40)。更に必要に応じて1m方眼に25分割し小発掘区とした。1m方眼の小発掘区は南西端から北東へ順に1、2、3、4、5とした(例: M-40-1)。

この方眼の日本測地系による平面直角座標は第Ⅲ系で以下のとおり。

SP200(調査区杭番号 M-40) X = -123189.720 Y = -56769.409

SP300(調査区杭番号 M-20) X = -123263.166 Y = -56837.274

また、測量法の改正に伴い、平成14年4月1日にそれまでの平面直角座標系(昭和43年建設省告示第3059号)は廃止され、新たに世界測地系に基づく平面直角座標系(平成14年国土交通省告示第9号)が施行された為、世界測地系による平面直角座標を併記しておく。なお、座標の変換には国土地理院で公開されている座標変換ソフト「TKY2JGD」を使用した。

この方眼の世界測地系による平面直角座標は第Ⅲ系で以下のとおり。

SP200(調査区杭番号 M-40) X = -122926.3785 Y = -57075.9451

SP300(調査区杭番号 M-20) X = -122999.8249 Y = -57143.8106

水準測量は北海道恵庭市北柏木町1丁目こばと公園に所在する、恵庭市設置の「BM No.1」を用いて、各測量に使用した。

平成11年恵庭市設置 BM No.1 H=31.790m

(村田)

(2) 発掘調査の方法

調査範囲は柏木川右岸の標高約45mの上位段丘と標高約42mの下位段丘とその間の段丘崖を含む。上位段丘のうち、試掘調査の結果から、調査区中央の遺物包含層が良好に残存する部分を通常発掘区の「A地区」、耕作により遺物包含層が削平されている南側を遺構確認区の「C地区」と呼称して調査を行った。なお、下位段丘は、重機併用の遺構確認的調査区および工事立会的調査区で「B地区」とした。次年度以降の報告である。

調査は「A地区」を村田、「B地区」を立田、「C地区」を吉田が主に担当して行った。

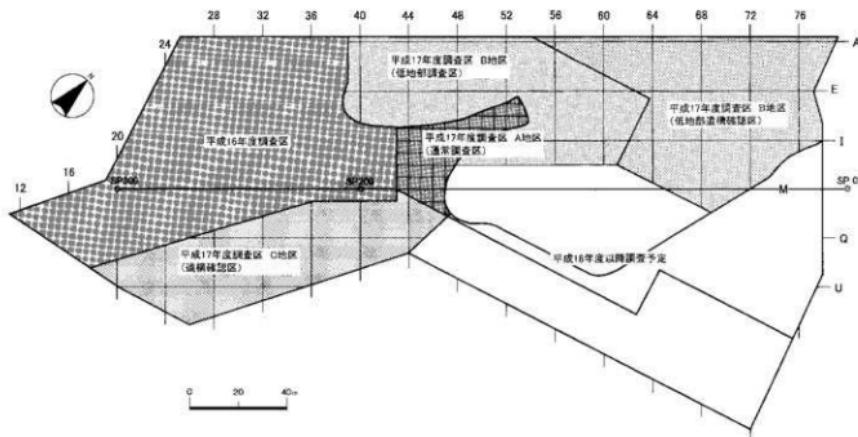
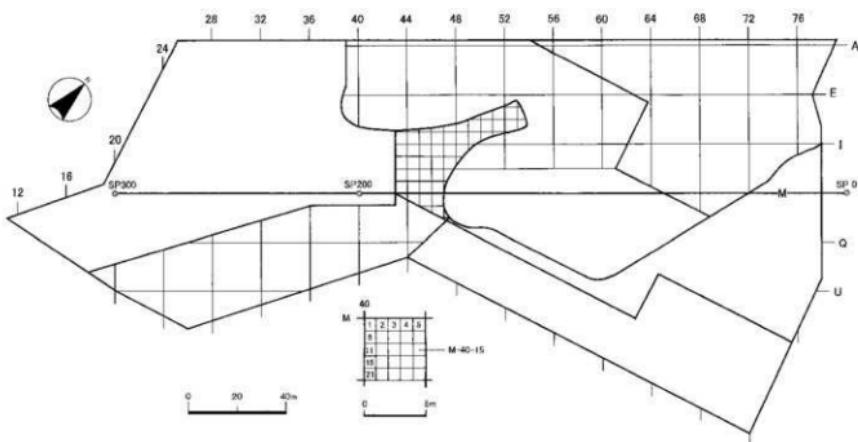


図 I - 3 発掘区設定図、調査予定範囲、調査区呼称

A 地区は、Ⅰ層上面から擦文時代の竪穴住居跡と思われる凹みが確認できたので、土層観察用の壁面を設定して、人力によりⅠ層・Ⅱ層を除去した。その際、アイヌ文化期の遺構に注意したが、検出されなかった。Ⅲ層上面では縄文時代の遺構と思われる凹みが確認できたので、土層観察用の壁面を設定して掘り下げた。

C 地区は、調査に先行し重機により耕作土を除去した。一部に遺物包含層が残存していた。包含層調査と遺構確認調査を並行して行った。

以下は A 地区・C 地区共通である。

包含層調査

Ⅲ層・Ⅳ層の遺物包含層は、調査区ごとに遺物の多寡、土層の変化を見極めながら、必要に応じてジョレン、移植ごて、竹べらなどを用いた人力による手掘り作業により掘り下げた。

遺構調査

包含層調査時に土層の変化により確認された遺構については、その平面長軸と短軸に土層観察用の壁面を残して掘り下げた。

遺物の取上げ

包含層出土の遺物は、発掘区および層単位での取上げとした。出土状況に応じて、小発掘区による取り上げ、写真や出土状況図の作成など詳細な記録化に努めた。遺構出土の遺物は、遺構上部の自然堆積層（Ⅰ層・Ⅱ層・Ⅲ層に相当）に包含されていたものについては、遺構および層位を記録して取上げた。覆土、床面または壙底面出土の遺物は、図面、台帳等に出土位置を記録し、遺構単位で連続番号を付して取上げた。ただし、調査の都合により、覆土から出土した遺物の一部は、層位ごとによる取上げを行っている。

竪穴住居跡の竈と床面付近の土壤および骨片を含む焼土は、動物遺存体や炭化種子等の微細遺物を抽出するためにサンプリングし、フローテーションおよび土壤水洗作業を行った。 (村田)

(3) 土 層

基本土層は、恵庭市教育委員会の設定をおおむね踏襲している。Ⅲ・Ⅳ層が遺物包含層である。

Ⅰ層：表土・耕作土 黒色～黒褐色 (10YR 2/1～2/2) 調査前の現況は、A 地区は樹齢60年前後の木々が生い茂る林であった。C 地区は以前、畑地として利用されていた。耕作土である。

Ⅱ層：浅黄橙色～くびい黄褐色 (10YR 8/3～6/3) 樹前 a 降下軽石層 (Ta-a) 1739年に降下。A 地区で見られる。層厚は20～30cm程度。上位は粗粒砂、径0.5～1mm。中位は中粒砂、径0.3mm程度が主体。下位は極粗粒砂、径1～2mm程度が主体。

Ⅲ層：黒色～黒褐色土 (10YR 1.7/1～2/2) 層厚は30cm前後。粘性中、しまりあり。木根多く含む。主な遺物包含層である。

Ⅲ a 層・Ⅲ b 層：Ⅲ層中で遺構の掘上げ土が確認できた場合、掘上げ土より上位をⅢ a 層、下位をⅢ b 層とした。縄文時代の土壤 KP-85や擦文時代の竪穴住居跡 KH-2、KH-3 の周辺で見られる。

Ⅳ層：暗褐色土 (10YR 3/3～3/4) Ⅲ層とⅤ層の漸移層。恵庭 a 降下軽石層 (En-a) の軽石粒を少量含む、粘質、しまりなし。

Ⅴ層：明黄褐色土 (10YR 6/6～6/8) 恵庭 a 降下軽石層 (En-a) の水成二次堆積層。検出した遺構の大半はこの層を掘り込んでいる。 (村田)

(4) 整理作業の方法

整理作業は、一次整理作業の取りまとめと土器等の整理を立田、石器等の整理を村田、写真等の整理を吉田がそれぞれ担当し、8月1日から江別センターで、現地調査と並行して二次整理作業を進める計画で開始した。

現地での一次整理作業は野外作業と並行して遺物の水洗、注記作業を行い、土器・石器別に遺構、発掘区、層位、日付ごとに仮収納した。注記は平成16年度の様式を踏襲した。小片や微細なものを除いた遺物に、遺跡名略号（カ4）・遺構名または発掘区・層位名・（取り上げ番号）を記入した。

土器の一次整理作業

土器等の整理は立田の担当であったが、7月27日から村田が担当することとなった。引き継いだ時点では、分類未了であったため、注記済みの土器から江別センターに搬送し、一次分類を行った。8月1日の二次整理作業の開始まで日時が限られていたため、分類作業は前述した仮収納ごとに、台帳に遺構・発掘区、層位、分類、日付、点数を記入した。分類後は遺構・発掘区、分類ごとに収納した。このため、通常の一次整理段階で行うカード作成の作業はしていない。また、個々の遺物に番号が付されないため、遺物からは遺構・調査区、層位の情報しか追跡できない。そのため、二次整理段階で分類変更等が生じた場合は、遺構・発掘区、層位ごとの総数を修正している。

石器の一次整理作業

現地で野外作業と並行して行った。土器の一次整理と同様であるが、台帳作成の際にカード作成を行った。遺構ごと、分類ごとに仮収納し江別センターへ搬送した。

8月からの二次整理作業で、土器の接合・復元、石器・礫の接合、分析試料の抽出、土器、石器等の実測・製図、計測、集計、写真撮影、記録類の整理、遺物の収納を行った。 （村田）

写真的整理作業

屋外での撮影は、モノクロとリバーサルのフィルムを用い、67サイズを主体に必要に応じて45サイズのフィルムを使用した。ブレやボケを防止する為に、三脚とレリーズの使用を徹底した。セクションなどは順光で、住居や土壤の完掘は、掘り込みの深さや床面・壌底面から壁面の状態が分るよう、遺物出土状況などは、立体感や質感、出土位置の高低差が分るよう、逆光から半逆光での撮影を行った。銀塩フィルムでの撮影と同時に、デジタルスチールカメラで、同アングルでの撮影を行い、その画像データを基に、写真台帳のデジタルデータ化も行った。

スタジオでの撮影も屋外と同様に、モノクロとリバーサルの67サイズを主体に、必要に応じて45サイズのフィルムを使用した。光源は、光量の安定性、色再現の忠実性からストロボを用いている。復元土器や石器（特に礫石器）は立面撮影を行った。土器の破片や石器（特に剥片石器）は俯瞰無影撮影を行った。立面・俯瞰撮影ともに、実測図や文章では表現出来ない情報（立体感・質感・加工痕や使用痕の強弱）を引き出すことに留意した。リバーサルフィルムをスキャニングした画像を基に、写真台帳のデジタルデータベース化をおこなった。これにより、オリジナルフィルムに触れることなく、画像の検索・並び替え・閲覧が可能となる。フィルムの劣化防止にもなる。

モノクロフィルムの現像とモノクロ写真的焼付けは、自動現像機を使用しての自家処理を行っている。これにより、品質の安定性と処理の迅速化が図れている。リバーサルフィルムは、プロラボへの外注で現像を行っている。 （吉田裕吏洋）

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

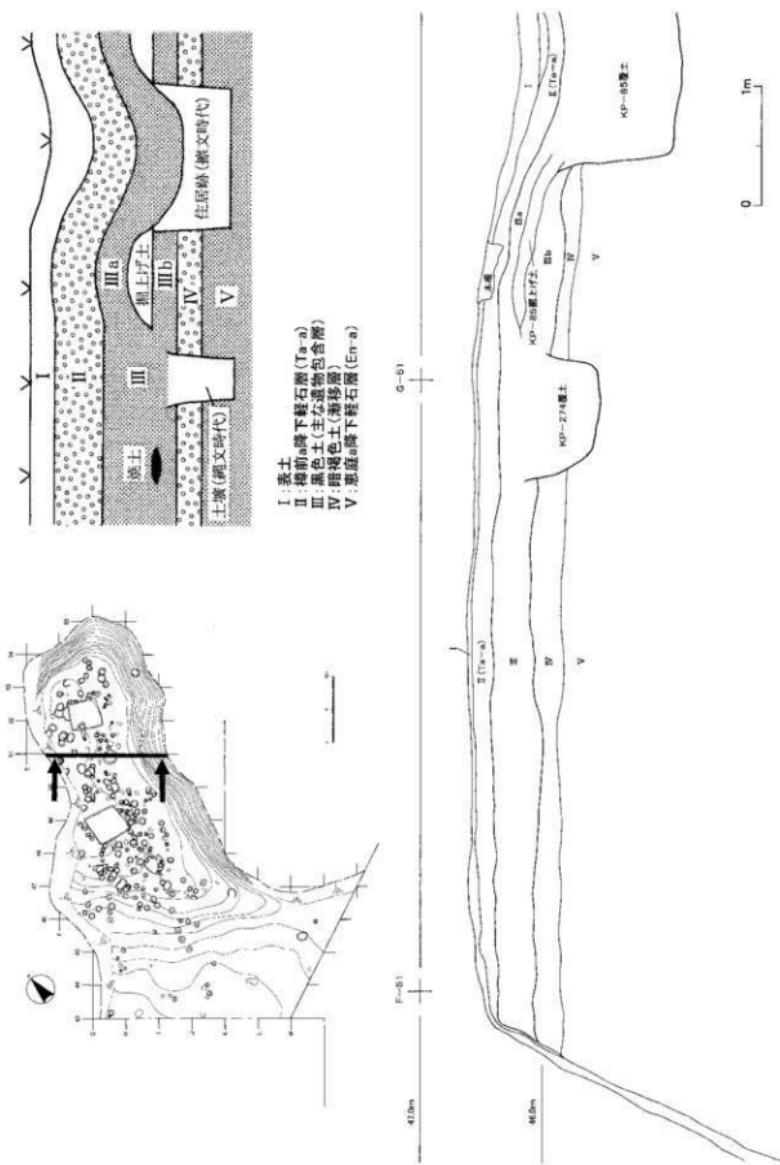


図1-4 基本土層模式図、基本土層(51ライン)(1)

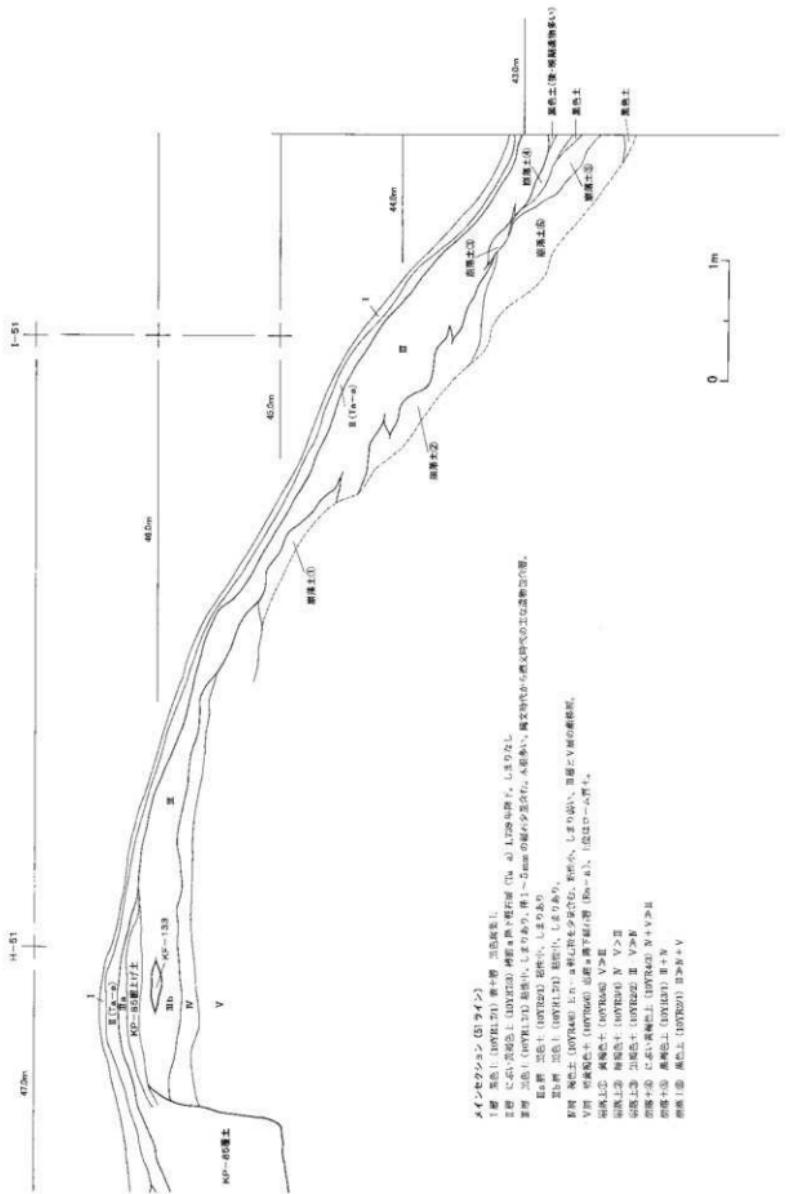


図1-5 基本土層(51ライン)(2)

(5) 遺物の分類

土器等

分類規準は、当センター通有の大別（縄文時代5大別と続縄文・擦文時代にそれぞれⅠ～Ⅶ群を付す）を踏襲し、主体時期は細分した。おおむね「美沢川流域の遺跡群」に準拠している。

I群 縄文時代早期に属する土器群。

a類：貝殻腹縁压痕文、条痕文のある土器群。

b類：縄文、撚糸文、絡条体压痕文、組紐压痕文、貼付文などの施される土器群。東鉋路Ⅱ・Ⅲ式、コッタロ式、中茶路式、東鉋路Ⅳ式に相当するもの。

II群 縄文時代前期に属する土器群。

a類：胎土に纖維を含み、厚手で縄文の施された丸底・尖底の土器群。

b類：円筒土器下層式、植苗式に相当するもの。

III群 縄文時代中期に属する土器群。

a類：円筒土器上層式、萩ヶ岡1式、萩ヶ岡2式に相当するもの。

b類：円筒土器上層式に後続する土器群。天神山式、柏木川式、北筒式（トコロ6類）に相当するもの。

IV群 縄文時代後期に属する土器群。

a類：初頭～前葉の土器。余市式、入江式に相当するもの。

b類：中葉の土器。船泊上層式、手稻式、鰐淵式、エリモB式に相当するもの。

c類：後葉の土器。堂林式、御殿山式に相当するもの。

V群 縄文時代晚期に属する土器群。

a類：大洞B・BC式、東三川式に相当するもの。

b類：大洞C₁・C₂式、美々3式に相当するもの。

c類：大洞A・A'式、タンネトウL式に相当するもの。

VI群 続縄文時代に属する土器群。

VI群 擦文時代に属する土器群。细分は佐藤和雄分類（北埋調報89）に準じる。

土製品

石器等

石器は剥片石器類、磨製石器類、礫石器類に大別し、形態ごとに分類した。分類の原則と区分を以下に示す。细分記号は付していない。なお、複数の器種が複合している場合は使用痕の多寡により一方の器種にまとめている。

剥片石器類

石 錐：押圧剥離により両面が調整され、尖頭形を呈する5cm未満のもの。

ポイント・ナイフ：押圧剥離や平坦剥離によって両面が調整され、尖頭形を呈する5cm以上のもの。

石 錐：錐状の突出部が作り出されたもの。

つまみ付きナイフ：抉り状の加工によって、端部につまみが作り出されたもの。

箇状石器：両面が調整された石器で、一端に直線状ないし弧状の刃部が形成されるもの。

スクレイバー：剥離が素材の側縁に連続的に加えられたもの。

両面調整石器：剥離が素材の両面に施されるが尖頭形でないもの。

ピコ・エスキュー：剥片もしくは礫を素材とし、対向する小剥離が素材の両端部にあるもの。

Rフレイク(二次加工ある剥片)：剥片を素材とし、縁辺の一部に二次加工が認められるもの。

剥 片：石核・石器から剥離されたもので、二次的な剥離が見られないもの。

石 核：石器の素材と成り得る剥片を剥離した痕跡があるもの。

原 石：石器素材と成り得る礫の内、剥片の剥離が行われていないか、不明瞭なもの。

磨製石器類

石 斧：打ち欠き・敲打・研磨により形成され、一端に刃部を作り出したもの。

礫石器類

た た き 石：敲打痕のあるものの内、持ち運び可能なもの。

す り 石：擦り痕のあるものの内、持ち運び可能なもの。

石 鋸：擦切技法を用いた石器製作に使用されたもので、断面がV字形の擦面をもつもの。

扁平打製石器：周囲もしくは両端部を打ち欠き、半円または楕円に整形されたもので、縁辺に擦り痕を有するもの。

扁平打製石器原材：周囲もしくは両端部を打ち欠き、半円または楕円に整形されたもので、縁辺に擦り痕が認められないもの。石錘に形状が似る。

北海道式石冠：打ち欠き・敲打により、整形されたもので、下面に擦り痕を有するもの。

砥 石：凹んだ砥面をもつもの。

台石・石皿：擦り痕もしくは敲打痕があるものの内、持ち運びが困難なもの。

石 製 品：加工が加えられた石製の遺物の内、狩猟・採集具および加工工具ではないもの。

金 属 製 品：分類項目は設定していない。A地区のⅢ層から鉄製品が3点出土している。（村田）

5 調査結果の概要

遺跡は、恵庭市街地から北西に2.5km、柏木川の右岸に位置する。調査区は標高約45mの上位段丘と標高約42mの下位段丘および旧流路を含む低地部からなる。以前は、水田や畠地に利用されていた。上位段丘のうち、試掘調査の結果から、調査区中央の遺物包含層が良好に残存する部分を通常発掘区の「A地区」、耕作により遺物包含層が削平されている南側を遺構確認区の「C地区」と呼称して調査を行った。調査面積は、A地区1,690m²、C地区3,770m²である。

検出した遺構はA地区・C地区合わせて、竪穴住居跡3軒、土壙211基、焼土85カ所、集石3カ所、柱穴状の小ビット4基である。そのうち擦文時代のものは竪穴住居跡2軒、集石2カ所で、他はすべて縄文時代のものである。遺物は土器、石器等45件35点が出土した。以下、地区ごとに述べる。

A地区

縄文時代の遺構は、竪穴住居跡1軒、土壙195基、焼土76カ所、柱穴状小ビット4基が検出された。

竪穴住居跡は、南側の平坦面で検出され、平面形は隅丸方形に近い楕円形を呈し、掘り込みのない地床炉を持つ。床面からⅡ群b類植苗式の土器片がまとまって出土しており、前期後半のものと考えられる。

土壙は、中期に属すると考えられるものが5基あり、KP-85は長径2m程で、大形の貯蔵穴と思われる。後期のものは1基で、形態から後期後葉の土壙墓と推定している。晚期のものは189基で、出土遺物などから大半は後葉のものと考えられる。そのうち土壙墓または土壙墓の可能性があるものは20基である。分布は、楕円形で長軸1m前後のものが北側に、円形のものが調査区中央付近から南

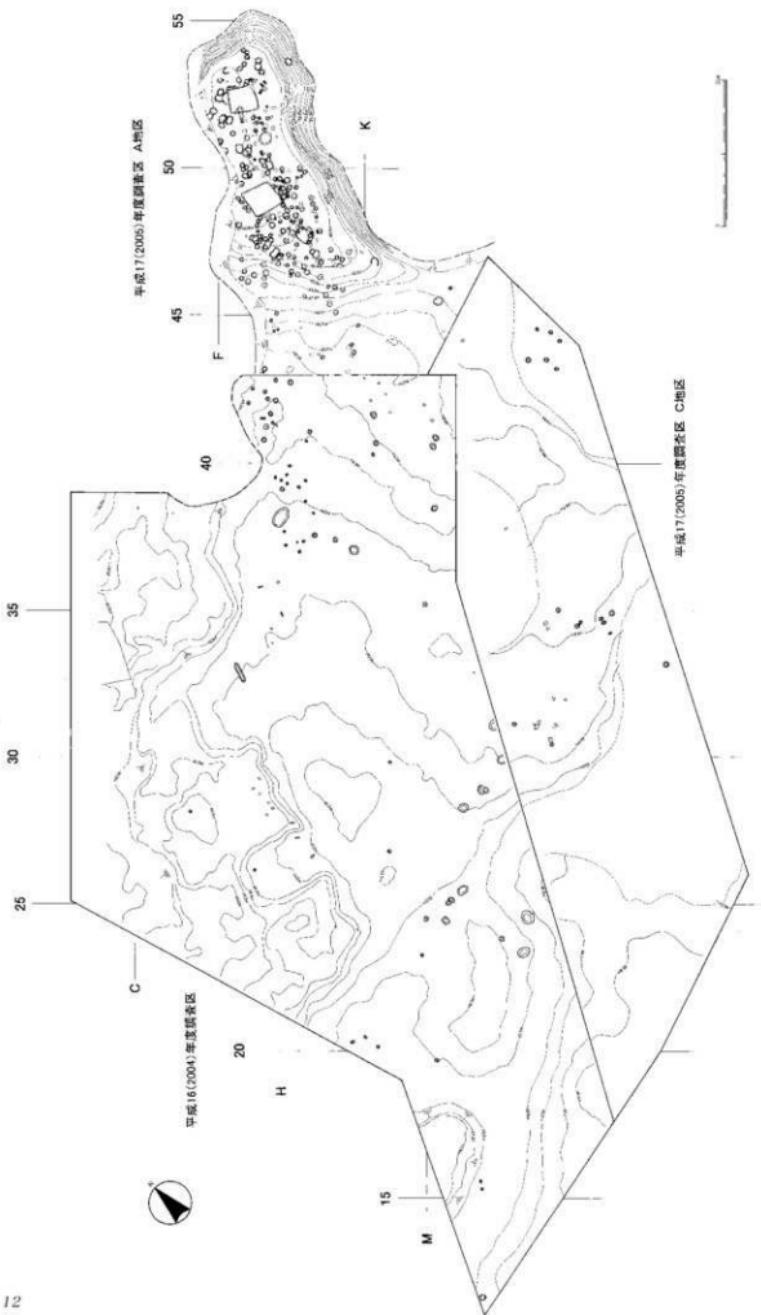


图 1-6 遗構位置図

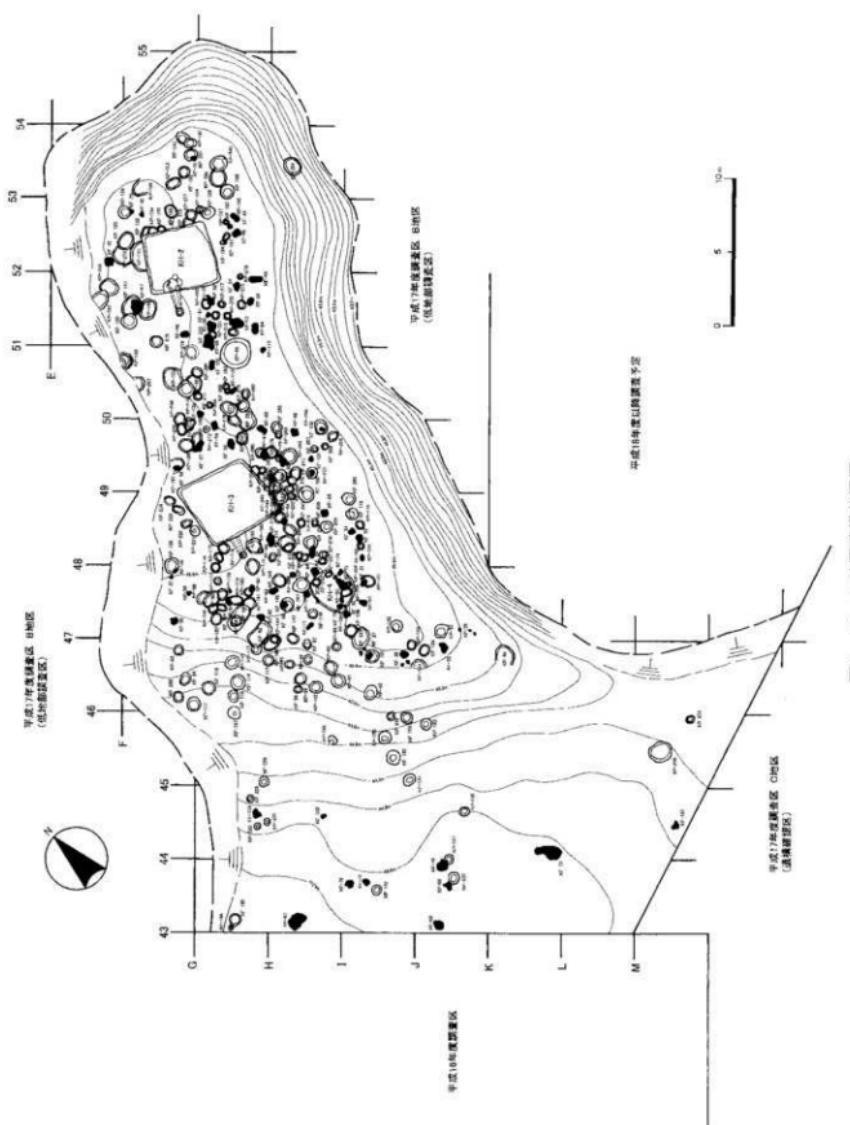


図 I-7 A 地区調査位置図

柏木川4道路(2)- A-C地区-

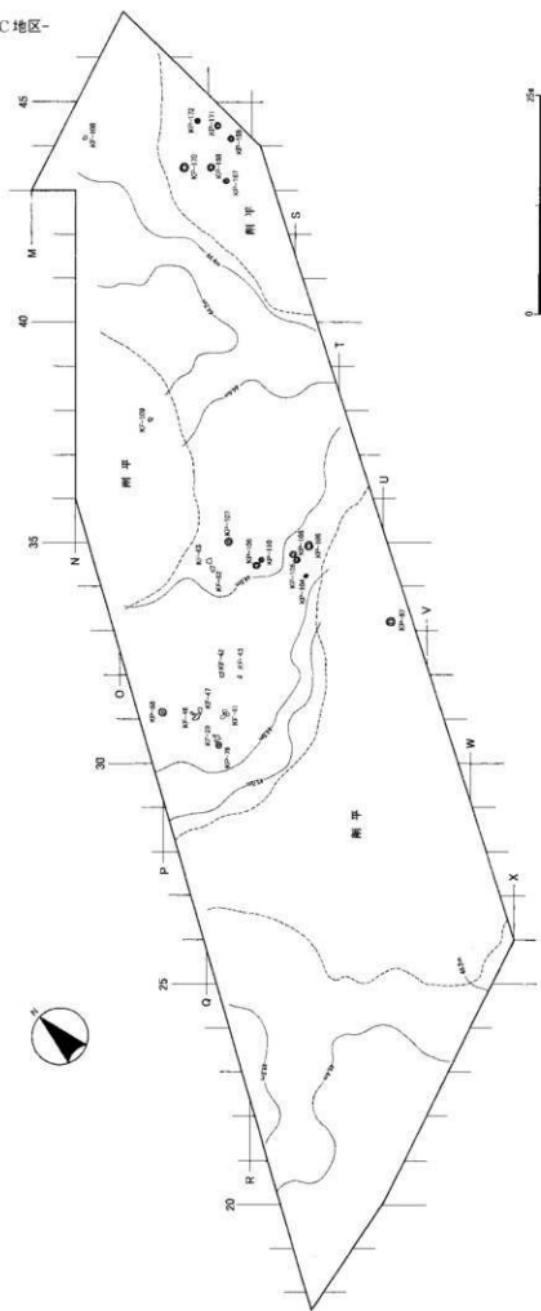


图 1-8 C 地区道路位置图

側斜面部にかけて多く見られる。他の土壤は小型で円形を呈するものと楕円形・長円形を呈し、長軸が1m前後のものがある。大半のものの覆土は流入土と崩落土の互層で、遺物の出土は少ない。

焼土は、調査区のほぼ全域に分布しており、焼けて白色化した動物骨・魚骨が含まれるものが多い。すべて晩期に属するものと考えられる。

柱穴状の小ピットは、4基検出され、調査区南西の平坦面から斜面への地形の転換点付近にまとまっており、杭状のものを打ち込んだ跡と思われる。いずれも晩期のものと考えられる。

擦文時代の遺構は、竪穴住居跡2軒と集石2ヵ所である。出土した土器から、いずれも8世紀中葉のものである。焼失住居で、床面から炭化材が多く出土した。炭化材の樹種同定では、使用した材はすべて「コナラ」との結果を得ている。覆土に被熱し赤色硬化した土や焼土が見られることから、土葺きの屋根を持っていたと考えられる。住居跡は2軒とも、主柱穴が外に4本あるいわゆる「カリンバ型」と呼ばれるものである。

遺物は4,995点出土した。土器・土製品34,132点、石器等6,863点である。遺構に伴うものは少なく80%が包含層からの出土である。土器は縄文時代早期から擦文時代のものが出土している。晩期のものが最も多く95%を占める。早期は東釧路Ⅳ式、前期は植苗式、中期は北筒式、後期は堂林式、晩期はタンネトウL式が多い。続縄文時代は後北C₂-D式と考えられる胴部破片が少量出土している。擦文土器は8世紀中葉（佐藤和雄分類のⅢ類）のものが主体である。石器は完形で出土するもののが少ない。剥片石器では石鏃、スクレイバーが多い。礫石器はたたき石と砥石の多さが特徴的である。

C 地区

検出された遺構は、土壤16基、焼土9ヵ所、集石1ヵ所で、すべて縄文時代のもので、晩期後半に属するものが多い。土壤は30から35ラインのものと43ライン付近に2つのまとまりがある。前者は周辺から焼土が多く検出され、中期に属するものもある。後者のうちKP-167からは赤彩が施されたV群c類土器が1個体出土している。

遺物は4,040点出土した。土器・土製品は2,275点、石器等1,765点である。大半が包含層からの出土である。土器は縄文時代前期と中期のものが多く、晩期と擦文時代の土器も出土している。石器は石斧と石斧製作に関連すると思われる石鏃、砥石が焼土の周辺から多く出土している。礫石器では扁平打製石器、北海道式石冠が出土した。

（村田）

表 I - 1 遺構一覧

時期別 遺構名(略号)	縄文時代			縄文時代			合計
	A地区	C地区	計	A地区	C地区	計	
KH(住居跡)	1		1	2		2	3
KP(土壤)	195	16	211				211
KF(焼土)	76	9	85				85
KS(集石)		1	1	2		2	3
SP(柱穴状小ピット)	4		4				4

表 I - 2 出土遺物一覧

土器等	包含層		包含層計	遺構		遺構計	計
	A地区	C地区		A地区	C地区		
I a	24		24	1		1	25
II b	50	1078	1128	83		83	1211
III b	706	1022	1728	269	4	273	2001
IV	117		117	14		14	131
IV c	9		9	3		3	12
V c	25875	92	25967	6060	48	6108	32075
VI	4		4	2		2	6
VII	583	31	614	323		323	937
不明	6		6	1		1	7
土製品	1		1	1		1	2
計	27375	2223	29598	6757	52	6809	36407
石器等・金属製品	包含層		包含層計	遺構		遺構計	計
	A地区	C地区		A地区	C地区		
石鏟	123	9	132	32		32	164
ポイント・ナイフ	6	8	14				14
石錐	15	3	18	6		6	24
つまみ付きナイフ	5	10	15	2		2	17
スクレイバー	225	11	236	67		67	303
両面調整石器	1		1				1
ビエス・エスキュー	3		3				3
Rフレイク	97	13	110	40		40	150
フレイク	3339	629	3968	887	13	900	4855
石核	17	9	26	2		2	28
原石	10		10				10
棒状原石				1		1	1
石斧	45	23	68	7		7	75
石斧原材	1		1	1		1	2
たたき石	39	5	44	11		11	55
すり石	6	1	7	3		3	10
石鋸	2		2				2
扁平打製石器		1	1				1
北海道式石冠	1	6	7	2		2	9
砥石	24	4	28	2		2	30
台石	1		1	4		4	5
石皿	3	1	4	5		5	9
棒状礫	2		2				2
加工痕ある礫	19	7	26	9		9	35
礫	1562	1010	2572	229		229	2801
石製品	5		5	1		1	6
金属製品	3		3				3
計	5552	1752	7304	1311	13	1324	8628
合計	32927	3975	36902	8068	65	8133	45035

II 遺跡の位置と周辺の遺跡

1 遺跡の立地と環境(図II-1~4)

位置と地名の由来

遺跡の所在する恵庭市は、石狩低地帯のほぼ中央に位置し、東部の標高8m前後の水田・畑地帯と西部の山地で構成されている。北側は島松川を挟んで北広島市と、南側は千歳市と、東側は千歳川を挟んで長沼町と、西側は漁岳から空沼岳を経て島松山を結ぶ線を分水嶺として札幌市と接する。

市名にもなっている「恵庭」は、アイヌ語の「エエンイワ」(頭が・尖っている・山- 現在の恵庭岳を指す)が転訛したものと言われている。

遺跡名にもなっている「柏木川」は、明治29年仮製5万分の1図によると「ベケレ・ベッ」と呼ばれ、明治43年製5万分の1図には現在の名称「柏木川」と呼称されている。「ベケレ・ベッ」とは榎原正文の『データベースアイヌ語地名3』(2002)によれば、アイヌ語で「明るい・川」を意味する。松浦武四郎『新道誌』戊午東西蝦夷山川地理取調日誌には「(前略)其土皆むかしタルマイ山の焼石なりと。故に水至りて清冷なるによって此名有るなり。(後略)」とある。「タルマイ山の焼石」とは1739年降下の樽前a火山灰のことと、その色調は明灰色である。榎原も河床堆積物の色調から命名されたと推定している。

遺跡周辺の地形・環境

恵庭市の地形は隣接する北広島市や千歳市とともに、西部は支笏湖の北側にそびえる恵庭岳(1,320m)や漁岳(1,318m)などから続く山地、東部は石狩平野の南端部にあたる平地からなっている。

この地方の地質は、第3紀層を覆う火山性の堆積物からなっている。これらは支笏湖を含む周辺の火山群の噴出物である。地表近くには支笏湖の南側にある樽前山(1,103m)を噴出源とする降下火山灰層が3層みられる。上層から1739年に降下したTa-a層、1667年のTa-b層、約2000年前に降下したと推定されているTa-c層である。これらの火山灰は遺跡の調査において、遺構・遺物の年代決定の指標の一つになっている。このうち、今回の発掘調査区ではTa-a層が削平を受けていないA地区で、層厚30cm程の堆積としてみられる。

遺跡のある柏木川は、流路延長は約11km、市域の西側にある陸上自衛隊島松演習所内に源流部を持ち、市街北東方向へ流れている。その後、恵庭市下島松でルルマップ川と合流し、北広島市との境界付近で島松川と合流、さらに島松川も恵庭市、北広島市、長沼町の3市町が接する地点で千歳川に合流し、最後には石狩川へと流入している。柏木川は恵庭市内の茂漁川、島松川、ユカンボシ川、ルルマップ川などとともに、石狩川水系の末端に位置する小河川である。

遺跡は、恵庭市街地から北西に2.5cm、柏木川の右岸に位置する。柏木川が開削した沖積地の河岸段丘縁に立地している。河岸段丘の基層は支笏輕石流・恵庭a火山灰の水成二次堆積層である。調査区は標高約45mの上位段丘と標高約42mの下位段丘および柏木川の旧流路を含む低地帯からなる。上位の段丘に柏木川3遺跡、柏木川5遺跡が隣接し、柏木川の対岸には柏木川1遺跡、柏木工業団地2遺跡が続いている。

図II-3・4は1948年と1953年撮影の空中写真に発掘区を重ねたものである。B地区の一部で河川の直線化以前の自然地形が観察できる。また、耕作土の色調の違いから平成16(2004)年度調査区の段丘崖やC地区の削平部分などがあおまかに読み取れる。

(村田)

2 周辺の遺跡(図II-5、表II-1)

柏木川流域には遺跡が多く、現在恵庭市内で周知されている120カ所の遺跡のうち、半数の60カ所が柏木川流域に分布する。右岸に32カ所、左岸には28カ所が存在する。これらは標高65m付近の上流から標高8m付近のルルマップ川との合流点まで、満遍なく分布している。確認された60カ所の遺跡のうち、発掘調査が行われたのは20カ所である。以下、当該遺跡のある柏木川流域の遺跡を中心に時期別に概観する。

旧石器時代

茂漁4遺跡では、En-a層から細石刃核、搔器等が出土した。

縄文時代早期

柏木川I3遺跡では、竪穴住居跡が1軒検出され、床面から前半期に属する平底の貝殻文土器と蛇紋岩製の石器や石製品が出土した。柏木川I1遺跡から東釧路Ⅱ式土器が出土している。鳥松仲町遺跡からは、アルトリ式・東釧路Ⅲ式・東釧路Ⅳ式土器が出土している。

縄文時代前期

柏木川B遺跡では、後半の植苗式・大麻V式土器を伴う住居跡が24軒検出された。柏木川8遺跡から、静内中野式土器が出土している。

縄文時代中期

柏木川式土器の標識遺跡である、柏木川1遺跡から、竪穴住居跡が6軒調査され、口縁部に貼付帯をもつ深鉢形土器が2個体と、石器がまとめて出土した。西島松4遺跡からは、終末期の大木10式土器を伴う土壤が1基検出されている。西島松15遺跡から、柏木川式土器の時期に属する竪穴住居跡が17軒検出されている。B地点でも同時期の竪穴住居跡が4軒検出されている。

縄文時代後期

柏木B遺跡では、3基の周提墓が調査され、土壤から石棒や玉類が出土した。西島松5遺跡で、土壤から漆製品が大量に出土した。

縄文時代晩期

柏木川8遺跡、西島松2・3遺跡から、タンネトーラ式土器が出土している。

続縄文時代

柏木B遺跡では、土壤墓が検出されている。時期はおもに後北C₂-D式土器の頃で、柱穴様ピットや付属ピットを持つものが確認されている。土壤墓の付属ピットの可能性があるものからガラス玉が30個出土している。

擦文時代

柏木川1遺跡では、前半期の墳墓が1基調査され、甕・杯とともに刀子・鎌・鍬などの鉄製品も出土した。柏木東遺跡(茂漁古墳群)では、昭和9年の調査で北海道式古墳が14基確認された。柏木川11遺跡では、竪穴住居跡が3軒調査された。いずれも焼失住居である。茂漁4遺跡では、7軒の竪穴住居跡が調査され、住居内から琥珀玉・須恵器蓋が出土している。柏木川I3遺跡では、竪穴住居跡が4軒検出された。このうち2軒は掘り込みの外側四隅に柱穴をもついわゆる「カリンバ型」の住居である。

アイヌ文化期

茂漁チャシがある。茂漁川左岸の段丘上に立地している。面崖式のチャシで2本の壙が確認されている。(村田)

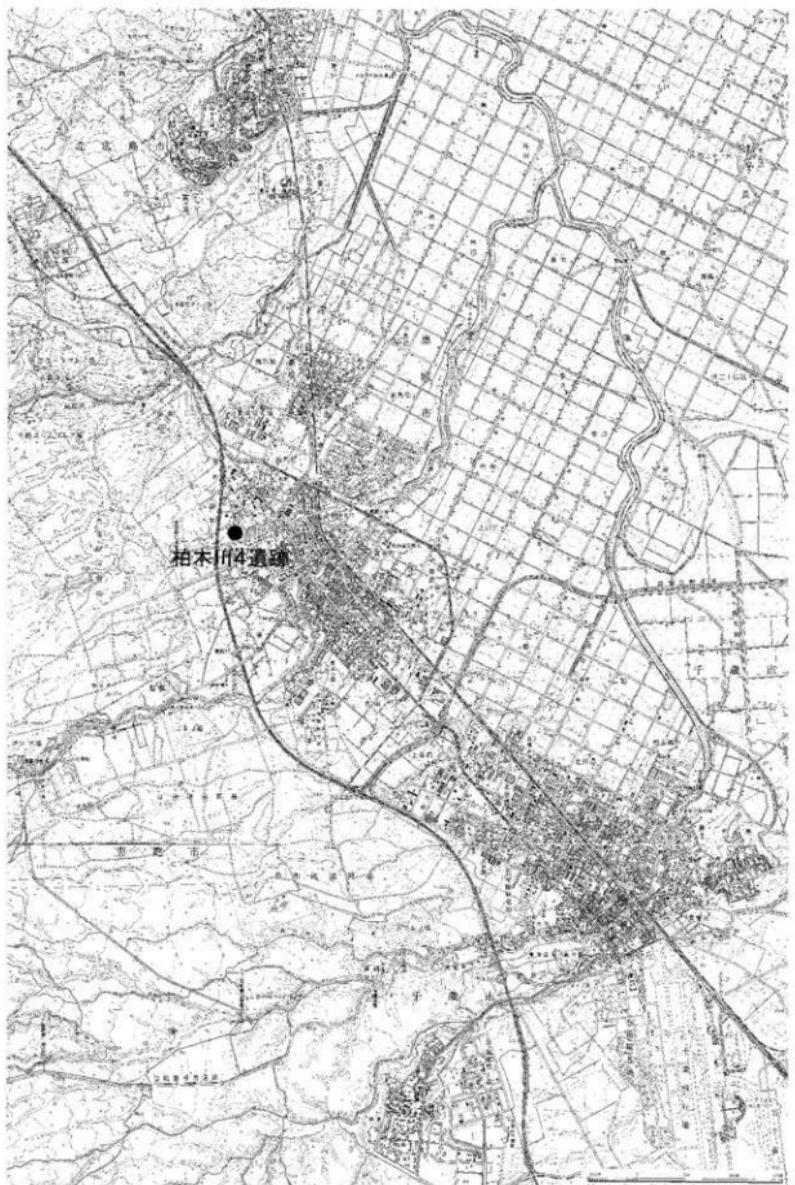


図 II - 1 遺跡周辺の地形(1)この図は国土地理院発行5万分の1地形図「恵庭」「千歳」を複製、加筆したものである

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

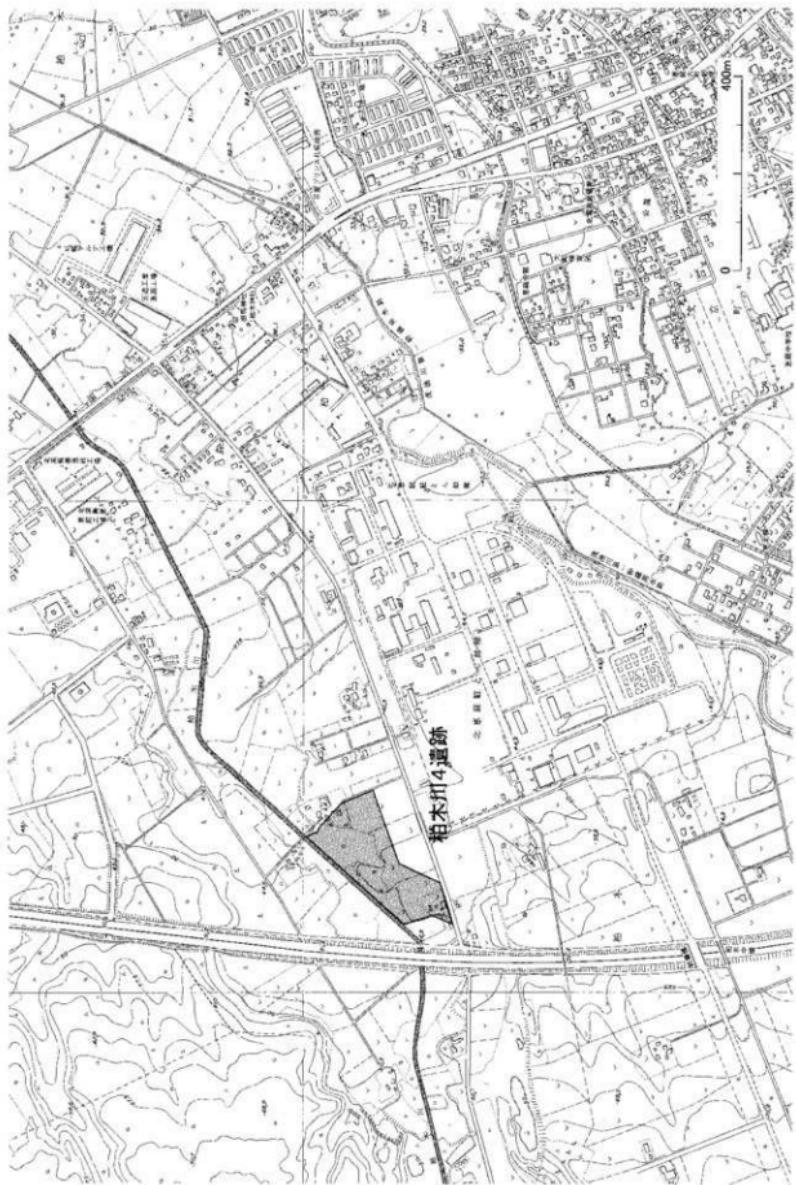


図 II- 2 遺跡周辺の地形(2)この図は国土整理院発行 5千分の1 國土基本図「日- OC- 05- 06・15・16」を複製、加筆したものである)



図 II - 3 遺跡周辺の空中写真(1) 1948.4 22米重撮影

柏木川川口遺跡(2)- A-C 地区-

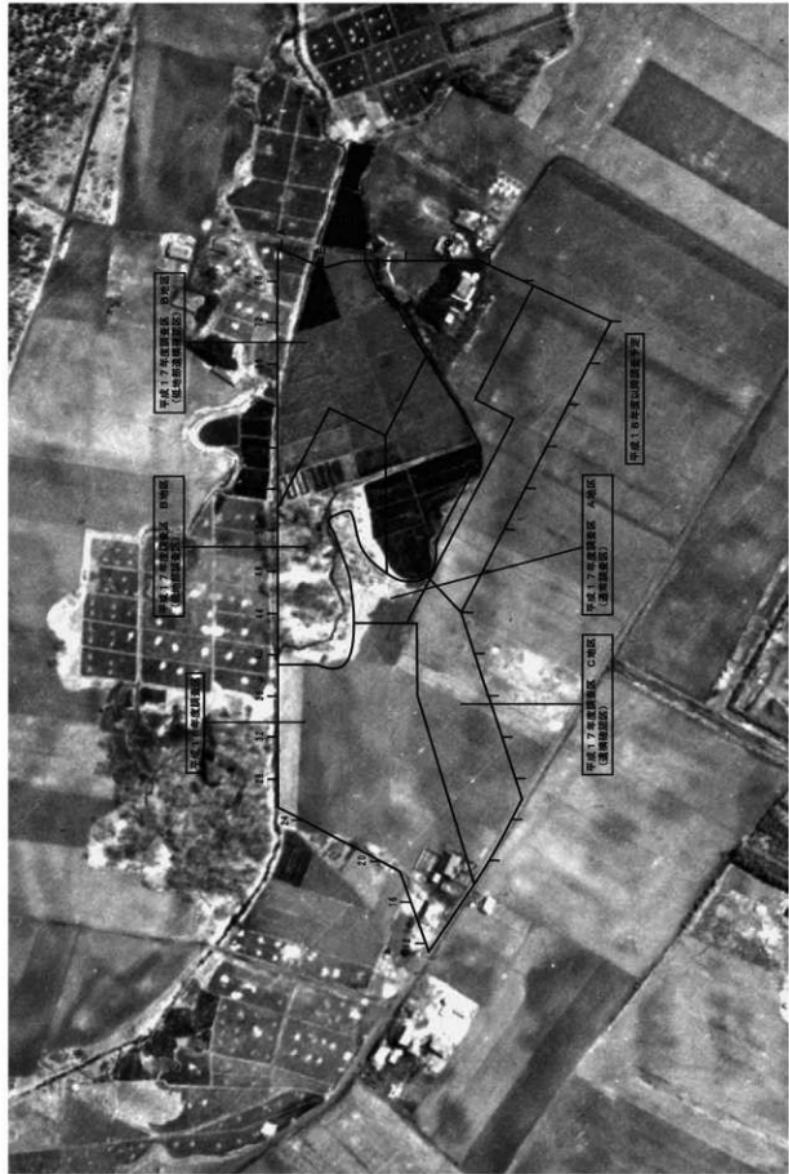


図 II - 4 遺跡周辺の空中写真(2) 1953.5.6米重撮影

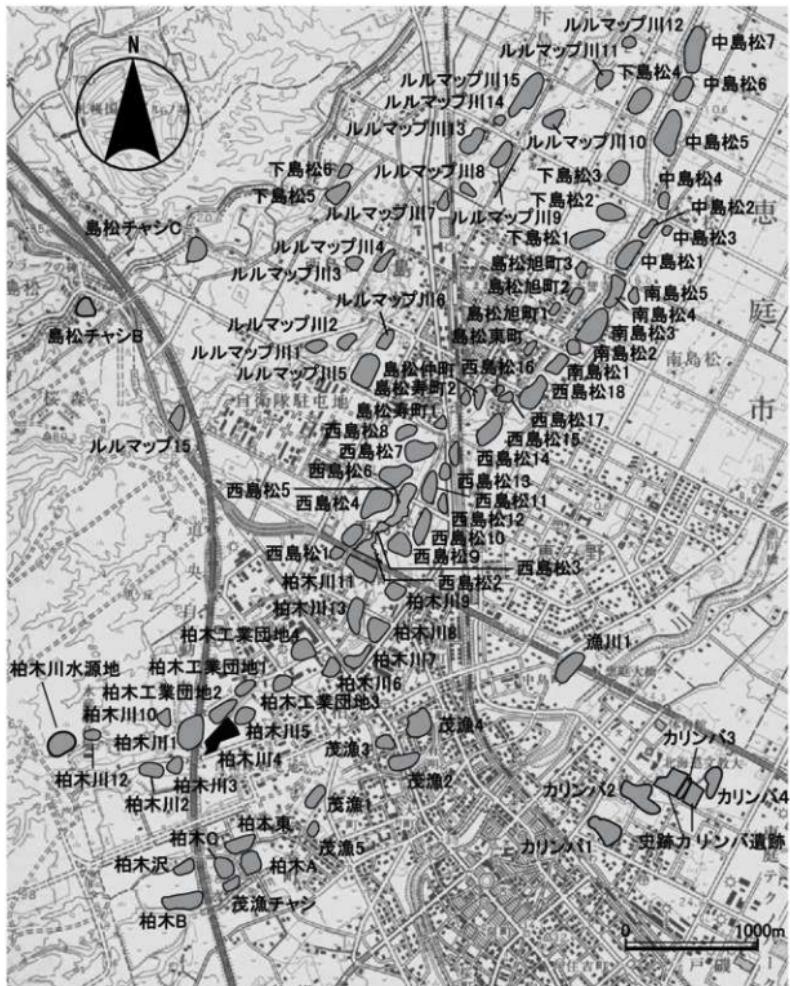


図 II-5 周辺の遺跡

表 II-1 周辺の遺跡一覧(A-04)

III章 繩文時代の遺構と遺物

1 概 要

A 地区と C 地区で検出された遺構は、竪穴住居跡 1 軒、土壙 211 基、焼土 85 カ所、集石 1 カ所、柱穴状の小ピット 4 基である。竪穴住居跡は A 地区平坦面の南側で検出された。中央に炉を持ち、隅丸方形に近い楕円形で、前期後半のものである。

土壤は A 地区から 195 基が検出された。晩期後半のものと考えられるものは 189 基で、そのうち土壤墓または土壤墓の可能性があるものは 20 基である。楕円形で長軸 1 m 前後のものが北側に、円形のものが調査区中央付近から南側斜面部にかけて多く見られる。KP- 113・162 からは銅部のみの大形の土器破片が表面を上にした状態で出土した。KP- 140 の壙底には対になる小ピットがある。KP- 166 からは完形の双口土器が横倒しの状態で出土した。他の土壤は小型で円形を呈するものと楕円形で、長円形を呈し、長軸が 1 m 前後のものがある。大半のものの覆土は、流入土と崩落土の互層で遺物の出土は少ない。また、中期のものと考えられるものが 5 基あり、KP- 85 は長径 2 m 程度あり、大形の貯蔵穴と思われる。後期のものは 1 基で、形態から土壤墓と考えられる。隣接する下位段丘で IV 群 c 類土器がまとまって出土している。

C 地区から 16 基が検出された。大きく 2 つのまとまりがある。R- 34 区付近のまとまりは周辺から焼土が多数検出され、石斧関連の遺物が多く出土している。中期に属するものがある。43 ラインのまとまりのうち、KP- 167 からは赤彩が施された土 V 群 c 類器が 1 個体出土している。なお、包含層出土の遺物は、出土点数が当初予想より大幅に上回ったことと、隣接する低位段丘（B 地区）から出土した遺物との接合関係の検討を要することから、次年度以降に報告することになった。（村田）

（1）竪穴住居跡

A 地区南側の平坦面で、前期後半のものが一軒検出された。

KH- 4（図 III- 1、図版 6・71）

位置・立地：H 4- 47 標高 45.6m 付近の平坦面。

規 模：2.90 / 2.64 × 2.8 / 2.67 × 0.22m 平 面 形：隅丸方形

確認・調査：IV 層上面で確認した。I ラインに設定した土層観察用ベルトの断面で、黒色土の落ち込みが確認されたため、このベルトを延長し、トレンチ調査を行った。平坦な床面と明瞭な壁の立ち上がりが確認できたため住居跡と判断した。

覆 土：Ⅲ 層を主体とする黒色土が大半である。炭化物を少量含む。

形 態：床はほぼ平坦で、掘り込みは浅い。V 層中に掘り込まれている。繩文時代晩期の土壤が 5 基掘り込まれ、壁と床面の一部が失われている。壁は緩やかに立ち上がる。

付 属 遺 構：中央付近に炉を 1 カ所検出した（HF- 1）。掘り込みのない地床炉である。炉が使用される前に掘り込まれた、盆状の断面をもつピット（HP- 1・2）を 2 カ所検出した。炉に関連する施設と考えられる。柱穴状の小ピットは 6 基確認できた。

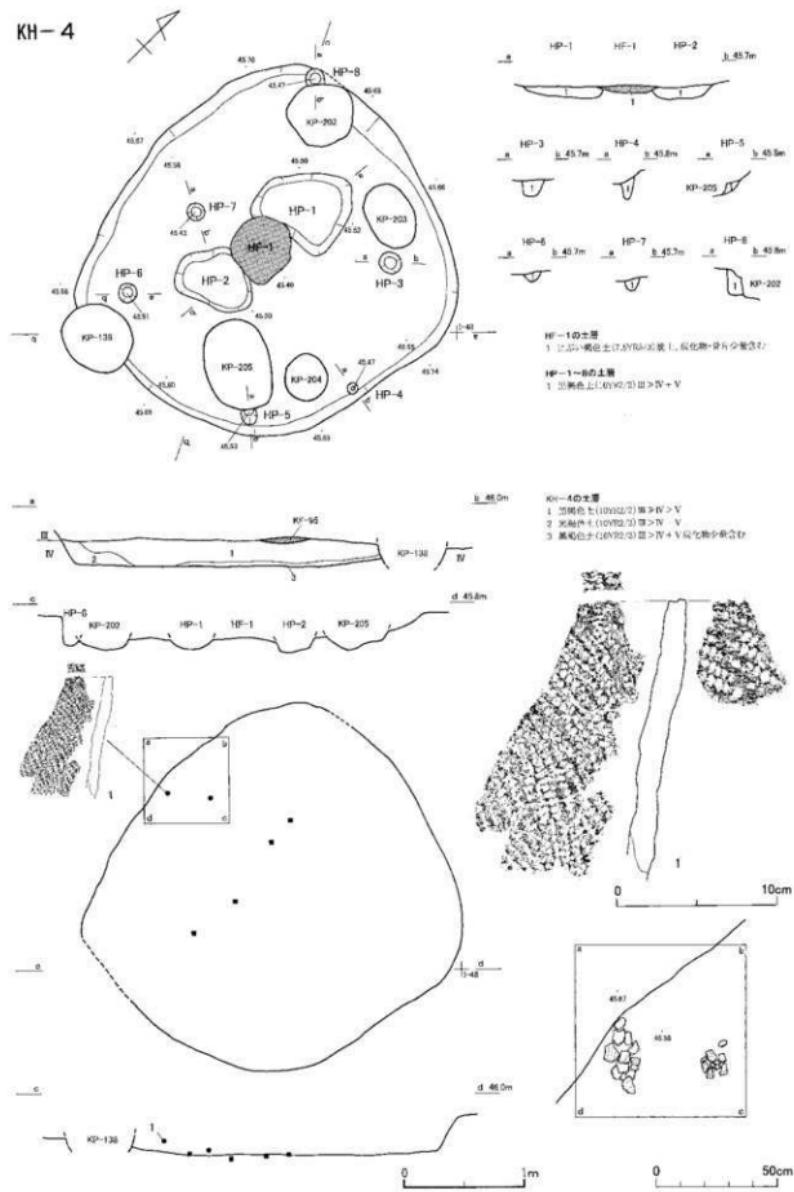
遺物出土状況：西側の床面から、II 群 b 類植苗式の土器片がまとまって出土した。

時 期：出土遺物から、繩文時代前期後半と考えられる。

遺 物：1 は床面から出土した II 群 b 類の土器。口縁部から銅部上半の破片で、口縁部の断面

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

KH-4



図III-1 積穴住居跡 KH-4

は角型を呈し、口唇上と口縁部裏面にも縄文が施文されている。

(村田)

(2) 土 壤

A 地区

A 地区で確認された土壙は195基で、そのうち中期後半のもの5基、後期後半のもの1基、晚期後葉のもの189基である。土壙墓または土壙墓の可能性があるものは個別に説明するが、その他のものは形態で分けたまとまりごとに説明する。中期または後期に属すると考えられるものは別に説明する。

土壙墓または土壙墓の可能性があるもの(20基)

KP- 100・102・113・128・130・139・140・151・152・162・163・166・196・212・214・242・250
・270・272

46ラインの斜面部から北側にかけて分布する。楕円形または長円形を呈し、比較的大型のものは北側に多い。

KP- 100(図III-2、図版15)

位置・立地：F- 50 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：1.52 / 1.34 × 1.31 / 1 / 07 × 0.51m 平 面 形：楕円形

確認・調査：Ⅲ層上面の凹みで確認した。覆土下位が黒褐色土と暗褐色土を主体とする埋め戻しである。壙底は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。遺物出土状況は覆土からV群c類の土器片、石鏃、石核などが出土した。土壙墓の可能性がある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP- 102(図III-2、図版15)

位置・立地：H- 46 標高45m付近の南西に面する緩斜面。

規 模：0.88 / 0.58 × 0.81 / 0.53 × 0.45m 平 面 形：円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は下位が褐色土の埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は埋め戻し土の上面から台石が1点出土した。土壙墓の可能性がある。

時 期：遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP- 113(図III-3、図版19)

位置・立地：G- 46 標高45m付近の南西に面する緩斜面。

規 模：0.98 / 0.6 × 0.88 / 0.5 × 0.38m 平 面 形：円形

確認・調査：Ⅳ層上面で確認した。覆土は下位が暗褐色土の埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は下位の埋め戻し土の上面に、V群c類の胴部のみの土器片が表面を上にして出土した。覆土の上位からはスクレイバーと加工痕のある礫が出土している。土壙墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP- 128 (図III- 3、図版24)

位置・立地：F- 53 標高45.8m付近の平坦面。

規 模： $(0.91)/(0.83) \times 0.99 / 0.85 \times 0.29m$ 平面形：橢円形
確認・調査：IV層上面で確認した。木根で東側が失われている。覆土は黒褐色土と暗褐色土の埋め戻しである。ベンガラ粒を少量含む。壙底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は覆土からV群c類土器片と石鎌が4点出土している。土壤墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP- 130 (図III- 3、図版25)

位置・立地：E-F- 52 標高45.8m付近の平坦面。

規 模： $1.2 / 1.05 \times 0.92 / 0.78 \times 0.76m$ 平面形：橢円形
確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は褐色土や暗褐色土が主体の埋め戻しで、ブロック状の堆積が多い。壙底は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。遺物出土状況は覆土の中位から赤彩が施されたV群c類の土器片が出土した。土壤墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP- 139 (図III- 3、図版27)

位置・立地：I- 47 標高45.6m付近の南西に面する緩斜面。

規 模： $0.78 / 0.7 \times (0.75) / (0.67) \times 0.47m$ 平面形：円形
確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は黒褐色土と暗褐色土の埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土の上位からV群c類の土器片で口縁部のみの大形破片が2個体分まとまって出土した。石錐が3点スクレイバーが2点出土した。土壤墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP- 140 (図III- 4、図版28)

位置・立地：G- 53 標高45.7m付近の平坦面。

規 模： $1.12 / 0.68 \times 1.02 / 0.77 \times 0.57m$ 平面形：橢円形
確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は黒褐色土を主体とする埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。長軸方向に対応する小ピットがある。遺物出土状況は覆土からI群b類、III群b類、V群c類の土器片が出土した。土壤墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP- 151 (図III- 4、図版31)

位置・立地：E-F- 51 標高45.8m付近の平坦面。

規 模： $(1.35) / (1.23) \times 1.01 / 0.81 \times 0.43m$ 平面形：長円形
確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は上位が黒色土主体の流入土で、下位が褐色土と黒褐色土の埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土の中位からV群c類土器片、スクレイバー、石斧、加工痕のある礫。壙底から人頭大の礫が1点出土している。土壤墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP-152(図III-4、図版31)

位置・立地：F-51 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：1.4 / 1.19 × 1.09 / 0.88 × 0.37m 平面形：長円形

確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は中位から上位は黒色土の流入土で、下位がにぶい黄褐色土の埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。土壤墓と考えられる。遺物出土状況は壙底から大洞C₂式相当のV群の土器片が出土した。同一個体の土器片がKH-2の掘上げ土・覆土1層、KP-128の覆土1層、F-52・53区Ⅲb層、G-52区Ⅲb層、G-53区Ⅲa層から出土しており、KP-152と同様の遺構が存在し、その後にKH-2に壙されたものと考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP-162(図III-4、図版34)

位置・立地：J-45 標高44.8m付近の南西に面する緩斜面。

規 模：0.75 / 0.41 × 0.75 / 0.4 × 0.45m 平面形：円形

確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は上位が黒色土主体の流入土で、その下位は黒褐色土と褐色土の埋め戻しである。壙底から壁へ椀状に立ち上がる。遺物出土状況は褐色土の埋め戻し層上部からV群c類土器の胴部破片がまとまって出土している。土壤墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (吉田)

KP-163(図III-4、図版34)

位置・立地：F-53 標高45.7m付近の平坦面。

規 模：1.01 / 0.89 × 0.63 / 0.48 × 0.35m 平面形：長円形

確認・調査：51ラインのセクション面で確認した。覆土は黒褐色土と暗褐色土の埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土の中位から石皿が1点出土している。土壤墓の可能性がある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP-166(図III-5、図版35)

位置・立地：E-F-50 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：1.21 / 0.23 × (0.82) / (0.16) × 0.76m 平面形：不明

確認・調査：調査区西側の崩落斜面で確認した。覆土は上位が黒色土主体の流入土で、中位から下位は褐色土と暗褐色土の埋め戻しである。壙底に黒褐色土の硬い層がある。壙底は凹凸があり、壁は一部段上を呈する。遺物出土状況は埋め戻し土の上面からV群c類の双口土器が横倒しの状態で出土した。隣接して別個体の底部は片がまとまって出土した。覆土の上位から石斧が出土している。土壤墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP-196(図III-5、図版43)

位置・立地：G-52・53 標高45.6m付近の平坦面。

規 模：1.01 / 0.55 × 0.92 / 0.56 × 0.27m 平面形：円形

確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は褐色土と暗褐色土の埋め戻しである。壙底は凹凸があり、

壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土にⅢ群b類とV群c類土器片が散見できる程度である。土壤墓の可能性がある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。

(村田)

KP-212 (図III-5、図版47)

位置・立地：E-4-52 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：(1.27)/(1.18)×(1.09)/(1.04)×0.29m 平面形：隅丸方形

確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は黒褐色土やぶい黄褐色土を主体とする埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土からV群c類土器が出土している。土壤墓の可能性がある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。

(村田)

KP-214 (図III-5、図版47)

位置・立地：H-48 標高45.7m付近の平坦面。

規 模：1.21/0.91×(0.64)/(0.56)×0.46m 平面形：円形

確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は暗褐色土と黒褐色土の互層で埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土からV群c類の土器片、スクレイバー、石核、台石などが出土している。土壤墓と考えられる。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。

(村田)

KP-242 (図III-6、図版56)

位置・立地：H-49 標高45.7m付近の平坦面。

規 模：0.57/0.36×(0.56)/(0.38)×0.15m 平面形：円形

確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は黒色土を主体とする埋め戻しである。壙底は断面が椀状を呈し、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は壙底から石皿と加工痕のある礫が出土している。土壤墓の可能性がある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。

(村田)

KP-250 (図III-6、図版57)

位置・立地：H-48 標高45.7m付近の平坦面。

規 模：0.85/0.7×(0.65)/(0.42)×0.23m 平面形：橢円形

確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は暗褐色土の埋め戻しで、炭化物を少量含む。壙底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は壙底からV群c類の土器片と石礫が出土した。また、北側から凝灰岩の板状礫が7点まとまって出土した。土壤墓の可能性がある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。

(村田)

KP-270 (図III-6、図版63)

位置・立地：F-50 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：1.16/0.71×1.09/0.71×0.46m 平面形：円形

確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は下位が暗褐色土と黒褐色土の互層で、埋め戻しである。壙

底は断面が椀状を呈し、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は覆土の上位からV群c類土器の口縁部破片がまとまって出土した。土壤墓の可能性がある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

KP-271 (図III-6、図版63)

位置・立地：G-50 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：1.21×0.84×0.83×0.62×0.41m 平面形：橢円形

確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は下位が褐色土や暗褐色土の埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土からV群c類の土器片とスクレイバー、フレイクがまとまって出土した。土壤墓の可能性がある。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

KP-272 (図III-6、図版64)

位置・立地：F-49・50 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：0.84×0.69×0.57×0.51×0.15m 平面形：隅丸方形

確認・調査：IV層上面で確認した。覆土は暗褐色土の埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は南西側からV群c類の土器片がまとまって出土した。土壤墓である。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

小型でほぼ円形を呈するもの (149基) (図III-7~35)

KP-83・84・86・89~93・95~99・101・111・112・114~127・129・134・135・137・138・141~150・154・156~161・164・165・173~178・180~195・198・201~211・213・215~231・237~249・251~255・257~269・273~281・283・285~288・290・291

調査区全域にみられるが、平坦面の西側から斜面部にかけて密集している。長径0.5m程度のものが多い。大半が自然堆積の覆土で、遺物の出土は少ない。壙底は平坦なものと断面が椀状を呈するものがある。壁は緩やかに傾斜したものが多い。

楕円形・長円形を呈し、長軸が1m前後のもの (20基) (図III-36~40)

KP-80~82・103・131~133・148・153・179・197・200・232・233・256・278・279・282・284・289

H-47区付近、H-50区付近、F-52区付近にまとまりがある。長軸が東西方向のものが多い。覆土は流入土と崩落土の互層である。壙底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がるものが大半である。遺物の出土は少ない。 (村田)

KP-81 (図III-37、図版8)

位置・立地：G-47 標高45.6m付近の平坦面から斜面の転換点。

規 模：(1.77)/(1.58)×1.07×0.9×0.26m 平面形：隅丸長方形

確認・調査：III層上面の凹みで確認した。覆土は黒褐色土の流入土が主体である。壙底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。KP-187より新しい。覆土からV群c類土器とスクレイバーが出土している。

時 期：遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。 (村田)

KP- 148 (図III- 38、図版30)

位置・立地 : G-II- 46・47 標高45.5m付近の平坦面から斜面の転換点。

規 模 : 1.34 / 1.15 × 0.81 / 0.67 × 0.17m 平面形 : 楕円形

確認・調査 : IV層上面で確認した。覆土は黒褐色土の流入土である。壙底は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。KP- 149より新しい。覆土からV群c類土器とスクレイバーが出土している。

時 期 : 遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

KP- 284 (図III- 40、図版67)

位置・立地 : H- 53 標高44m付近の東側段丘崖。

規 模 : 1.31 / 1.07 × 1.05 / 0.85 × 0.38m 平面形 : 楕円形

確認・調査 : IV層上面で確認した。覆土は黒褐色土や暗褐色土の流入土と崩落土の互層である。壙底は平坦で、壁は垂直に立ち上がる。覆土からV群c類土器が出土している。段丘崖で確認された遺構はこの1基だけである。

時 期 : 遺構および遺構周辺の出土遺物から、晚期後葉と考えられる。 (村田)

中期後半または後期後葉に属すると考えられるもの (6 基) (図III- 41・42)

KP- 85・94・155・199・234・236

中期後半のものは5基検出した。KP- 85は大形の貯蔵穴の可能性がある。北東側の斜面から平坦部にかけてまとまっている。

後期後葉のものと考えられるものは1基検出した。A地区の段丘上から後期の土器はほとんど出土していないが、段丘縁辺の低位部でまとまった出土状況が見られることと、形態から後期後葉のものと判断した。 (村田)

KP- 85 (図III- 41、図版9・10)

位置・立地 : G- 50・51 標高45.6m付近の平坦面。

規 模 : 2.07 / 1.56 × 2.06 / 1.67 × 0.95m 平面形 : 円形

確認・調査 : III層上面の凹みで確認した。覆土は下位が黄褐色土の崩落土と思われる。比較的短時間で堆積したと考えられる。中位から上位は崩落土と流入土の互層となる。周辺に黒褐色土の掘上げ土が見られる。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。遺物出土状況は覆土からIII群b類、V群c類、VI群の土器片、石鏃、スクレイバー、などが散見される。貯蔵穴の可能性がある。

時 期 : 遺構および遺構周辺の出土遺物と形態から、中期後半と考えられる。 (村田)

KP- 199 (図III- 42、図版43)

位置・立地 : G- 49 標高48.5mの平坦面。

規 模 : 1.21 / 0.84 × 0.83 / 0.62 × 0.41m 平面形 : 長円形

確認・調査 : IV層上面で確認した。覆土は褐色土や暗褐色土の互層で埋め戻しである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。土壤墓と考えられる。

時 期 : 遺物は出土していないが、形態から後期後葉と考えられる。 (村田)

C 地区

C 地区で確認された土壙は16基で、周辺の出土遺物から晩期後葉と考えられる。おおまかに R- 34 付近と Q- 44 付近の 2 つのまとまりがある。

R- 34 付近で 7 基の土壙のまとまりを検出した。これらの土壙は、円形または楕円形を呈す。土壙に伴う遺物は出土しておらず、明確な性格は不明である。南側の削平された高まりに位置する KP- 87 は、形態・覆土の状況などから土壙墓の可能性が考えられる。Q- 44 付近の土壙と類似した形態をもっているため、この土壙の南東調査区外に Q- 44 付近と同様の土壙が存在した可能性が考えられる。

Q- 44 付近で 6 基の土壙のまとまりを検出した。すべて円形を呈す。覆土は 6 基中 4 基が埋め戻しの堆積である。その内の KP- 167 からは、V 群 c 類の赤彩土器が出土してあり、土壙墓と考えられる。この周辺は削平を受けており、これより東の調査区外にも、このまとまりと一緒に土壙が存在していた可能性も考えられる。

(吉田)

KP- 87 (図 III- 43、図版11)

位置・立地 : U- 33 標高45.7m付近の削平面

規 模 : 0.81 / 0.58 × 0.76 / 0.58 × 0.26m

平 面 形 : 円形

確認・調査 : 削平面の V 層上面で確認した。覆土は上位が黒色土主体の流入土で、下位が暗オリーブ色の埋め戻しである。壙底は椀状で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物は出土していないが、形態や覆土の状況から、土壙墓の可能性も考えられる。

時 期 : 形態から晩期後葉と考えられる。

(吉田)

KP- 167 (図 III- 44、図版35)

位置・立地 : Q- 43 標高45m付近の削平面

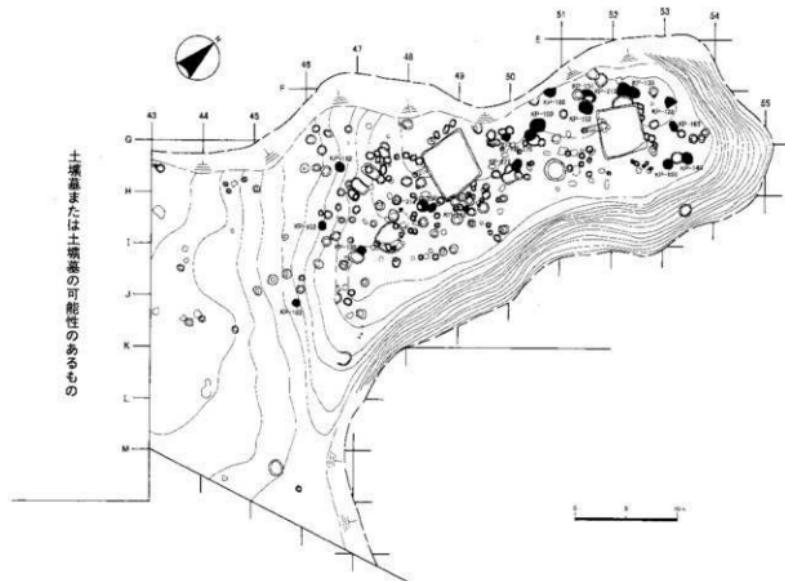
規 模 : 0.60 / 0.31 × 0.55 / (0.30) × 0.25m

平 面 形 : 円形

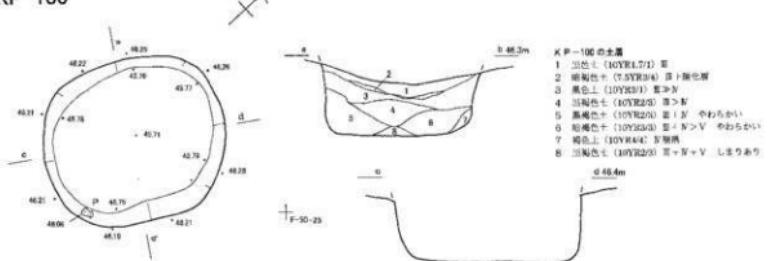
確認・調査 : 削平面の V 層上面で確認した。覆土は上位が黒色土主体の流入土で、下位は黒褐色の埋め戻しである。壙底は椀状で、壁は緩やかに立ち上がる。遺物出土状況は覆土上位から V 群 c 類の赤彩土器が 1 個体分とフレイク 2 点が出土している。土壙墓と考えられる。

時 期 : 遺構および遺構周辺の出土遺物から、晩期後葉と考えられる。

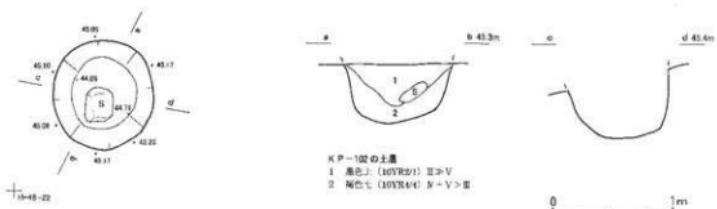
(吉田)



KP-100

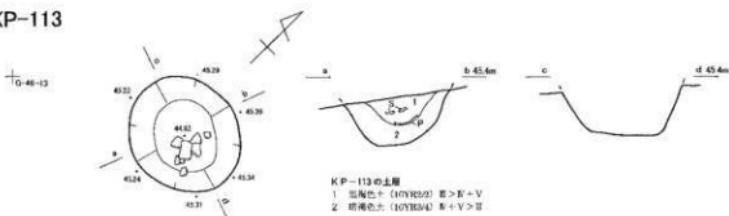


KP-102

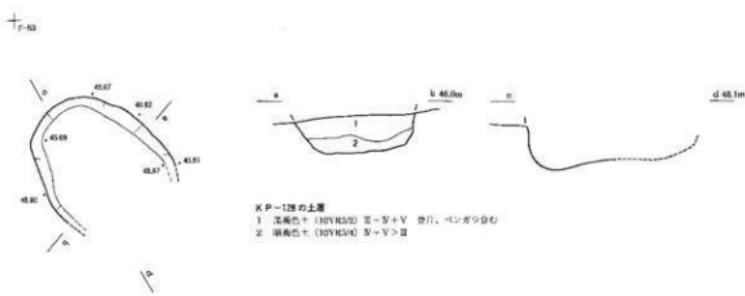


図III- 2 土壌(1)KP-100、102

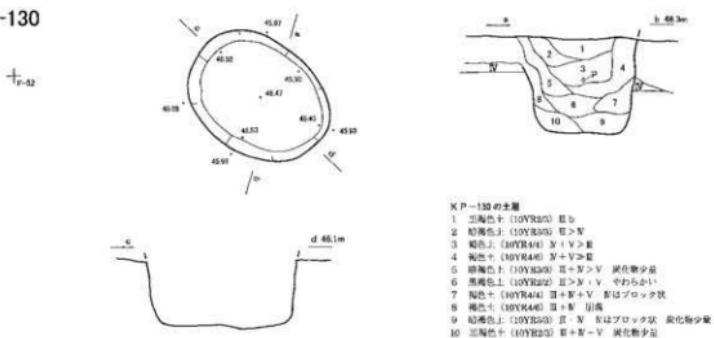
KP-113



KP-128



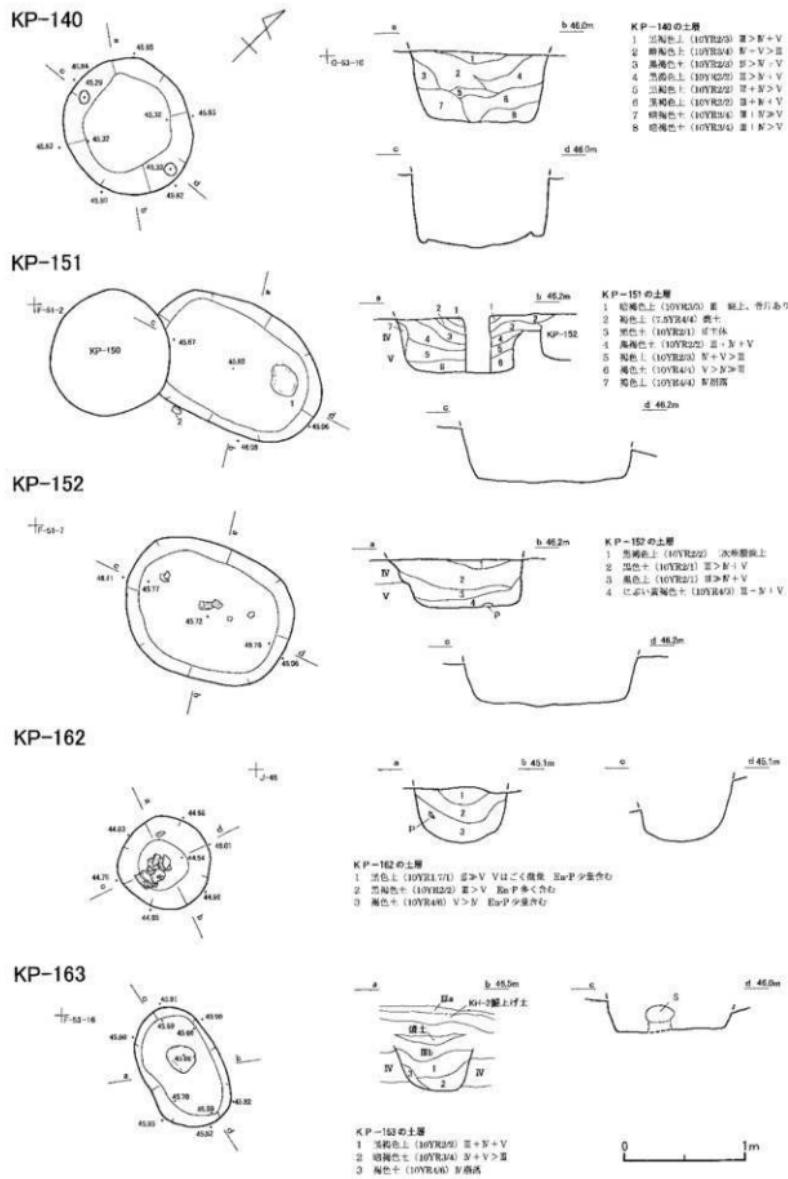
KP-130



KP-139

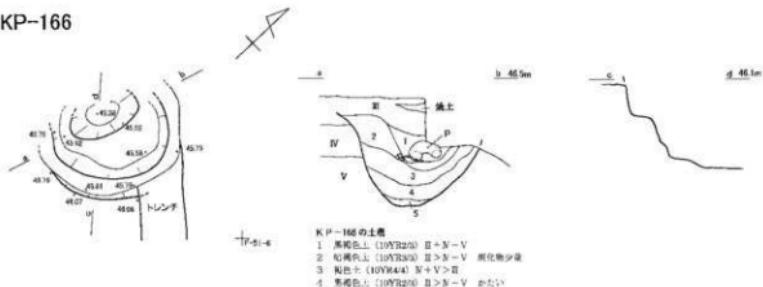


図III-3 土壙(2)KP-113、128、130、139

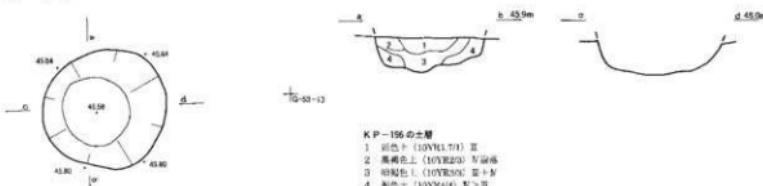


図III-4 土壌(3)KP-140、151、152、162、163

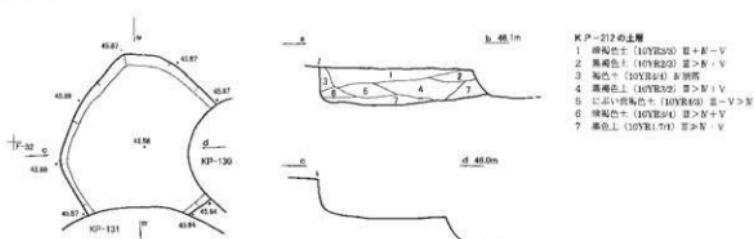
KP-166



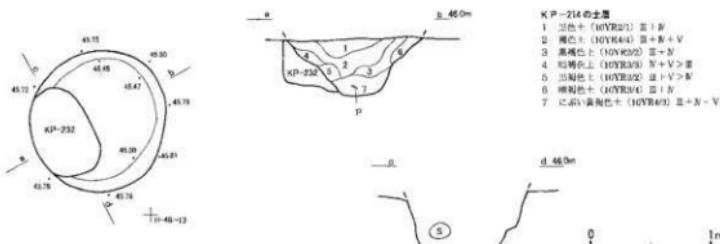
KP-196



KP-212



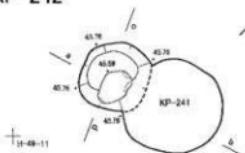
KP-214



図III-5 土壌(4)KP-166、196、212、214

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

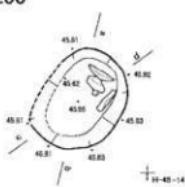
KP-242



KP-242 の土層
1 黑褐色土 (10YR2/1) H>N + V



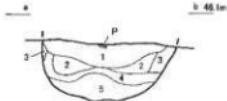
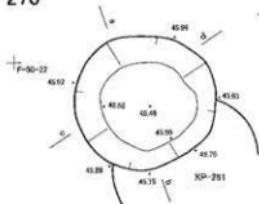
KP-250



KP-250 の土層
1 黑褐色土 (10YR3/4) H>N + V 脱片、炭化物あり
2 黑褐色土 (10YR3/3) H>N > V
3 黑褐色土 (10YR4/4) N + V弱



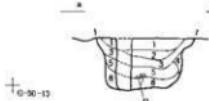
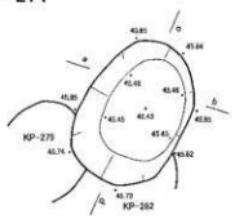
KP-270



KP-270 の土層
1 黑褐色土 (10YR2/1) H>N
2 黑褐色土 (10YR3/4) H>N + V
3 黑褐色土 (10YR4/4) N + V
4 黑褐色土 (10YR3/2) H>N
5 黑褐色土 (10YR3/4) H>V > N



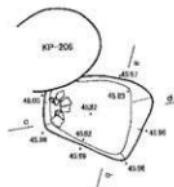
KP-271



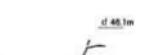
KP-271 の土層
1 黑褐色土 (10YR2/1) H
2 黑褐色土 (10YR3/4) H>N
3 黑褐色土 (10YR4/4) H>N
4 黑褐色土 (10YR2/1) H>N
5 黑褐色土 (10YR3/2) H>N
6 黑褐色土 (10YR3/4) H>V > N
7 にかい黒褐色土 (10YR4/4) H>V > N



KP-272



KP-272 の土層
1 黑褐色土 (10YR3/0) H>N + V



図III- 6 土層(5)KP- 242、250、270 - 272

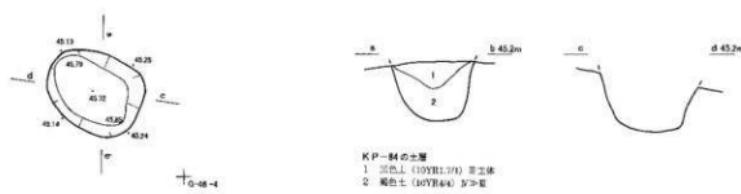
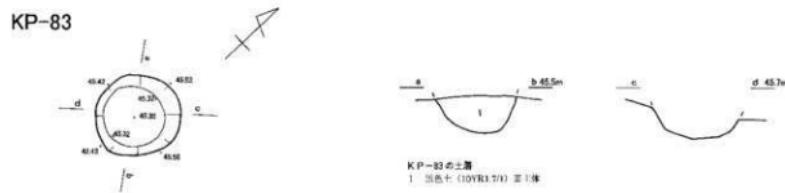
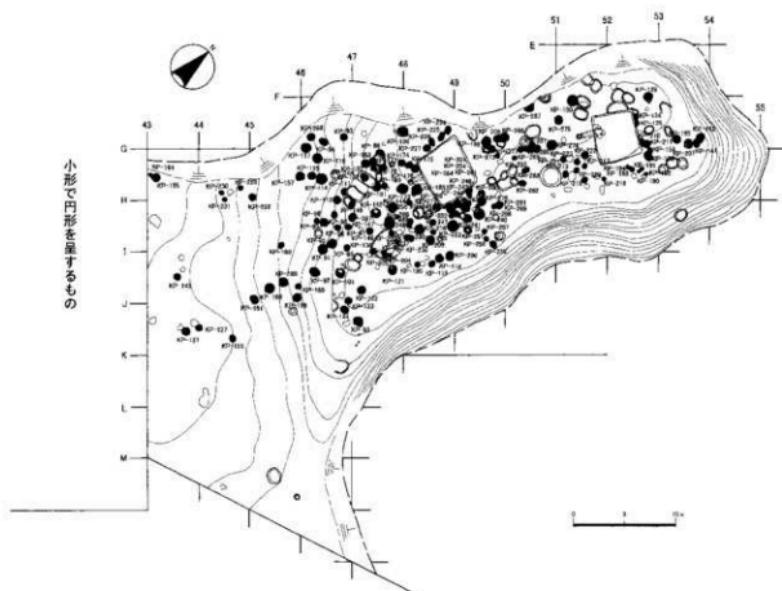
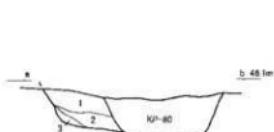
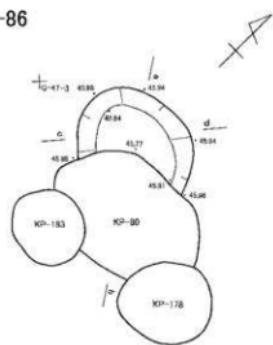


図 III- 7 土壙(6) KP- 83、84

KP-86



KP-86 の土壤

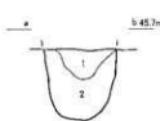
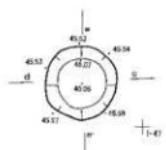
1 黄褐色土 (10YR5/2) B

2 黑褐色土 (10YR2/3) B > N + V

3 黄色土 (10YR4/4) V弱感



KP-89

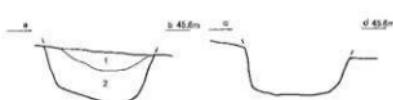
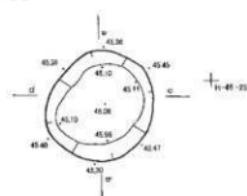


KP-46 の土層

1 黒褐色土 (10YR5/2) E > N

2 棕色土 (10YR4/4) N - V > E

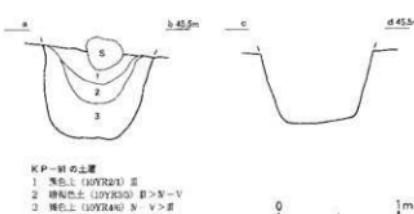
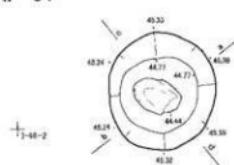
KP-90



KP-90の土層

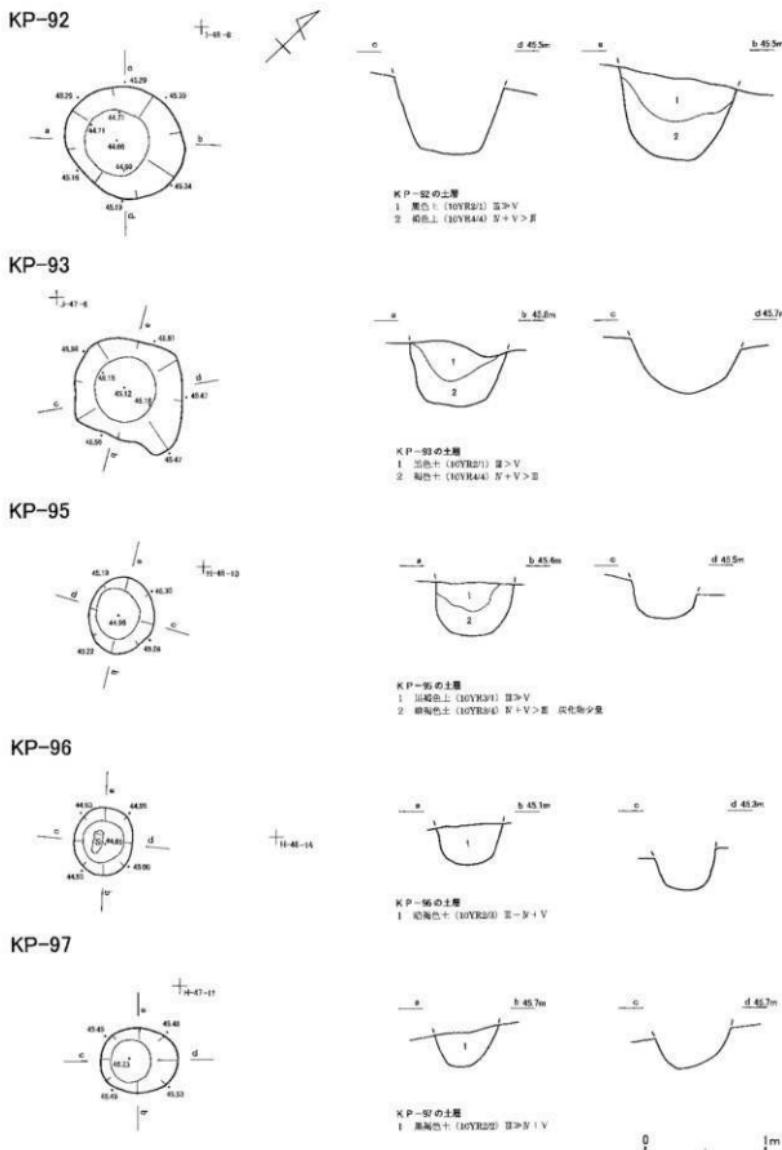
- 1 短褐色土 (10YR3/4) 黒>灰-V
- 2 に近い黄褐色土 (10YB4/3) 黄+V>灰

KP-91



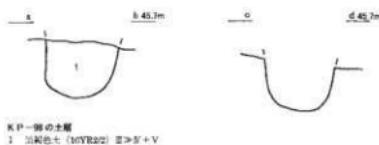
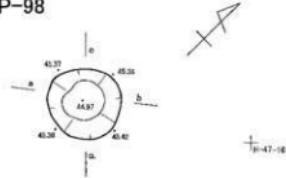
KP-前の土壤
 1 黒色土 (10YR2/1) Ⅲ
 2 糙粘土 (10YR3/0) Ⅲ > N - V
 3 黑色土 (10YR4/6) N V > 道

図III-8 土壌(7)KP-86、89-91



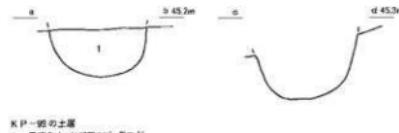
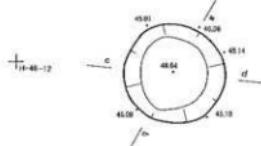
図III-9 土壌(8)KP-92、93、95-97

KP-98



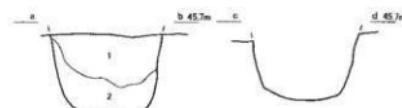
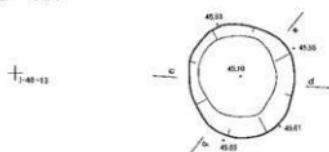
KP-98の土層
1 黒褐色土 (10YR2/2) E>N+V

KP-99



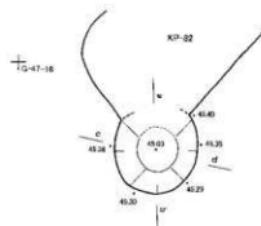
KP-99の土層
1 黑褐色土 (10YR2/2) E>N+V

KP-101



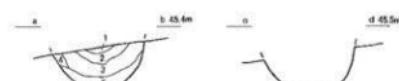
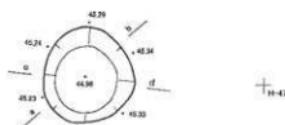
KP-101の土層
1 黑褐色土 (10YR2/2) E>N+V
2 黑褐色土 (10YR2/4) N+V>E

KP-111



KP-111の土層
1 黑褐色土 (10YR2/2) N
2 黑褐色土 (10YR2/3) N>E+V
3 黄褐色土 (10YR5/6) V>N>E

KP-112

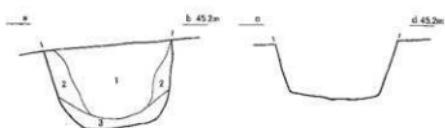
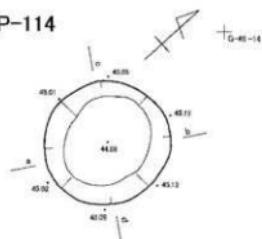


KP-112の土層
1 黑褐色土 (10YR2/2) N
2 黑褐色土 (10YR4/2) N
3 黑褐色土 (10YR4/3) N+E 黄褐色少見
4 黄褐色土 (10YR5/4) N 別層
5 黑褐色土 (10YR2/2) N>E+V

0 1 m

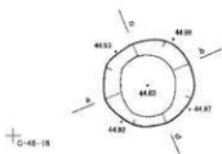
図III- 10 土壤(9)KP- 98, 99, 101, 111, 112

KP-114



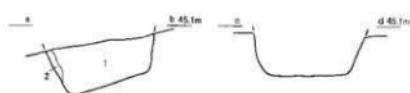
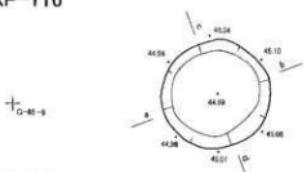
KP-114の土層
1 黒褐色土 (10YR1.7/2) II
2 棕褐色土 (10YR3/4) IV
3 棕褐色土 (10YR3/0) V + VI > III

KP-115



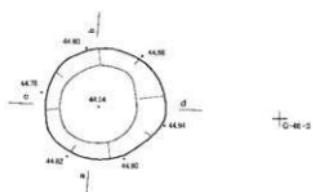
KP-115の土層
1 黒褐色土 (10YR2/0) II - IV
2 棕褐色土 (10YR4/4) V - VI > III

KP-116



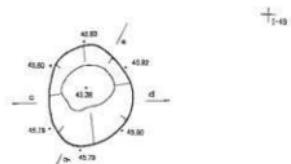
KP-116の土層
1 黒褐色土 (10YR2/0) II + III + V - VI > III
2 棕褐色土 (10YR3/4) IV - VI > III

KP-117



KP-117の土層
1 黒褐色土 (10YR2/0) II - IV
2 棕褐色土 (10YR4/4) V - VI > III

KP-118



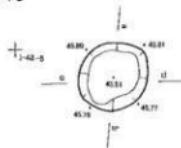
KP-118の土層
1 黒褐色土 (10YR2/0) II
2 棕褐色土 (10YR4/4) V - VI > III
3 棕褐色土 (10YR3/0) IV + V - VI > III



図III-11 土壌(10)KP-114~118

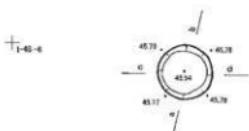
柏木川4遺跡(2)- A-C 地区-

KP-119



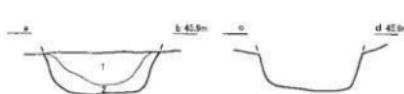
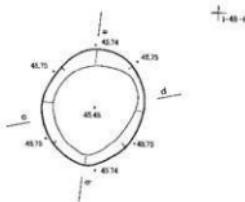
K P - 119 の 土 層
1 黒褐色土 (10YR2/2) II
2 褐色土 (10YR3/3) E + V

KP-120



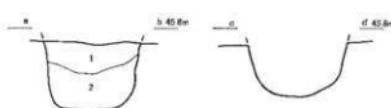
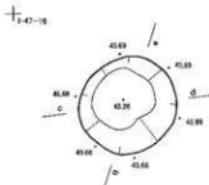
K P - 120 の 土 層
1 黑褐色土 (10YR2/2) E
2 褐色土 (10YR3/3) E + V

KP-121



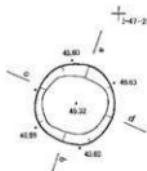
K P - 121 の 土 層
1 黑褐色土 (10YR3/2) II - V
2 褐色土 (10YR4/4) V + V > II

KP-122



K P - 122 の 土 層
1 黑褐色土 (10YR2/2) II > V + V 氯化物少量
2 褐色土 (10YR3/4) V - V > II 氯化物少量

KP-123

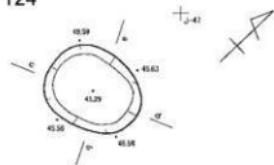


K P - 123 の 土 層
1 黑褐色土 (10YR2/2) II + V + V 氯化物あり
2 褐色土 (10YR4/6) V 沿層

0 1m

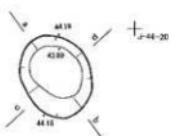
図 III- 12 土 壤(11)KP- 119 - 123

KP-124



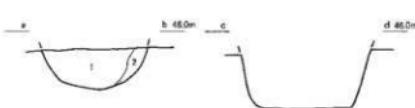
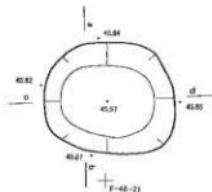
KP-124 の土層
1 黄褐色土 (10YR3/4) Y>V

KP-125



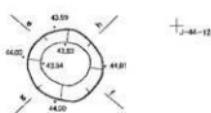
KP-125 の土層
1 黄色土 (10YR1.3/1) ■
2 黄褐色土 (10YR3/2) ■>V Ee-P 少量含む
3 黄褐色土 (10YR3/4) ■>V Vはマーブル状 Ee-P 高量含む
4 黒褐色土 (10YR3/3) ■>V Ee-P 少量含む
5 黑色土 (10YR6/8) V>E

KP-126



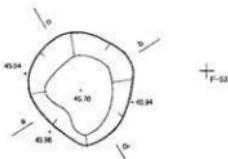
KP-126 の土層
1 黑色土 (10YR2/1) E>N-V
2 黑褐色土 (10YR3/2) ■>N-V

KP-127



KP-127 の土層
1 黑色土 (10YR2/2) E>N-V

KP-129



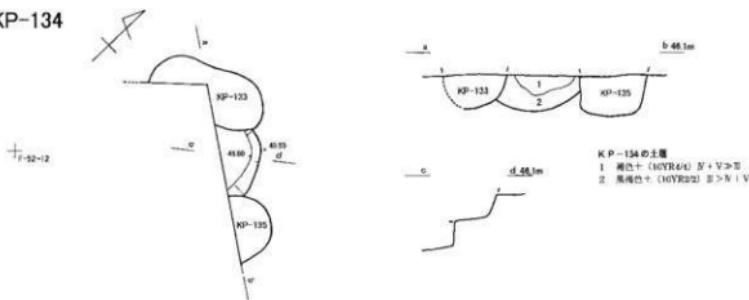
KP-129 の土層
1 黑色土 (10YR2/2) E>N-V
2 黑褐色土 (10YR4/6) N層底



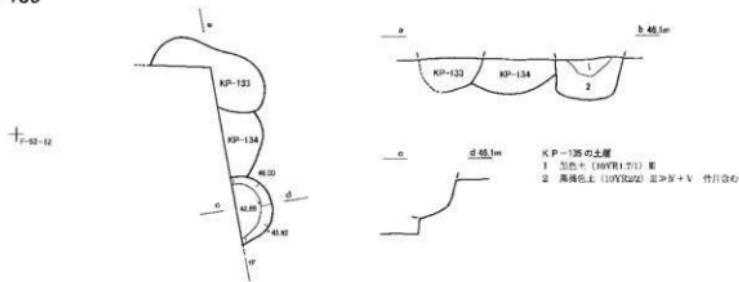
図 III-13 土壌(12)KP-124~127、129

柏木川4道路(2)- A-C地区-

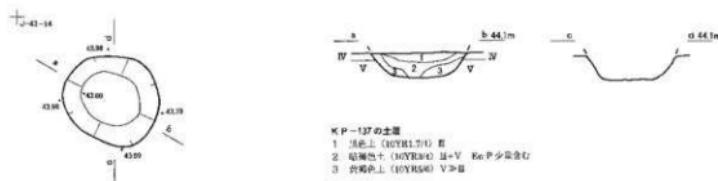
KP-134



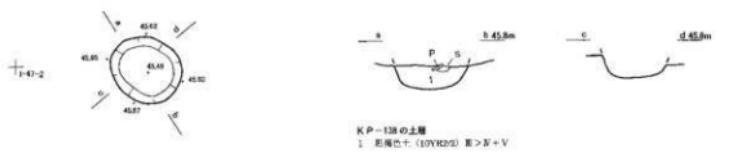
KP-135



KP-137



KP-138



図III-14 土壌(13)KP-134、135、137、138

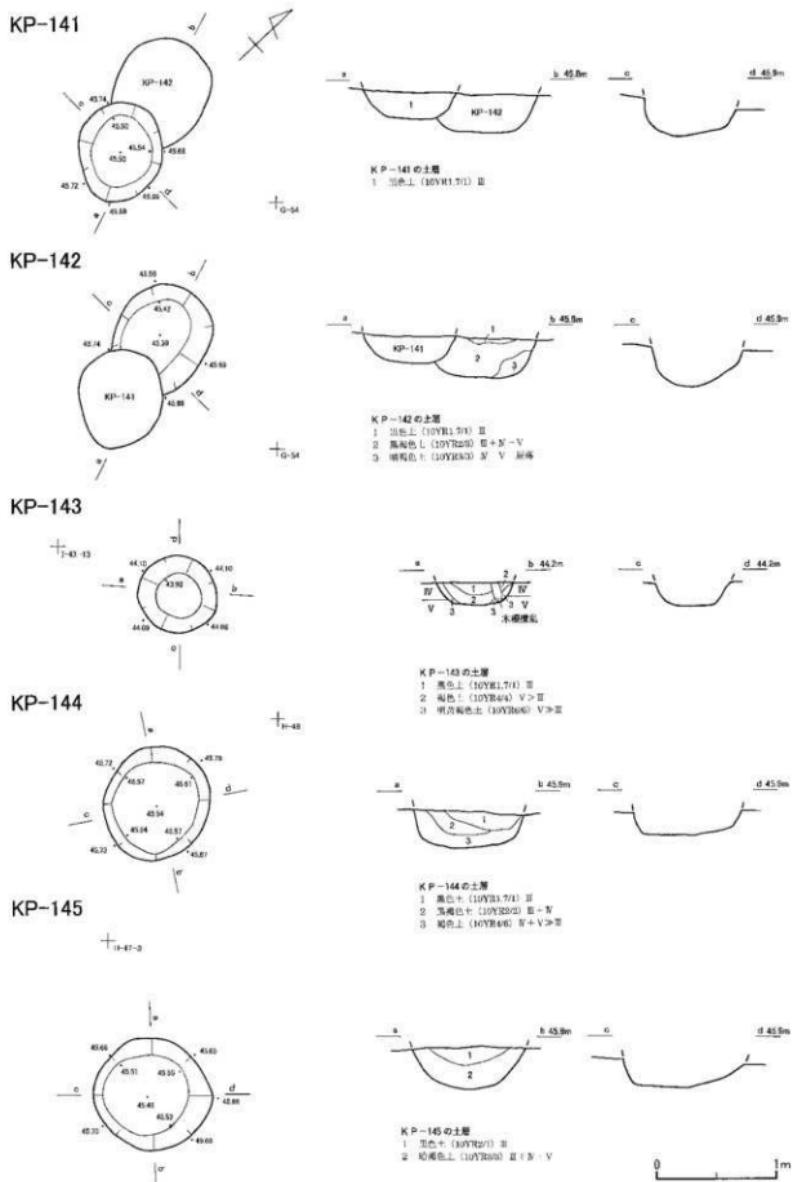
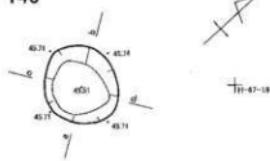


図 III-15 土壌(14)KP-141-145

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

KP-146



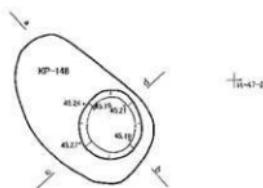
KP-146の土層
1 深褐色土 (10YR2/2) N + V
2 黄褐色土 (10YR4/4) N > V

KP-147



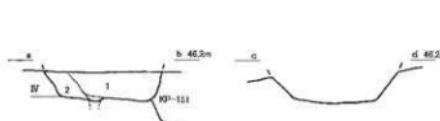
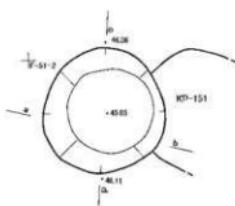
KP-147の土層
1 深褐色土 (10YR2/2) N + V
2 黄褐色土 (10YR4/4) N > V

KP-149



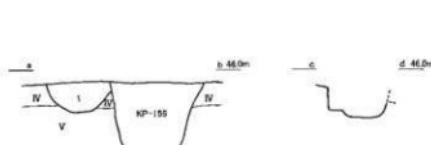
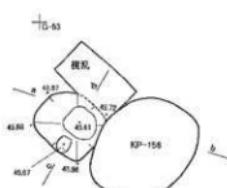
KP-149の土層
1 深褐色土 (10YR2/2) N + V
2 黄褐色土 (10YR4/4) N > V

KP-150



KP-150の土層
1 深褐色土 (10YR2/2) N + V
2 黄褐色土 (10YR4/4) N > V

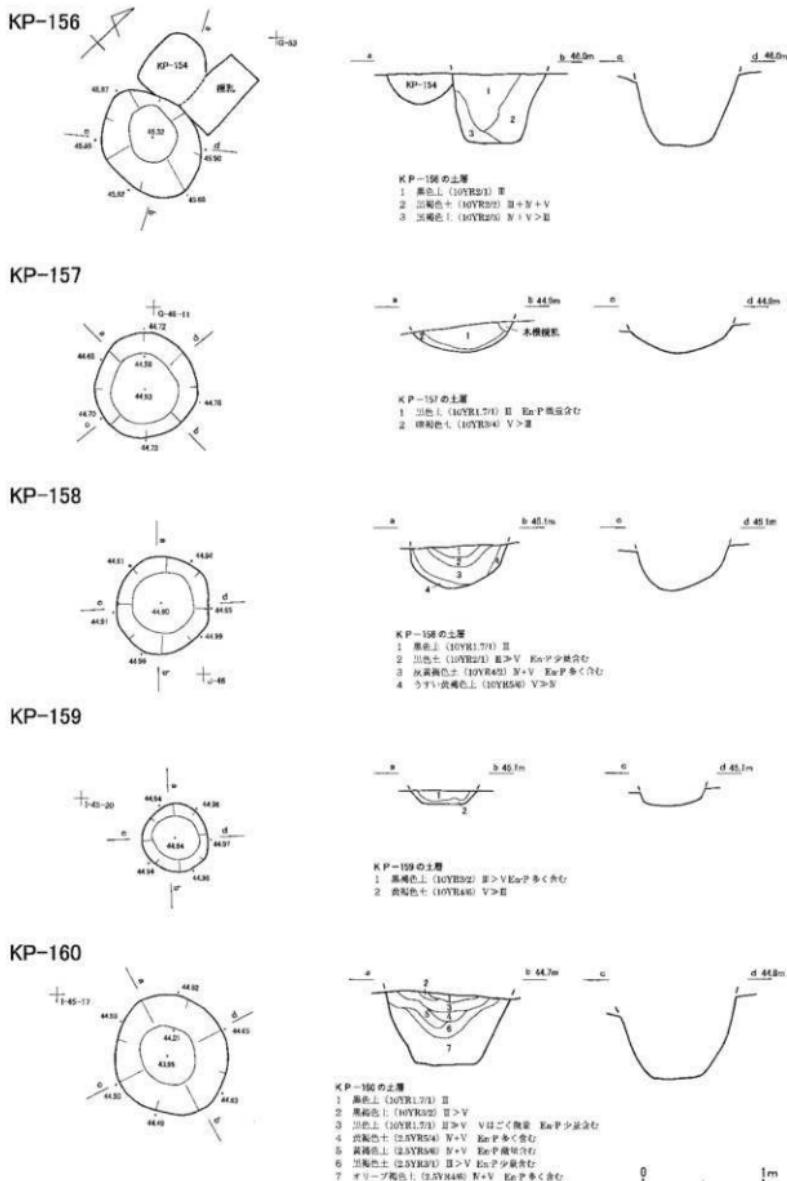
KP-154



KP-154の土層
1 深褐色土 (10YR2/2) N + V
2 黄褐色土 (10YR4/4) N > V

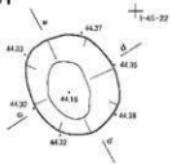


図III-16 土壌(15)KP-146、147、149、150、154

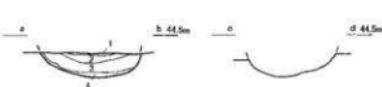


図III-17 土壌(16)KP-156-160

KP-161

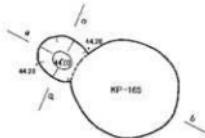


+ 44-22



- KP-161の土壤
1 黄色土 (2.5Y4/1) H
2 黄褐色土 (2.5Y4/2) V>H En-P 少量含む
3 灰色黃褐色土 (2.5Y4/2) H>V En-P 少量含む
4 明黄色土 (2.5Y6/6) V>H

KP-164

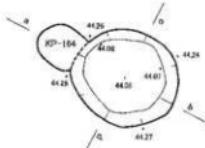


+ 44-18

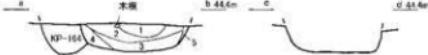


- KP-164の土壤
1 黄色土 - V En-P 少量含む
2 オリーブ褐色土 (2.5Y4/2) V>H En-P 少量含む
3 黄褐色土 (2.5Y5/6) V>H

KP-165

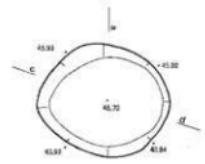


+ 44-18

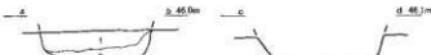


- KP-165の土壤
1 黄色土 (2.5Y4/1) H
2 黄褐色土 (2.5Y4/2) H>V En-P 少量含む
3 灰色黃褐色土 (2.5Y4/2) H>V En-P 少量含む
4 オリーブ褐色土 (2.5Y4/4) V>H En-P 少量含む
5 オリーブ褐色土 (2.5Y4/4) V>H En-P 少量含む

KP-173

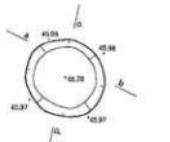


+ 44-48



- KP-173の土壤
1 黄色土 (2.5Y4/1) H>V>V
2 海色土 (10YR4/4) H>V>V

KP-174



+ 44-7

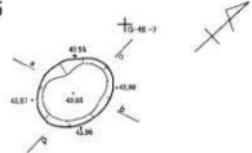


- KP-174の土壤
1 高い青海色土 (10YR4/2) H>V>V
2 黄褐色土 (10YR4/2) H>V>V
3 海色土 (10YR4/4) H>V>V



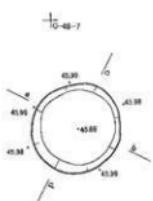
図III-18 土壌(17)KP-161、164、165、173、174

KP-175



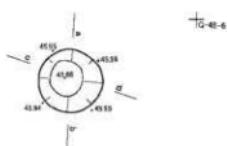
KP-175 の土層
1 黒色土 (10YR3/1) II
2 淡褐色土 (10YR2/2) II + V
3 淡褐色土 (10YR3/2) V > 黑色土 V
4 黄褐色土 (10YR5/6) V - V

KP-176



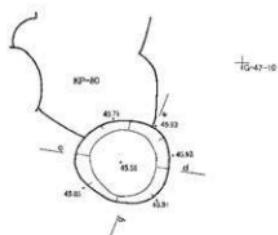
KP-176 の土層
1 淡褐色土 (10YR2/2) II > V

KP-177



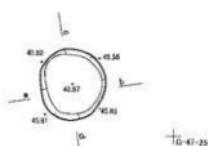
KP-177 の土層
1 淡褐色土 (10YR3/0) II > V - V
2 淡褐色土 (10YR3/0) II > V - V

KP-178



KP-178 の土層
1 黑色土 (10YR2/1) II

KP-180



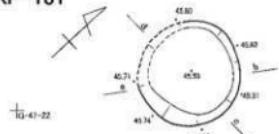
KP-180 の土層
1 黑色土 (10YR2/1) II > V / V



図 III-19 土壙(18)KP-175~178、180

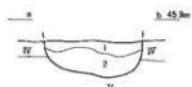
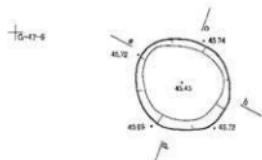
柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

KP-181



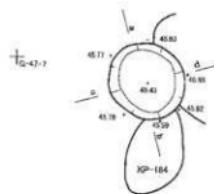
KP-181の土層
1 黄褐色土 (10YR11/7) H
2 にじむ黄褐色土 (10YR10/3) N 硬膜
3 深褐色土 (10YR10/4) H > V
4 青色土 (10YBL4/4) E - V > H

KP-182



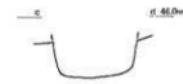
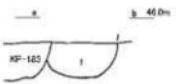
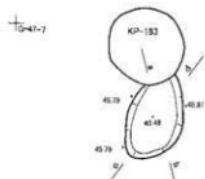
KP-182の土層
1 深褐色土 (10YR11/3) H > S + V
2 黑褐色土 (10YR2/3) H > N + V

KP-183



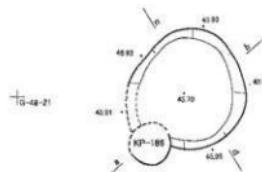
KP-183の土層
1 深褐色土 (10YR11/3) H > S + V
2 黑褐色土 (10YR2/3) H > N + V

KP-184



KP-184の土層
1 深褐色土 (10YR11/3) H > S + V

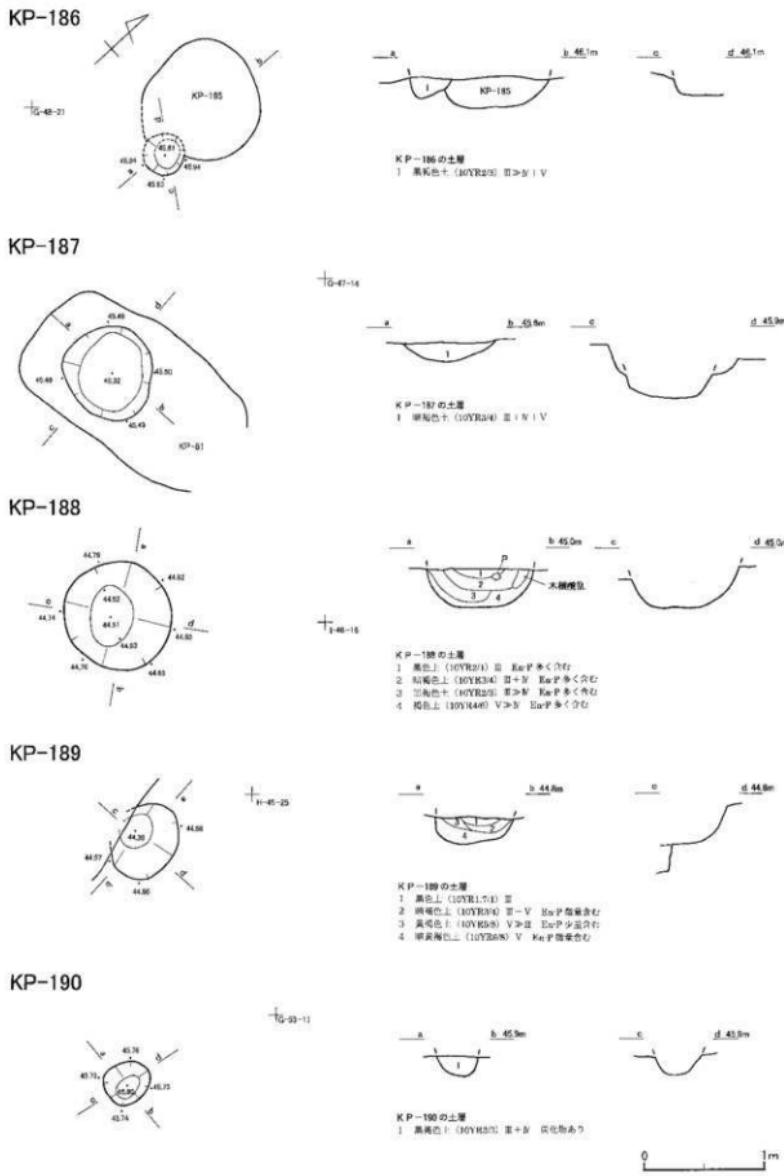
KP-185



KP-185の土層
1 黄褐色土 (10YR11/7) H
2 黑褐色土 (10YR11/4) H + V > S

図III-20 土壌(19)KP-181~185

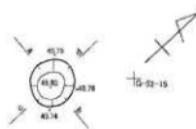




図III-21 土壌(20)KP-186~190

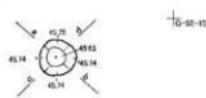
柏木川4道路(2)- A-C 地区-

KP-191



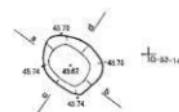
KP-191の土層
1 黒褐色土 (10YR5/3) 黒+灰 水化物あり

KP-192



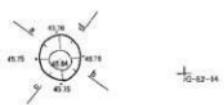
KP-192の土層
1 黑褐色土 (10YR5/3) 黑+灰 水化物あり

KP-193



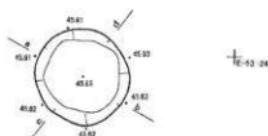
KP-193の土層
1 黑褐色土 (10YR5/3) 黑+灰 水化物あり

KP-194



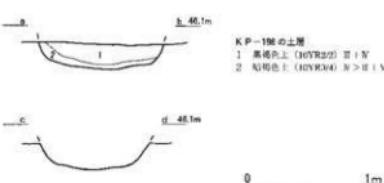
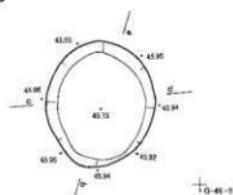
KP-194の土層
1 黑褐色土 (10YR5/3) 黑+灰 水化物あり

KP-195



KP-195の土層
1 黑褐色土 (10YR5/3) 黑+灰
2 灰褐色土 (10YR4/4) 灰+黑
3 灰色土 (10YR4/6) N+V

KP-198

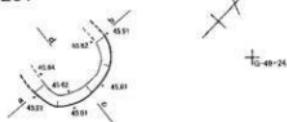


KP-198の土層
1 黑褐色土 (10YR5/3) 黑+灰
2 灰褐色土 (10YR4/4) 灰+黑+V

0 1m

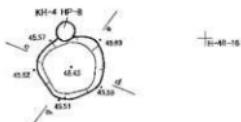
図 III- 22 土壌(21)KP- 191~195、198

KP-201



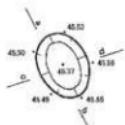
K.P-201の土層
1 黒褐色土 (10YR2/2) II>V
2 褐色土 (10YR3/5) I V>V

KP-202



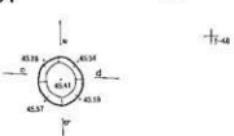
K.P-202の土層
1 黒色土 (10YR1.7/2) II上部

KP-203



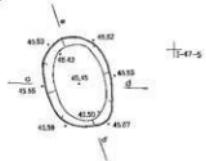
K.P-203の土層
1 黒色土 (10YR1.7/2) II上部

KP-204



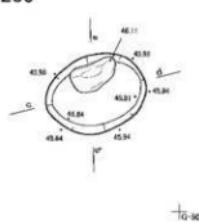
K.P-204の土層
1 黒色土 (10YR1.7/2) II上部

KP-205



K.P-205の土層
1 黒色土 (10YR1.7/2) II上部

KP-206



K.P-206の土層
1 黒褐色土 (10YR2/2) II>V



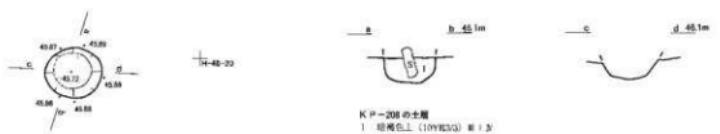
図III-23 土層(22)KP-201~206

柏木川4遺跡(2) A-C地区-

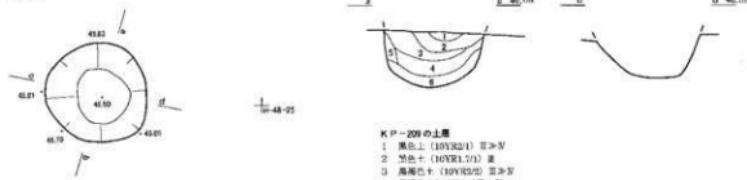
KP-207



KP-208



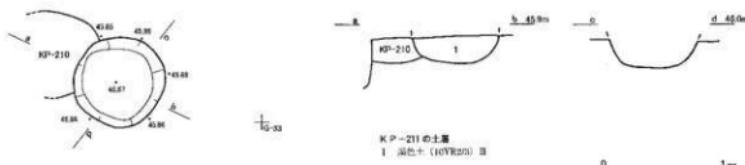
KP-209



KP-210

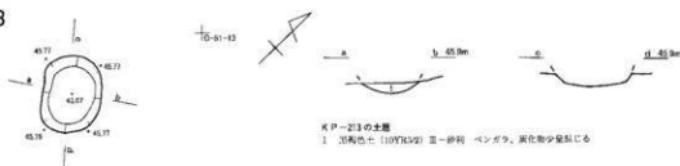


KP-211

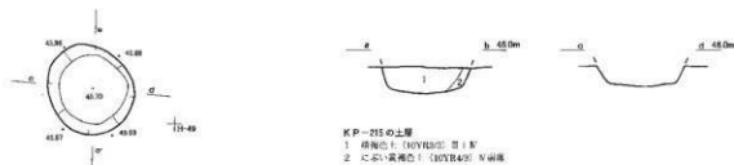


図III-24 土壌(23)KP-207~211

KP-213



KP-215



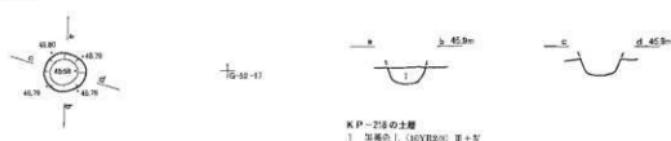
KP-216



KP-217



KP-218

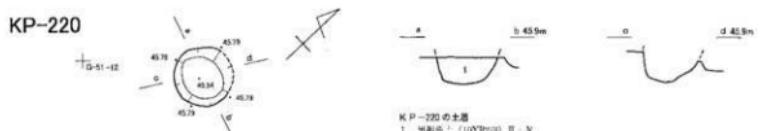


KP-219

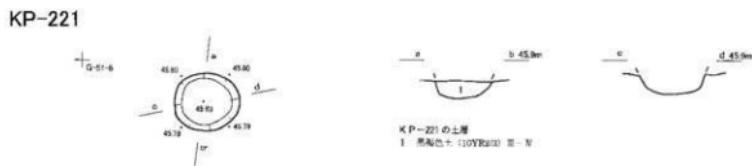


図 III- 25 土壙(24)KP- 213、215~219

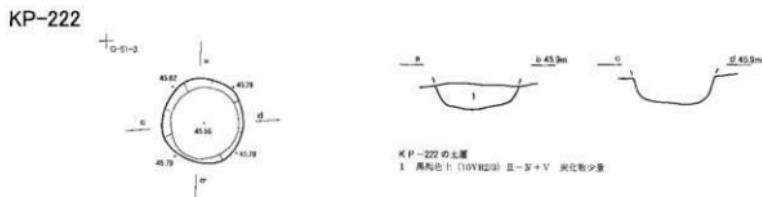
柏木川4遺跡(2)-A-C地区-



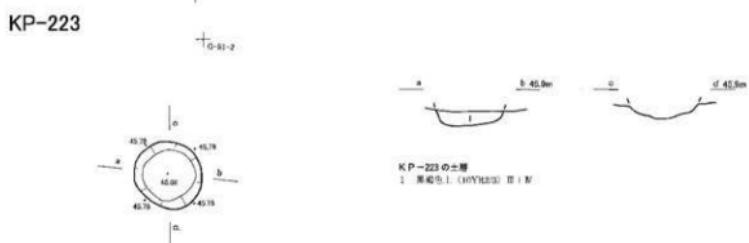
KP-220 の主電
1. 電源色：(HDYR220) H-N



K-P-221 の土層



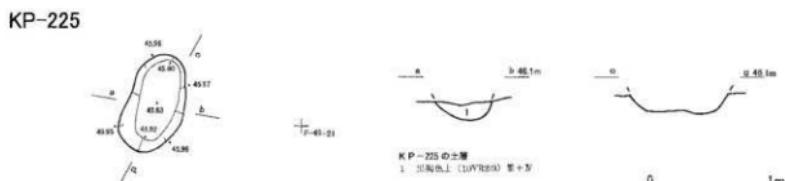
KP-222 の土層



KP-223 の土壌



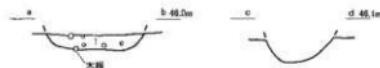
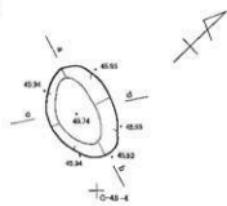
KP-224 の土層



KP-225 の土層

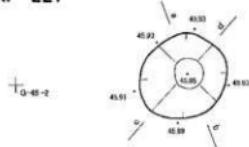
図III-26 土壌(25)KP=220~225

KP-226



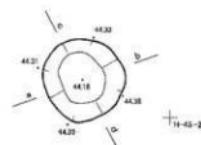
KP-226 の土層
1 基礎土 (10YR2/3) 黒 + N

KP-227



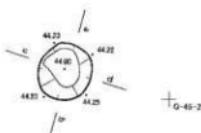
KP-227 の土層
1 基礎土 (10YR2/3) 黒 + N

KP-228



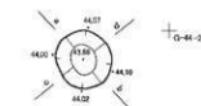
KP-228 の土層
1 基礎土 (10YR3/3) 黑 > V
2 白色土 (10YR4/4) V > 黑

KP-229



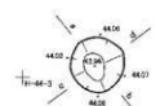
KP-229 の土層
1 基礎土 (10YR3/3) 黑 プロック状のVを複数含む
2 白色土 (10YR4/4) V > 黑

KP-230



KP-230 の土層
1 基礎土 (10YR1.2/1) 黑
2 白色土 (10YR4/4) V > 黑

KP-231



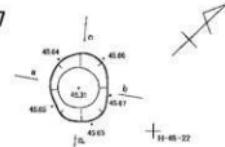
KP-231 の土層
1 基礎土 (10YR2/3) 黑 > V
2 白色土 (10YR4/4) V > 黑

図III-27 土壌(26)KP-226~231



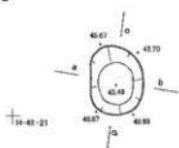
柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

KP-237



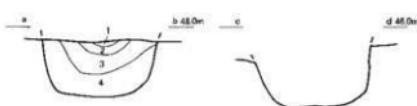
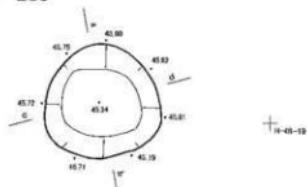
KP-237の土層
1 黒色土 (10YR5/1) H>V
2 黑褐色土 (10YR5/2) H>V-V
3 黄褐色土 (10YR4/4) V偏綠

KP-238



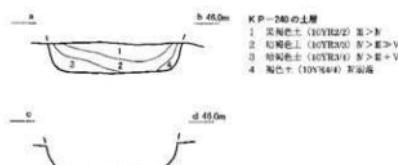
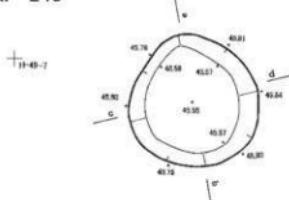
KP-238の土層
1 黑色土 (10YR5/1) H

KP-239



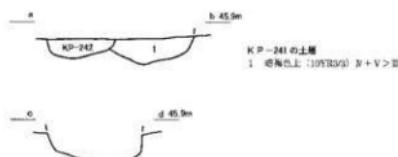
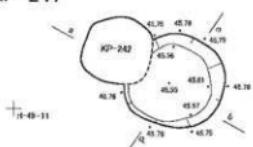
KP-239の土層
1 暗褐色土 (10YR5/2) H>V
2 にほい黄褐色土 (10YR4/5) H+V 嵌定+根の割上げ土
3 黑色土 (10YR5/1) H
4 黄褐色土 (10YR4/4) H>V>H

KP-240



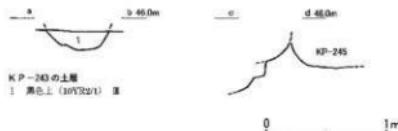
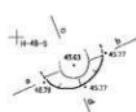
KP-240の土層
1 黑色土 (10YR5/2) H>V
2 灰褐色土 (10YR5/5) H>V>V
3 黑色土 (10YR5/1) H
4 海色土 (10YR4/4) H偏綠

KP-241



KP-241の土層
1 褐海色土 (10YR5/3) H+V>H

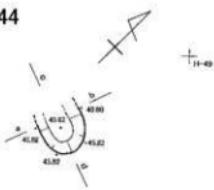
KP-243



KP-243の土層
1 黑色土 (10YR5/1) H

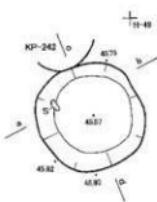
図 III- 28 土壌(27)KP- 237~241、243

KP-244



KP-244 の土層
1 黒褐色土 (10YR3/5) N > E 傷片

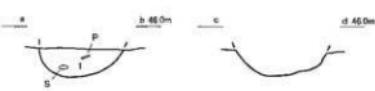
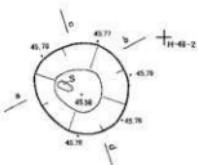
KP-245



KP-245 の土層
1 黒褐色土 (10YR3/5) II - V

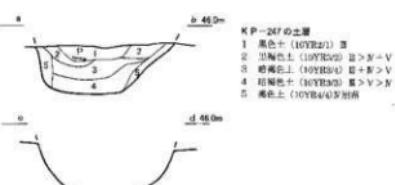
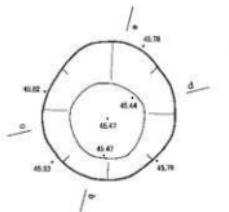


KP-246



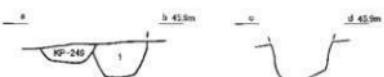
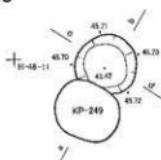
KP-246 の土層
1 黒褐色土 (10YR3/5) II + V

KP-247



KP-247 の土層
1 黒色土 (10YR2/1) III
2 黑褐色土 (10YR3/2) II > N - V
3 黑褐色土 (10YR3/5) II + E > V
4 黑褐色土 (10YR3/5) III > N
5 黑褐色土 (10YR4/4) 黄褐色

KP-248

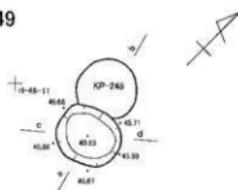


KP-248 の土層
1 黑色土 (10YR2/1) 黃褐 行片合物

0 1 2 m

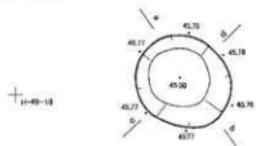
図III-29 土層(28)KP-244~248

KP-249



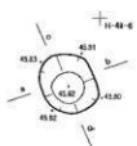
KP-249の土層
1 黒色土 (10YR2/1) Ⅲ層

KP-251



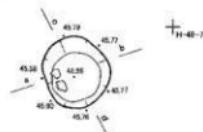
KP-251の土層
1 白色土 (10YR4/0) Ⅱ+Ⅲ
2 深灰色土 (10YR3/0) Ⅱ+Ⅲ>Ⅳ
3 黄色土 (10YR4/4) Ⅲ+Ⅳ>Ⅱ

KP-252



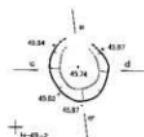
KP-252の土層
1 黒色土 (10YR2/1) Ⅲ

KP-253



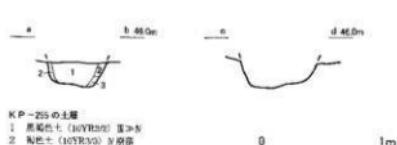
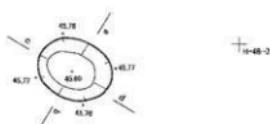
KP-253の土層
1 黄褐色土 (10YR2/3) Ⅱ>Ⅲ 黄化物あり

KP-254



KP-254の土層
1 黑色土 (10YR2/1) Ⅲ>Ⅳ

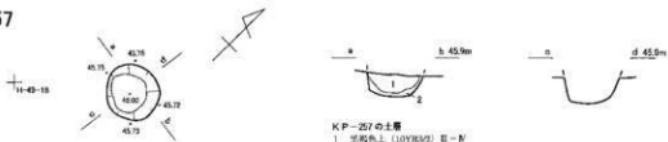
KP-255



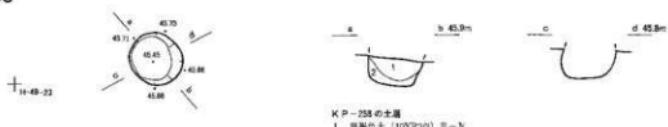
KP-255の土層
1 黑褐色土 (10YR2/2) Ⅲ>Ⅳ
2 黑色土 (10YR3/0) Ⅲ
3 黄色土 (10YR4/4) Ⅲ+Ⅳ>Ⅱ

図 III- 30 土壌(29)KP- 249、251~255

KP-257



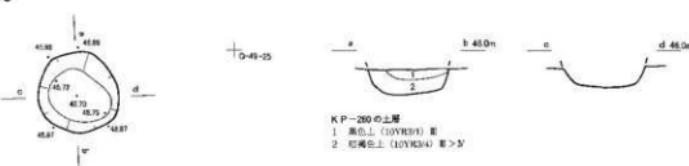
KP-258



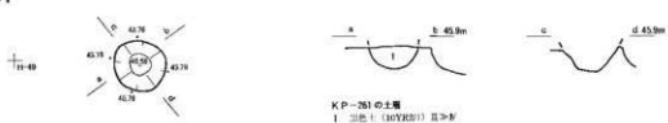
KP-259



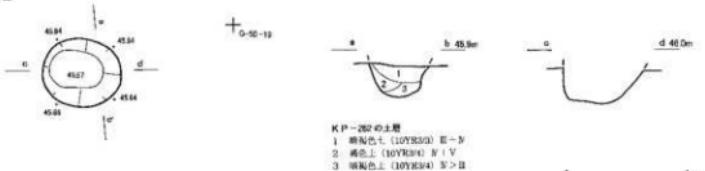
KP-260



KP-261



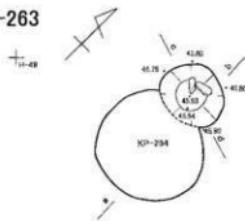
KP-262



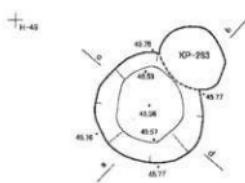
図III-31 土壌(30)KP-257~262

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

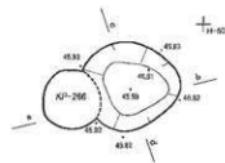
KP-263



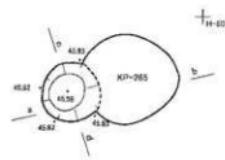
KP-264



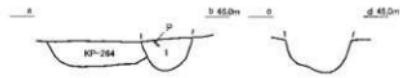
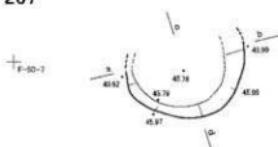
KP-265



KP-266



KP-267



KP-263の土層
1 地面△+ (10YR4/0) △-N

KP-264の土層
1 黄褐色△+ (10YR4/0) 黄上
2 灰褐色△ (10YR5/0) △+V>V
3 暗褐色△ (10YR5/4) V+V>V

KP-265の土層
1 黄褐色△ (10YR4/0) 黄:V
2 灰褐色△ (10YR5/0) △+V>V
3 暗褐色△ (10YR5/4) V+V>V

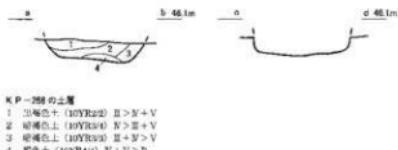
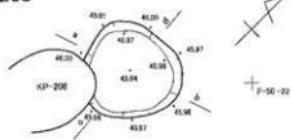
KP-266の土層
1 黒色△ (10YR5/1) △
2 灰褐色△ (10YR5/4) △+V>V 腐化物あり

KP-267の土層
1 暗褐色△ (10YR4/0) △+V
2 灰褐色△ (10YR5/0) △-V>V
3 暗褐色△ (10YR4/0) V+V>V

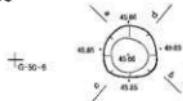
0 1m

図III-32 土壌(31)KP-263-267

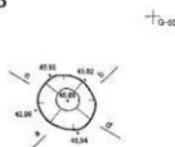
KP-268



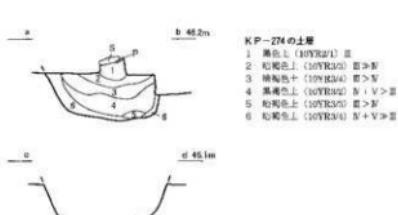
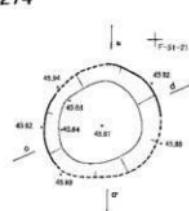
KP-269



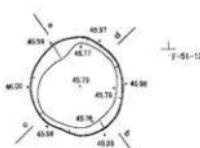
KP-273



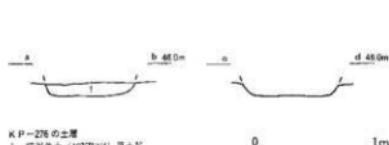
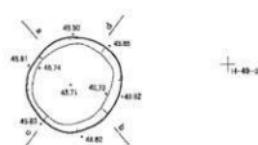
KP-274



KP-275



KP-276

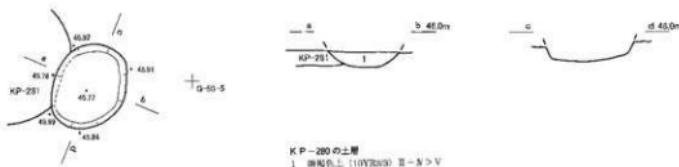


図III-33 土壌(32)KP-268、269、273~276

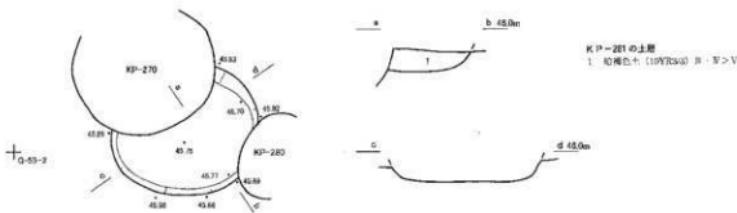
KP-277



KP-280



KP-281



KP-283



KP-285

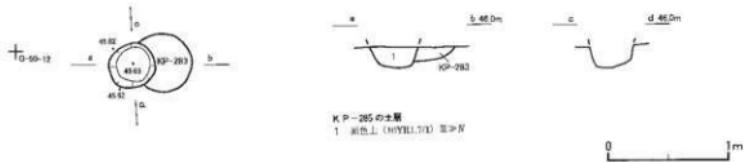
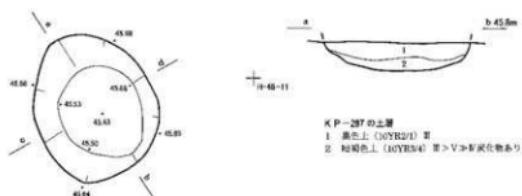


図 III-34 土壌(33)KP-277、280、281、283、285

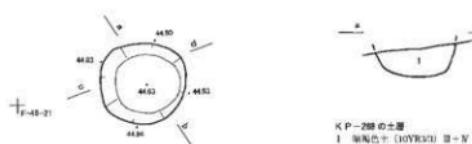
KP-286



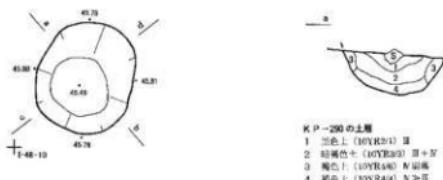
KP-287



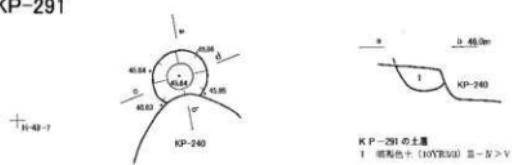
KP-288



KP-290

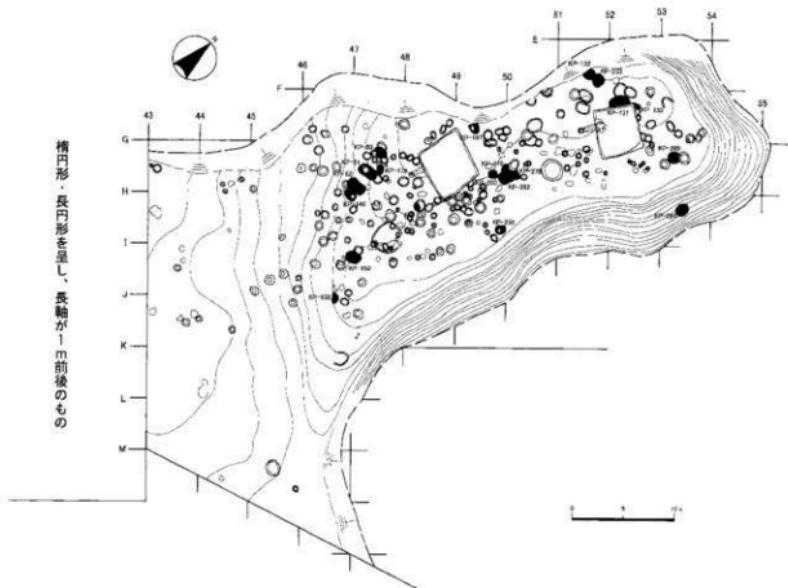


KP-291

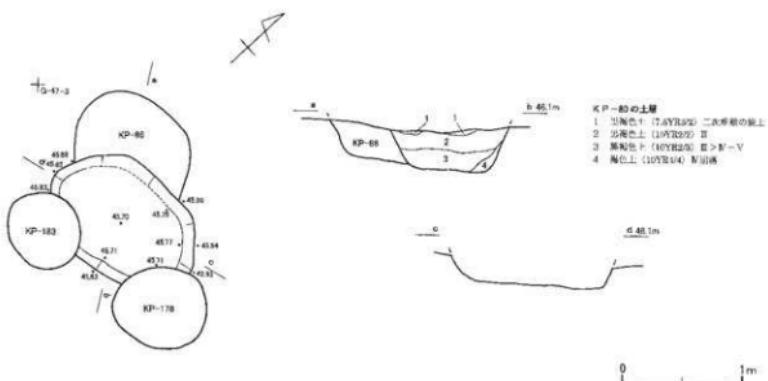


図III-35 土壙(34)KP-286~288、290、291

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

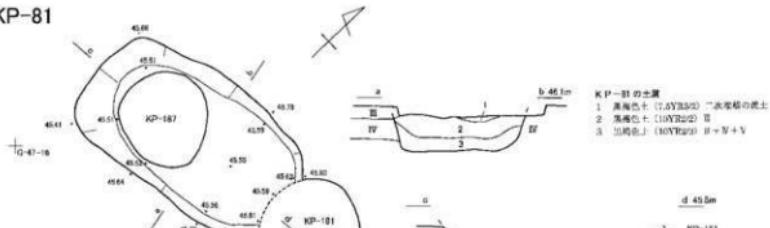


KP-80

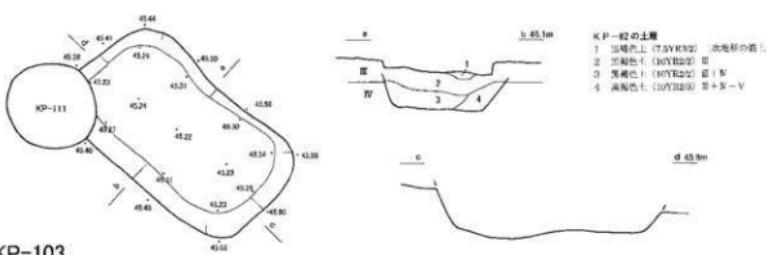


図III-36 土壌(35)KP-80

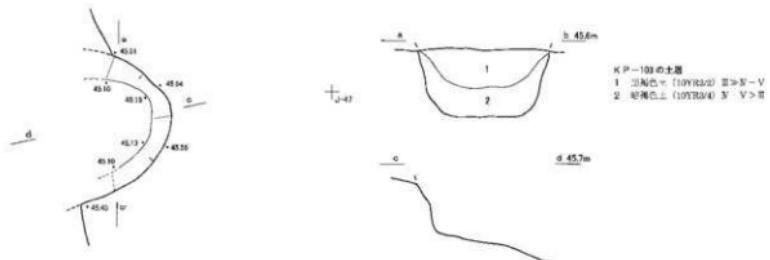
KP-81



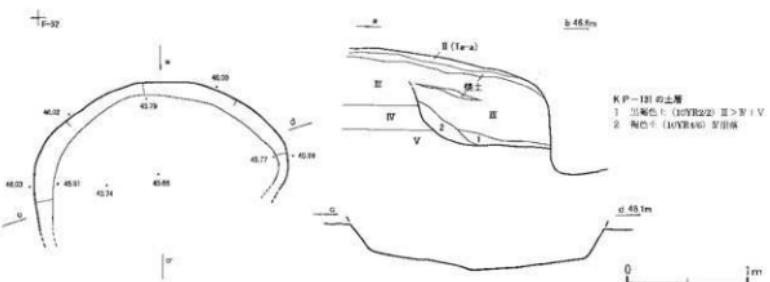
KP-82



KP-103



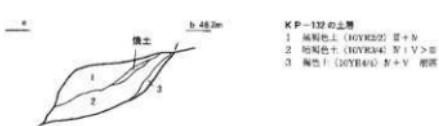
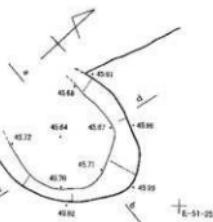
KP-131



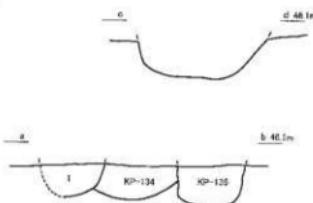
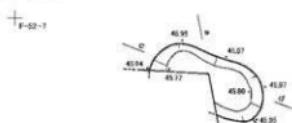
図III-37 土壌(36)KP-81、82、103、131

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

KP-132

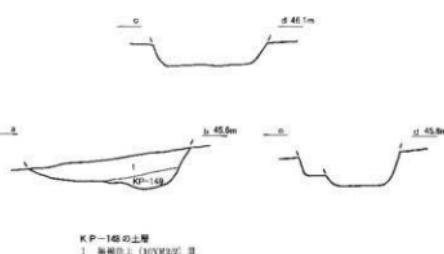
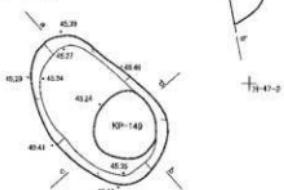


KP-133

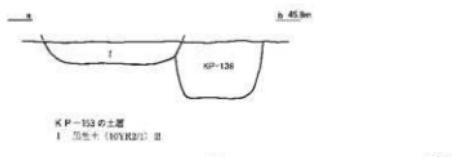
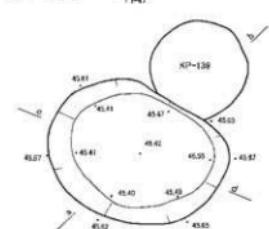


KH-2

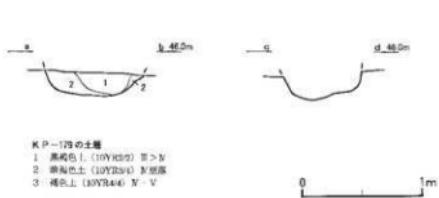
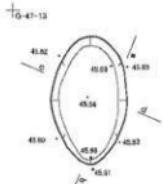
KP-148



KP-153

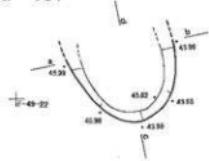


KP-179



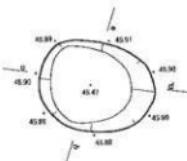
図III-38 土壌(37)KP-132、133、148、153、179

KP-197



KP-197の土層
1 黒褐色土 (10YR3/2) H>V
2 褐褐色土 (10YR3/4) H>V > V

KP-200

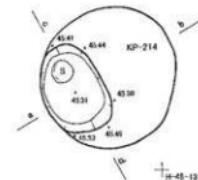


+ G-30-16



KP-200の土層
1 黒褐色土 (10YR3/2) H>V
2 褐褐色土 (10YR3/4) H>V > V

KP-232

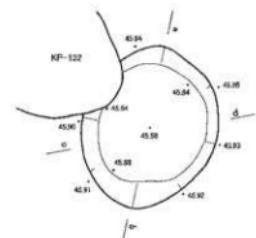


+ H-45-13

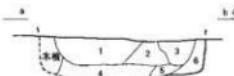


KP-232の土層
1 黒褐色土 (10YR3/2) H+N

KP-233

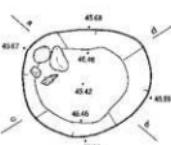


+ F-32

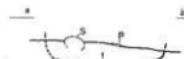


KP-233の土層
1 黒褐色土 (10YR3/2) H>V
2 褐褐色土 (10YR3/4) H>V
3 黄褐色土 (10YR3/4) H>V
4 黄色土 (10YR4/4) V>H>V
5 地色土 (10YR2/2) H>V
6 に青い黄褐色土 (10YR4/2) H>V

KP-256



+ H-30-17

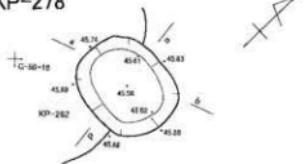


KP-256の土層
1 基色土 (10YR2/2) H>V

0 1m

図 III- 39 土壌(39)KP- 197、200、232、233、256

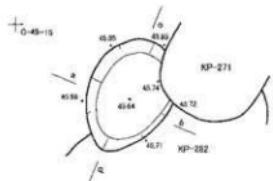
KP-278



KP-278の土層

- 1 黒色土 (10YR2/1) III
- 2 褐褐色土上 (10YR3/4) N>H
- 3 黄褐色土上 (10YR4/4) H>N
- 4 黄褐色土 (10YR4/4) H>V
- 5 褐色土 (10YR4/4) H>V
- 6 に赤い褐褐色土上 (10YR4/4) N>H>V

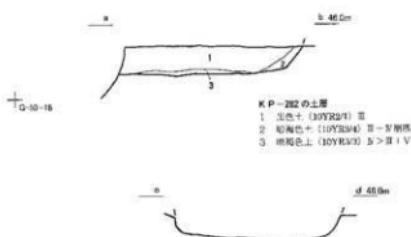
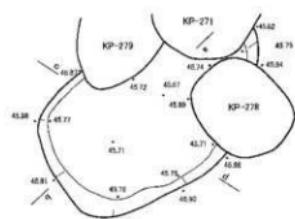
KP-279



KP-279の土層

- 1 黑色土 (10YR2/1) III
- 2 褐褐色土上 (10YR3/4) H>V

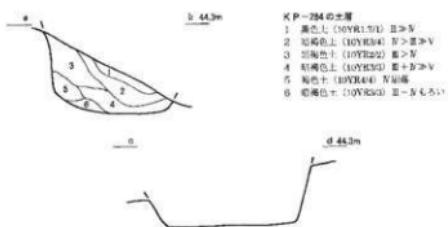
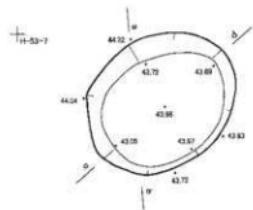
KP-282



KP-282の土層

- 1 黑色土 (10YR2/1) III
- 2 褐褐色土 (10YR3/4) H>V
- 3 黄褐色土 (10YR4/4) H>V

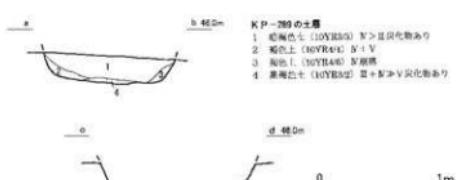
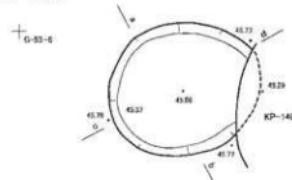
KP-284



KP-284の土層

- 1 黑色土 (10YR2/1) H>V
- 2 黄褐色土上 (10YR3/4) H>V
- 3 黄褐色土 (10YR3/4) H>V
- 4 褐褐色土上 (10YR3/4) H>V
- 5 黑色土 (10YR2/1) H>V
- 6 黄褐色土上 (10YR3/4) H>V

KP-289

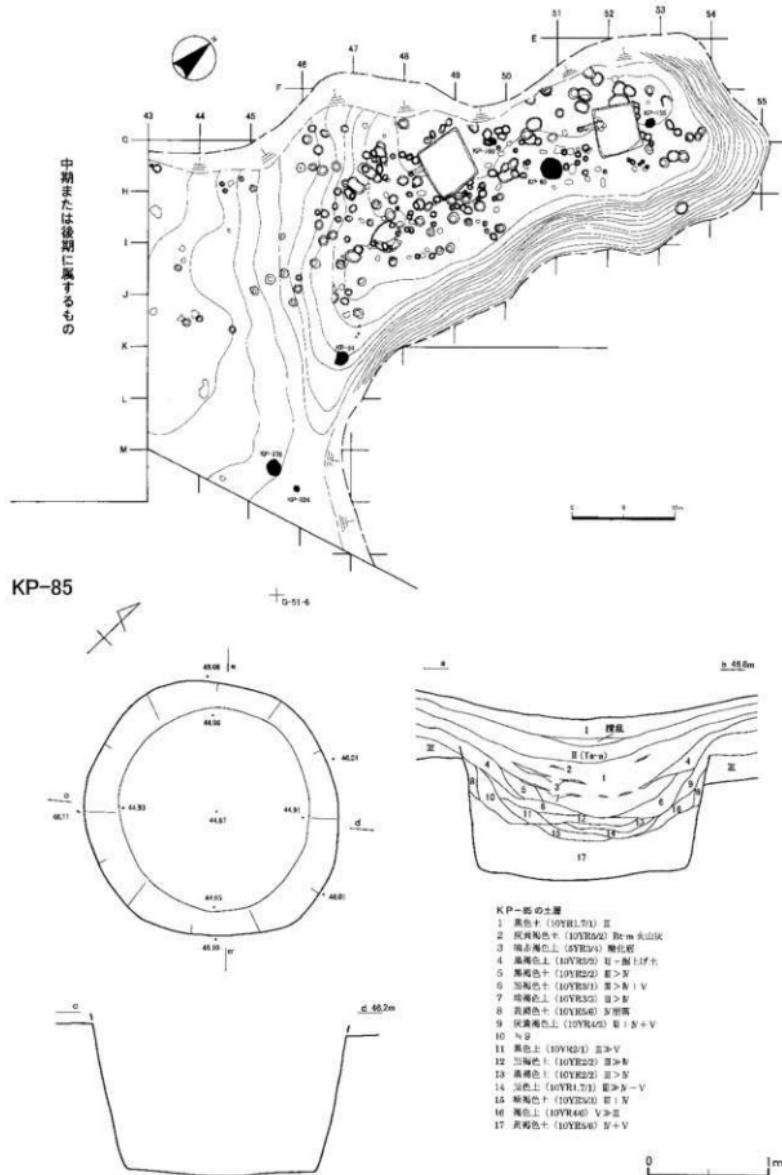


KP-289の土層

- 1 褐褐色土 (10YR3/4) N>H
- 2 黄褐色土上 (10YR4/4) H>V
- 3 黄褐色土 (10YR4/4) H>V
- 4 黑色土 (10YR2/1) H>V

図III- 40 土壌(39)KP- 278, 279, 282, 284, 289

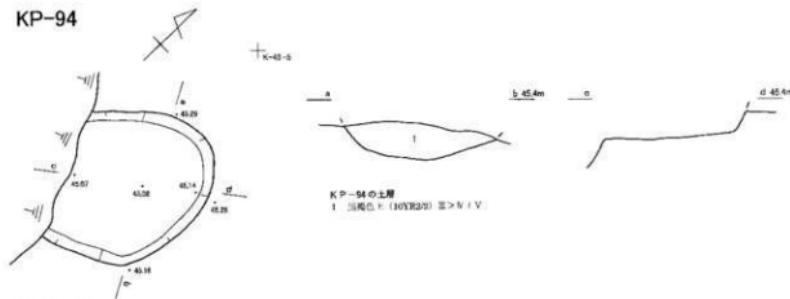
0 1m



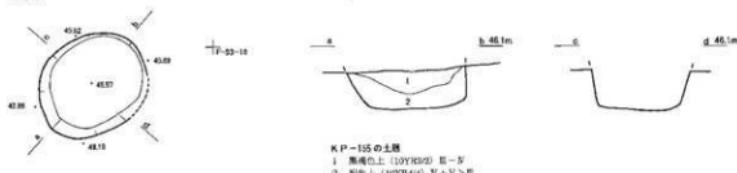
図III-41 土壌(40)KP-85

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

KP-94



KP-155



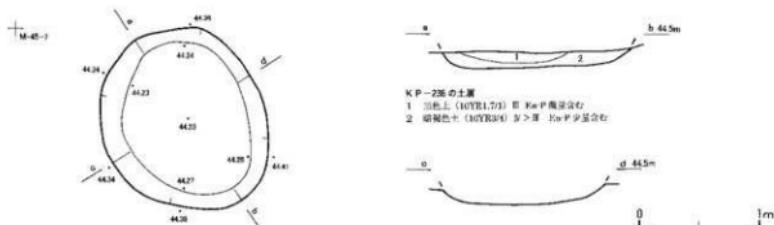
KP-199



KP-234



KP-236



図III-42 土壌(41)KP-94、155、199、234、236

C地区

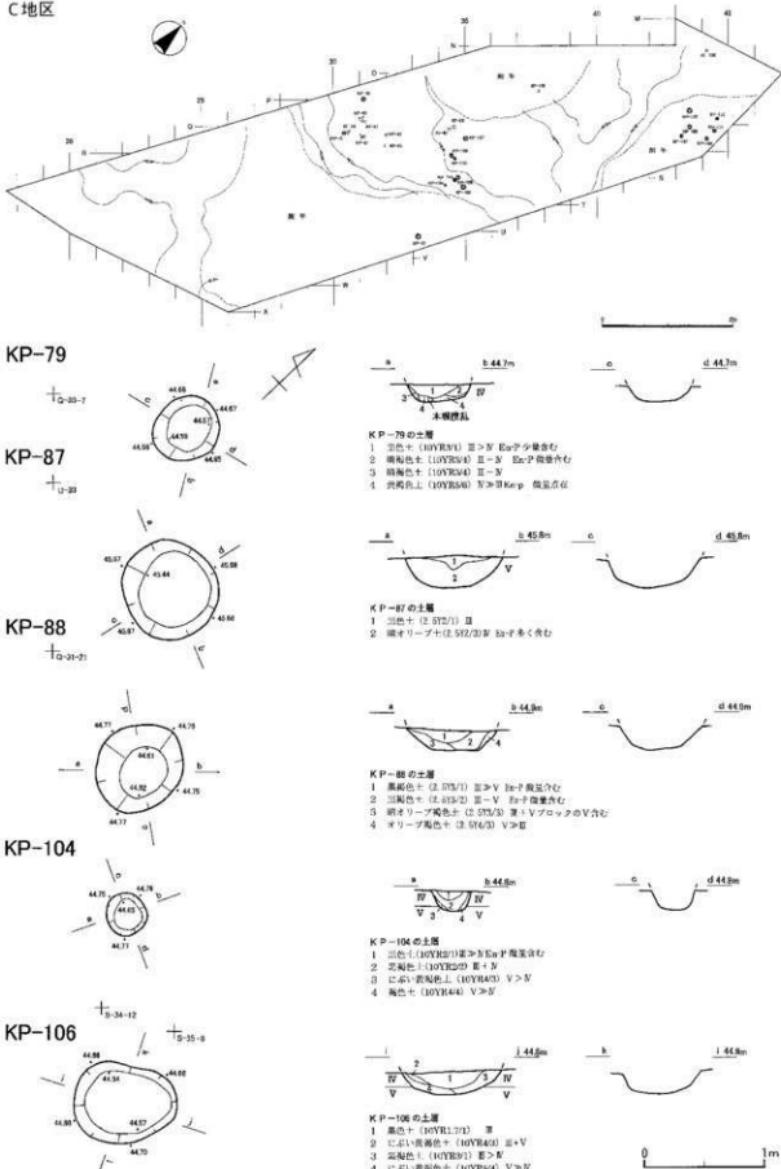


図 III-43 土壌(42)KP-79、87、88、104、106

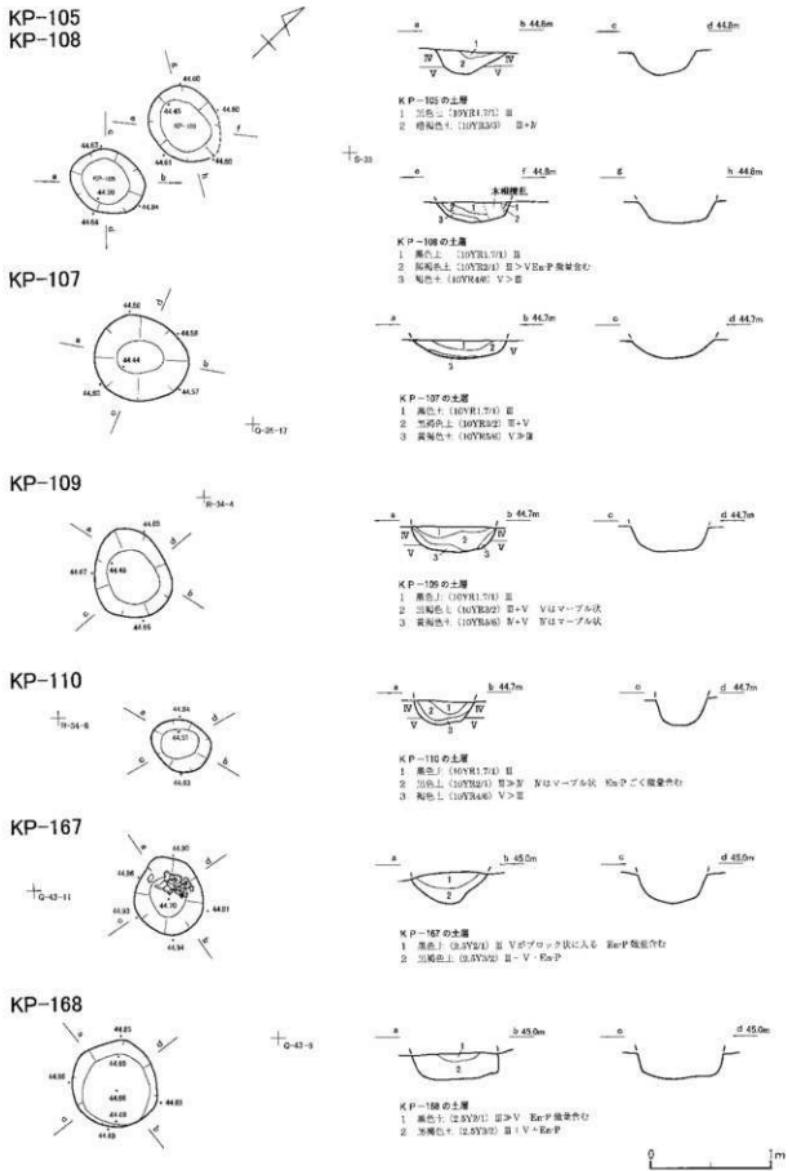
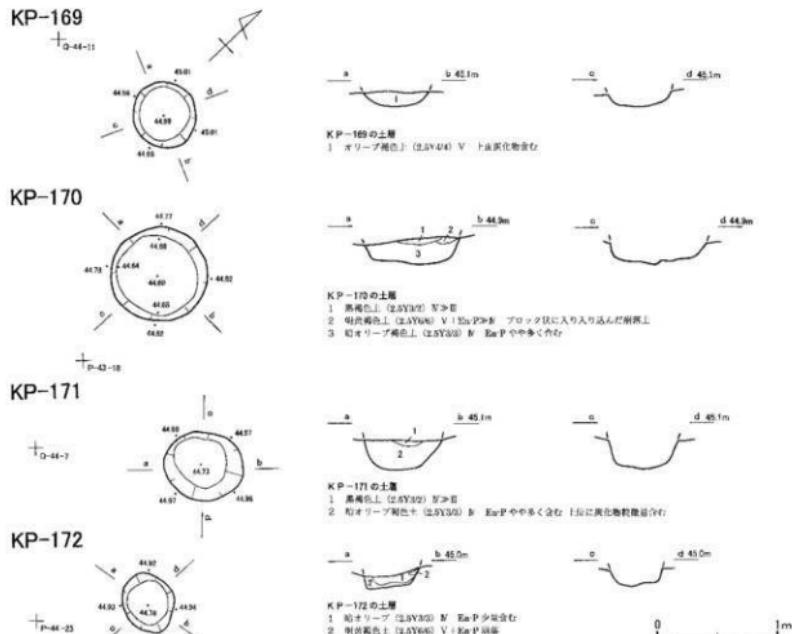


図 III-44 土壌(43)KP-105、107-110、167、168



図III-45 土壌(44)KP-169~172

(3) 焼土

A地区(図III-46~52)

A地区で検出した焼土は76ヵ所である。調査区のほぼ全域に分布するが、大きく46ラインより北側の平坦面のものと45ラインより南西側のものに分けることができる。骨片が含まれている焼土はすべて採取し、フローテーションおよび土壤水洗作業を行った。処理した焼土は体積で180.3ℓ、土器、石器のほか、焼けて白色化した獸骨・魚骨、炭化物などが得られた。

46ラインより北側のグループは、Ⅲ層の中位から下位、Ⅳ層上面で確認された。周辺の出土遺物や遺構からすべて織文時代晚期のものと考えられる。晚期の土壤の凹みを利用したものもある。

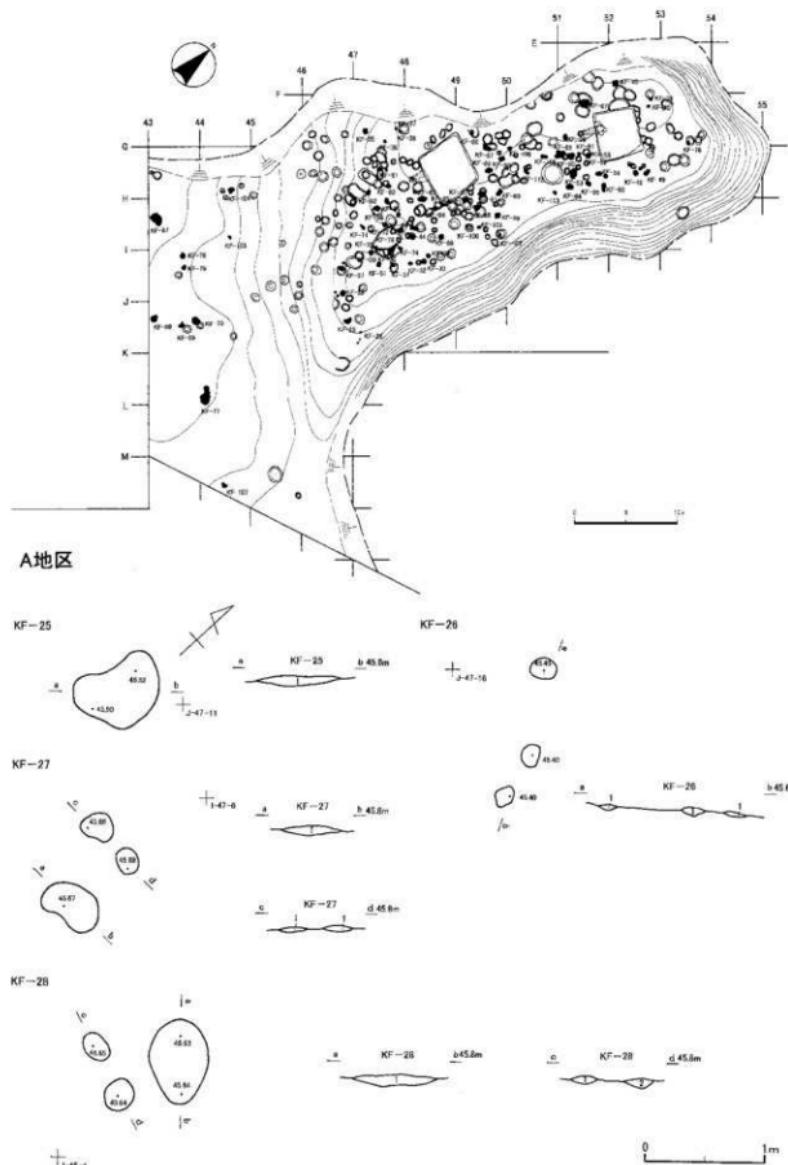
45ラインより南西側のグループは、Ⅲ層下位からⅣ層上面で確認された。昨年度の調査では、今年度に隣接する調査区で、8ヵ所の焼土が検出された。KP-19を除きすべて織文時代中期のものと報告されているが、今回検出したものは、周辺の遺物出土状況や晚期の土壤の凹みを利用したものがあることからすべて織文時代晚期のものと考えられる。

(村田)

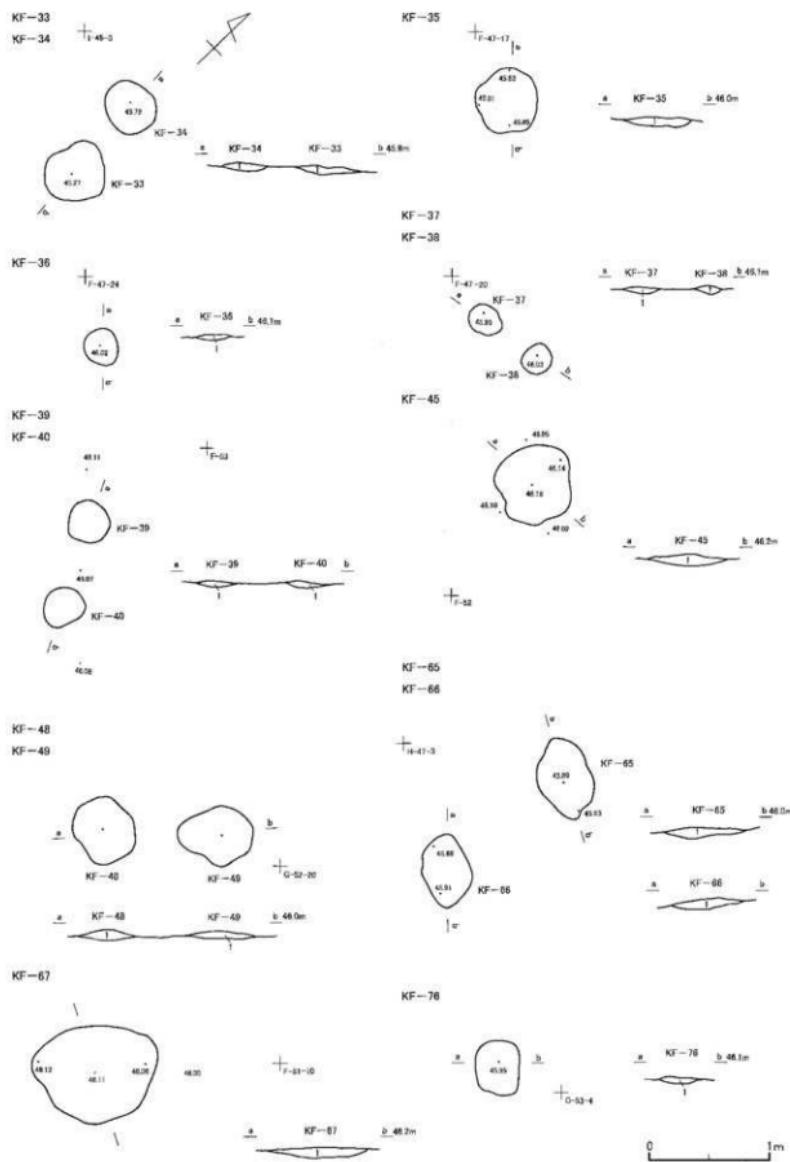
C地区(図III-52)

C地区で検出した焼土は9ヵ所である。Q-30付近に6ヵ所の焼土のまとまりがみられ、Ⅳ層上面で検出した。このまとまりの北東10mにあるKP-62・63からは、フローテーションの結果、獸骨・魚骨がみつかっており、Q-30付近の焼土とは異なった性格をもつと判断される。この周辺からは石斧関連の遺物が多く出土しており、中期に属するものが多いと考えられる。

(吉田)

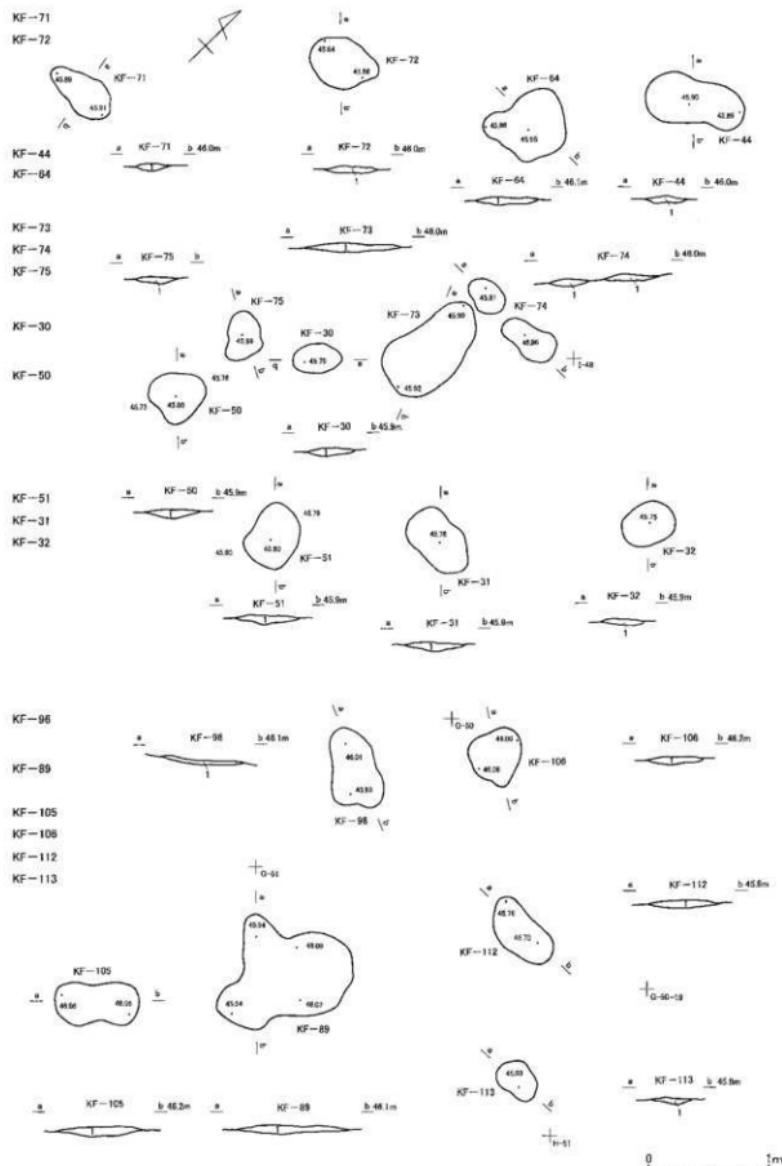


図III-46 烧土(1)

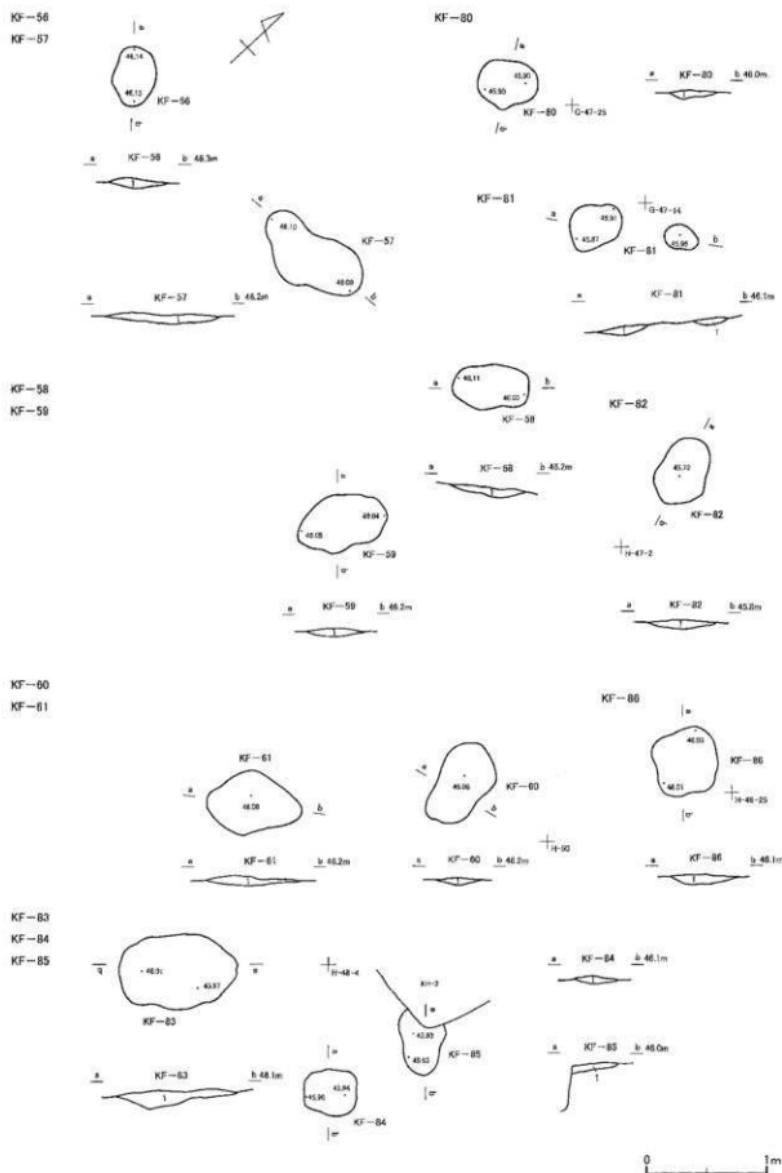


図III-47 烧土(2)

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-

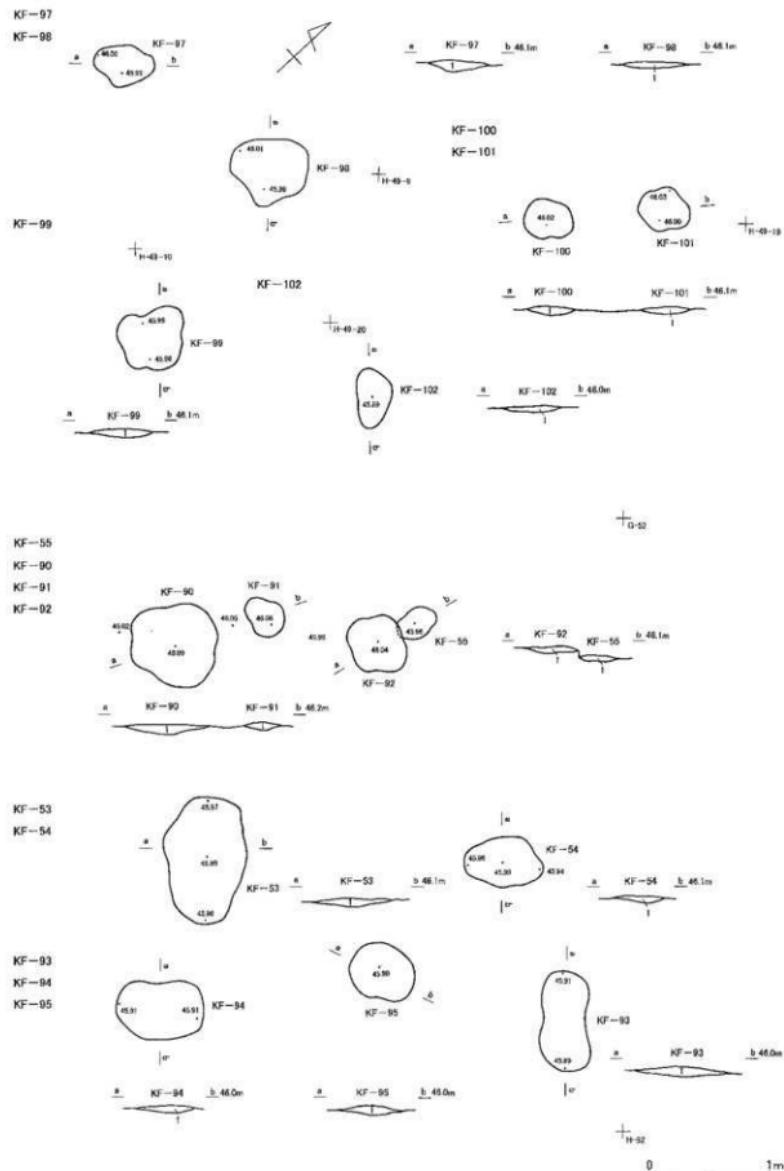


図III-48 烧土(3)

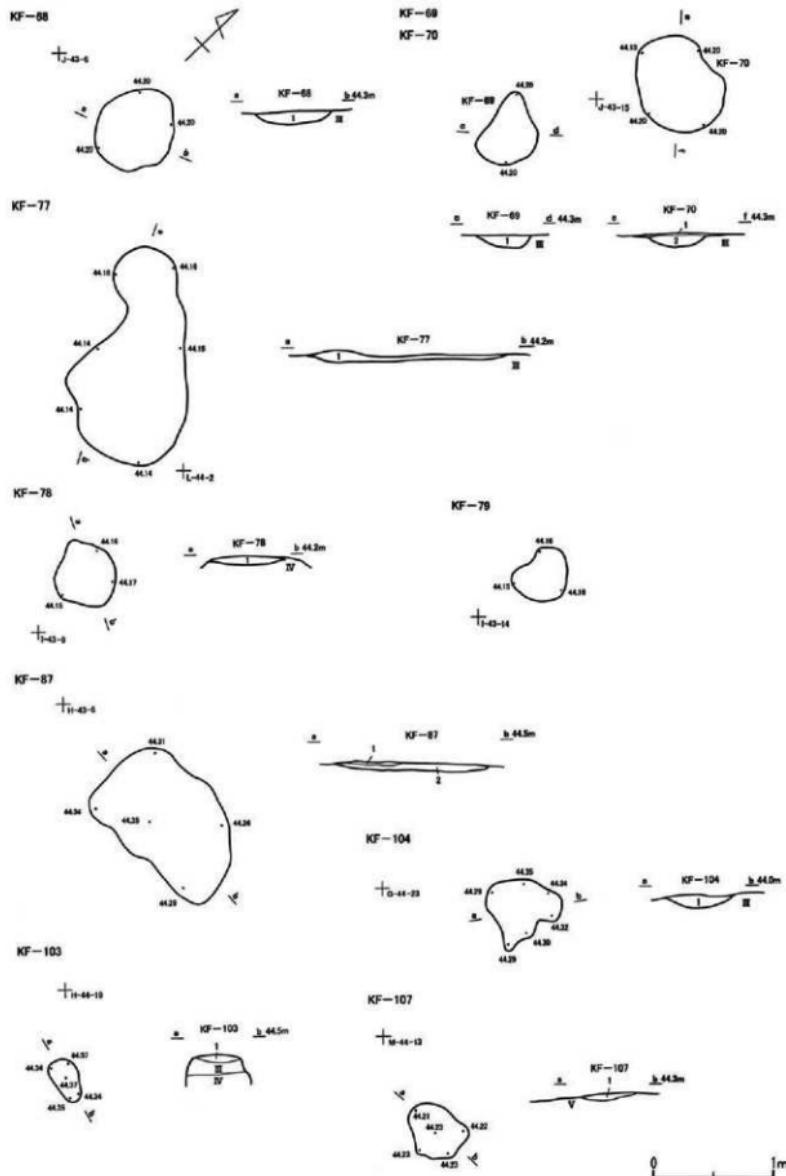


図III-49 焼土(4)

柏木川4遺跡(2)-A-C地区-

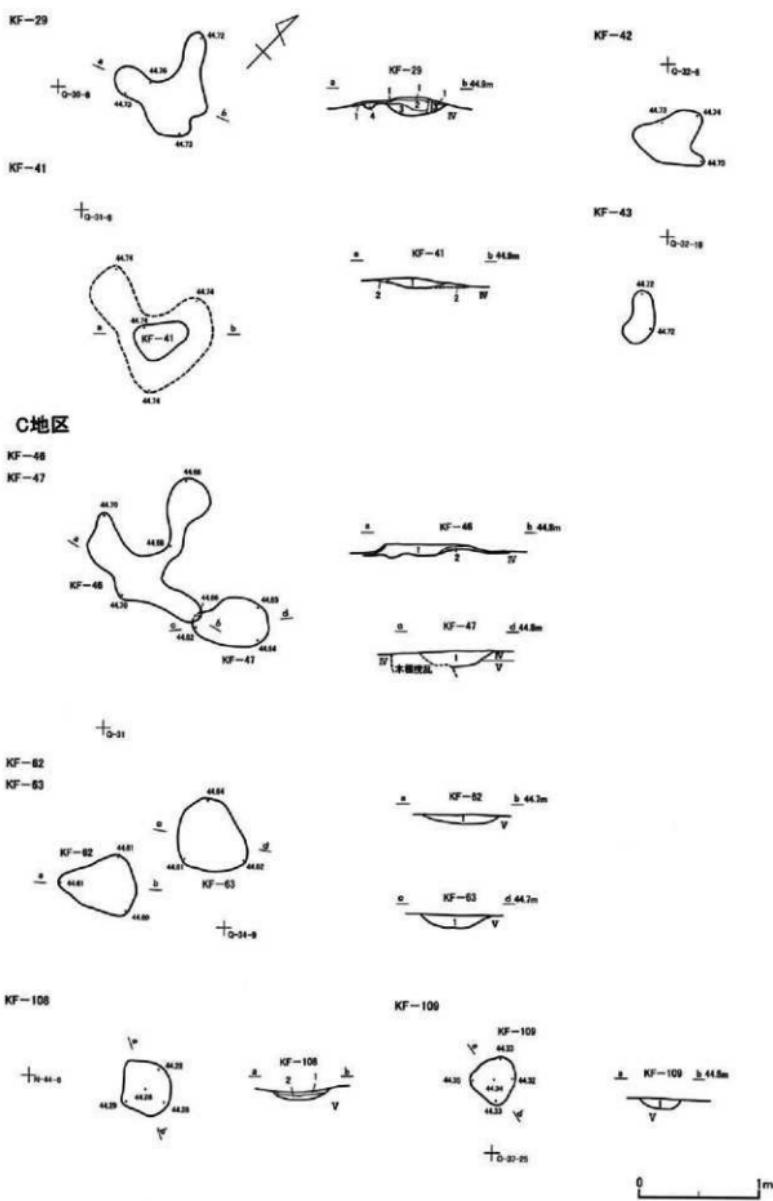


図III-50 焼土(5)



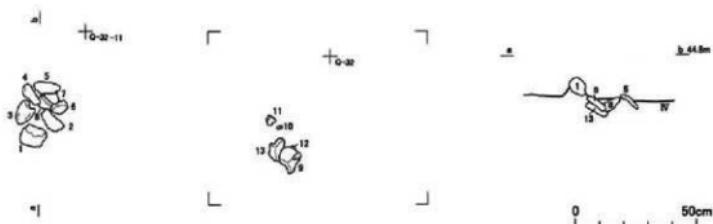
図III-51 烧土(6)

柏木川4遺跡? EAC地区-



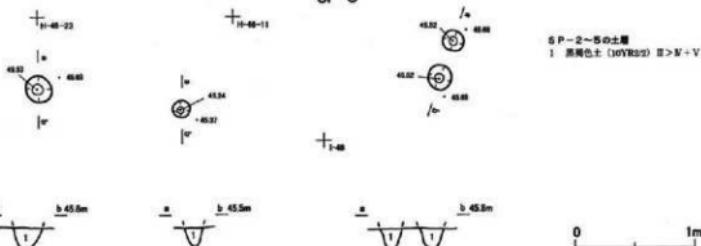
図III-52 焼土(7)

KS-3



SP-2

SP-3

SP-4
SP-5

図III-53 集石、柱穴状小ピット

(4) 集石

KS-3 (図III-53、図版69)

位置・立地：R-31 標高45.7m付近の削平面

規 模：0.27×0.23×0.17m

平 面 形：楕円形

確認・調査：IV層上位で確認した。集石の中心から南東側にトレンチを入れ、土層観察を行ったが、明瞭な掘り込みは確認できなかった。14点の遺物を検出し、石器と認められるものは、砂岩製のくぼみ石1点と2点接合による安山岩製の扁平打製石器1点である。残りの11点は安山岩の礫であった。扁平打製石器と4点の礫が被熱していた。周囲の土には被熱した痕跡は認められなかった。

時 期：遺構の出土遺物から、中期後半と考えられる。

(吉田)

(5) 柱穴状小ピット

SP-2~5 (図III-53、図版70)

柱穴状の小ピットは4基検出した。調査区南西の平坦面から斜面への転換点付近にある。いずれも長径0.2m前後のもので、壌底部の断面が尖っていることから、杭状のものを打ち込んだと考えられる。周辺の遺構や遺物出土状況から、すべて繩文時代晩期後葉のものと考えられる。

(村田)

(6) 遺構出土の遺物(図III-54~66 図版71~88)

出土遺物は遺構ごとに掲載した。特に記載がない限り、土器はⅤ群c類、剥片石器の石質は黒曜石である。

1は口縁部直下がナデ調整で無文となるもの。4は口唇上から内面にかけて赤彩が施されている。7は急角度の刃部でノッチ状の抉りを持つもの。8・9は石鎌。8はかえしが明瞭なもの。11は無文帯に繩線が見られる。12はエンドスクリイバー。13は尖頭部を持つもの。15の刺突は棒状工具による。17は横走する沈線をもつもの。18は砂岩製のたたき石。凹みが1ヵ所ある。19・20はⅢ群b類土器。口唇の断面は角型を呈し、内面は磨かれている。21は貫通孔をもつ突起部。22は断面三角形のすり石。把握部に粗い調整が加えられている。24は2ヵ所の機能部を持つ石錐。一方が断面三角形を呈し、回転錐と刺突錐と考えられる。27は折り返し気味の口縁部である。30は安山岩製の石皿。埋め戻し覆土の上面から出土した。31は表面を上にして出土した胴部破片。32は端部に急角度の加工が施されている。33は偏平碟の両面にたたき痕が見られる。35の無文帯は繩線によって区画されている。胴部がやや張り出し、緩い山形の突起が付き、貫通孔が見られる。36は口唇上面に1条の繩線が加えられる。38は口縁部に3条の繩線が施され、段を持つ。39の口唇上は太い棒状工具による圧痕が見られる。40は4つの小突起をもち、竹管状工具による刺突がある。41・42は石鎌。主剥離面を大きく残している。43は石製品に分類した。両面に微細な剥離が加えられている。45は覆土の中位から出土したもので、表裏に赤彩が施されている。46・47は同一個体。工字文が見られる。口唇上には棒状工具による刺突が加えられている。48は浅鉢の胴部破片で、裏側に刺突が加えられたボタン状の貼付が見られる。49・50はⅢ群b類の土器。50の無文帯の上下に繩線が見られる。51は砂岩製の砥石片で4面使用されている。52は浅鉢。口縁部になでによる調整が加えられている。53は浅鉢。底部はやや上げ底である。54は口唇上に3条の繩線が加えられる。55は緩い山形の突起部分で、内側に折り返して口縁部に厚みを持たせている。56は浅鉢形土器。2つの突起を持ち、口唇上と内面全体に繩文が施されている。58は横走する2条の沈線と棒状工具による斜めの刺突が施されている。59は貫通孔を持つ突起で磨耗が激しい。60は沈線の間は繩端の圧痕が施されている。61~63は石錐。61は頁岩製で機能部の摩滅が激しい。回転錐である。62・63は被熱している。63は3ヵ所の機能部を持つもの。64は繩文のみが施された深鉢。65は口縁部直下に、繩端圧痕で区画された無文帯をもつもの。67は内面に沈線で文様が描かれたもの。68は泥岩製の石斧の刃部。側面に敲打による調整痕が残っている。69は大洞C式相当の浅鉢。KP-152の壙底から出土した。70の胴部は緩やかに立ち上がり、いったん屈曲後、内湾気味に口縁部に統く。文様帯は二段に分かれ、棒状工具による刺突列で区画される。上段は沈線による渦巻文、下段は屈曲部を含み横走する繩線と沈線が施される。口唇部は刻み、繩線、捺糸圧痕が加えられる。突起部から垂下する貼付があり、剥落部で、貼付前に爪形で調整された痕が見られる。KP-155扱いで掲載したが、KH-2掘上げ土、KF-88、包含層のF-52・53・54区、G-52区、H-48・53・54区や平成16年度調査区など、広範囲に接合関係が認められ、元はKH-2の位置にあった遺構または包含層の遺物と考えられる。71は5条の繩線文が見られる。72の突起は熊を模した動物意匠と考えられる。75は括弧文になると思われる。78は表面を上にして出土した胴部破片。79は安山岩製の石皿。すり痕とたたき痕が見られる。80はKP-167の覆土からまとまって出土した。底部から緩やかに立ち上がり、頸部に段を持つ。口縁部には貫通孔をもつ2個一対の突起とその間に小突起がある。沈線には赤色顔料塗彩の痕跡が見られる。81は折り返し気味の口縁である。82は口縁部に3条の繩線が廻るもの。83は底部。摩滅が激しい。84に隣接して出土した。84は双口土器。指頭によると思われる太い沈線で渦巻文を描き、その周囲を半截竹管状工具による刺突文で埋めている。口縁部にはそれ

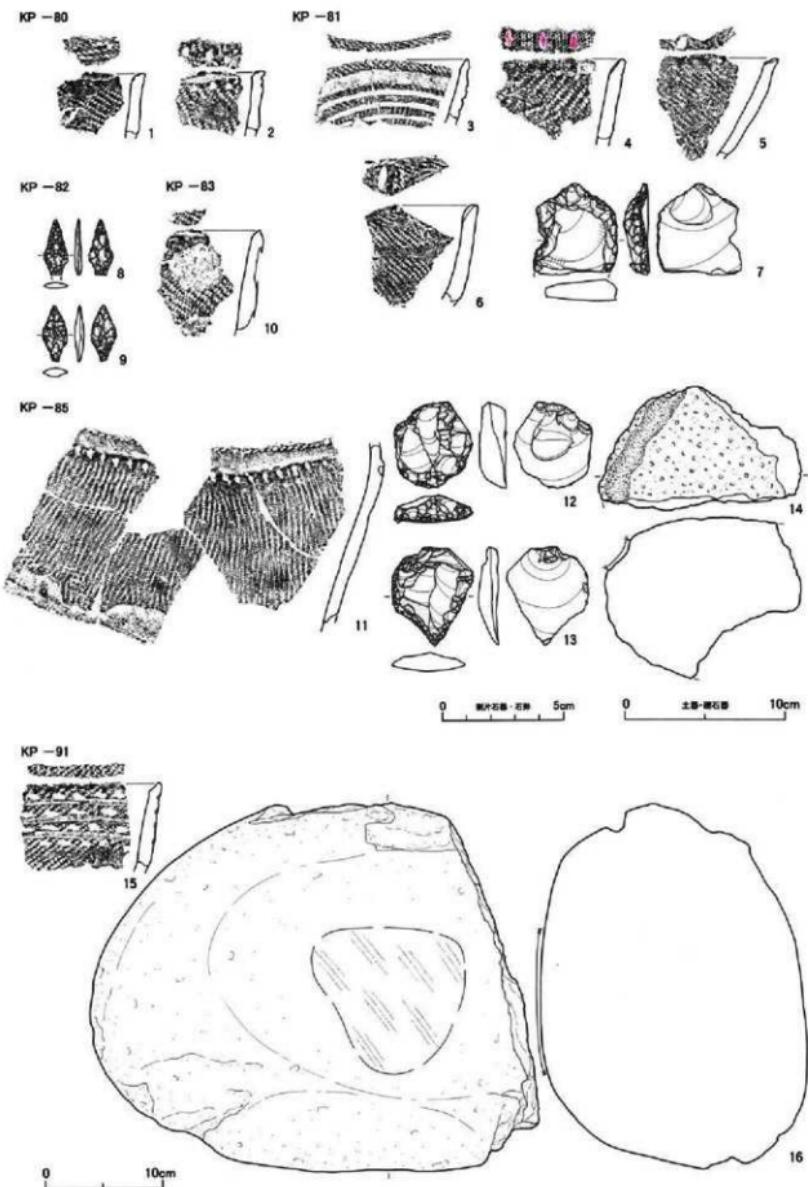
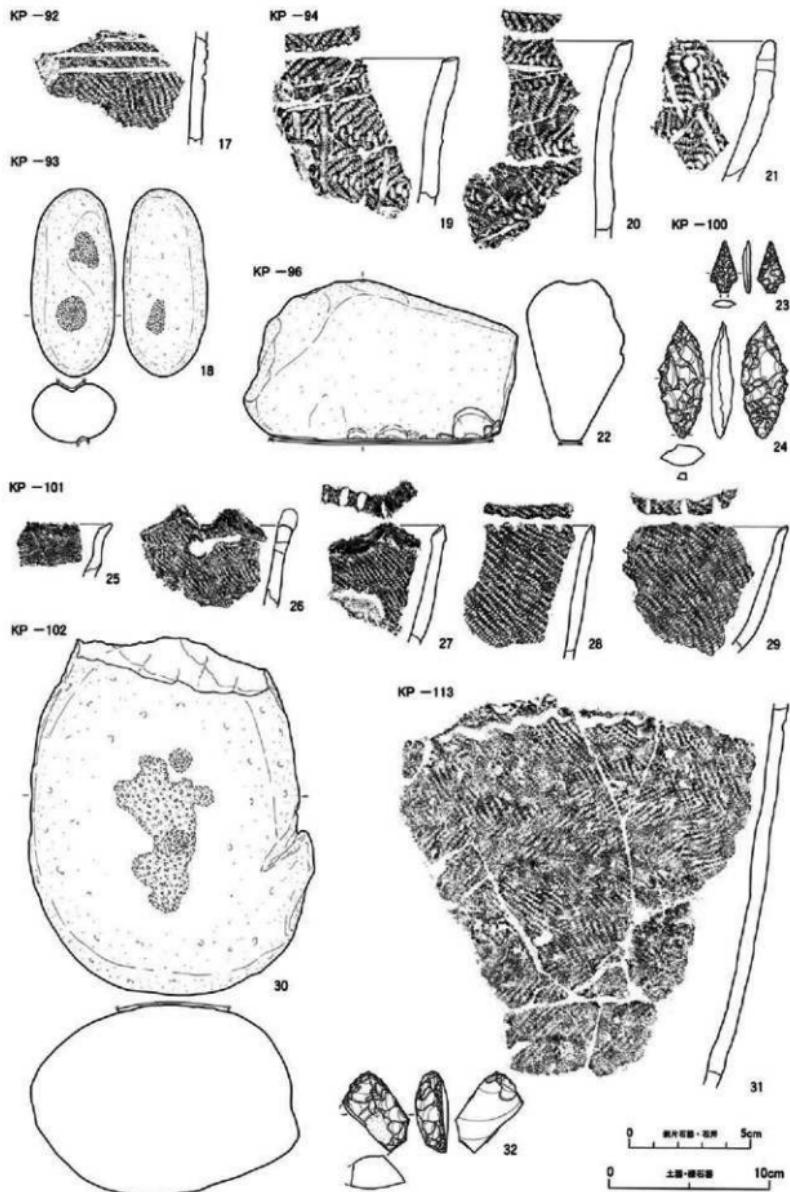


図 III-54 土壤出土の遺物(1)

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-



図III-55 土壤出土の遺物(2)

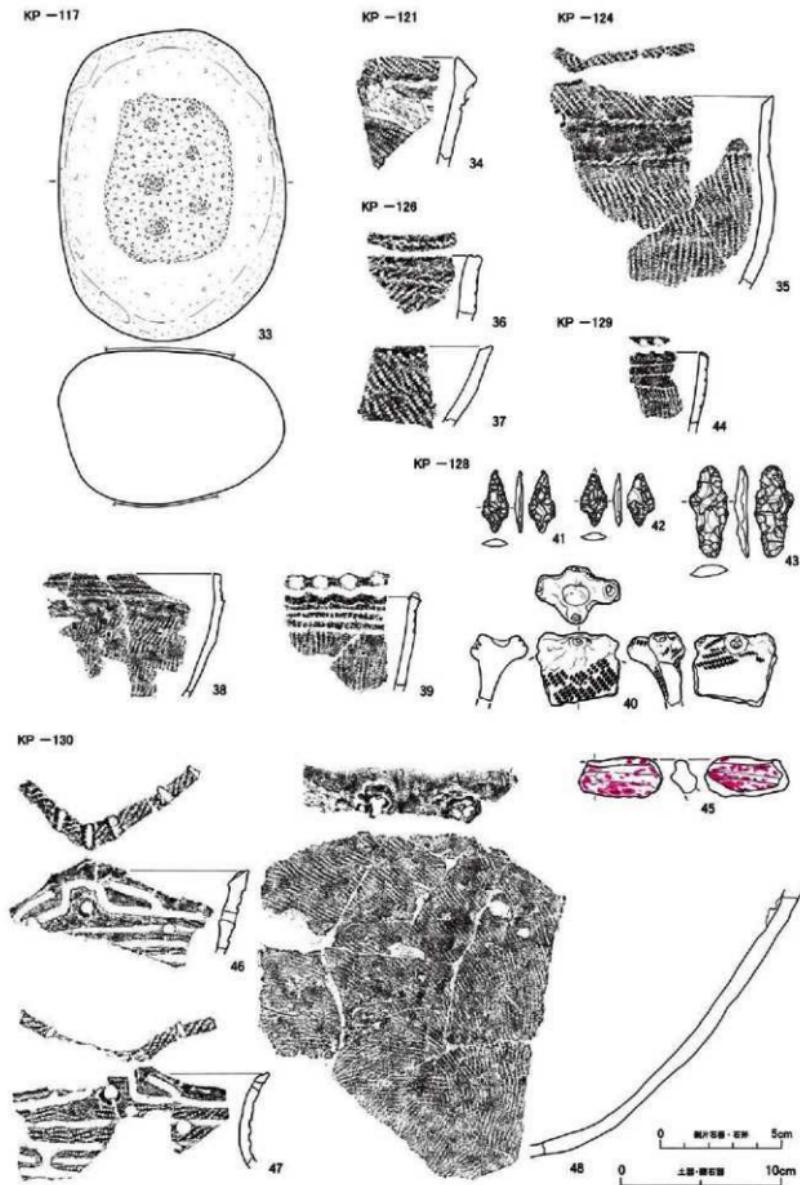
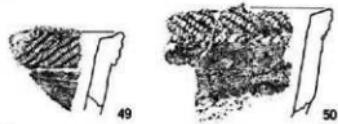


図 III-56 土壤出土の遺物(3)

KP-131

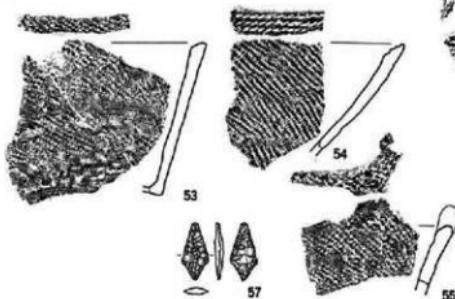


KP-135



0 土器石器・骨器 5cm 0 土器・骨器 10cm

KP-138



KP-139

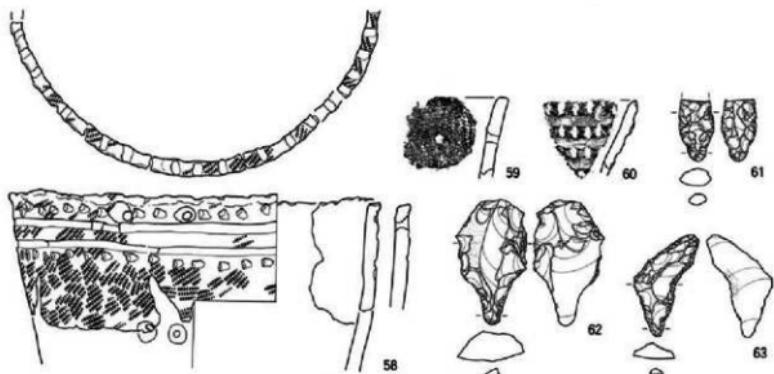
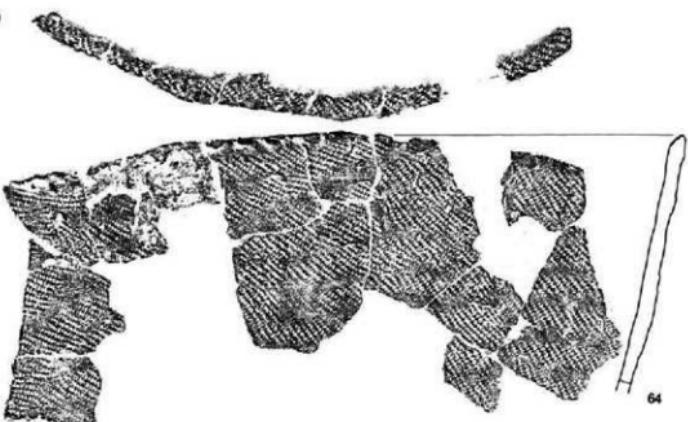


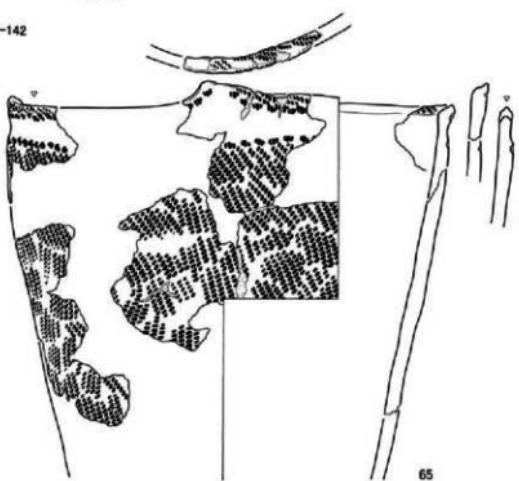
図 III- 57 土壤出土の遺物(4)

KP-138



64

KP-142



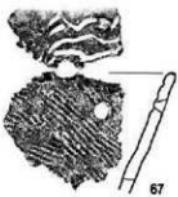
65

KP-140



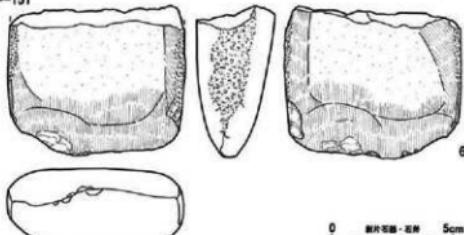
66

KP-147



67

KP-151

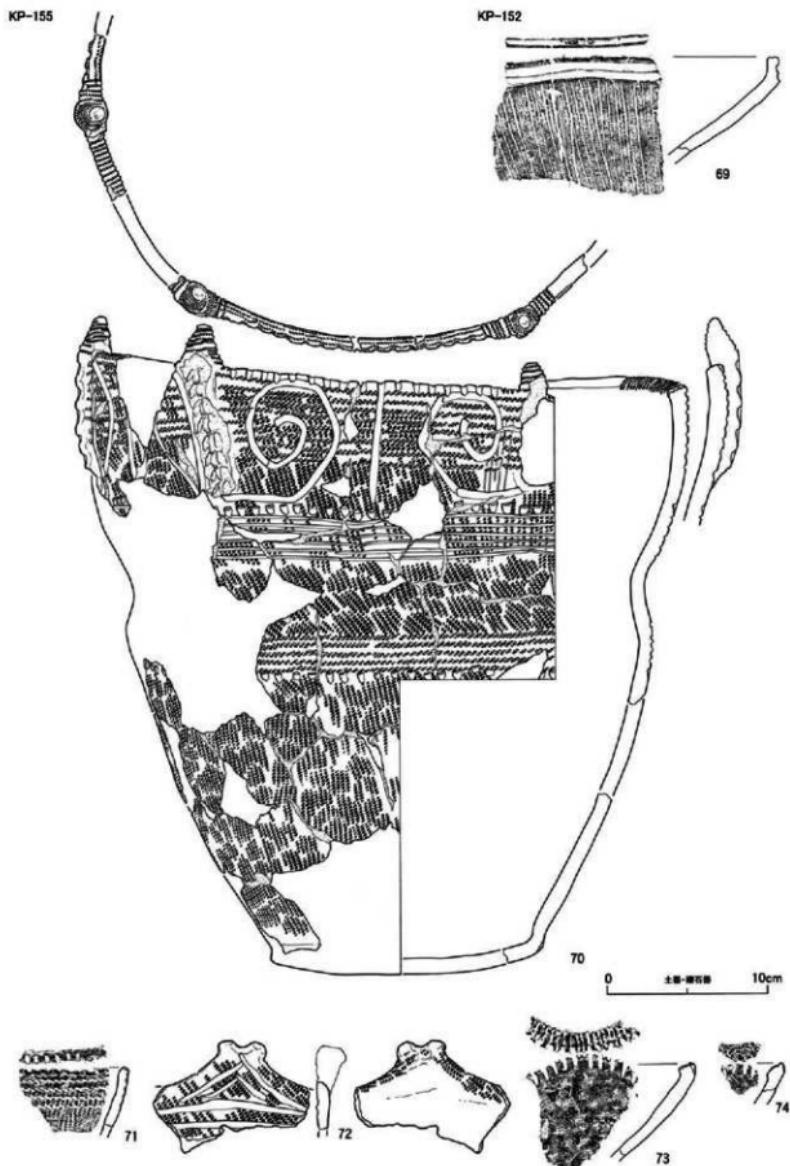


68

0 土器・繩文器 10cm

0 瓦片石器・瓦片 5cm

図 III- 58 土器出土の遺物(5)



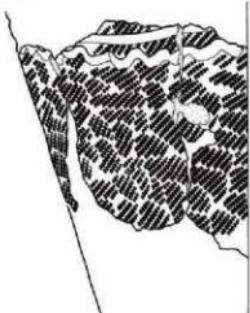
図III-59 土壤出土の遺物(6)

KP-156



75

KP-162

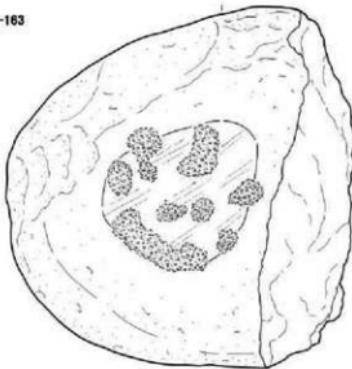


76



78

KP-163

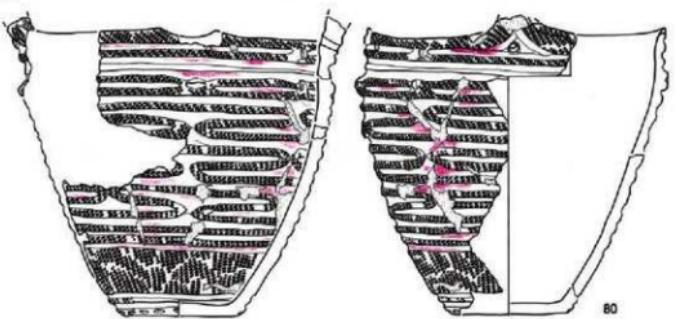


79



KP-178

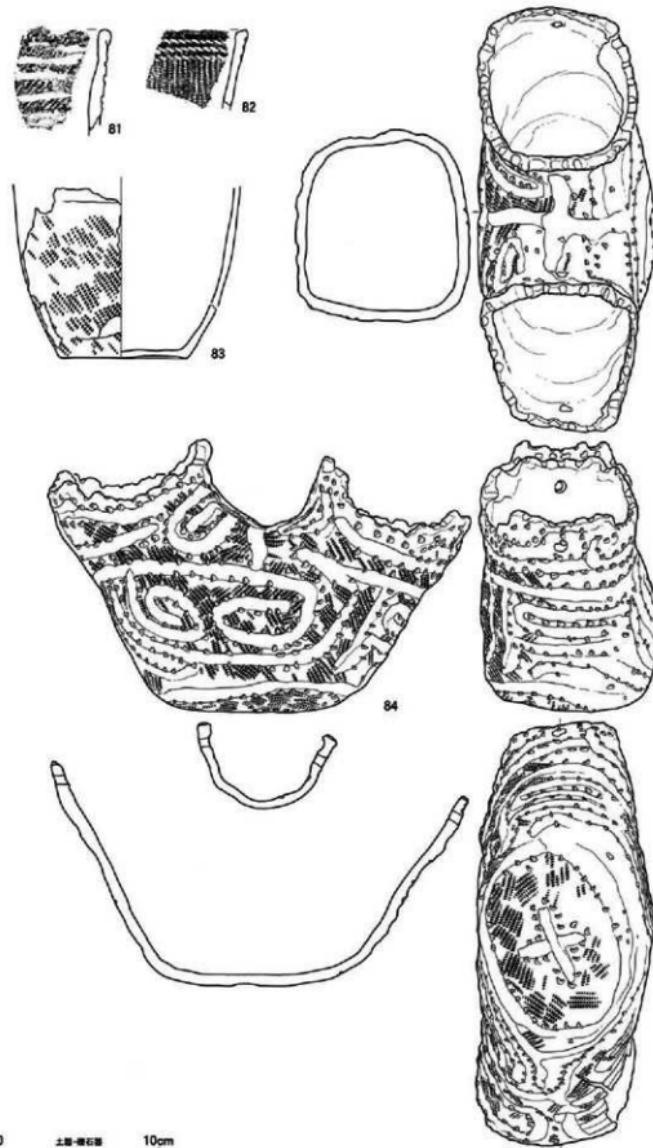
KP-167



0 土器-縄文器 10cm

図 III- 60 土器出土の遺物(7)

KP-166



図III-61 土壤出土の遺物(8)

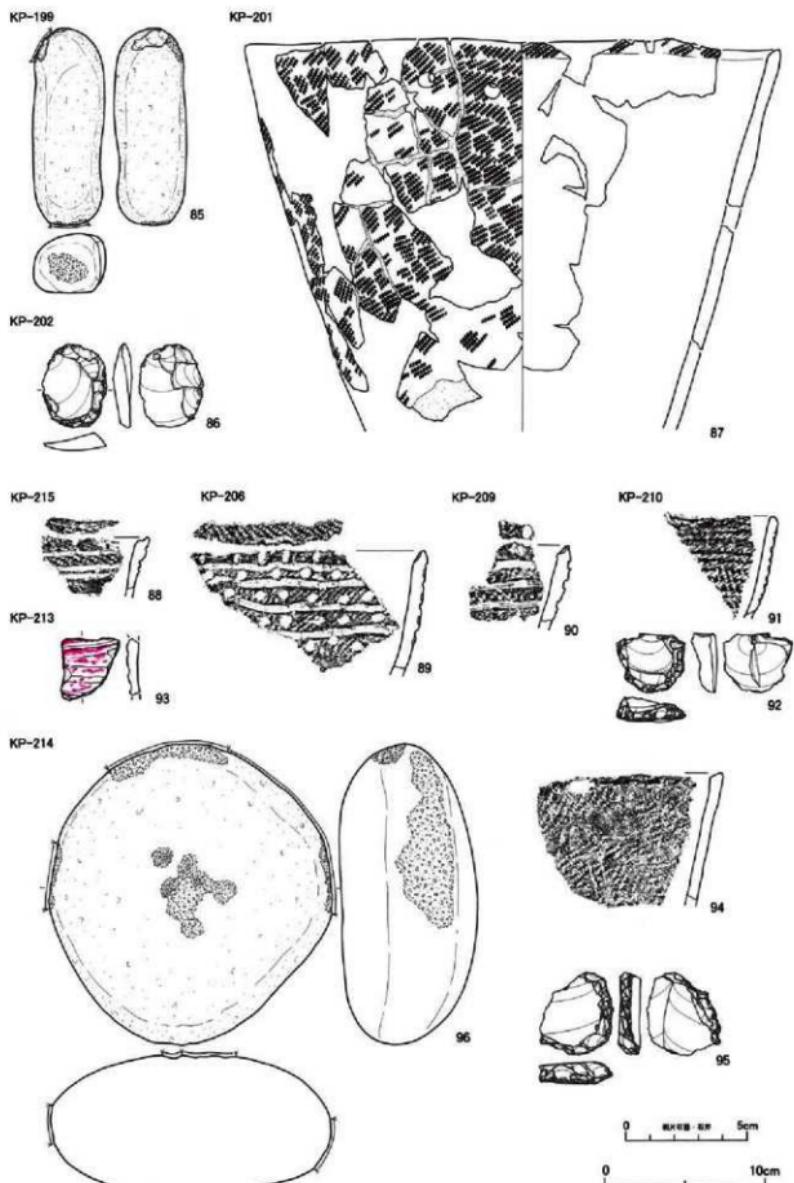
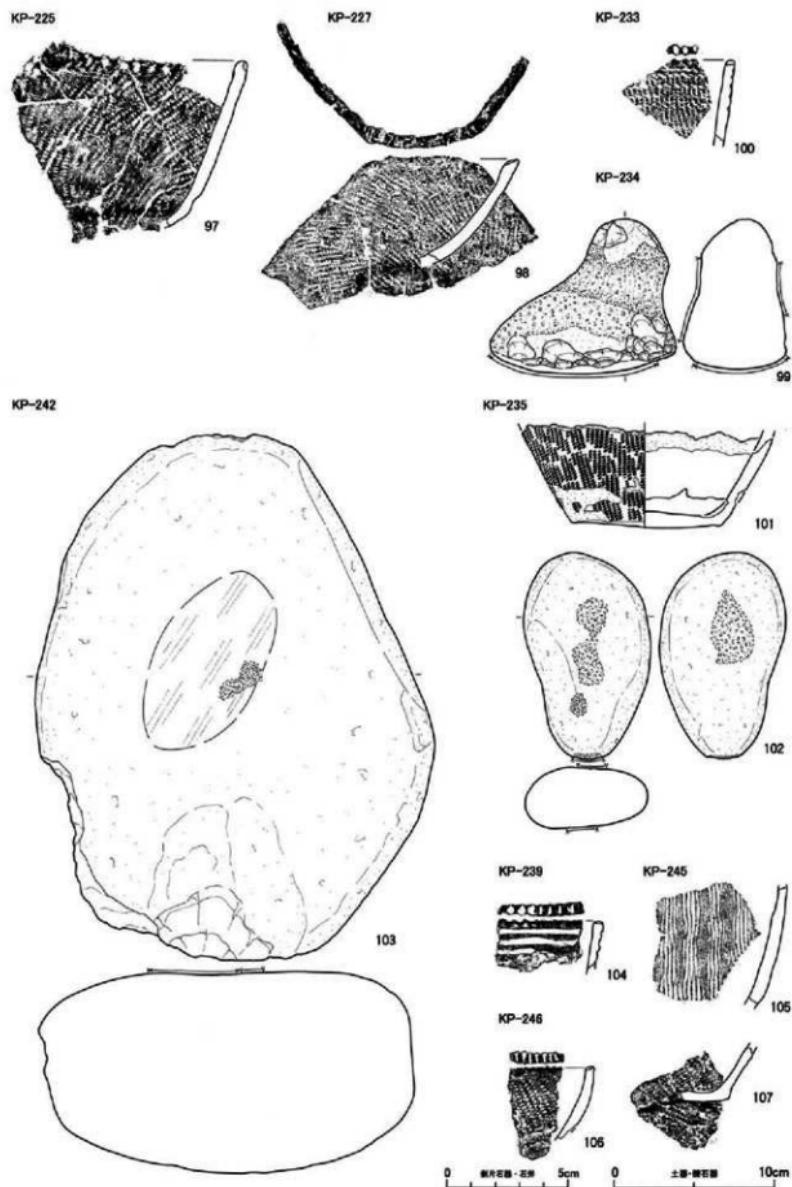


図 III-62 土壤出土の遺物(9)

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-



図III-63 土壤出土の遺物(10)

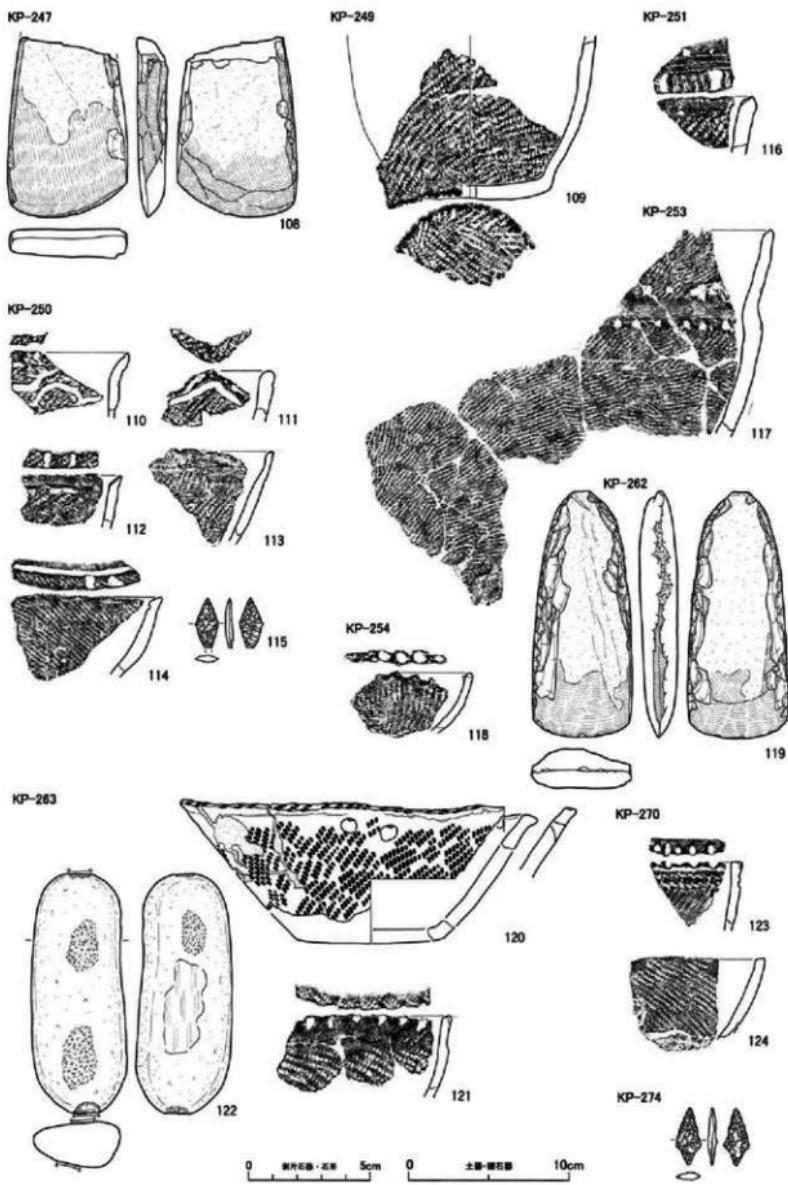
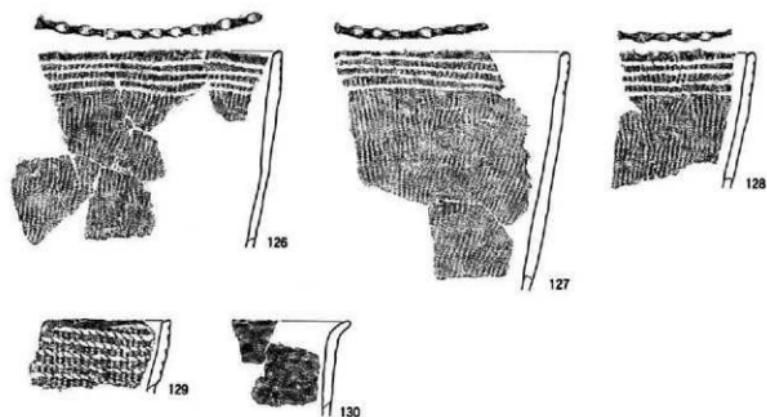
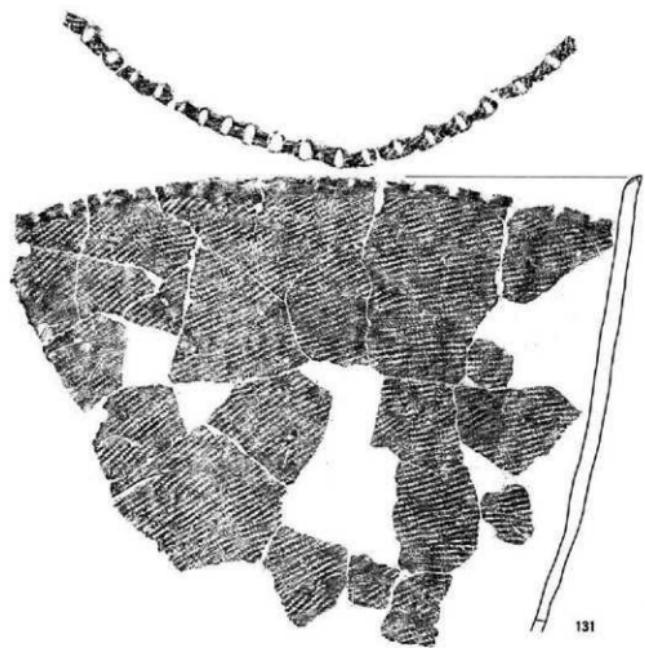


図 III-64 土壤出土の遺物(11)

KP-271



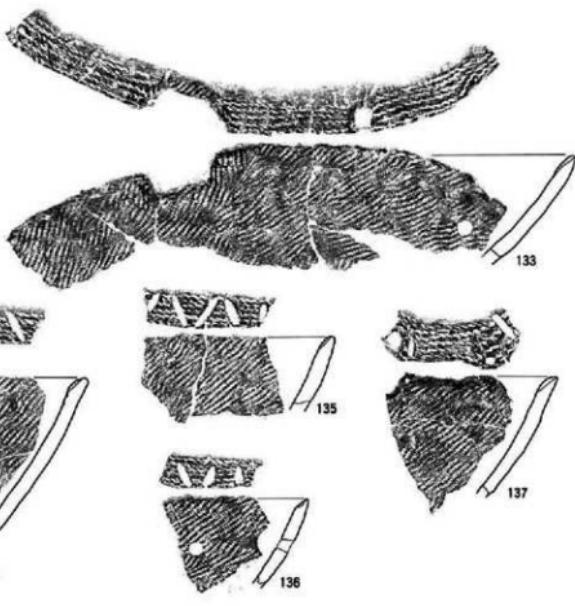
KP-272



0 土基-標高 10cm

図 III- 65 土壤出土の遺物(12)

KP-283



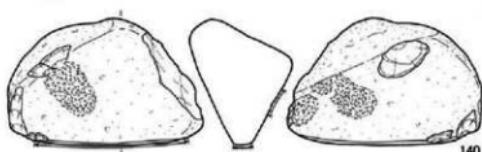
KP-285



KP-286



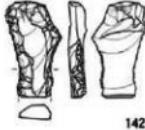
KP-289



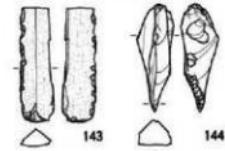
KF-67



KF-72



KF-83



KF-88



KF-104



KS-3

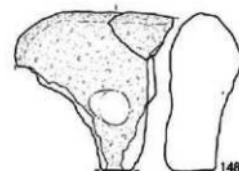
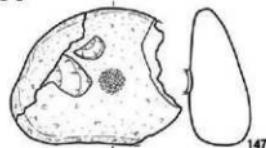


図 III- 66 土壌出土の遺物(13)

それ2個一对の貫通孔がある。横倒しの状態で出土した。上を向いていた面(図上で右側に相当)は磨耗が激しく、ある程度の期間風雨に晒されていたと推定できる。85は棒状縦の端部にたたき痕を持つもの。86はエンドスクレイバー。87は縄文のみが施された深鉢。補修孔がある。88は口縁部に棒状工具による刺突が施される。89は沈線と刺突が施されたもの。90は沈線が横走するもの。91は細い縄線が数条廻るもの。92はエンドスクレイバー。93は赤彩が施されている。95は両面に急角度の刃部をもつ。96は縄の周囲にも敲打痕がみられる。97は口唇部に縄端圧痕で刻みが加えられている。98は縄文のみが施された浅鉢。小さな突起が2ヵ所見られる。99は安山岩製の北海道式石冠。ほぼ全面に敲打による調整が施されている。100は細い縄線が廻るもの。口唇上に棒状工具による刺突が加えられる。101は底部のみ出土した。上げ底気味である。102は砂岩製のたたき石で、偏平縦の両面と端部に敲打痕を持つもの。103は一部にたたき痕が見られる。104は角柱状工具で口唇上に刻みが加えられている。105はⅡ群土器の胴部破片。縄縦文が見られる。106は細い棒状工具による刻みがある。107は底部破片でやや張り出すもの。108は泥岩製の石斧。刃部の湾曲が偏っている。109は深鉢の底部破片。丸底気味である。112は口唇上に縄文が施され、さらに棒状工具による刻みが加えられる。116は口縁部の内面に3条の縄線と竹管状工具による刺突が施されている。117は胴部破片。縄端圧痕で区画された無文帯がある。119は片岩製の石斧。調整加工は打ち欠きと敲打によるもので、研磨による加工は刃部付近のみである。120は縄文のみが施された浅鉢。補修孔が見られる。121の口縁部は棒状工具による刻みが加えられ、口縁部直下はナデ調整による無文帯となる。122は砂岩製のたたき石で、棒状の偏平縦の両面にたたき痕と一部にすり痕が見られる。124の内面はよく磨かれている。126~129は縄線が施されるもの。130は無文の壺形土器の口縁部と思われる。131は縄文のみの深鉢。口唇上に棒状工具による刻みがある。133~137は同一個体。縄文のみの浅鉢。口唇部には数条の縄線や棒状工具による「ハ」の字状の刻みが施され、竹管状工具による刺突が加えられた小突起がある。140は断面が三角形を呈するすり石。持ち手の指の位置と思われる所に敲打による調整が施されている。142は被熱している。143は黒曜石製の棒状原石。141は144は機能部のみに調整が施されている。145は口唇上に1条の沈線がめぐる。147はくぼみ石。148は扁平打製石器。ともに被熱している。(村田)

表Ⅲ-1 繩文時代遺構規模一覧(1)

遺構名	地区	位 置	規模(m)			平面形	長軸方向	横軸方向	墳頂面	墳 土	床面・構造	壁の立上り	遺物出土状況	時期	備 考	調査者	
			長 軸	短 軸	深 底												
墳穴住居跡(印H)																	
KH-4 A	H 4-47	2.90/2.64	2.61/2.67	0.22	圓丸方形	N=1'-E	B 墓上面	土壁全体 周辺を盛り起し	平底	緩やか	西側に中央から 1号柱相当部の 土壁片	前期後半	印H-1)あり			村田	
土壙(KF)																	
KP-79 C	Q-30	0.58/0.38	0.52/0.33	0.13	円錐形	N=	B 墓上面	平底	緩やか							古田	
KP-80 A	G-47	1.36/1.16	0.96/0.66	0.29	無円錐形	N=IK-1-E	B 墓上面の凹み	平底	緩やか							村田	
KP-81 A	G-47	(1.77)/(1.98)	1.07/0.90	0.26	圓丸方形	N=84'-E	B 墓上面の凹み	平底	緩やか							村田	
KP-82 A	G 44-46 - 47	1.84/1.60	1.00/0.85	0.23	圓丸方形	N=88'-E	B 墓上面の凹み	平底	緩やか							村田	
KP-83 A	F-46	0.71/0.50	0.67/0.49	0.16	圓錐形	N=	B 墓上面	板状	緩やか							村田	
KP-84 A	F-46	0.80/0.65	0.63/0.44	0.16	圓錐形	N=72'-E	B 墓上面	板状	緩やか							村田	
KP-85 A	G-50 - 51	2.07/1.56	2.06/-1.67	0.36	圓錐形	N=	斜上に土壁片	平底	急							中高砂半 大雨土塗	
KP-86 A	G-47	(0.80)/(1.45)	0.94/1.62	0.23	無円錐形	N=57'-E	B 墓上面	平底	緩やか							村田	
KP-87 C	C-33	0.61/0.54	0.76/0.58	0.26	円錐形	N=	V 墓上面	下位埋め廻し	板状	緩やか						古田	
KP-88 C	O F-37	0.78/0.44	0.68/0.35	0.16	円錐形	N=	B 墓上面	平底	緩やか							村田	
KP-89 A	H-46	0.59/0.40	0.58/0.40	0.17	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	緩やか							村田	
KP-90 A	H-46	0.91/0.72	0.82/0.59	0.39	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	緩やか							村田	
KP-91 A	H 4-46	0.86/0.80	0.87/0.64	0.20	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-92 A	I-46	0.99/0.52	0.85/0.52	0.65	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-93 A	J-47	1.04/0.51	0.95/0.51	0.51	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-94 A	K-46	(1.14)/(1.00)	1.23/-1.07	0.29	橢円形	N=67'-E	B 墓上面	平底	緩やか							上位にミド土塗 片	
KP-95 A	H-46	0.63/0.47	0.54/0.35	0.43	圓錐形	N=	B 墓上面	板状	緩やか							村田	
KP-96 A	H-46	0.56/0.33	0.48/0.33	0.32	圓錐形	N=	理め廻し	板状	緩やか							村田	
KP-97 A	H-46	0.63/0.32	0.51/0.34	0.30	圓錐形	N=	B 墓上面	板状	緩やか							村田	
KP-98 A	H-46	0.62/0.31	0.59/0.32	0.45	圓錐形	N=	B 墓上面	板状	緩やか							村田	
KP-99 A	H-46	0.82/0.56	0.76/0.36	0.31	圓錐形	N=	B 墓上面	板状	緩やか							村田	
KP-100 A	E-50	1.53/1.34	1.31/1.07	0.51	圓錐形	N=28'-E	B 墓上面	下位埋め廻し	平底	急						土壙墓の可能性あり	
KP-101 A	I-46	0.89/0.67	0.86/0.65	0.64	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-102 A	H-46	0.88/0.58	0.81/0.53	0.45	圓錐形	N=	B 墓上面	下位埋め廻し	平底	魚						中位に白石	
KP-103 A	I J-46	(0.63)/(1.47)	1.15/1.78	0.54	橢円形	N=34'-E	B 墓上面	平底	魚							土壙墓の可能性あり	
KP-104 C	S-34	0.25/0.25	0.33/0.21	0.16	圓錐形	N=	板状	緩やか								古田	
KP-105 C	R G-34	0.11/0.34	0.16/0.37	0.19	圓錐形	N=	板状	緩やか								古田	
KP-106 C	S-34 - 25	0.84/0.27	0.62/0.49	0.18	圓錐形	N=47'-E	B 墓上面	理め廻し	板状	緩やか						古田	
KP-107 C	G-34 - 35	0.75/0.37	0.49/0.37	0.14	圓錐形	N=	V 墓上面	理め廻し	平底	緩やか						古田	
KP-108 C	G-34 - 25	0.53/0.24	0.53/0.24	0.16	圓錐形	N=87'-E	B 墓上面	理め廻し	板状	緩やか						古田	
KP-109 C	R-34	0.75/0.45	0.61/0.49	0.20	圓錐形	N=	理め廻し	平底	緩やか							古田	
KP-110 C	R-34	0.51/0.28	0.42/0.26	0.19	圓錐形	N=	理め廻し	平底	緩やか							古田	
KP-111 A	G-46	(0.83)/(0.36)	0.67/0.33	0.33	圓錐形	N=	B 墓上面	板状	緩やか							村田	
KP-112 A	G H-46	0.78/0.55	0.73/0.50	0.35	圓錐形	N=	B 墓上面	板状	緩やか							村田	
KP-113 A	G-46	0.98/0.80	0.88/0.50	0.38	圓錐形	N=71'-W	B 墓上面	下位埋め廻し	平底	魚						上位に加工概要 心臓中央からV 字土塗片	
KP-114 A	G-46	1.03/1.72	1.00/1.73	0.37	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-115 A	G-46	0.69/0.51	0.69/0.51	0.31	圓錐形	N=	B 墓上面	板状	緩やか							村田	
KP-116 A	G-46	0.81/0.74	0.65/0.51	0.29	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-117 A	F-46	0.99/0.63	0.90/0.63	0.29	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-118 A	I-46	0.80/0.43	0.83/0.43	0.43	圓錐形	N=	B 墓上面	理め廻し	板状	緩やか						村田	
KP-119 A	I-46	0.56/0.41	0.54/0.40	0.25	圓錐形	N=	B 墓上面	板状	緩やか							村田	
KP-120 A	I-46	0.45/0.34	0.21/0.21	0.21	圓錐形	N=	B 墓上面	板状	緩やか							村田	
KP-121 A	I-47	0.94/0.72	0.81/0.67	0.33	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-122 A	I-47	0.76/0.48	0.75/0.47	0.53	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-123 A	I J-46	0.65/0.47	0.65/0.51	0.29	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-124 A	J-46	0.80/0.66	0.65/0.50	0.26	圓錐形	N=74'-E	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-125 A	J-46	0.89/0.47	0.86/0.37	0.23	圓錐形	N=81'-W	B 墓上面	理め廻し	板状	緩やか						古田	
KP-126 A	F-47 - 48	1.06/0.77	0.89/0.58	0.22	圓錐形	N=47'-E	B 墓上面	平底	魚							村田	
KP-127 A	J-43 - 44	0.62/0.39	0.59/0.35	0.23	圓錐形	N=	B 墓上面	理め廻し	平底	魚						村田	
KP-128 A	F-53	(0.91)/(0.43)	0.90/0.85	0.29	圓錐形	N=89'-W	B 墓上面	理め廻しベン ガラ骨も	平底	魚						V c 土塗片 石 器類等の小片 とまとめて出土	
KP-129 A	E F-52	0.89/0.57	0.84/0.52	0.25	不規則	N=	B 墓上面	理め廻し	板状	緩やか						村田	
KP-130 A	E F-52	1.20/1.05	0.92/0.79	0.35	圓錐形	N=84'-E	B 墓	理め廻し板状 物もC	平底	魚						口打跡が少ないと 土塗片、赤泥 土塗	
KP-131 A	F-51 - 52	2.07/1.80	(1.06)/(0.97)	0.47	圓錐形	N=27'-E	KH-2セ クション	上位に桃土	板状	緩やか						村田	
KP-132 A	E-51	0.96/0.70	1.02/0.73	0.40	圓錐形	N=78'-E	KH-1セ クション	中位に桃土	板状	緩やか						村田	
KP-133 A	F-52	0.95/0.74	0.87/0.68	0.26	圓錐形	N=79'-E	KH-1セ クション	平底	板状	緩やか						村田	
KP-134 A	F-52	(0.54)/(0.43)	0.31/0.24	0.26	-	N=	B 墓上面	板状	緩やか						村田		
KP-135 A	F-52	0.54/0.43	0.26/0.20	0.33	-	N=	B 墓上面	板状	魚						村田		
KP-136 A	-	-	-	-	-	N=	B 墓上面	板状	緩やか						穴		
KP-137 A	J-45	0.81/0.51	0.72/0.41	0.20	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	緩やか							古田	
KP-138 A	H 4-47	0.59/0.46	0.51/0.36	0.19	圓錐形	N=	B 墓上面	平底	緩やか							村田	

表Ⅲ-1 繩文時代遺構規模一覧(2)

遺構名	地区	位 置	規模(m)			平面形	長軸方向	横軸方向	墳 壁	床面・構造	壁の立ち上り	遺物出土状況	時期	備 考	調査者		
			長 軸	短 軸	深 底												
			東 南	西 北	北												
KP-139	A	I-47	0.78/0.70	0.75/0.67	0.47	円形		N-16°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	中位に1丁土器、石器、タケリバニ、ブレイカなど	後期後半	土壌層	村田	
KP-140	A	G-53	1.12/0.68	1.02/0.77	0.37	楕円形		N-16°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	土と土器片が散在	後期後半	土壌層	村田	
KP-141	A	F-53	0.81/0.59	0.70/0.50	0.21	円形		N-16°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	土と土器片が散在	後期後半	土壌層	村田	
KP-142	A	F-53	0.63/0.51	0.57/0.49	0.31	楕円形		N-14°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	土と土器片が散在	後期後半	土壌層	村田	
KP-143	A	I-43	0.65/0.37	0.62/0.36	0.18	円形		N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	土と土器片が散在	後期後半	土壌層	吉田		
KP-144	A	H-47	0.81/0.72	0.87/0.71	0.29	円形		N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	土と土器片が散在	後期後半	土壌層	村田		
KP-145	A	H-47	0.91/0.70	0.91/0.65	0.33	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	土と土器片が散在	後期後半	土壌層	村田	
KP-146	A	H-47	0.62/0.42	0.61/0.48	0.24	円形		N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	土と土器片が散在	後期後半	土壌層	村田		
KP-147	A	H-46/-47	0.80/0.69	0.65/0.53	0.29	円形		N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	土と土器片が散在	後期後半	土壌層	村田		
KP-148	A	G-H-46/-47	1.34/1.15	0.81/0.67	0.17	楕円形		N-15°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	土と土器片が散在	後期後半	KP-140のみ利用	村田	
KP-149	A	H-46/-47	0.53/0.47	0.53/0.47	0.12	円形		N-15°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	土と土器片が散在	後期後半	土壌層	村田	
KP-150	A	D-F-51	1.02/0.56	0.96/0.69	0.21	円形		N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	土と土器片が散在	後期後半	土壌層	村田		
KP-151	A	D-F-51	1.35/1.20	1.01/0.91	0.43	円形		N-7°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	土と石井、櫛痕等に因るかと想定	後期後半	土壌層	村田	
KP-152	A	F-51	1.40/1.19	1.06/0.88	0.37	円形		N-7°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	櫛痕に大抵C字相当の土器片	後期後半	土壌層	村田	
KP-153	A	I-46/-47	1.45/1.19	1.07/0.72	0.31	楕円形		N-15°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	櫛痕に大抵C字相当の土器片	後期後半	土壌層	村田	
KP-154	A	G-52	0.55/0.27	0.50/0.24	0.24	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-155	A	F-52	0.94/0.80	0.76/0.66	0.33	楕円形		N-6°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	中位後半	後期後半	土壌層	村田	
KP-156	A	G-52	0.98/0.44	0.74/0.39	0.26	楕円形		N-7°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-157	A	G-45	0.83/0.56	0.83/0.54	0.21	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-158	A	I-45/-46	0.79/0.50	0.74/0.50	0.33	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-159	A	I-45/-46	0.55/0.35	0.53/0.36	0.11	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-160	A	I-45	1.01/0.80	0.80/0.44	0.59	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-161	A	I-45	0.83/0.48	0.71/0.33	0.19	楕円形		N-7°-E	N-屋上型	楕円窓	楕円窓	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-162	A	J-45	0.75/0.41	0.75/0.40	0.45	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	魚	V字形のみ土器片まとまる	後期後半	土壌層	吉田		
KP-163	A	F-53	1.01/0.99	0.63/0.48	0.25	円形		N-7°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	中位に石井、櫛痕の可能性あり	後期後半	土壌層	村田	
KP-164	A	G-D-34	0.16/0.12	0.34/0.23	0.23	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-165	A	G-43	0.89/0.68	0.77/0.62	0.22	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	上位にV字形	後期後半	土壌層	吉田	
KP-166	A	D-F-50	1.21/0.23	0.82/0.16	0.76	-	N-17°-E	扇形落窓	楕円窓	楕円窓	魚	V字形のみ土器片まとまる	後期後半	土壌層	村田		
KP-167	C	Q-43	0.60/0.31	0.55/0.30	0.25	円形		V-屋	楕円窓	楕円窓	櫛痕	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-168	C	Q-43	0.72/0.34	0.70/0.34	0.25	円形		V-屋	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-169	C	Q-44	0.55/0.43	0.51/0.41	0.12	円形		V-屋	楕円窓	楕円窓	櫛痕	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-170	C	P-43	0.78/0.65	0.78/0.62	0.20	円形		V-屋	楕円窓	楕円窓	櫛痕	魚	凹凸あり	後期後半	土壌層	吉田	
KP-171	C	Q-44	0.64/0.44	0.65/0.38	0.23	円形		V-屋	楕円窓	楕円窓	櫛痕	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-172	C	P-44	0.44/0.34	0.43/0.34	0.08	円形		V-屋	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-173	C	G-47/-48	0.95/0.93	0.90/0.73	0.25	楕円形		N-45°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-174	A	G-47/-48	0.67/0.51	0.62/0.49	0.17	楕円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-175	A	G-46	0.67/0.56	0.62/0.38	0.18	楕円形		N-8°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-176	A	G-46	0.75/0.61	0.72/0.62	0.30	楕円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-177	A	G-47	0.52/0.27	0.50/0.29	0.27	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	櫛痕	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-178	A	G-47	0.77/0.55	0.66/0.51	0.15	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	櫛痕	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-179	A	G-47	1.04/0.93	0.61/0.49	0.19	楕円形		N-45°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	凹凸あり	後期後半	土壌層	村田	
KP-180	A	G-47	0.57/0.48	0.53/0.45	0.12	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	凹凸あり	後期後半	土壌層	村田	
KP-181	A	G-47	0.64/0.71	0.54/0.69	0.23	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	凹凸あり	後期後半	土壌層	村田	
KP-182	A	G-47	0.81/0.69	0.74/0.62	0.29	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	凹凸あり	後期後半	土壌層	村田	
KP-183	A	G-47	0.55/0.52	0.62/0.48	0.21	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	凹凸あり	後期後半	土壌層	村田	
KP-184	A	G-47	0.67/0.61	0.46/0.35	0.29	円形		N-27°-E	N-屋上型	楕円窓	楕円窓	魚	凹凸あり	後期後半	土壌層	村田	
KP-185	A	G-46	0.69/0.54	0.69/0.77	0.25	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-186	A	G-46	0.62/0.30	0.31/0.23	0.17	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-187	A	G-47	0.75/0.63	0.74/0.51	0.15	円形		N-27°-E	楕円窓	楕円窓	櫛痕	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-188	A	I-45	0.68/0.36	0.67/0.48	0.31	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	櫛痕	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-189	A	G-52	0.60/0.30	0.45/0.27	0.21	円形		N-45°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-190	A	G-52	0.36/0.21	0.33/0.15	0.15	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-191	A	G-52	0.38/0.23	0.37/0.21	0.13	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-192	A	G-52	0.29/0.15	0.29/0.16	0.10	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-193	A	G-52	0.51/0.35	0.41/0.27	0.11	円形		N-15°-E	N-屋上型	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-194	A	G-52	0.37/0.16	0.23/0.18	0.10	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-195	A	F-53	0.78/0.61	0.76/0.59	0.27	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	吉田	
KP-196	A	G-52/53	1.01/0.56	0.92/0.56	0.27	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕と被片まとまる	後期後半	土壌層	吉田	
KP-197	A	F-49	0.63/0.54	0.67/0.66	0.27	円形		N-58°-E	西側面	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-198	A	F-49	1.02/0.36	0.89/0.72	0.09	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田	
KP-199	A	F-G-49	1.24/0.74	0.61/0.43	0.65	円形		N-41°-E	N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田
KP-200	A	G-49	0.98/0.77	0.72/0.60	0.34	円形		N-屋上型	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	凹凸あり	後期後半	土壌層	村田	
KP-201	A	G-49	0.73/0.54	0.33/0.26	0.07	-	KH-3壁	楕円窓	楕円窓	平垣	魚	櫛痕	後期後半	土壌層	村田		

表Ⅲ-1 繩文時代遺構規模一覧(3)

遺構名	地区	位番	規模(m)			平面形	長軸方向	横軸方向	墳	土	床面・構造	壁の立上り	遺物出土状況	時期	備考	調査者	
			長 軸	短 軸	深 底												
KP-202 A	H-47		0.54/0.44	0.51/0.43	0.10	円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡		村田	
KP-203 A	H-47		0.54/0.40	0.40/0.25	0.29	橢円形	N-77'-W		B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡		村田	
KP-204 A	I-47		0.39/0.28	0.35/0.24	0.12	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡		村田	
KP-205 A	H-47		0.74/0.63	0.63/0.41	0.08	橢円形	N-62'-W		B 墓上面	凸凹あり	縫やか			鉄則跡		村田	
KP-206 A	F-49		0.63/0.74	0.62/0.49	0.18	橢円形	N-29'-E		B 墓上面	平坦	魚			人面大櫛留置		村田	
KP-207 A	F-G-53		0.66/0.58	0.59/0.39	0.31	円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡		村田	
KP-208 A	H-48		0.46/0.31	0.41/0.29	0.19	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			人面大櫛留置		村田	
KP-209 A	H-48		0.82/0.44	0.80/0.43	0.44	円形			B 墓上面	楕状	魚			鉄則跡		村田	
KP-210 A	F-52		0.68/0.49	0.61/0.39	0.19	一			B 墓上面	平坦	縫やか			鉄則跡		村田	
KP-211 A	F-G-52		0.73/0.57	0.71/0.59	0.22	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡		村田	
KP-212 A	D-F-52		1.27/1.18	0.96/0.91	0.29	扇形			F 墓上面	埋め戻し	平坦	魚		鉄則跡		土塙裏の可能性あり	村田
KP-213 A	G-51		0.63/0.48	0.48/0.37	0.08	橢円形	N-35'-W		B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡		村田	
KP-214 A	H-48	1,12/0.91	0.64/0.56	0.46	円形			B 墓上面	埋め戻し	平坦	魚		中段から下にVc c.スクリペイ ー、瓦片、台石	土塙裏		村田	
KP-215 A	H-48	0.74/0.54	0.67/0.54	0.21	円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田	
KP-216 A	H-48	0.54/0.41	0.52/0.41	0.29	円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田	
KP-217 A	G-51	0.52/0.37	0.47/0.34	0.09	円形			B 墓上面	平坦	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-218 A	G-51	0.33/0.23	0.31/0.21	0.13	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-219 A	G-51	0.59/0.51	0.51/0.37	0.13	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-220 A	G-51	0.49/0.37	0.45/0.31	0.21	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-221 A	G-51	0.53/0.41	0.46/0.37	0.14	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-222 A	G-51	0.69/0.52	0.67/0.56	0.29	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-223 A	G-51	0.54/0.44	0.53/0.42	0.11	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-224 A	F-40	0.71/0.61	0.57/0.57	0.15	橢円形			N-22'-W	B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田
KP-225 A	F-40	0.82/0.67	0.45/0.31	0.23	橢円形			N-24'-W	B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田
KP-226 A	F-40	0.79/0.57	0.63/0.32	0.11	橢円形			N-74'-W	B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田
KP-227 A	F-G-48	0.73/0.24	0.65/0.25	0.26	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-228 A	G-44	0.66/0.43	0.64/0.36	0.14	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			古田	
KP-229 A	G-44	0.46/0.31	0.42/0.30	0.22	円形			B 墓上面	埋め戻し	楕状	魚			鉄則跡			古田
KP-230 A	G-44	0.49/0.23	0.44/0.20	0.22	円形			B 墓上面	楕状	魚			鉄則跡			古田	
KP-231 A	G-H-44	0.44/0.20	0.44/0.17	0.12	円形			B 墓上面	平坦	縫やか			鉄則跡			古田	
KP-232 A	H-48	0.74/0.59	0.49/0.45	0.35	橢円形			N-74'-W	B 墓上面	平坦	魚			中段に櫛	鉄則跡		村田
KP-233 A	E-51	1.34/0.97	1.15/0.88	0.25	橢円形			N-33'-W	B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田
KP-234 A	M-45	0.53/0.36	0.47/0.33	0.10	円形			B 墓上面	平坦	縫やか			北海道式石室	中國水平		古田	
KP-235 A																	村田
KP-236 A	M-45	1.56/1.30	1.35/1.03	0.13	円形			N-79'-W	B 墓上面	平坦	縫やか			中段水平			古田
KP-237 A	H-48	0.55/0.33	0.47/0.34	0.23	円形			B 墓上面	楕状	魚			鉄則跡			村田	
KP-238 A	H-48	0.57/0.34	0.43/0.29	0.18	円形			B 墓上面	楕状	魚			鉄則跡			村田	
KP-239 A	H-48	0.54/0.55	0.93/0.54	0.44	橢円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田	
KP-240 A	H-49	1.09/0.99	1.06/0.70	0.24	円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田	
KP-241 A	H-49	0.78/0.62	0.66/0.50	0.21	円形			B 墓上面	楕状	魚			鉄則跡			村田	
KP-242 A	H-49	0.57/0.36	0.56/0.30	0.15	円形			B 墓上面	埋め戻し	楕状	縫やか			墳土に石臼と櫛	土塙裏の可能性あり		村田
KP-243 A	H-49	0.50/0.24	0.21/0.14	0.14	一			N-19'-E	B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田
KP-244 A	H-48	0.30/0.11	0.36/0.18	0.28	円形			N-77'-W	B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田
KP-245 A	H-48	0.71/0.64	0.65/0.63	0.23	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-246 A	H-48	0.76/0.36	0.73/0.37	0.23	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-247 A	H-48	1.13/0.82	1.07/0.61	0.39	円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田	
KP-248 A	H-48	0.50/0.37	0.43/0.30	0.29	円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田	
KP-249 A	H-48	0.53/0.43	0.46/0.33	0.15	円形			N-78'-W	B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田
KP-250 A	H-48	0.85/0.70	0.65/0.52	0.23	橢円形			N-9'-W	B 墓上面	埋め戻し	平坦	縫やか		墳底にVc、瓦片	土塙裏の可能性あり		村田
KP-251 A	H-49	0.80/0.52	0.72/0.48	0.28	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-252 A	H-48	0.50/0.28	0.44/0.26	0.19	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-253 A	H-48	0.51/0.39	0.53/0.42	0.19	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-254 A	G-49	0.52/0.36	0.45/0.32	0.16	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-255 A	G-H-48	0.62/0.41	0.49/0.29	0.16	橢円形			N-71'-E	B 墓上面	楕状	魚			鉄則跡			村田
KP-256 A	H-48	1.04/0.76	0.87/0.59	0.25	橢円形			N-43'-E	B 墓上面	平坦	縫やか			上位にこじら櫛	鉄則跡		村田
KP-257 A	H-49	0.48/0.31	0.41/0.30	0.17	円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田	
KP-258 A	H-49	0.43/0.36	0.42/0.31	0.21	円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田	
KP-259 A	H-49	0.78/0.67	0.49/0.44	0.20	橢円形			N-85'-W	B 墓上面	凸凹あり	魚			鉄則跡			村田
KP-260 A	G-49	0.69/0.52	0.65/0.49	0.20	円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田	
KP-261 A	G-H-49	0.43/0.18	0.42/0.17	0.17	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-262 A	G-50	0.64/0.44	0.65/0.29	0.34	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-263 A	H-49	0.55/0.25	0.47/0.26	0.25	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-264 A	H-49	0.80/0.62	0.78/0.50	0.19	円形			B 墓上面	平坦	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-265 A	H-49	0.51/0.53	0.72/0.43	0.19	円形			B 墓上面	平坦	魚			鉄則跡			村田	
KP-266 A	H-49	0.48/0.28	0.47/0.26	0.21	円形			B 墓上面	楕状	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-267 A	F-50	0.99/0.76	0.51/0.41	0.17	円形			B 墓上面	平坦	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-268 A	F-49-50	0.78/0.67	0.71/0.63	0.15	円形			B 墓上面	平坦	縫やか			鉄則跡			村田	
KP-269 A	G-50	0.44/0.30	0.40/0.28	0.21	円形			B 墓上面	平坦	魚			上位Vc	縫跡 破片、スクリペイ ー		村田	
KP-270 A	F-50	1.16/0.71	1.08/0.71	0.46	円形			B 墓上面	下位埋め戻し	楕状	縫やか			鉄則跡			村田

表Ⅲ-1 繩文時代遺構規模一覧(4)

遺構名	地区	位 置	規模(m)			平面形	長軸方向	横断面	墳 士	床面・構造	壁の立ち上り	遺物出土状況	時期	備 考	調査者	
			長 軸	短 軸	深 底											
			標高記/土壇	標高記/火葬												
KP-271	A	G-50	1.21/0.84	0.83/0.62	0.41	楕円形	N-21'-W	B 墓上部	下に埋め戻し	平坦	急	V字型断片、石 器、フラグメント とあっては土壇	地図複数 土壇基の可能性あり	土壇		
KP-272	A	F-49-50	0.84/0.69	0.57/0.51	0.15	楕円形	N-67'-E	B 墓上部	下に埋め戻し	平坦	急	地中にV字土壇	地図複数 土壇基	土壇		
KP-273	A	G-49	0.47/0.18	0.42/0.18	0.24	円形	N-67'-E	B 墓上部	樹枝	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-274	A	F-42-50-51	0.98/0.49	0.63/0.43	0.36	円形	N-17'-W	B 墓上部	平坦	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-275	A	F-50-51	0.79/0.51	0.66/0.49	0.23	円形	N-17'-W	B 墓上部	平坦	急	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-276	A	G-44-46	0.76/0.67	0.74/0.61	0.11	円形	N-17'-W	B 墓上部	平坦	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-277	A	F-G-50	0.54/0.41	0.50/0.34	0.14	円形	N-17'-W	B 墓上部	樹枝	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-278	A	G-50	0.83/0.64	0.66/0.49	0.22	円形	N-67'-E	B 墓上部	樹枝	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-279	A	G-48-50	0.97/0.74	0.69/0.55	0.22	楕円形	N-17'-W	B 墓上部	樹枝	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-280	A	F-41	0.72/0.62	0.59/0.49	0.11	円形	N-20'-W	B 墓上部	樹枝	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-281	A	F-41-50	1.21/1.06	0.63/0.50	0.17	円形	N-17'-W	B 墓上部	樹枝	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-282	A	G-49	0.80/0.60	0.61/0.50	0.17	円形	N-11'-W	B 墓上部	樹枝	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-283	A	G-50	0.47/0.29	0.29/0.20	0.10	円形	N-17'-W	B 墓上部	樹枝	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-284	A	H-53	1.31/1.07	0.95/0.85	0.38	楕円形	N-4'-E	B 墓上部	平坦	急	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	地図複数 土壇		
KP-285	A	G-50	0.98/0.27	0.38/0.27	0.16	円形	N-17'-W	B 墓上部	樹枝	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-286	A	H-47	0.38/0.17	0.23/0.17	0.20	円形	N-17'-W	B 墓上部	樹枝	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-287	A	H-47	1.19/0.78	0.99/0.67	0.22	楕円形	N-77'-W	B 墓上部	樹枝	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-288	A	F-46	0.69/0.53	0.46/0.47	0.22	円形	N-17'-W	B 墓上部	樹枝	急	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-289	A	G-53	1.27/1.12	1.10/0.94	0.21	楕円形	N-17'-W	B 墓上部	平坦	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-290	A	I-48	0.99/0.47	0.79/0.48	0.20	楕円形	N-20'-W	B 墓上部	平坦	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
KP-291	A	H-49	0.45/0.21	0.30/0.21	0.18	円形	N-17'-W	B 墓上部	平坦	緩やか	樹枝	地図複数 土壇	地図複数 土壇	土壇		
出土土質																
KP-20																KP-1墓上中層化土質
KP-21																KP-1墓上中層化土質
KP-22																KP-1墓上中層化土質
KP-23																KP-2墓上中層化土質
KP-24																KP-2墓上中層化土質
KP-25	A	J-46	0.70	0.48	0.09	不規形		B 墓中位								
KP-26	A	J-47	1.27	(0.14)	0.07	円形		B 墓中位								
KP-27	A	I-46	(0.98)	(0.49)	0.07	不規形		B 墓中位								
KP-28	A	I-46	(1.03)	(0.60)	0.08	円形		B 墓中位								
KP-29	C	Q-30	0.88	0.42	0.15	不規形		B 墓上部								
KP-30	A	H-44	0.39	0.24	0.09	楕円形		B 墓中位								
KP-31	A	I-47	0.58	0.30	0.08	楕円形		B 墓中位								KP-121(引)利用
KP-32	A	I-48	0.45	0.30	0.04	楕円形		B 墓中位								
KP-33	A	I-48	0.52	0.45	0.07	円形		B 墓中位								
KP-34	A	I-48	0.44	0.38	0.05	円形		B 墓中位								
KP-35	A	F-47	0.52	0.47	0.07	円形		B 墓上部								
KP-36	A	F-47	0.30	0.27	0.04	円形		B 墓上部								
KP-37	A	F-47	0.28	0.21	0.05	円形		B 墓上部								
KP-38	A	F-47	0.36	0.24	0.08	不規形		B 墓中位								
KP-39	A	F-52	0.36	0.32	0.05	円形		B 墓中位								
KP-40	A	F-52	0.34	0.35	0.05	円形		B 墓中位								
KP-41	C	Q-31	(1.03)	(0.26)	0.07	楕円形		B 墓上部								
KP-42	C	Q-31-32	0.43	0.36	0.05	不規形		B 墓上部								
KP-43	C	Q-31	0.43	0.46	0.06	不規形		B 墓上部								
KP-44	A	H-48	0.82	0.23	0.07	不規形		B 墓中位								
KP-45	A	O-52	0.65	0.55	0.10	楕円形		B 墓中位								
KP-46	C	P-39-31	1.12	0.12	0.17	不規形		B 墓上部								
KP-47	C	P-31	0.62	0.39	0.13	不規形		B 墓上位								
KP-48	A	G-52	0.54	0.44	0.08	證跡形		B 墓中位								
KP-49	A	G-52	0.49	0.46	0.06	證跡形		B 墓中位								
KP-50	A	I-47	0.41	0.34	0.07	不規形		B 墓中位								
KP-51	A	I-47	0.49	0.38	0.08	楕円形		B 墓下位								
KP-52																欠番
KP-53	A	G-51	1.03	0.62	0.07	楕円形		B 墓中位								
KP-54	A	G-51	0.65	0.40	0.05	楕円形		B 墓中位								
KP-55	A	G-51	(0.34)	0.22	0.05	楕円形		B 墓中位								
KP-56	A	F-49	0.48	0.32	0.08	楕円形		B 墓中位								
KP-57	A	F-G-49	0.94	0.40	0.07	不規形		B 墓中位								
KP-58	A	G-49	0.62	0.40	0.06	不規形		B 墓中位								
KP-59	A	G-49	0.75	0.40	0.07	不規形		B 墓中位								
KP-60	A	G-49	0.75	0.36	0.06	不規形		B 墓中位								
KP-61	A	G-49	0.75	0.50	0.07	不規形		B 墓中位								
KP-62	C	Q-34	0.63	0.30	0.10	楕円形		B 墓上位								
KP-63	C	P-Q-34	0.64	0.48	0.11	やや円形		B 墓上位								
KP-64	A	H-47	0.98	0.45	0.07	不規形		B 墓中位								
KP-65	A	G-47	0.64	0.43	0.09	楕円形		B 墓中位								
KP-66	A	H-47	0.94	0.39	0.08	楕円形		B 墓中位								
KP-67	A	F-51	1.03	0.76	0.09	楕円形		B 墓中位								

表 III-1 繩文時代遺構規模一覧(5)

遺構名	地区	位番	規模(m)			平面形	長軸方向	横断面	墳土	床面・構造	壁の立上り	遺物出土状況	時期	備考	調査者	
			長 軸	短 軸	深 床											
KF-68 A	J-43		0.72	0.65	0.11	ほぼ円形		Ⅲ層下位					縄周縁葉		吉田	
KF-69 A	J-43		0.60	0.34	0.10	やや円形		Ⅲ層下位					縄周縁葉		吉田	
KF-70 A	J-43/44		0.88	0.57	0.12	ほぼ円形		Ⅲ層下位					動物骨・魚骨あり		吉田	
KF-71 A	H-47		0.56	0.26	0.06	やや円形		Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-72 A	H-47		0.56	0.40	0.05	楕円形		Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-73 A	H-47		0.40	0.40	0.06	やや円形		Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-74 A	H-47	(0.87)		0.20	0.06	楕円形		Ⅲ層下位					縄周縁葉 Z.5所		村田	
KF-75 A	H-47		0.40	0.26	0.05	不規則		Ⅲ層中位					鳥居跡 KIP-1251のみ利用		村田	
KF-76 A	F-53	0.44	0.36	0.06	やや方形			Ⅲ層下位					縄周縁葉		村田	
KF-77 A	K-44	1.76	0.42	0.10	不規則			Ⅲ層下位					縄周縁葉		吉田	
KF-78 A	I-43	0.58	0.51	0.08	ほぼ円形			Ⅳ層上位					縄周縁葉		吉田	
KF-79 A	I-43	0.46	0.31	0.07	やや円形			Ⅳ層上位					縄周縁葉		吉田	
KF-80 A	G-47	0.49	0.35	0.07	楕円形			Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-81 A	G-47	1.03	0.18	0.07	楕円形			Ⅲ層上位					縄周縁葉 Z.5所		村田	
KF-82 A	G-47	0.56	0.37	0.07	楕円形			Ⅲ層上位					縄周縁葉		村田	
KF-83 A	G-48	0.96	0.54	0.15	楕円形			Ⅲ層中位					動物骨・魚骨あり		村田	
KF-84 A	H-48	0.43	0.37	0.06	やや方形			Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-85 A	H-48	0.50	0.30	0.06	不規則			Ⅲ層下位					動物骨・魚骨あり		村田	
KF-86 A	H-48	0.59	0.48	0.08	不規則			Ⅲ層中位					動物骨・魚骨あり		村田	
KF-87 A	H-43	1.27	0.70	0.06	半円形			B層上位					動物骨・魚骨あり		吉田	
KF-88															欠番	
KF-89 A	G-50/51	1.18	0.63	0.06	不規則			Ⅲ層下位					動物骨・魚骨あり		村田	
KF-90 A	G-50	0.75	0.58	0.06	ほぼ円形			Ⅲ層下位					動物骨・魚骨あり		村田	
KF-91 A	G-51	0.36	0.22	0.07	ほぼ円形			Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-92 A	G-51	0.53	0.46	0.05	やや方形			Ⅲ層下位					動物骨・魚骨あり		村田	
KF-93 A	G-51	0.88	0.33	0.09	ほぼ円形			Ⅲ層下位					動物骨・魚骨あり		村田	
KF-94 A	G-51	0.72	0.42	0.06	やや方形			Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-95 A	G-51	0.95	0.42	0.07	円形			Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-96 A	F-51	0.65	0.35	0.04	楕円形			Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-97 A	H-49	0.50	0.34	0.09	楕円形			Ⅲ層下位					縄周縁葉		村田	
KF-98 A	H-49	0.64	0.48	0.05	やや方形			Ⅲ層下位					縄周縁葉		村田	
KF-99 A	H-49	0.52	0.41	0.07	やや方形			Ⅲ層下位					縄周縁葉		村田	
KF-100 A	H-49	0.39	0.29	0.07	円形			Ⅲ層下位					縄周縁葉 KIP-251のみ利用		村田	
KF-101 A	H-49	0.40	0.34	0.05	円形			Ⅲ層下位					縄周縁葉		村田	
KF-102 A	H-49	0.36	0.27	0.06	楕円形			Ⅲ層上位					縄周縁葉 KIP-292のみ利用		村田	
KF-103 A	H-44	0.37	0.19	0.06	楕円形			Ⅲ層中位					縄周縁葉		吉田	
KF-104 A	G-44	0.61	0.36	0.11	不規則			Ⅲ層下位					縄周縁葉		吉田	
KF-105 A	G-30	0.69	0.29	0.09	やや円形			Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-106 A	G-30	0.45	0.36	0.06	不規則			Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-107 A	M-44	0.49	0.34	0.05	半円形内折			V層上位					縄周縁葉		吉田	
KF-108 C	N-44	0.46	0.39	0.06	半円形内折			V層上位					縄周縁葉		吉田	
KF-109 C	O-37	0.35	0.31	0.17	楕円三角形			V層上位					中国跡手		吉田	
KF-110														火垂		
KF-111														礎化層 欠番		
KF-112 A	G-30	0.63	0.31	0.06	半円形内折			Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
KF-113 A	G-30	0.36	0.23	0.05	椭円形			Ⅲ層中位					縄周縁葉		村田	
裏石のS)																
KS-3 C	R-31	0.27	0.23	0.17	楕円形			Ⅳ層上位					たたき石、鉛熱 壁あり		吉田	
柱穴(小ピット)(SP)																
SP-2 A	G-47	0.23/0.09	0.2/0.09	0.19	円形			B層上位		尖る 金			縄周縁葉	既成のもの打ち込む	村田	
SP-3 A	G-46	0.15/0.06	0.15/0.06	0.14	円形			B層上位		尖る 金			縄周縁葉	既成のもの打ち込む	村田	
SP-4 A	H-46	0.18/0.07	0.18/0.07	0.17	円形			B層上位		尖る 金			縄周縁葉	既成のもの打ち込む	村田	
SP-5 A	H-46	0.21/0.04	0.2/0.04	0.17	円形			B層上位		尖る 金			縄周縁葉	既成のもの打ち込む	村田	

表III-2 繩文時代遺構出土器一覧(1)

擇因番号	掲載番号	写真 図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図II-1	1	図版71	KH-4	床-1	5	Ⅱ b	深鉢	口~崩	内面に縄文あり	拓本166
図II-54	1	図版71	KP-80	覆土2	1	V c	深鉢	口継	口継部直下ナデ	拓本90
図II-54	2	図版71	KP-80	覆土2	1	V c	深鉢	口継		拓本91
図II-54	3	図版71	KP-81	覆土2	2	V c	深鉢	口継		拓本92
図II-54	4	図版71	KP-81	覆土1	1	V c	深鉢	口継	口肩上~内面赤彩	拓本172
図II-54	5	図版71	KP-81	覆土2	1	V c	浅鉢	口継		拓本93
図II-54	6	図版71	KP-81	覆土2	2	V c	浅鉢	口継		拓本94
図II-54	10	図版72	KP-83	覆土1	1	V c	深鉢	口継		拓本95
図II-54	11	図版72	KP-85	覆土1	1	V c	深鉢	崩	無文帯に縄線	拓本96
		G-50			1					
		G-51			1					
		H-52			1					
		I-52			1					
図II-54	15	図版72	KP-91	覆土1	1	V c	深鉢	口継		拓本97
図II-55	17	図版73	KP-92	覆土1	1	V c	深鉢	崩	横走沈線	拓本98
図II-55	19	図版73	KP-94	覆土1	1	Ⅱ b	深鉢	口継	口唇断面角型 内面磨き	拓本166
		K-46			4					
図II-55	20	図版73	KP-94	覆土1	6	Ⅱ b	深鉢	口継	T9と同一個体	拓本168
図II-55	21	図版73	KP-94	覆土1	1	V c	深鉢	口継	貫通孔	拓本99
		K-46			1					
図II-55	25	図版73	KP-101	覆土1	3	V c	浅鉢	口継		拓本132
図II-55	26	図版73	KP-101	覆土1	1	V c	浅鉢	口継	貫通孔	拓本101
図II-55	27	図版73	KP-101	覆土1	1	V c	浅鉢	口継	口継や折り返し	拓本131
図II-55	28	図版73	KP-101	覆土1	1	V c	深鉢	口継		拓本100
図II-55	29	図版73	KP-101	覆土1	1	V c	浅鉢	口継		拓本102
図II-55	31	図版74	KP-113	覆土2	18	V c	深鉢	崩		拓本161
図II-56	34	図版74	KP-121	覆土1	1	V c	深鉢	口継		拓本103
図II-56	35	図版75	KP-124	覆土1	5	V c	深鉢	口継	胸部屋や裏に出す	拓本104
図II-56	36	図版75	KP-126	覆土1	1	V c	深鉢	口継		拓本105
図II-56	37	図版75	KP-126	覆土1	1	V c	浅鉢	口継		拓本106
図II-56	38	図版75	KP-128	覆土1	9	V c	深鉢	口継	口継部に段あり	拓本108
図II-56	39	図版75	KP-128	覆土1	2	V c	浅鉢	口継	太い棒状工具による圧痕	拓本109
図II-56	40	図版75	KP-128	覆土1	1	V c	深鉢	口継	動物意匠?	拓本107
図II-56	44	図版75	KP-129	覆土1	1	V c	深鉢	口継		拓本110
図II-56	45	図版75	KP-130	覆土1	2	V c	深鉢	口継	裏裏に赤彩	拓本173
図II-56	46	図版76	KP-130	覆土1	1	V c	深鉢	口継	47と同一個体 工字文	拓本111
		F-52			1					
		F-53			1					
図II-56	47	図版76	KP-130	覆土1	3	V c	深鉢	口継	46と同一個体 工字文	拓本111
		E-53			1					
図II-56	48	図版76	KP-130	覆土1	8	V c	浅鉢	崩	内面にボタン状貼付	拓本162
図II-57	49	図版76	KP-131	覆土1	1	Ⅱ b	深鉢	口継		拓本169
図II-57	50	図版76	KP-131	覆土2	2	Ⅱ b	深鉢	口継	無文帯の上下に縄線	拓本170
図II-57	52	図版76	KP-135	覆土1	4	V c	浅鉢	口~底		拓本112
図II-57	53	図版76	KP-138	覆土1	3	V c	浅鉢	口継	上げ底気味	拓本114
図II-57	54	図版76	KP-138	覆土1	1	V c	浅鉢	口~崩		拓本113
図II-57	55	図版76	KP-138	覆土1	1	V c	浅鉢	口継	口継内側に折り返し	拓本114
図II-57	56	図版76	KP-138	覆土1	5	V c	浅鉢	口継	内面に縄文あり	拓本115
図II-57	58	図版77	KP-139	覆土1	17	V c	深鉢	口~崩		復元20
図II-57	59	図版77	KP-139	覆土1	1	V c	浅鉢?	口継	貫通孔	拓本116
図II-57	60	図版77	KP-139	覆土2	1	V c	深鉢	口継	沈線+縄端莊痕	拓本117
図II-58	64	図版77	KP-139	覆土1	11	V c	深鉢	口~崩		拓本118
		H-46			3					
		I-47			1					
図II-58	65	図版77	KP-142	覆土1	17	V c	深鉢	口~崩	縄端莊痕で区画された無文帯	復元15
		F-53			6					
		F-54			19					
		F-55			1					
図II-58	66	図版78	KP-140	覆土1	1	V c	深鉢	口継		拓本119
図II-58	67	図版78	KP-147	覆土1	1	V c	浅鉢?	口継	内面に沈線	拓本120
図II-58	69	図版78	KP-152	底	2	V b	浅鉢	口継	大洞C ₁ 相当 周辺遺構・包含層から同一個体出土	拓本171
図II-59	70	図版78	KP-155	Ⅲ b	1	V c	深鉢	口~崩		復元16
		KH-2			4					
		KF-88			1					
		F-52			41					
		F-52			10					
		F-53			9					

表 III-2 繩文時代遺構出土器一覧(2)

擇図番号	掲載番号	写真 図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図 II-59	70	図版78	F-54	II	1	V c	深鉢	口～肩	頭部に環状文 文様部は2段 十字：直線による2方向に擴張する沈線と輪線 口部部は割込み、縫隙、無条痕 実紀部から垂下する付帯	復元16
			G-52	III b	6					
			H-53	III	1					
			H-54	III	1					
			B-52	流路8	1					
			黒	1					2004年度報告	
			黒	1					2005年B地区	
			KP-155	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	5条の縄線	拓本121
			KP-155	II b	2	V c	深鉢	口縁	動物意匠、無?	
			KP-155	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本122
			KP-155	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本122
図 II-60	75	図版78	KP-156	覆土1	3	V c	深鉢	口縁	弧状文	拓本124
			KP-156	覆土1	2	V c	浅鉢	口縁		
			KP-156	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-156	覆土3	68	V c	深鉢	肩		
			KP-156	覆土1	42	V c	深鉢	口～底	赤峰に赤彩塗布	
			KP-167	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	折り返し口縁	
			KP-166	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	3条の縄線	
			KP-166	覆土1	1	V c	深鉢	底	摩滅	
			KP-166	覆土2	10					復元17
			KP-166	覆土2	1	V c	異形	口～底	双口土器	復元26
図 II-61	84	図版80	KP-166	覆土2	1	V c	深鉢	口縁		拓本126
			KP-201	覆土1	7	V c	深鉢	口～肩		
			KH-3	壁上げ土	1					
			G-49	III	26					
			G-49	III b	1					
			G-49	III	46					
			KP-215	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-215	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-215	覆土1	2	V c	深鉢	口縁	横走沈線	
			KP-210	覆土1	3	V c	深鉢	口縁	細い縄線	
図 II-62	87	図版81	KP-213	覆土1	1	V c	深鉢?	口縁	赤彩土器	拓本130
			KP-214	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-225	覆土1	10	V c	浅鉢	口～肩	縄端圧痕による削み	
			KP-227	覆土1	2	V c	浅鉢	口～肩		
			KP-233	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	細い縄線	
			KP-235	覆土1	7	V c	深鉢	底	上げ底気味	
			KP-100	覆土1	1					
			F-49	III	1					
			KP-239	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	角柱状工具による削み	
			KP-245	覆土1	1	V c	深鉢	肩	網織文	
図 II-63	90	図版83	KP-246	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本139
			KP-246	覆土1	1	V c	深鉢	底	やや張り出す	
			KP-249	覆土1	3	V c	深鉢	底	丸底気味	
			KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-250	覆土1	13	V c	深鉢	口～肩	縄端圧痕で区画された無文帯	
図 II-64	104	図版83	KP-259	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本148
			KP-206	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-209	覆土1	2	V c	深鉢	口縁		
			KP-210	覆土1	3	V c	深鉢	口縁		
			KP-213	覆土1	1	V c	深鉢?	口縁		
			KP-214	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-225	覆土1	10	V c	浅鉢	口～肩	縄端圧痕による削み	
			KP-227	覆土1	2	V c	浅鉢	口～肩		
			KP-233	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-235	覆土1	7	V c	深鉢	底	内面に3条の縄線と刺突	
図 II-64	104	図版83	KP-100	覆土1	1					拓本156
			F-49	III	1					
			KP-239	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	角柱状工具による削み	
			KP-245	覆土1	1	V c	深鉢	肩	網織文	
			KP-246	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		
			KP-246	覆土1	1	V c	深鉢	底	やや張り出す	
			KP-249	覆土1	3	V c	深鉢	底	丸底気味	
			KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-250	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
図 II-64	118	図版84	KP-254	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		拓本147
			KP-263	覆土1	1	V c	浅鉢	口～肩	補修孔あり	
			G-47	III	2					
			G-48	III	6					
			H-47	III	4					
			H-49	III	1					
			J-50	III	1					
			KP-263	覆土1	4	V c	深鉢	口縁	口縁部直下はナメによる無文帯	
			KP-270	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		
			KP-270	覆土1	1	V c	浅鉢	口縁		
図 II-65	126	図版85	KP-271	覆土1	2	V c	深鉢	口縁	127・128と同一個体	拓本157
			G-50	III	3					
			G-50	N	1					
			H-53	III	1					
			KP-271	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	126・128と同一個体	
			KP-271	覆土2	1	V c	浅鉢	口縁	126・127と同一個体	
			KP-271	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	126・127と同一個体	
			KP-271	覆土1	1	V c	深鉢	口縁	126・127と同一個体	
			KP-271	覆土1	2	V c	深鉢	口縁	126・127と同一個体	
			KP-271	覆土1	2	V c	深鉢	口縁	126・127と同一個体	

表III-2 繩文時代遺構出土揭露土器一覧(3)

掲出番号	掲載番号	写真 図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図II-65	131	図版66	KP-272 F-49 F-50 G-49	覆土1 III b III III	17 1 4 2	V c	深鉢	口～崩	「ハ」の字状の刻み	拓本164
図II-66	132	図版87	KP-283	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本155
図II-66	133	図版87	KP-283 KP-283 G-50	覆土1 覆土1 III	2 1 2	V c	浅鉢	口～崩	133～137は同一個体	拓本163
図II-66	134	図版87	KP-283	覆土1	4	V c	浅鉢	口～崩		拓本163
図II-66	135	図版87	KP-283 I-51	覆土1 III	1 1	V c	浅鉢	口縁		拓本163
図II-66	136	図版87	G-50	III	1	V c	浅鉢	口縁		拓本163
図II-66	137	図版87	KP-283	覆土1	2	V c	浅鉢	口縁		拓本163
図II-66	138	図版87	KP-285	覆土1	1	V c	深鉢	口縁		拓本154
図II-66	141	図版88	KF-67		2	V c	深鉢	口縁		拓本158
図II-66	145	図版88	KF-88		1	V c	浅鉢	口縁	口唇上に1条の斜線	拓本159
図II-66	146	図版88	KF-104	中	1	V c	深鉢	口縁		拓本160

表III-3 繩文時代遺構出土揭露石器等一覧

図番号	掲載番号	図版番号	器種名	遺構名	出土層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石質	備考
図III-54	7	図版71	スクリーパー	KP-81	覆土2 (3.7)	(3.4)	1	(12.7)	obs.		
図III-54	8	図版71	石鏸	KP-82	トレンチ	2.2	1	0.25	0.4	obs.	
図III-54	9	図版71	石鏸	KP-82	トレンチ	2.2	1	0.4	0.6	obs.	
図III-54	12	図版72	スクリーパー	KP-85	覆土1	3.5	3.2	1.1	11.9	obs.	
図III-54	13	図版72	スクリーパー	KP-85	覆土1	4	3.4	0.8	7.9	obs.	
図III-54	14	図版72	加工痕ある櫛	KP-85	覆土1	(7.6)	(12.4)	(9.6)	(737.6)	安山岩	溝状の加工あり
図III-54	16	図版72	石皿	KP-91	覆土1	36.8	30.0	22.4	34,700.0	砂岩	
図III-55	18	図版73	たたき石	KP-93	覆土1	11.4	5.1	4	288.3	安山岩	
図III-55	22	図版73	すり石	KP-96	覆土1	9.8	16.8	6.3	1,236.8	安山岩	
図III-55	23	図版73	石鏸	KP-100	覆土1	(2.1)	1.05	0.3	(0.5)	obs.	
図III-55	24	図版73	石錐	KP-100	覆土1	4.7	1.8	0.9	5.8	obs.	
図III-55	30	図版74	台石	KP-102	覆土2	21.8	17.4	11.7	6200	安山岩	
図III-55	32	図版74	スクリーパー	KP-113	覆土1 (3.3)	(2.8)	(1.3)	(8.8)	obs.		
図III-56	33	図版75	台石	KP-117	覆土1	19.0	14.0	9.4	3800	安山岩	
図III-56	41	図版75	石鏸	KP-128	覆土1	2.1	1.05	0.3	0.5	obs.	
図III-56	42	図版75	石鏸	KP-128	覆土1	2.5	1	0.3	0.5	obs.	
図III-56	43	図版75	石製品	KP-128	覆土1	3.7	1.5	0.5	2.2	obs.	
図III-57	51	図版76	砾石	KP-131	覆土1 (13.0)	(5.6)	(5.5)	(266)	砂岩		
図III-57	57	図版76	石鏸	KP-138	覆土1	2.3	1.05	0.3	0.5	obs.	
図III-57	61	図版77	石錐	KP-139	覆土1 (2.5)	1.4	0.7	(3.0)	頁岩		
図III-57	62	図版77	石錐	KP-139	覆土2	5.1	2.85	1.2	13.4	obs.	被熱
図III-57	63	図版77	石錐	KP-139	覆土1	4.1	2.6	0.7	4.3	obs.	被熱
図III-58	68	図版78	石斧	KP-151	覆土1 (6.2)	7.2	(3.2)	(236.4)	泥岩		
図III-60	78	図版79	石皿	KP-163	覆土1	21.3	22.0	17.1	10,700.0	安山岩	
図III-62	84	図版81	たたき石	KP-199	覆土1	12.0	4.4	3.6	312.1	安山岩	
図III-62	85	図版81	スクリーパー	KP-202	覆土1	3.4	2.6	0.75	5.9	obs.	
図III-62	91	図版81	スクリーパー	KP-210	覆土1	2.4	2.8	1.0	5.7	obs.	
図III-62	95	図版82	スクリーパー	KP-214	覆土1	3.35	3.0	0.9	10.0	obs.	
図III-62	96	図版82	台石	KP-214	覆土1	18.3	17.3	8.4	3200	安山岩	
図III-63	99	図版83	北海道式石冠	KP-234	覆土1	9.3	11.4	6.2	714.7	安山岩	
図III-63	102	図版83	たたき石	KP-235	覆土1	12.5	7.8	3.7	457.6	砂岩	
図III-63	103	図版83	石皿	KP-242	覆土1	32.0	24.3	12.2	12,200.0	安山岩	
図III-64	108	図版83	石斧	KP-247	覆土1 (7.3)	4.9	1.2	(74.6)	緑色泥岩		
図III-64	115	図版84	石鏸	KP-250	覆土1	2.0	0.9	0.3	0.4	obs.	
図III-64	119	図版85	石斧	KP-262	覆土1	10.0	4.1	1.6	102.2	obs.	
図III-64	122	図版85	たたき石	KP-263	覆土1	14.6	5.9	3.1	398.2	砂岩	
図III-64	125	図版85	石鏸	KP-274	覆土1	2.3	1.0	0.35	0.5	obs.	
図III-66	139	図版87	石鏸	KP-286	覆土1	2.6	1.15	0.3	0.6	obs.	
図III-66	140	図版87	すり石	KP-289	覆土1	7.7	11.9	6.4	644.2	安山岩	
図III-66	142	図版88	スクリーパー	KF-72	覆土1 (3.9)	2.3	0.7	(5.6)	obs.	被熱	
図III-66	143	図版88	棒状原石	KF-72	覆土1	4.65	1.35	0.75	5.0	obs.	
図III-66	144	図版88	石錐	KF-83	覆土1	4.4	1.5	1.3	4.6	obs.	
図III-66	147	図版88	くぼみ石	KS-3		(10.5)	(8.3)	(3.8)	400.0	砂岩	被熱
図III-66	148	図版88	平打製石器	KS-3		9.5	(9.7)	(4.6)	400.0	砂岩	被熱

表III-4 繩文時代遺構出土遺物一覽(1)

表 III-4 繩文時代遺構出土遺物一覽(2)

IV章 撥文時代の遺構と遺物

1 概要

検出した遺構は、竪穴住居跡2軒と集石2カ所である。出土した土器から、いずれも8世紀中葉のものと考えられる。住居跡は2軒とも、主柱穴が外に4本あるいわゆる「カリンバ型」と呼ばれるものである。竈は造りつけで、煙道はトンネル式である。南壁に設置されやや南西隅に寄っている。覆土に多量の炭化物、焼土粒を含み、被熱し硬化した土が見られることから土葺きの屋根を持っていたと考えられる。焼失住居である。床面に「すのこ」状や「ござ」状を呈する炭化材が出土している。出土した遺物から2軒は同時に存在したものと推定している。放射性炭素年代測定では、2軒とも 1290 ± 40 yrBP の値を得た。

2カ所の集石は、KH-3の南側で検出され、これと関連するものと考えられる。 (村田)

(1) 竪穴住居跡

KH-2 (図IV-1~9、図版89~102)

位置・立地：F・G・H-48・49 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：4.80 / 4.28 × 4.16 / 3.95 × 0.53m 平面形：方形

確認・調査：地表面で方形の凹みとして確認した。凹みの周囲に周堤状の盛り上がりが認められ、掘上げ土が良好に残存することが予想されたため、凹みの周囲を含めて直交する土層観察用のセクションベルトを設定した。アイヌ文化期の遺構が存在する可能性があったので精査を行ったが、遺構は検出されなかった。トレント調査を行い、平坦な面と明瞭な立ち上がりが認められたので、住居跡と判断した。竈周辺の土壤をサンプリングし、フローテーション作業を行っている。また、床面から採取した炭化材の年代測定と炭化樹種同定を行っている。

覆 土：上位は自然堆積層(覆土1~3層)で、下位は焼土粒、炭化物を大量に含む土が床面まで堆積している。床面に住居の構造材と思われる炭化材の拡がりが認められた。焼失住居である。覆土中に被熱し赤色硬化した土や焼土が見られることから、土葺きの屋根をもっていたと考えられる。

掘 上 ゲ 土：平面形は円形を呈し、竪穴を周囲している。南東側が厚く、南西側が薄い。掘上げ土除去後のⅢb層上面では南東側が低くなっている。掘上げ土を竪穴の周囲に盛る際に、高さが同じになるよう調整したと考えられる。

床 壁：ほぼ平坦で、壁は急に立ち上がる。

付 属 遺 構：南側の壁や西よりに灰白色粘土を用いた造り付けの竈がある。遺存状況は上から押し潰されたような状態である。火床は浅い掘り込みがある。煙道はトンネル式で、天井部はⅣ層・V層の崩落が激しい。焚口と煙出し部分は竈の構築材と思われる白粘土で閉塞している。

南西隅の外側で、内傾するピットが確認できた。他の三隅は木根の搅乱で確認できなかったが、外側に4本の柱穴をもつ竪穴と考えられる。南壁の外側で杭状の小ピットが3基検出された。掘上げ土の上から打ち込まれてあり、出入り口に関連する施設の可能性がある。

遺物出土状況：北西の隅から口縁部が打ち欠かれた甕が一個体出土した。北東の隅から砥石と石皿が出土した。南東の隅から杯が出土した。南西の隅から紡錘車が出土した。竈周辺から底部のみの甕の破片が出土し、閉塞された煙道の中からは高杯の破片がまとめて出土している。縄文時代の遺構を壊

KH-2

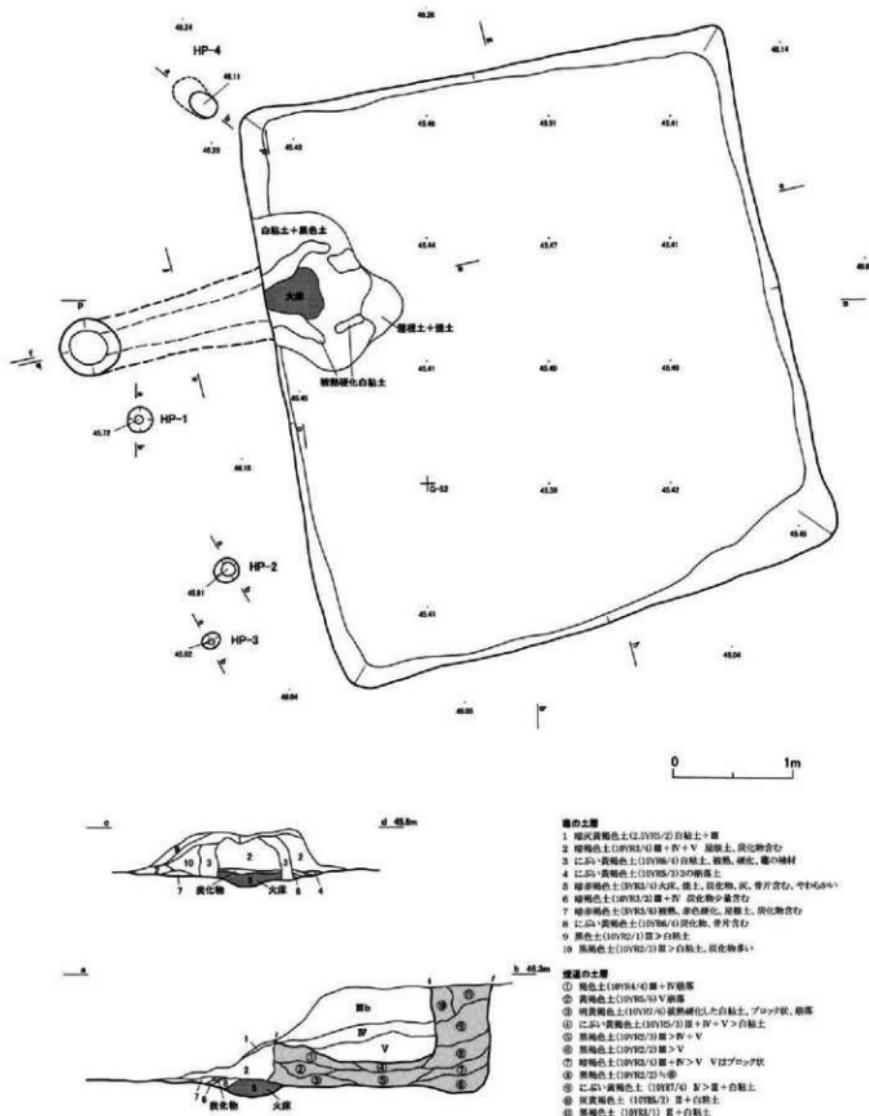


図 IV-1 穂穴住居跡 KH-2(1)

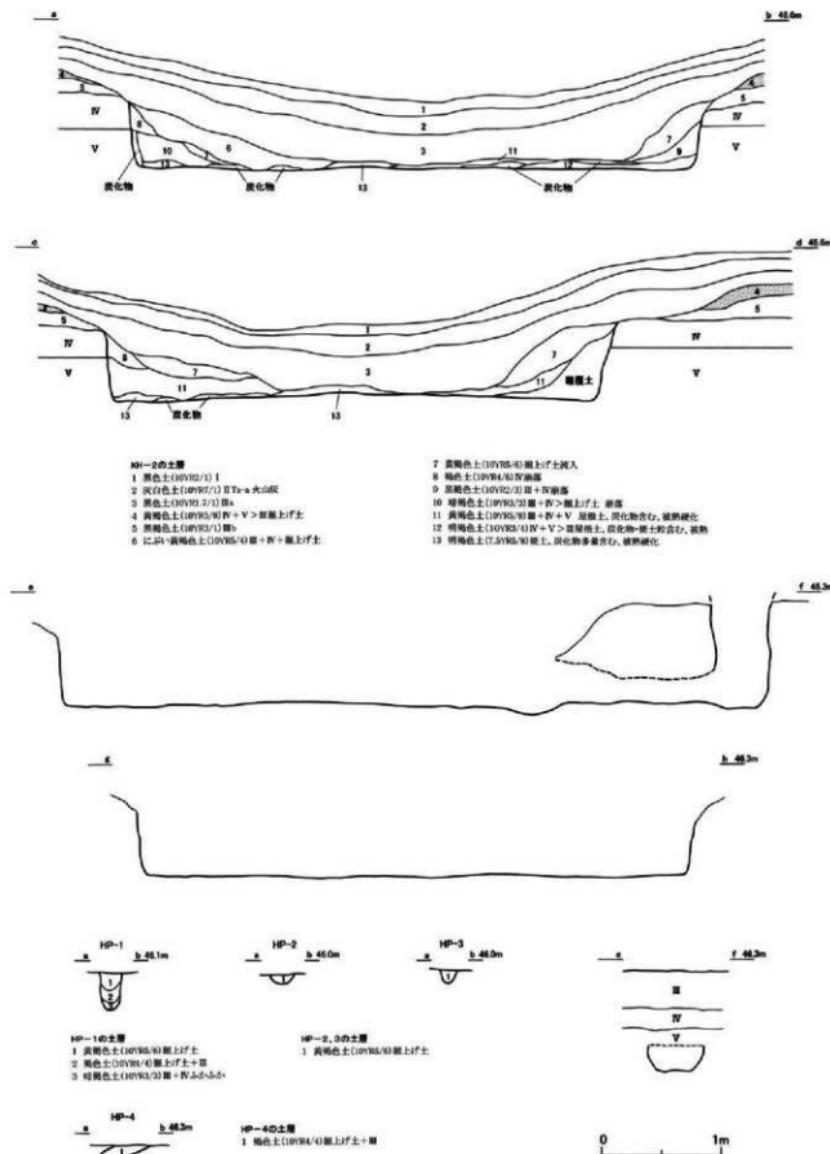
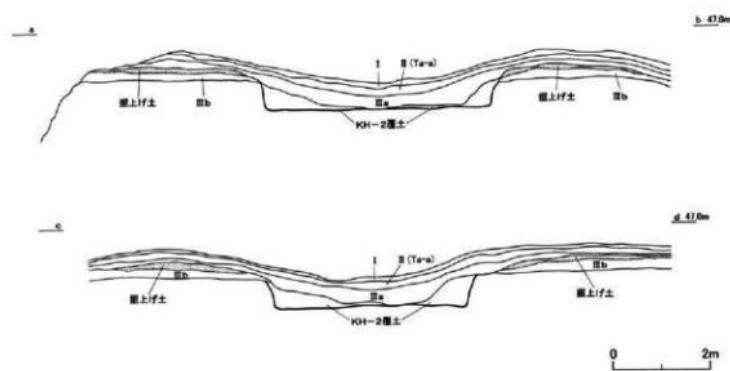
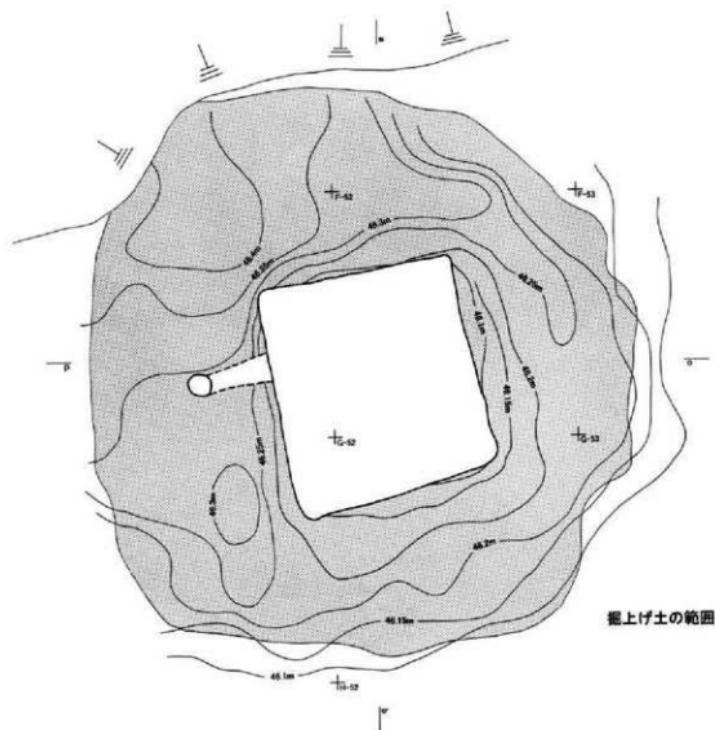
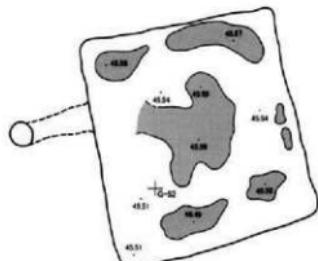
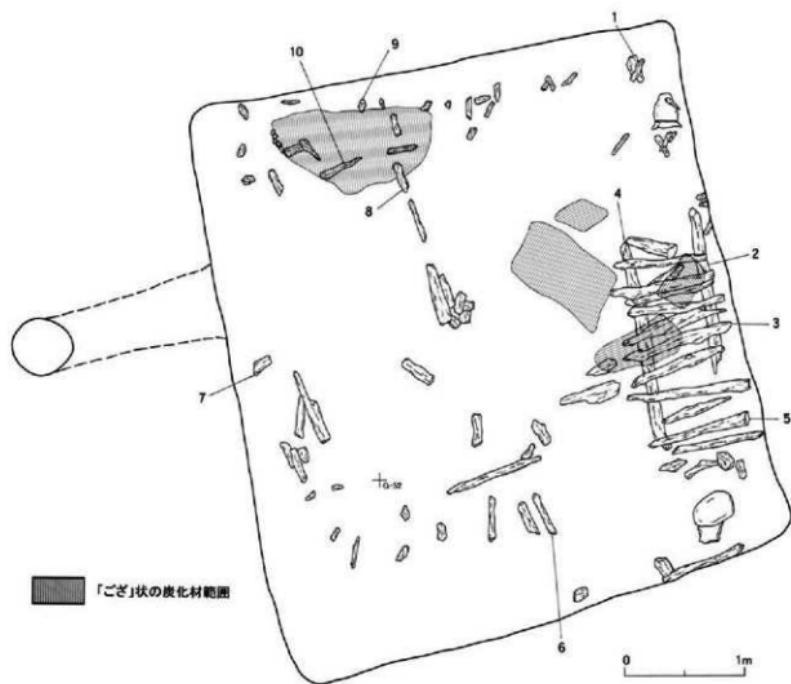


図 IV-2 穂穴住居跡 KH-2(2)



図IV-3 穂穴住居跡 KH-2(3)

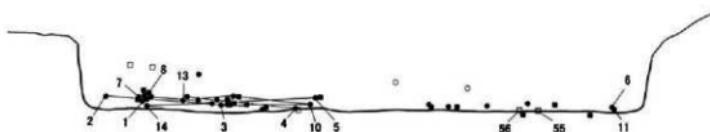
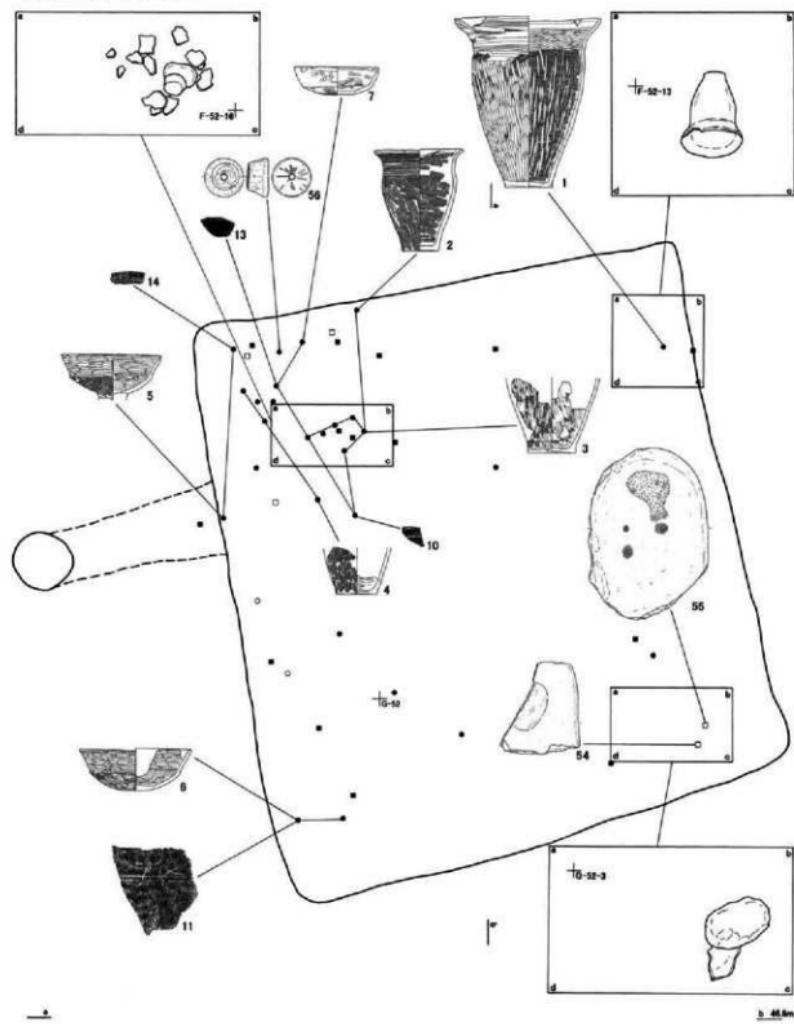


炭化樹種同定結果

- 試料番号1 コナラ属 コナラ亜属 コナラ属 *Quercus rubra*, *Quercus sect. Prima* ブナ科
- 試料番号2 コナラ属 コナラ亜属 コナラ属 *Quercus rubra*, *Quercus sect. Prima* ブナ科
- 試料番号3 コナラ属 コナラ亜属 コナラ属 *Quercus rubra*, *Quercus sect. Prima* ブナ科
- 試料番号4 コナラ属 コナラ亜属 コナラ属 *Quercus rubra*, *Quercus sect. Prima* ブナ科
- 試料番号5 コナラ属 コナラ亜属 コナラ属 *Quercus rubra*, *Quercus sect. Prima* ブナ科
- 試料番号6 コナラ属 コナラ亜属 コナラ属 *Quercus rubra*, *Quercus sect. Prima* ブナ科
- 試料番号7 コナラ属 コナラ亜属 コナラ属 *Quercus rubra*, *Quercus sect. Prima* ブナ科
- 試料番号8 コナラ属 コナラ亜属 コナラ属 *Quercus rubra*, *Quercus sect. Prima* ブナ科
- 試料番号9 コナラ属 コナラ亜属 コナラ属 *Quercus rubra*, *Quercus sect. Prima* ブナ科
- 試料番号10 コナラ属 コナラ亜属 コナラ属 *Quercus rubra*, *Quercus sect. Prima* ブナ科

図 IV- 4 穂穴住居跡 KH- 2(4)

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-



図IV-5 穂穴住居跡 KH-2(5)

して作られているため、覆土上位の流入土や掘上げ土からは、縄文時代晚期の土器片や石器が多く出土した。

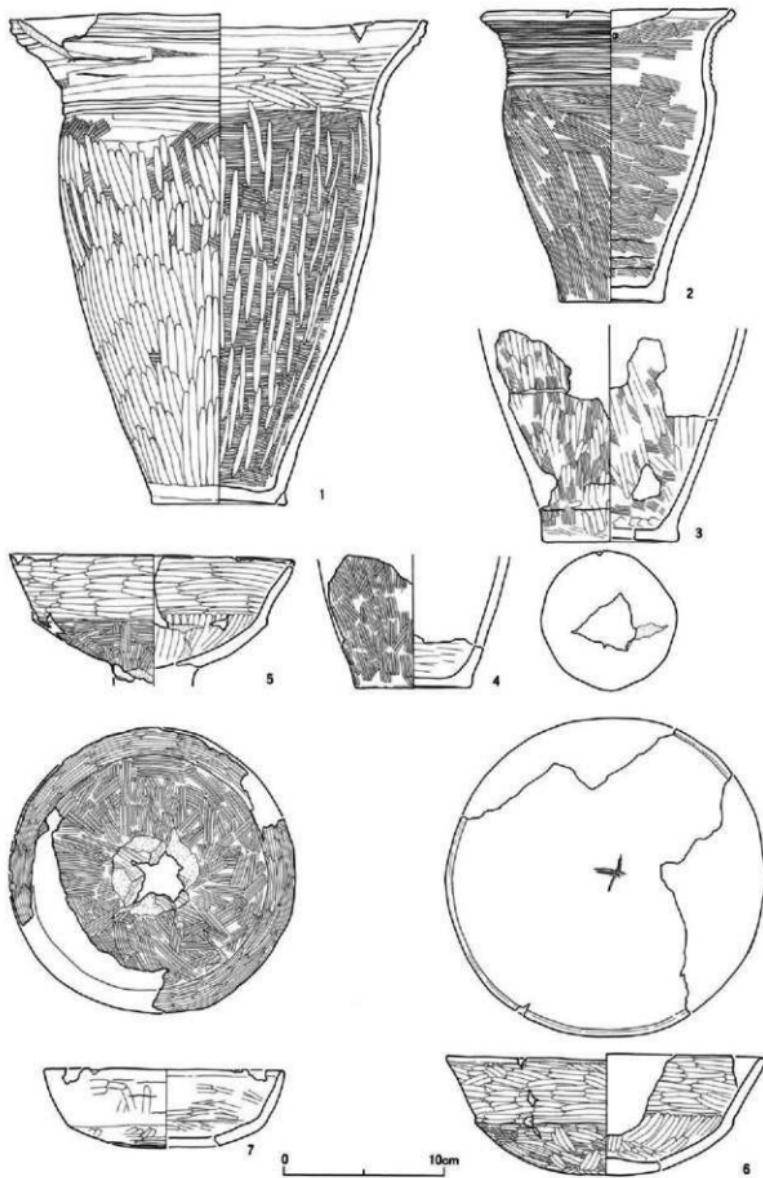
炭化材は北壁と西壁に「すのこ」状のまとまりが見られ、その上に「ござ」状の敷物が確認できた。中央付近から放射状に出土したものは、屋根材の一部と考えられる。壁際で垂直に立っているものが見られた。土留めの板かそれを留める杭と考えられる。炭化材の樹種同定では、使用された材は、すべて「コナラ」を使用したものという結果が出ている。

時 期：出土したⅦ群土器から、8世紀中葉と考えられる。

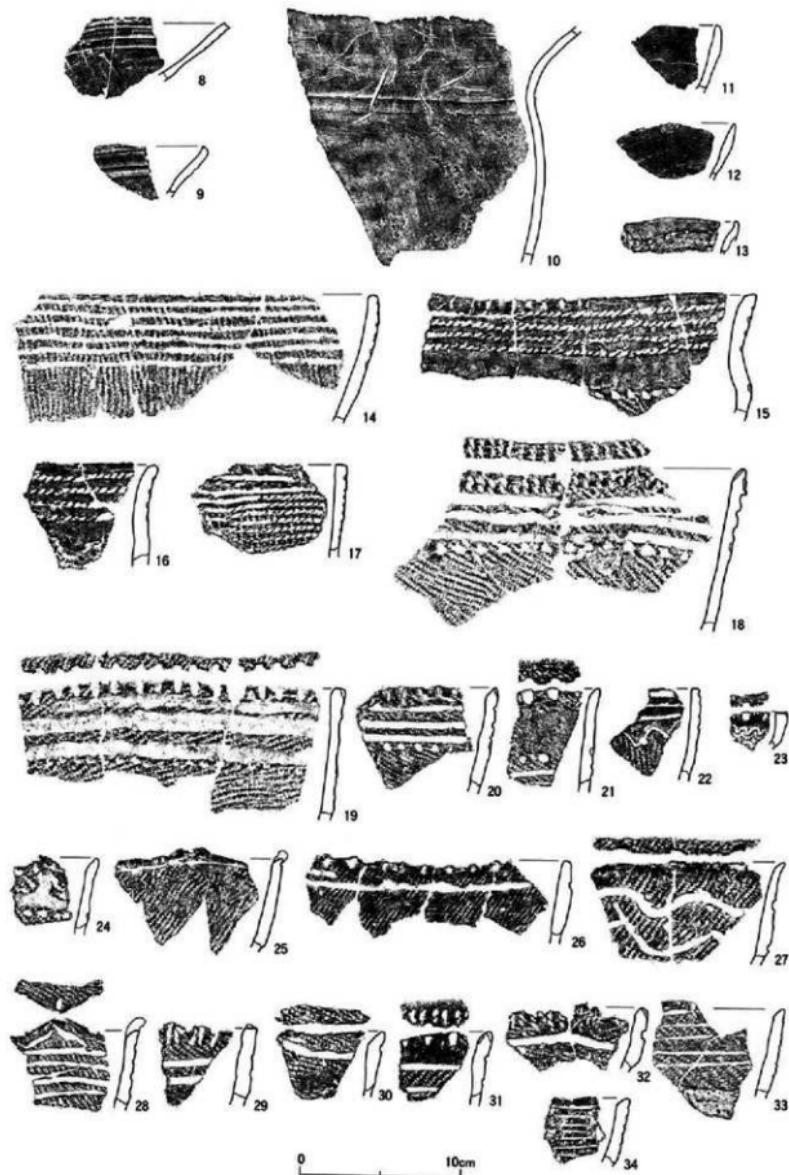
遺 物：土器 1~13はⅧ群土器。1は北西の壁際床面から出土した。口縁部の一部が打ち欠かれている。口縁部は外反し、体部上位はやや張り出す。器面調整は口縁部がナデ、体部はハケメ後ヘラミガキである。2は竈の周辺から出土した。口縁部が外反する。口縁部から頸部にかけて横走沈線をもつ。器面調整は内外面ともハケメである。3・4は甕の底部破片。3は穿孔されている。いずれも竈の周辺から出土した。5は高杯。破片の一部が閉塞された煙道の中から出土した。外面の調整はヘラミガキとハケメである。内面はヘラミガキ後に黒色処理されている。6・7は杯。体部に段をもつ。6は内面の底に十字状の刻みがある。内面は黒色処理が施されている。8・9は甕の口縁部破片。10は体部から頸部へかけての甕の破片。南東隅の床面から出土した。器面調整はヘラミガキである。11~13は杯の口縁部破片。12の内面は黒色処理が施されている。14~44はⅨ群土器。大半が掘上げ土からの出土である。元はKH-2の位置にあった縄文時代晚期の遺構または包含層の遺物と考えられる。16~17は縄線文が施されるもの。14の口唇断面は丸型を呈する。15・16は同一個体。口縁部の縄線文の下位に無文帯をもち、棒状工具による刺突列で区画される。口唇部の一部に刻みが加えられている。18~21は口縁部直下に3条の沈線が廻り、刺突列で区画されている。18と20の刺突は棒状工具で斜めに施文されている。21は口縁部はナデ調整で無文帯となる。22・23は波縄文が見られるもの。24は指頭によると思われる太い沈線の周りを刺突で埋めたもの。26の口唇部の刻みは縄端圧痕によるもの。28は突起部に沈線で三角形が描かれている。29の口唇部は外側から縄圧痕、内側から棒状工具による刻みが加えられている。31の口唇部は外側から棒状工具、内側から縄圧痕による刻みが加えられている。33・35は縄線で弧状の文様が描かれている。36の口唇部内面は竹管状工具による刺突列が廻る。40は口唇部の内外の両方から棒状工具による刻みが付けられている。42の口唇断面は角型を呈する。43の口唇直下はなで調整によって無文部となっている。44は縄文のみが施された浅鉢。口唇部の内外の両方から棒状工具による刻みが付けられている。45は大形の浅鉢。口縁部内面は括弧文と竹管状工具による刺突列で文様が描かれている。括弧文の沈線部分は赤彩顔料が塗布されている。

石 器 等：46~52は掘上げ土またはトレンチ出土のもので、縄文時代の遺物と考えられる。53~56は床面から出土し、炭化物やタール状のものが付着していることから、住居に伴うものと考えられる。特に記載がない限り、剥片石器の石質は黒曜石である。46・47は石鎚。返しが明瞭なもの。48は頁岩製の石錐。49は頁岩製のつまみ付きナイフ。尖頭部をもつもの。50は石製品に分類した。2カ所に抉りの加工が施されている。51は泥岩製の石斧。全面研磨されている。52は軽石製の砥石で、細い溝が1カ所あるもの。53は偏平礫の平坦面を利用したすり石。54は石皿。割れ面に炭化物の付着が見られることから、消失時にはすでに破損していたと考えられる。55は敲打痕と凹みをもつもの。56は土製の紡錘車。側面はヘラケズリで仕上げられている。

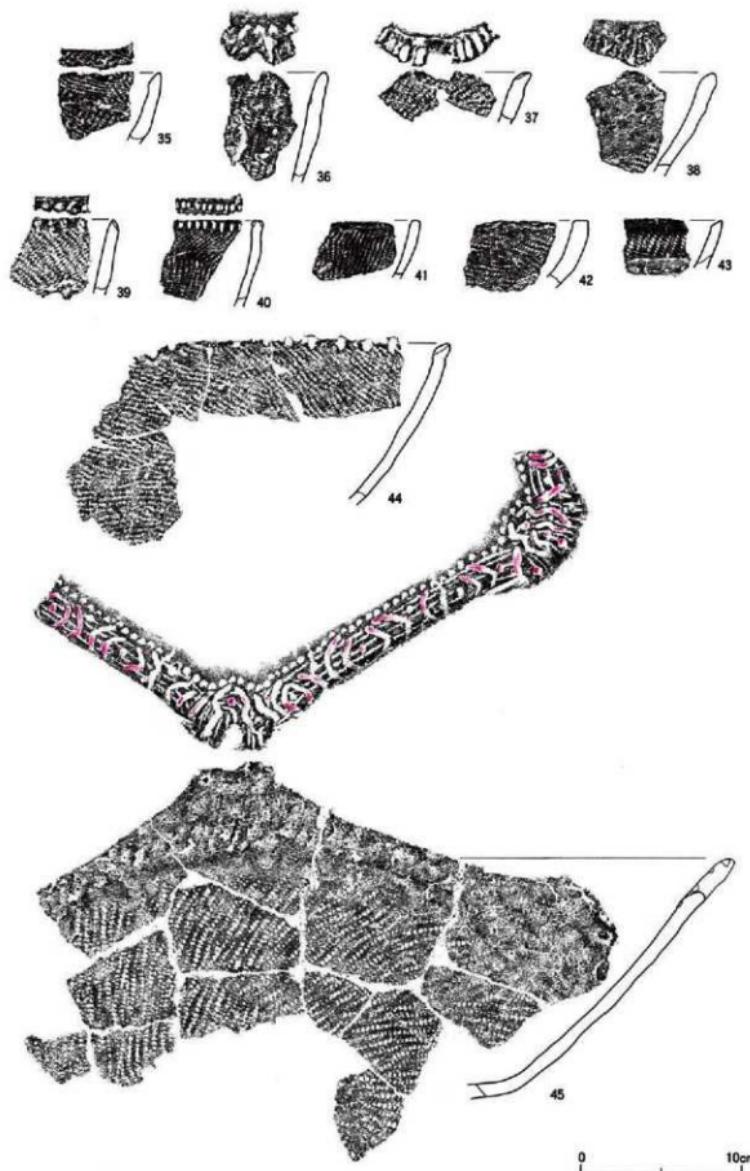
(村田)



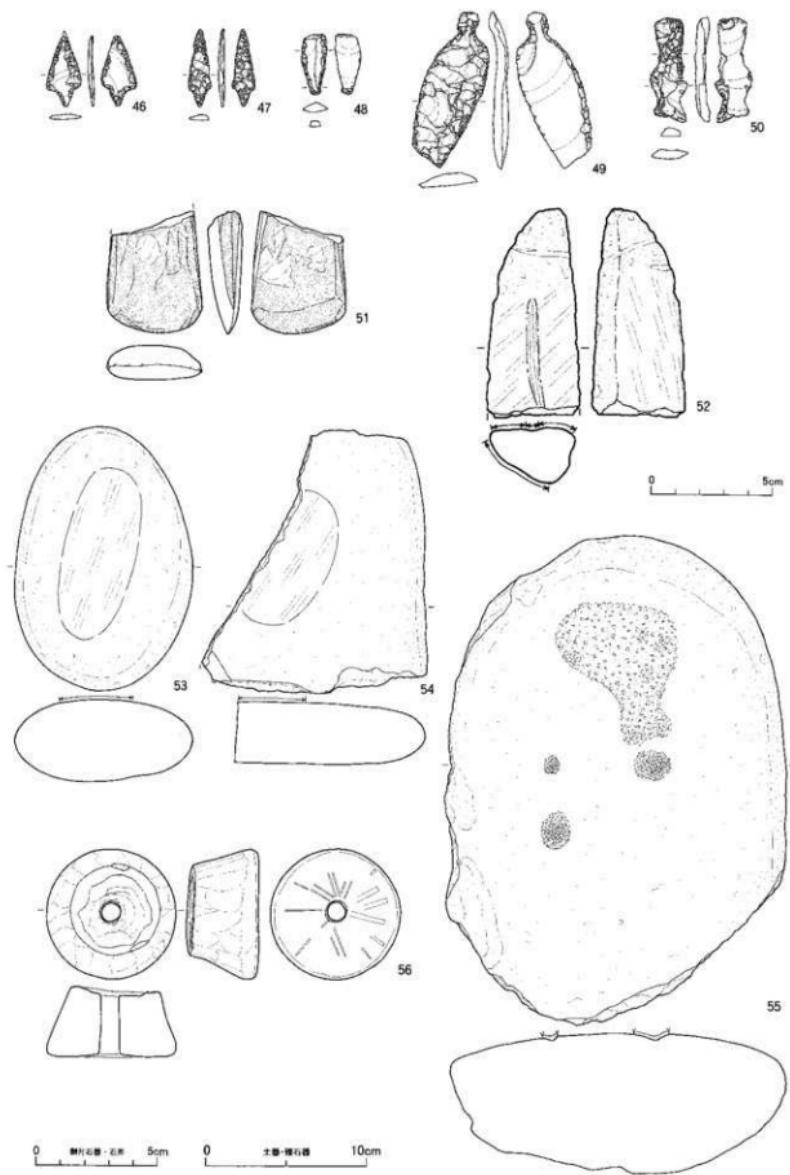
図IV-6 KH-2出土の遺物(1)



図IV-7 KH-2出土の遺物(2)



図IV-8 KH-2出土の遺物(3)



図IV-9 KH-2出土の遺物(4)

KH-3 (図IV-10~18、図版103~114)

位置・立地：F-G-51・52 標高45.8m付近の平坦面。

規 模：5.43×5.07×4.87×4.61×0.8m 平 面 形：方形に近い菱形

確認・調査：地表面で方形の凹みとして確認した。凹みの周囲に周堤状の盛り上がりが認められ、掘上げ土が良好に残存することが予想されたため、凹みの周囲を含めて直交する土層観察用のセクションベルトを設定した。アイヌ文化期の遺構が存在する可能性があったので精査を行ったが、遺構は検出されなかった。トレーンチ調査を行い、平坦な面と明瞭な立ち上がりが認められたので、住居跡と判断した。竈周辺の土壌をサンプリングし、フローテーション作業を行っている。また、床面から採取した炭化材の年代測定と炭化樹種同定を行っている。

覆 土：焼土粒、炭化物を大量に含む土が床面まで堆積している。床面に住居の構造材と思われる炭化材の拡がりが認められた。焼失住居である。覆土中に被熱し赤色硬化した土や焼土が見られることから、土葺きの屋根を持っていたと考えられる。

掘 上 げ 土：平面形を呈し、竪穴を全周しているが、北西側は斜面の崩落で失われている。

床 ・ 壁：ほぼ平坦で、壁は急に立ち上がる。

付 属 遺 構：南側の壁や西よりに灰白色粘土を用いた造り付けの竈がある。遺存状況は上から押し潰されたような状態である。火床は浅い掘り込みがある。煙道はトンネル式で、天井部はⅣ層・V層の崩落が激しい。焚口と煙出し部分は竈の構築材と思われる白粘土で閉塞している。

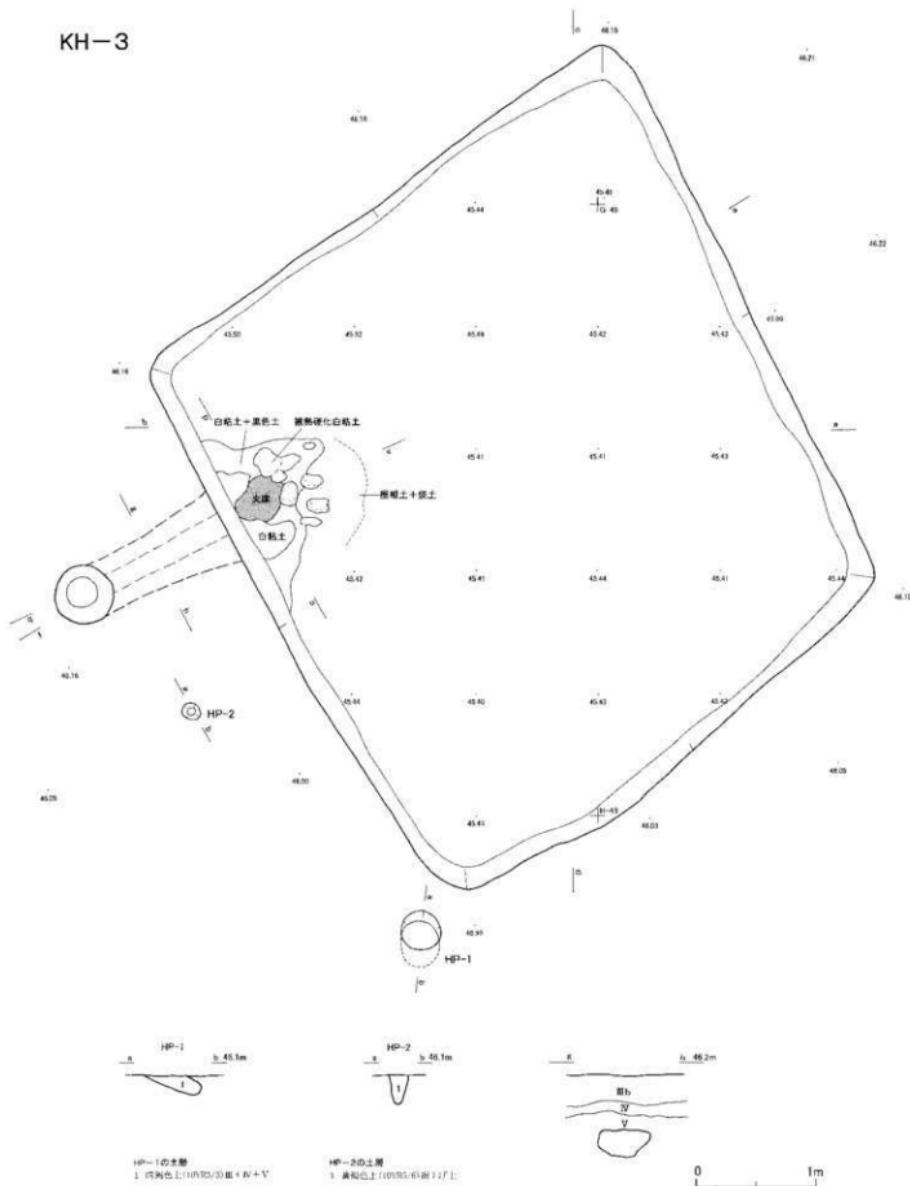
南東隅の外側で、内傾するピットを1基検出した。他の三隅は検出できなかったが、外側に4本の柱穴をもつ竪穴と考えられる。煙出し穴の近くで杭跡と思われる小ピットを検出した。

遺物出土状況：西壁付近から甕が2個まとまって出土した。中央付近から杯が出土した。

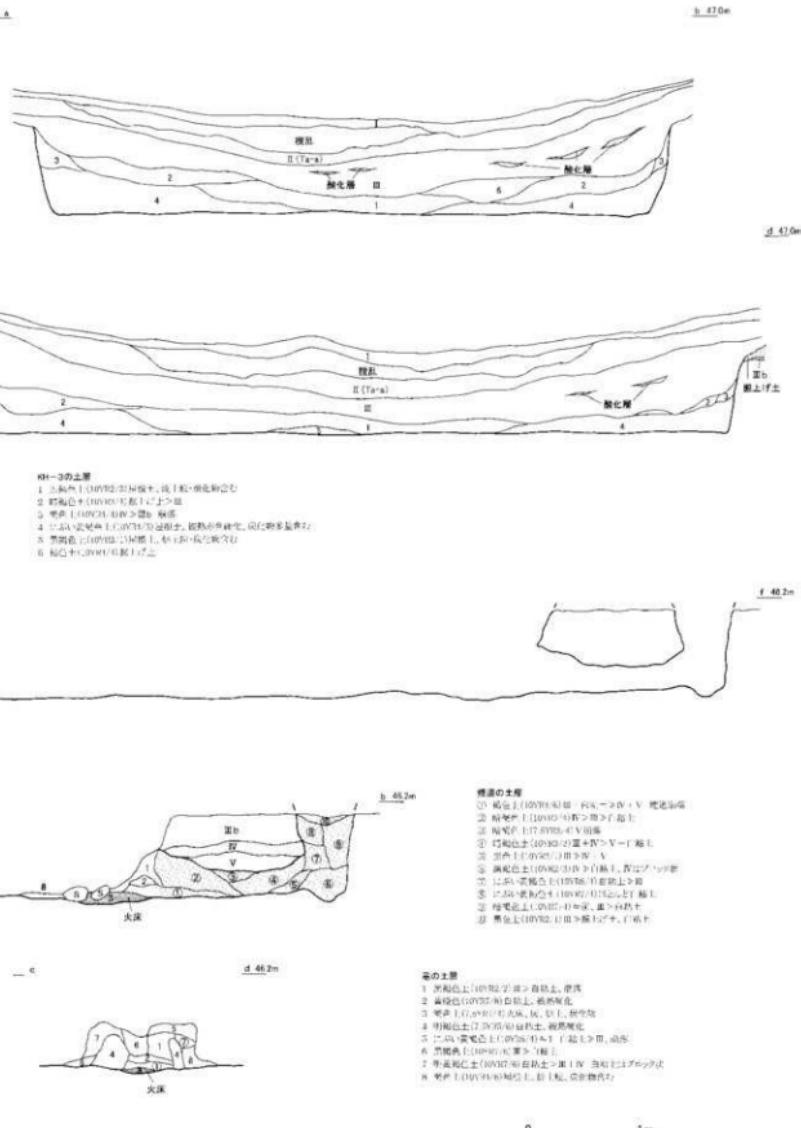
炭化材は中央付近から放射状に出土したものが見られ、屋根材の一部と考えられる。西壁に「すのこ」状や「ござ」状のものが見られるが、依存状況は良くない。縄文時代の遺構を壊して作られているため、覆土上位の流入土や掘上げ土からは、縄文時代晩期の土器片や石器が多く出土した。炭化材の樹種同定では、使用された材は、すべて「コナラ」を使用したものという結果が出ている。

時 期：出土したⅦ群土器から、8世紀中葉と考えられる。

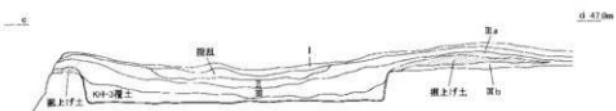
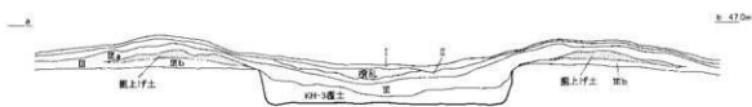
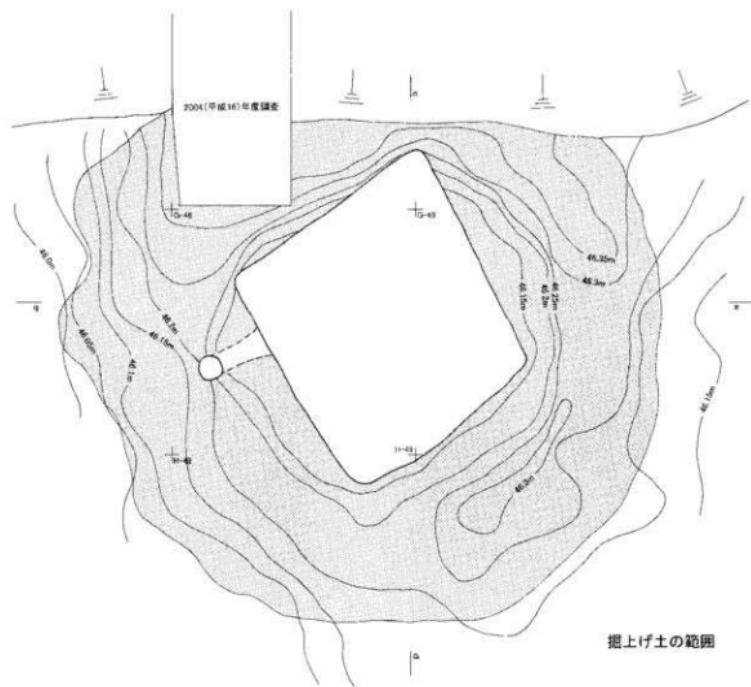
遺 物：土器 1~17はⅧ群土器。1・3は西壁付近の床面から2個まとめて出土した。1は口縁部の一部が打ち欠かれている。口縁部は外反し、体部上位はやや張り出す。器面調整は口縁部はナデ、体部はハケメ後ラミガキである。内面はナデとハケメの調整である。底部が穿孔されている。2は1と同様の器形であるが、器面調整は内外面ともにハケメのみである。底部が穿孔されている。3の器面調整は口縁部がナデ、摩滅してよくわからないが頸部から体部はハケメのみと思われる。内面は口縁部から頸部がハケメ後ナデ調整である。4は掘上げ土と包含層出土のものが接合した。胴部がやや短い甕である。器面調整は口縁部がナデ、体部はハケメ後ラミガキでよく磨かれている。5は竈付近から出土した。6は自然堆積層の覆土1層から出土した。口縁部は外反し、胴部は斜めに立ち上がる。口唇部に刻みが加えられ、沈線による弧状の文様が器面を廻る。佐藤和雄分類のV類に相当する土器である。7・8は甕の底部。7は割れ面観察から意図的に切断した可能性がある。8は底部が穿孔されている。7・8ともに器面調整は内外面ハケメである。9・10は杯。9は体部に段をもつ。器面調整は内外面ともにヘラミガキで段部はナデ調整である。底部は丸底気味である。中央付近から出土した。10は南側壁付近から出土した。小さな段をもつ。器面調整は内外面ヘラミガキである。9・10ともに内面黒色処理が施されている。11~13は甕の口縁部破片。ナデ調整が施されている。14は高杯の底部から脚部の破片。15~17は杯の口縁部破片。内面は黒色処理が施されている。18~41



図IV-10 穫穴住居跡 KH-3(1)

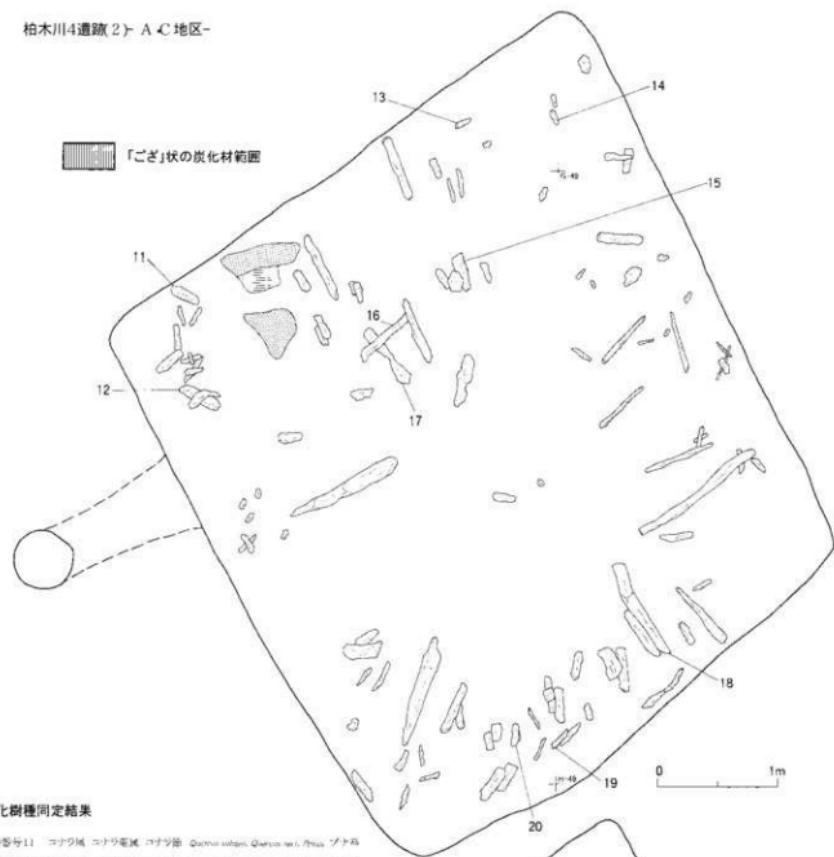


図IV-11 積穴住居跡 KH-3(2)



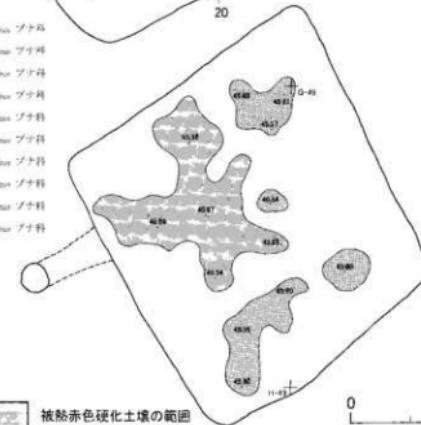
図IV-12 穫穴住居跡 KH-3(3)

柏木川4遺跡(2)- A-C地区-



炭化樹種同定結果

- 試料番号11 コナラ属 コナラ葉属 コナラ果 Quercus spp. Quercus spp. folia. Pinus プチ科
- 試料番号12 コナラ属 ニホンカシ属 コナラ果 Quercus spp. Quercus spp. folia. Pinus プチ科
- 試料番号13 コナラ属 ニホンカシ属 コナラ果 Quercus spp. Quercus spp. folia. Pinus プチ科
- 試料番号14 コナラ属 コナラ葉属 コナラ果 Quercus spp. Quercus spp. folia. Pinus プチ科
- 試料番号15 コナラ属 ハナカツル属 コナラ果 Quercus spp. Quercus spp. folia. Pinus プチ科
- 試料番号16 コナラ属 コナラ葉属 ニホンカシ属 Quercus spp. Quercus spp. folia. Pinus プチ科
- 試料番号17 コナラ属 コナラ葉属 コナラ果 Quercus spp. Quercus spp. folia. Pinus プチ科
- 試料番号18 コナラ属 ハナカツル属 コナラ果 Quercus spp. Quercus spp. folia. Pinus プチ科
- 試料番号19 コナラ属 コナラ葉属 コナラ果 Quercus spp. Quercus spp. folia. Pinus プチ科
- 試料番号20 コナラ属 コナラ葉属 コナラ果 Quercus spp. Quercus spp. folia. Pinus プチ科



図IV-13 穂穴住居跡 KH-3(4)

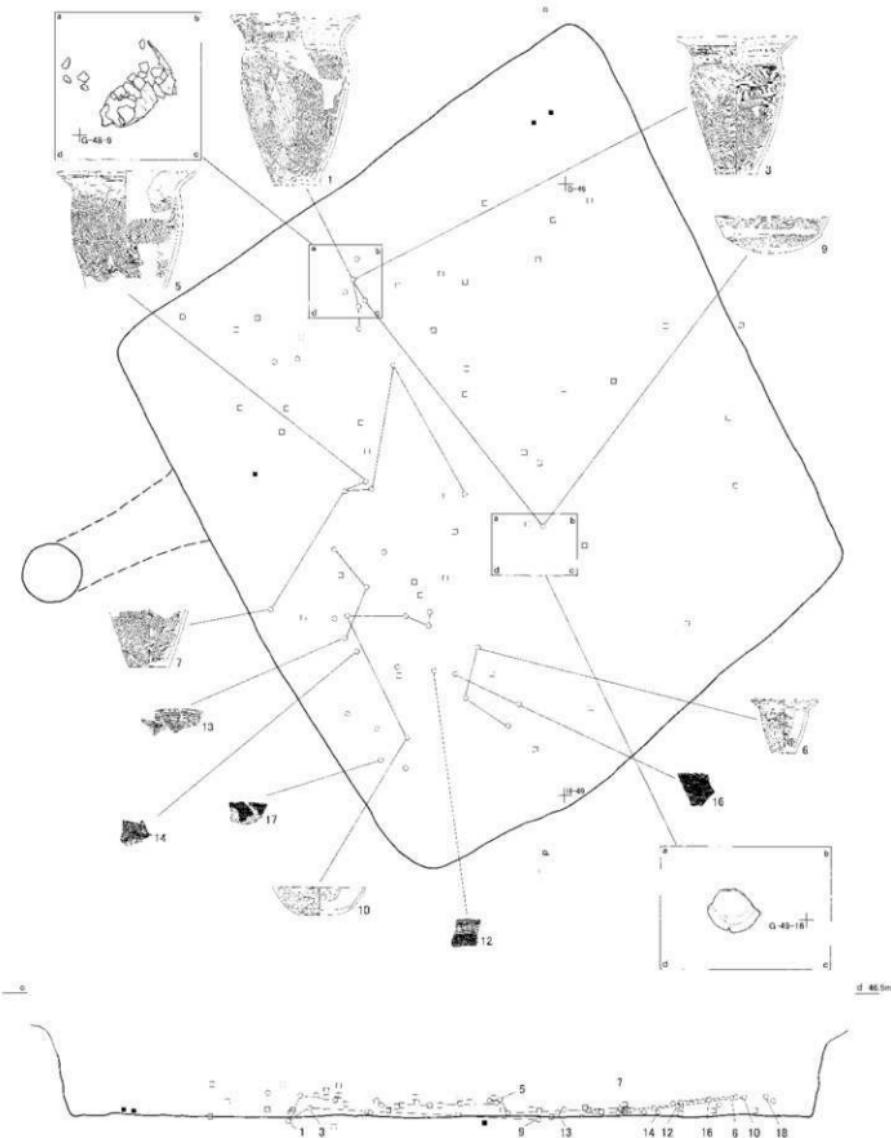
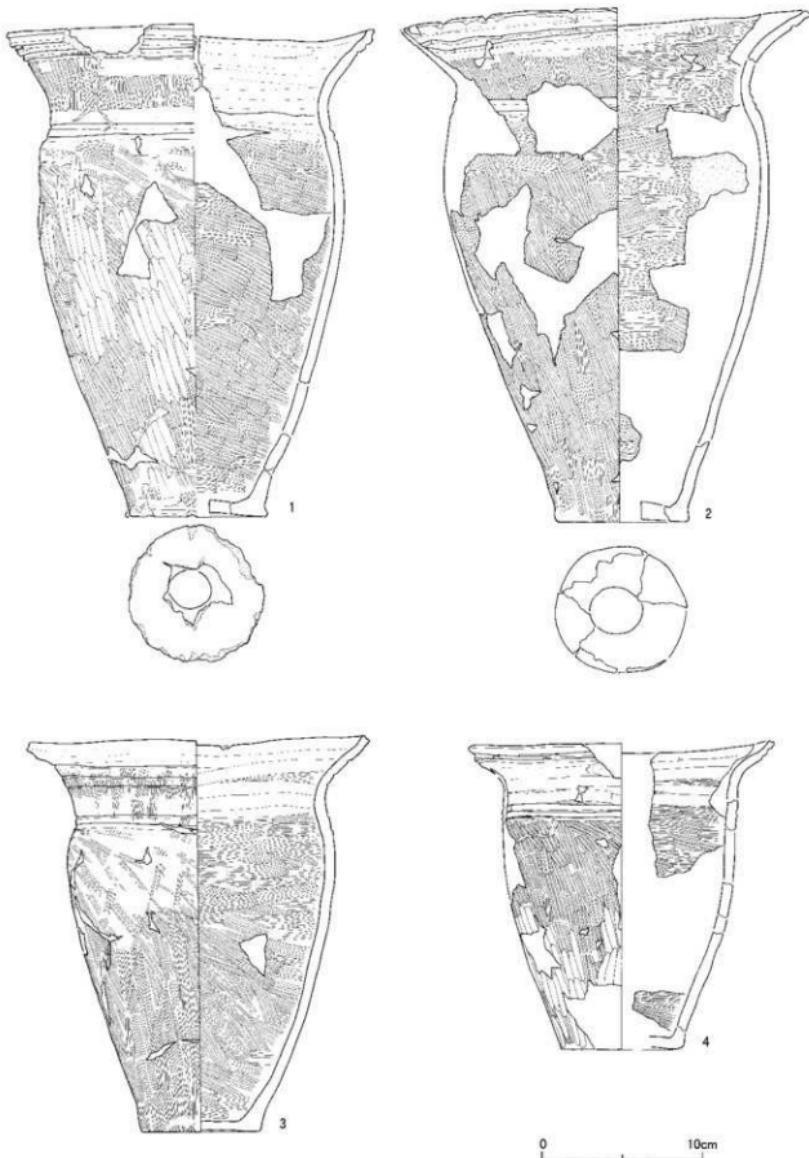
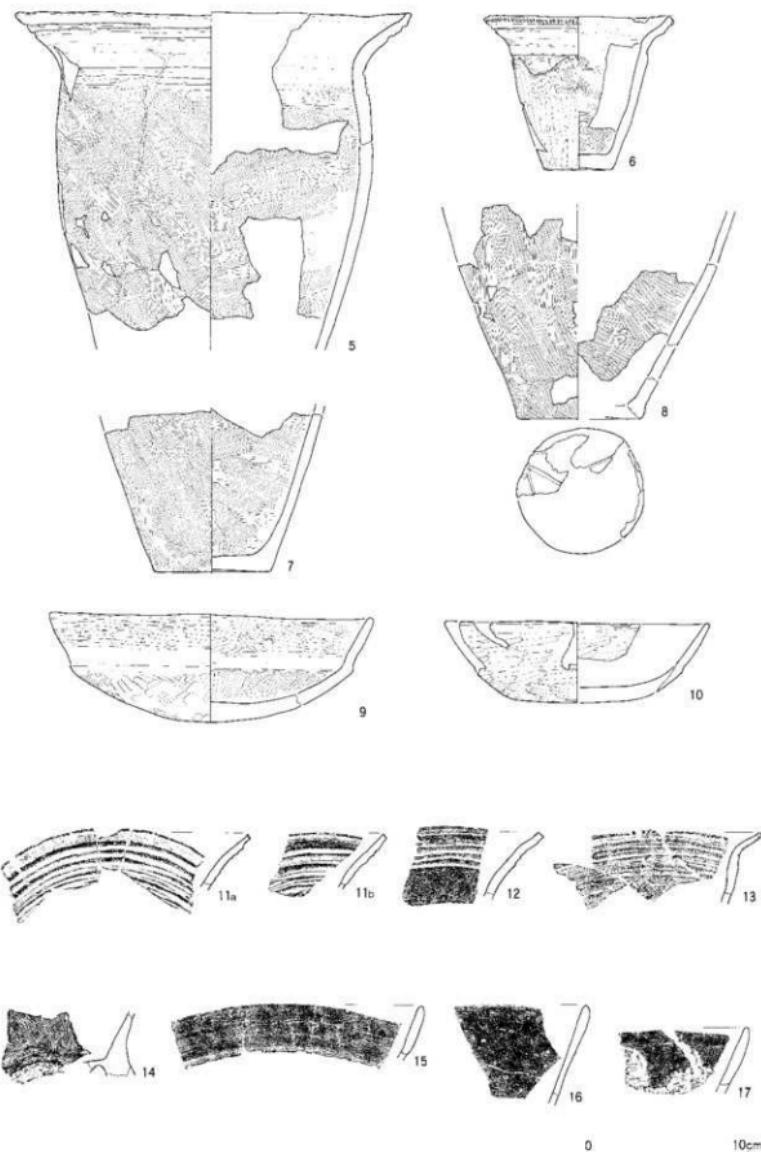


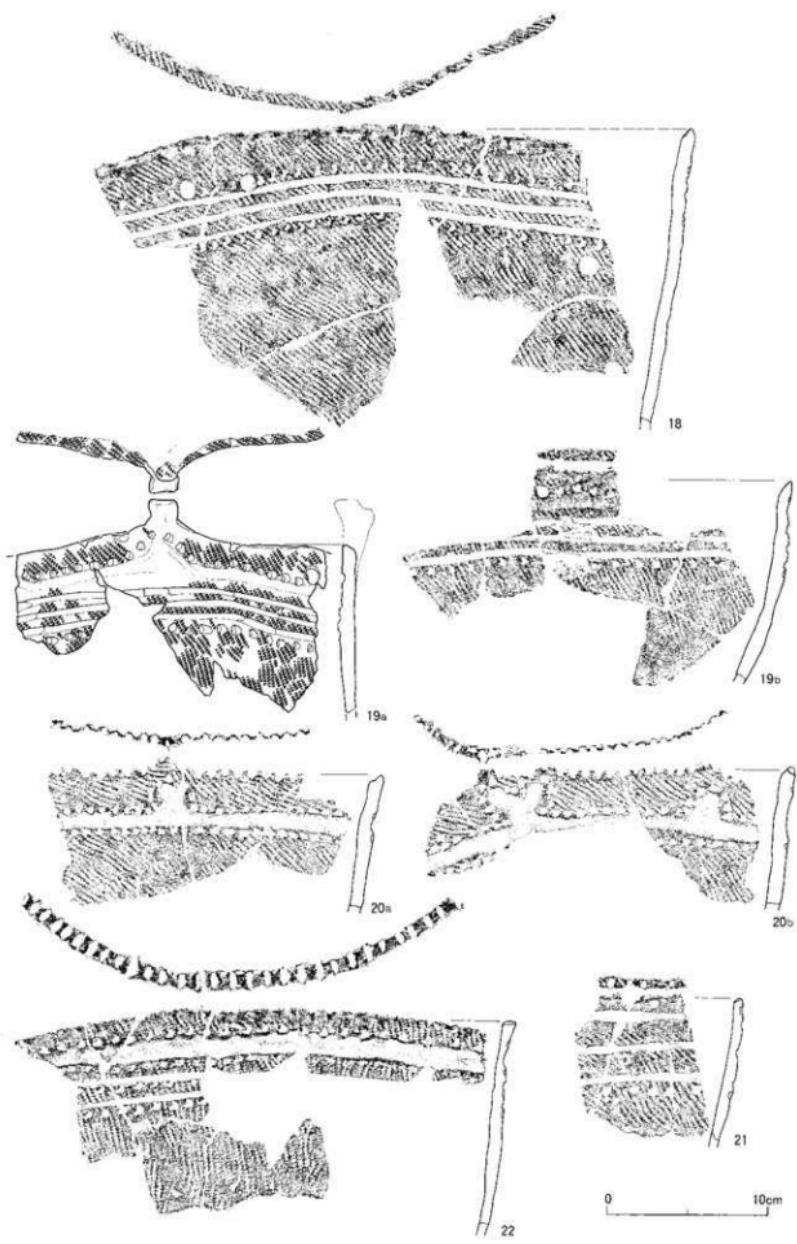
図 IV-14 穫穴住居跡 KH-3(5)



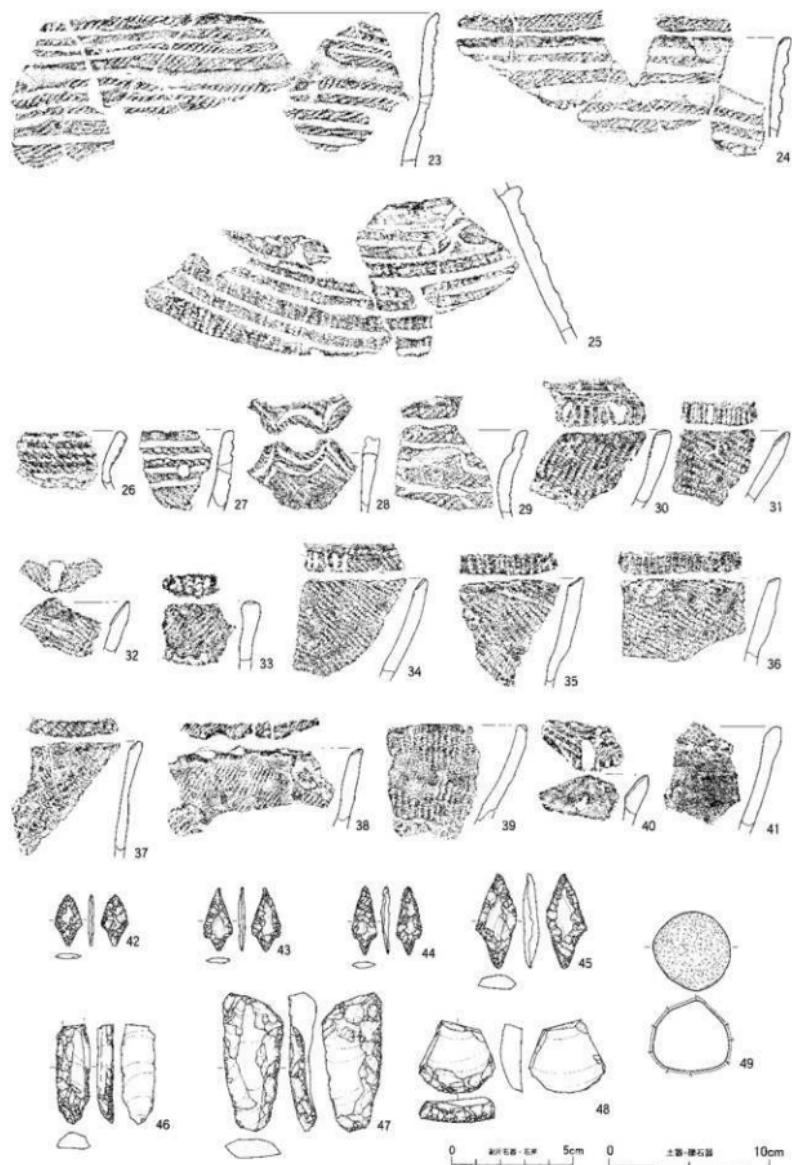
図IV-15 KH-3出土の遺物(1)



図IV-16 KH-3出土の遺物(2)



図IV-17 KH-3出土の遺物(3)

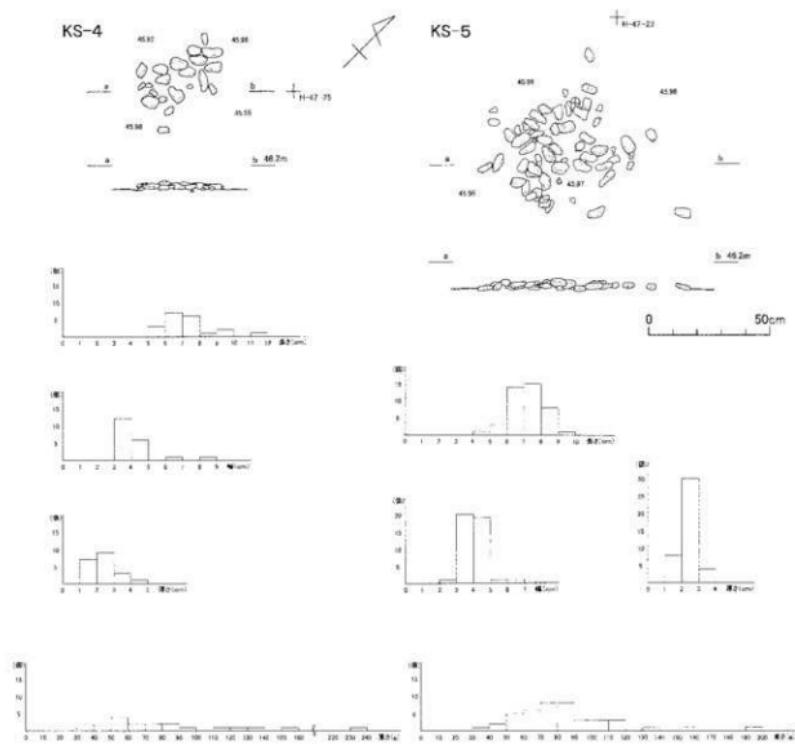


図IV-18 KH-3出土の遺物(4)

はV群土器。大半が掘上げ土からの出土である。元はKH-3の位置にあった縄文時代晚期の遺構または包含層の遺物と考えられる。18は横走する沈線と竹管状工具による刺突列で文様が描かれる深鉢。19aと19bは同一個体。突起部の刺突列は山形を呈する。20aと20bは同一個体。口縁部直下に指頭によるとと思われる太い沈線の周りを、竹管状工具による刺突列で埋めている。口唇部の刻みは棒状工具によるもの。22は沈線と刺突列で文様が描かれるもの。口縁部直下の沈線は指頭によるとと思われる太いもの。23・24は同一個体の可能性がある。25は壺形土器の肩部の破片。沈線で工字文が描かれている。26は数条の縄線が横走するもの。28の突起には竹管状工具の刺突が加えられる。29の口縁部の内面に段がある。30~41は縄文のみが施されたもの。30~31の口唇部は縄圧痕と棒状工具による刻みが加えられている。34の口唇上には縄文によるものと縄圧痕によって縱と斜めに施文されている。

石 器：42~45は石鎚。43・44はかえしが明瞭なもの。46は尖頭部をもつスクレイパー。47は直線状の刃部をもつもの。48はエンドスクレイパー。49は砂岩製のたたき石で、全面にたたき痕が見られる。

(村田)



図IV-19 集石 KS-4・5

(2) 集石

KS-4 (図IV-19、図版115)

位置・立地：H-47 標高46m付近の平坦面。KH-3の南側。

規 模：0.41×0.29m

確認・調査：Ⅲ層を5cm程掘り下げたところで、棒状礫が20個まとまって出土した。KS-5のものに比べて扁平なものが多い。

時 期：周辺の遺構および出土遺物から、KH-3とほぼ同時期で8世紀中葉と考えられる。(村田)

KS-5 (図IV-19、図版115)

位置・立地：H-47 標高46m付近の平坦面。KH-3の南側。

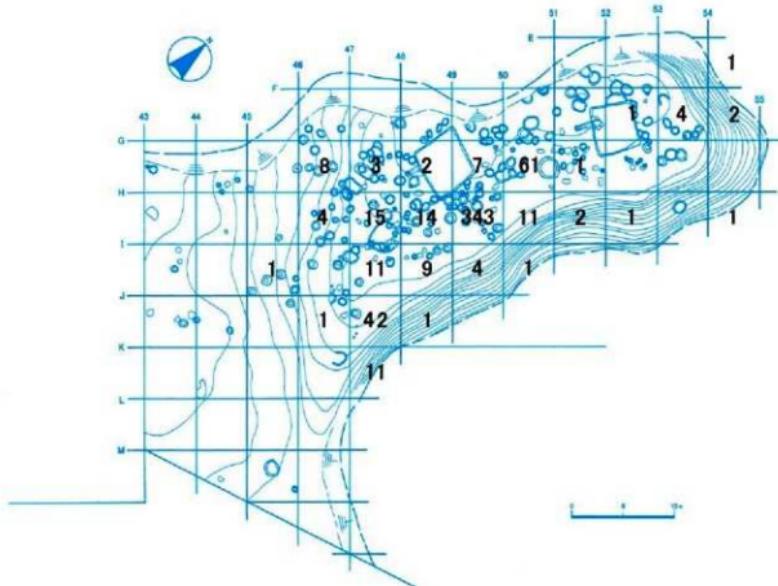
規 模：0.64×0.55m

確認・調査：Ⅲ層を5cm程掘り下げたところで、棒状礫が42個まとまって出土した。KS-4のものに比べて棒状なものが多い。

時 期：周辺の遺構および出土遺物から、KH-3とほぼ同時期で8世紀中葉と考えられる。(村田)

2 包含層出土の遺物

(1) 土器(図20・21、図版116・117)



図IV-20 包含層出土Ⅱ群土器分布図

KH-3の南東側からの出土が多い。KS-4・5や遺物の分布から平坦面の南東側に活動の主体があったと考えられる。

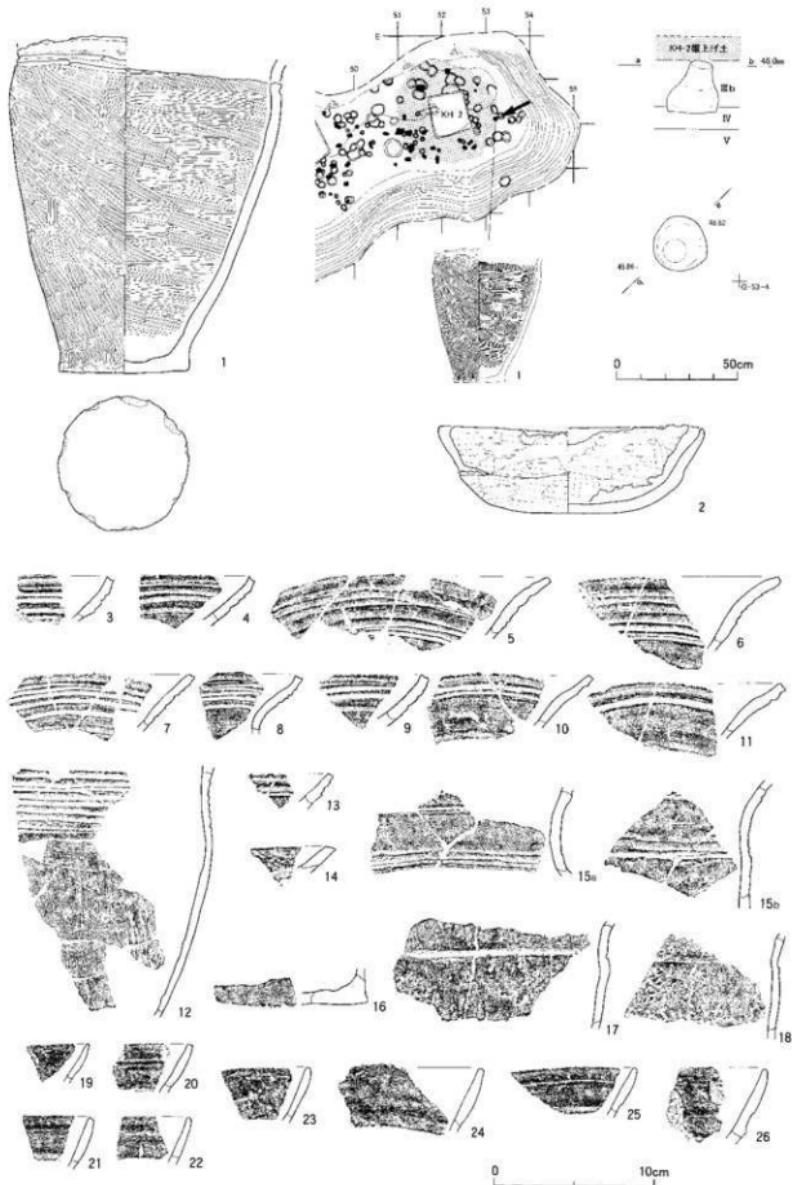
1はKH-2の北東側の掘上げ土直下から、伏せられた状態で出土した。頸部から上を欠損しているが、断面の観察から意図的に切断されたものと考えられる。器面調整はハケメのみである。2は体部に段をもち、平底気味の底部となる。3~11、13、14は甕の口縁部破片。器面調整はナデである。12、15a、15b、17、18は甕の頸部破片。15a・15bはハケメ調整のみのもの。16は底部。19~26は杯の口縁部破片。20・21・25の内面は黒色処理が施されている。

(2) 金属製品

A地区のⅢ層から3点出土した。H-47区から鉄鍋の破片1点、H-51区から一文字湯口をもつ鉄鍋の底部破片が1点、G-50区から刀子片が1点出土した。

立田が取りまとめ、第1調査部第1調査課田口 尚が保存処理を行った。図・写真的掲載は平成18年度以降の報告となる。

(村田)



図IV-21 包含層出土のVII群土器

表IV-1 撃文時代遺構規模一覧

遺構名	形態	位置	規模(m)		平面上	墓の方向	確認面	覆土	床面	壁の立ち上がり	遺物出土状況	特 著	備 考	調査者
			長軸	短軸										
聖六往跡(004)														
KH-2 A	E-41-44-45 角	4.30/4.28	4.16/3.95	0.63	方形	N-33°-E 55°	I層上面 砂質硬化層 土	砂質硬化層 土	平坦	急	表面から黒、粘 性率、透石性 能の出露	B-C中位(浅層) 透石性(黒色)	透水性好、透通性 良好、底化層	H田
KH-3 A	E-G-51-52	5.43/5.07	4.87/4.61	0.80	方形	N-17°-E 55°-52°	I層上面 砂質硬化層 土	砂質硬化層 土	平坦	急	表面から黒、粘 性率、透石性 能の出露	B-C中位(浅層) 透石性(黒色)	透水性好、透通性 良好、底化層	H田
裏石水印														
KS-4 A	H-47	0.41	0.29				II層上位				標準標25個	KH-3は認明し		H田
KS-5 A	H-47	0.64	0.55				II層上位				標準標42個	KH-3は認明し		H田

表IV-2 撃文時代遺構出土揭露土器一覧(1)

掲載番号	掲載番号	写真 図版	遺構/ (免掘区)	層位	点数	取り上げ 番号	分類	器種	部位	文様等の特徴			復元/拓本 番号
図N-6 1		図版97	KH-2 床	1	47	VII	瓶	口	~底	口縁部打ち欠き			復元24
図N-6 2		図版97	KH-2 床	1	49	VII	瓶	口	~底	口縁部~頸部に横走沈線 器面調整: 内外面ハケメ			復元1
			KH-2 床	1	64								
			KH-2 床	1	74								
			KH-2 床	1	75								
			KH-2 床	3	76								
			KH-2 床	1	81								
			KH-2 床	6	83								
			未注記	1									
図N-6 3		図版97	KH-2 床	4	72	VII	瓶	底		底部穿孔 器面調整: ハケメ後ヘラミガキ			復元2
			KH-2 床	4	74								
			KH-2 床	1	83								
			G-50	III	2								
			G-51	III b	1								
			N-43	III	1								
			未注記	2									
図N-6 4		図版97	KH-2 床	1	72	VII	瓶	底		器面調整: ハケメ			復元22
			KH-2 床	1	80								
			KH-2 床	1	85								
			G-50	III	1								
			G-51	III b	1								
図N-6 5		図版98	KH-2 力マド	22	87	VII	高杯	口	~底	脚部欠損 器面調整: ヘラミガキ ハケメ			復元10
			KH-2 床	1	84								
図N-6 6		図版98	KH-2 床	6	50	VII	杯	口	~底	内面黒色処理 器面調整: ヘラミガキ			復元14
			KH-2 床	2	52								
			力マド	1	89								
図N-6 7		図版98	KH-2 床	1	66	VII	杯	口	~底	器面調整: ヘラミガキ+ナデ?			復元21
			KH-2 床	1	68								
			KH-2 床	1	71								
			KH-2 床	1	81								
図N-7 8		図版99	KH-2 G-50	面り上げ土	1	VII	瓶	口縁					拓本5
			III	1									
図N-7 9		図版99	KH-2 床	1	83	VII	瓶	口縁					拓本2
図N-7 10		図版99	KH-2 床	2	52	VII	瓶	頸~調		器面調整: ヘラミガキ			拓本6
図N-7 11		図版99	KH-2 覆土2	1	VII	杯	口縁						拓本4
図N-7 12		図版99	KH-2 床	1	68	VII	杯	口縁		内面黒色処理			拓本3
図N-7 13		図版99	KH-2 床	1	84	VII	杯	口縁					拓本1
図N-7 14		図版99	KH-2 E-51	覆土1 III b	6 1	V c	深鉢	口縁		繡線文			拓本61
図N-7 15		図版99	KH-2 E-52 E-53 F-52	面り上げ土	1	V c	深鉢	口縁		繡線文 16と同一個体			拓本58
図N-7 16		図版99	KH-2 KH-2 KH-2	覆土1 覆土2 面り上げ土	1 1 1	V c	深鉢	口縁		繡線文 15と同一個体			拓本58
図N-7 17		図版99	KH-2	面り上げ土	1	V c	深鉢	口縁		繡線文			拓本36

表 IV-2 摺文時代遺構出土掲載土器一覧(2)

掲載番号	掲載番号	写真 図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	取り上げ 番号	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図N-7 18	図版99	KH-2	覆土1	1			V c	深鉢	口縁	縹線文+刺突列	拓本60
		KH-2	覆土2	2							
		F-52	Ⅲ b	1							
図N-7 19	図版100	F-51	Ⅲ	2			V c	深鉢	口縁	太い沈線	拓本62
		G-51	Ⅲ	1							
図N-7 20	図版100	KH-2	覆土	1			V c	深鉢	口縁	縹線文+刺突列	拓本40
図N-7 21	図版100	KH-2	覆土1	1			V c	深鉢	口縁	縹線部ナデ調整	拓本43
図N-7 22	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	深鉢	口縁		拓本53
図N-7 23	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	浅鉢	口縁		拓本45
図N-7 24	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	深鉢	口縁	太沈線+刺突	拓本44
図N-7 25	図版100	KH-2	覆土2	2			V c	浅鉢	口縁		拓本54
		F-51	Ⅲ b	1							
図N-7 26	図版100	KH-2	覆土2	4			V c	深鉢	口縁	口唇部刻み構端痕痕	拓本57
図N-7 27	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	深鉢	口縁		拓本59
図N-7 28	図版100	KH-2	覆土1	2			V c	深鉢	口縁		拓本55
図N-7 29	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	深鉢	口縁		拓本56
図N-7 30	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	深鉢	口縁		拓本51
図N-7 31	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	深鉢	口縁		拓本52
図N-7 32	図版100	KH-2	覆土2	2			V c	深鉢	口縁		拓本38
図N-7 33	図版100	KH-2	床	1	24		V c	浅鉢	口縁	弧状の構線	拓本63
		KH-2	覆土2	1							
図N-7 34	図版100	KH-2	覆土1	1			V c	浅鉢	口縁		
図N-8 35	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	浅鉢	口縁		拓本48
図N-8 36	図版100	KH-2	覆土1	1			V c	浅鉢	口縁		拓本41
図N-8 37	図版100	KH-2	覆土2	2			V c	浅鉢	口縁		拓本37
図N-8 38	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	浅鉢	口縁		拓本42
図N-8 39	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	浅鉢	口縁		拓本35
図N-8 40	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	浅鉢	口縁		拓本39
図N-8 41	図版100	KH-2	覆土1	1			V c	浅鉢	口縁		拓本49
図N-8 42	図版100	KH-2	覆土2	1			V c	浅鉢	口縁		拓本46
図N-8 43	図版100	KH-2	覆土1	1			V c	浅鉢	口縁		拓本50
図N-8 44	図版101	KH-2	覆土2	2			V c	浅鉢	口縁		拓本64
		F-51	Ⅲ b	4							
図N-8 45	図版101	G-51	Ⅲ	12			V c	浅鉢	口縁	口縁部内面括弧文赤彩顔料塗布	拓本165
図N-15 1	図版109	KH-3		55	302		VII	橢	口~底	口縁部打ち欠き 底部穿孔 器面調整:口縁部ナデ 頸部ハケメ 体部ハケメ+ヘラミガキ 内面ナデ ハケメ	復元8
		KH-3	覆土2	12	147						
		KH-3	覆土2	2	148						
		KH-3	覆土5	3							
図N-15 2	図版109	KH-3	覆土2	7			VII	橢	口~底	底部穿孔 器面調整: 内外面ハケメ	復元11
		KH-3	覆土1	1							
		H-49	Ⅲ	82							
		H-49	Ⅲ a	1							
図N-15 3	図版109	KH-3		1	301		VII	橢	口~底	器面調整: 口縁部ナデ 体部ハケメ	復元6
		KH-3		42	302						
		KH-3		1	304						
		KH-3	覆土	1							
図N-15 4	図版110	KH-3	覆土2	12			VII	橢	口~底	器面調整: 口縁部ナデ 体部ハケメ メ後ヘラミガキ	復元23
		H-49	Ⅲ a	30							
		H-49	Ⅲ	2							
図N-16 5	図版110	KH-3	覆土2	1	170		VII	橢	口~胴	器面調整: 口縁部ナデ 体部ハケメ メ内面ハケメ	復元7
		KH-3		1	171						
		H-49	Ⅲ	39							
		H-50	Ⅲ	4							
図N-16 6	図版110	KH-3		1	126		VII	橢	口~底	口脣部に刻み沈線による弧状 器面調整: 口縁部ナデ 体部ハケメ メ後ヘラミガキ 佐藤和雄分類のV類	復元4
		KH-3		1	129						
		KH-3		1	130						
		KH-3	覆土1	10							
		KH-3	トレンチB	3							

表 IV- 2 撥文時代遺構出土器一覧(3)

擲出番号	擲出番号	写真 図版	遺構/ (発掘区)	層位	点数	取り上げ 番号	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図N-16 7		図版110	KH-3 KH-3 KH-3 KH-3 KH-3 KH-3 H-47	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 H-47	1 2 1 1 1 1 2		Vb	壺	底	器面調整: 内外面ハケメ 意図的に切断?	復元3
図N-16 8		図版110	KH-3	覆土上げ土	27		Vb	壺	底	底面に沈線文	復元19
図N-16 9		図版111	KH-3		3	301	Vb	杯	口~底	体部に段内面黒色処理丸底	復元9
図N-16 10		図版111	KH-3 KH-3 KH-3 KH-3 KH-3 KH-3 KH-3 KH-3	覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土 覆土	1 2 1 1 1 1 1 1	100 101 102 104 120 120	Vb	杯	口~底	体部に段内面黒色処理平底	復元5
図N-16 11a		図版111	I-49 J-47	■ ■	1 3		Vb	壺	口縁		拓本11
図N-16 11b		図版111	KH-3	覆土	1		Vb	壺	口縁		拓本11
図N-16 12		図版111	KH-3			124	Vb	壺	口縁		拓本8
図N-16 13		図版111	KH-3 KH-3 KH-3 KH-3		1 88 112 180		Vb	壺	口縁		拓本9
図N-16 14		図版111	KH-3		1	113	Vb	高杯	底~脚	器面調整: ハケメ	拓本12
図N-16 15		図版111	KH-3 G-50	覆土 ■ a	2 1		Vb	杯	口縁	内面黒色処理	拓本10
図N-16 16		図版111	KH-3 KH-3		1 125 128		Vb	杯	口縁	内面黒色処理	拓本13
図N-16 17		図版111	KH-3 KH-3	覆土 覆土	1 1		Vb	杯	口縁	内面黒色処理	拓本7
図N-17 18		図版112	KH-3 KP-179 G-47	トレンチB KP-179 ■	1 2 4		Vc	深鉢	口縁	3条の沈線+竹管状工具による刺突	拓本83
図N-17 19a		図版112	KH-3 F-49 G-48	覆土上げ土 ■ a ■ b	3 1 2		Vc	深鉢	口縁	突起部の刺突列山形	拓本87
図N-17 19b		図版112	KH-3 G-49 G-49 G-49 G-49	覆土上げ土 ■ b ■ b ■ b ■ b	1 2 1 1 1		Vc	深鉢	口縁		拓本87
図N-17 20a		図版112	KP-271	覆土	1		Vc	深鉢	口縁	指頭による太い沈線	拓本86
図N-17 20b		図版112	KH-3 G-49 G-50	トレンチD ■ b ■	3 1 1		Vc	深鉢	口縁		拓本86
図N-17 21		図版112	G-49	■ b	5		Vc	深鉢	口縁		拓本84
図N-17 22		図版112	KH-3 KH-3 G-49 G-51 G-51	覆土上げ土 トレンチD ■ b ■ b ■ b	1 1 1 1 1		Vc	深鉢	口縁	指頭による太い沈線	拓本88
図N-18 23		図版113	KH-3 H-48	覆土 ■	1 7		Vc	深鉢	口縁		拓本85
図N-18 24		図版113	KH-3 H-48 H-48	覆土上げ土 ■ ■ b	1 1 3		Vc	深鉢	口縁		拓本80
図N-18 25		図版113	KH-3 KH-3 KH-3 KH-3 H-48	覆土 覆土 覆土 覆土 H-48	1 1 1 1 1	318 246	Vc	壺	肩	工字文	拓本82
図N-18 26		図版113	KH-3	覆土	1		Vc	深鉢	口縁	網目	拓本78

表 IV- 2 摺文時代遺構出土掲載土器一覧(4)

掲回番号	掲載番号	写真 図版	遺構／ (発掘区)	層位	点数	取り上げ 番号	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図N-18 27	図版113	KH-3	削り上げ土	1	V c	深鉢	口縁				拓本79
図N-18 28	図版113	KH-3	覆土 2	1	V c	深鉢	口縁	内面に沈線			拓本73
図N-18 29	図版113	KH-3	削り上げ土	1	V c	深鉢	口縁				拓本76
図N-18 30	図版113	KH-3	削り上げ土	1	V c	浅鉢	口縁	口唇上に燃糸圧痕と刺み			拓本69
図N-18 31	図版113	KH-3	削り上げ土	1	V c	浅鉢	口縁				拓本67
図N-18 32	図版113	KH-3	削り上げ土	1	V c	深鉢	口縁				拓本75
図N-18 33	図版113	KH-3	削り上げ土	1	V c	深鉢	口縁				拓本74
図N-18 34	図版114	KH-3	削り上げ土	1	V c	浅鉢	口縁	内面に1条の焼線が巡る			拓本66
図N-18 35	図版114	KH-3	覆土 1	1	V c	浅鉢	口縁				拓本70
図N-18 36	図版114	KH-3	覆土 2	1	V c	浅鉢	口縁				拓本68
図N-18 37	図版114	KH-3	削り上げ土	1	V c	深鉢	口縁				拓本71
図N-18 38	図版114	KH-3	覆土 1	2	V c	深鉢	口縁				拓本81
図N-18 39	図版114	KH-3	削り上げ土	1	V c	浅鉢	口縁				拓本65
図N-18 40	図版114	KH-3	覆土 2	1	V c	深鉢	口縁				拓本77
図N-18 41	図版114	KH-3	削り上げ土	1	V c	深鉢	口縁				拓本72

表 IV- 3 摺文時代遺構出土掲載石器等一覧

番号	実載 番号	図版 番号	器種名	遺構名	出土層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石質	取り上 げ番号	備 考
図N-9 46	図版102	石鉗	KH-2	削り上げ土	(2, 8)	1.4	0.2	0.7	obs.			
図N-9 47	図版102	石鉗	KH-2	トレンチ	3.1	0.9	0.25	0.5	obs.	23		
図N-9 48	図版102	石鉗	KH-2	削り上げ土	2.45	1.0	0.5	1.1	頁岩			
図N-9 49	図版102	つまみ付ナイフ	KH-2	トレンチ	6.3	3.1	0.7	8.4	頁岩			
図N-9 50	図版102	石製品	KH-2	削り上げ土	4.2	1.5	0.6	2.5	obs.			
図N-9 51	図版102	石斧	KH-2	削り上げ土	(5.0)	3.9	(1.4)	(36.7)	泥岩			
図N-9 52	図版102	砥石	KH-2	削り上げ土	(8.5)	(3.8)	(2.3)	(38.2)	輕石			
図N-9 53	図版102	すり石	KH-2	床面	16.1	10.8	5.1	1320	安山岩	44	炭化物付着	
図N-9 54	図版102	石皿	KH-2	床面	16.0	13.7	4.0	1166	安山岩	46	炭化物付着	
図N-9 55	図版102	台石	KH-2	床面	29.7	20.9	8.5	7800	安山岩	45	炭化物付着	
図N-9 56	図版97	筋彫車	KH-2	床面	5.3	5.3	2.95	75.6	土製品			
図N-18 42	図版114	石鉗	KH-3	削り上げ土	2.05	1.1	0.2	0.4	obs.			
図N-18 43	図版114	石鉗	KH-3	覆土 2	2.55	1.15	0.25	0.5	obs.	223		
図N-18 44	図版114	石鉗	KH-3	削り上げ土	2.7	1.0	0.3	0.5	obs.			
図N-18 45	図版114	石鉗	KH-3	削り上げ土	3.8	1.6	0.6	3.0	obs.			
図N-18 46	図版114	スクレイパー	KH-3	削り上げ土	(4.0)	(1.35)	(0.65)	(4.4)	obs.	300		
図N-18 47	図版114	スクレイパー	KH-3	削り上げ土	5.6	2.5	1.15	13.3	obs.	3		
図N-18 48	図版114	スクレイパー	KH-3	削り上げ土	3.0	3.05	1.0	8.9	obs.			
図N-18 49	図版114	たたき石	KH-3	トレンチ	4.7	4.6	4.3	146.1	砂岩			

表 IV- 4 摺文時代遺構出土遺物一覧

遺構・調査区	#b	N c	V b	V c	#d	筋彫車	石 鉗	石 鉗	つまみ付 ナイフ アイフ	ス ク レ イ パ ー	ス ク レ イ ク タ イ ク	石 斧	たたき石	すり石	北海道 産 花崗岩	砾 石	磨 石	レ ギ	加工痕 を見る隙	棒状 鋸	石 製 品	石 斧 美 品	合 計	
KH-2	21	3	2	1214	107	1	7	1	2	29	9	204	1	2	1	1	1	2	39	2	1	1	1	1653
KH-3	29			1988	197		9	1	16	16	207		4						75	1	1			2544
KS-4				2																				22
KS-5				21					1															42

表 N-5 包含層出土Ⅶ群掲載土器一覧

掲載番号	掲載番号	写真 図版	遺構/ 発掘区	層位	点数	分類	器種	部位	文様等の特徴	復元・拓本 番号
図N-21 1	図版116	F-53	III b	1	Ⅵ	甕	脇・底	器面調整:ハケメ	復元25	
図N-21 2	図版116	K-47	III	11	Ⅵ	杯	口・底	器面調整:ヘラミガキ 体部に段 平底	復元18	
		未記		1						
図N-21 3	図版116	G-55	III	1	Ⅵ	甕	口縁		拓本14	
図N-21 4	図版116	G-48	III a	1	Ⅵ	甕	口縁		拓本15	
図N-21 5	図版116	H-49	III	4	Ⅵ	甕	口縁		拓本33	
図N-21 6	図版116	H-49	III	2	Ⅵ	甕	口縁		拓本20	
図N-21 7	図版116	H-48	III	1	Ⅵ	甕	口縁		拓本32	
		H-49	III	3						
図N-21 8	図版116	H-48	III	1	Ⅵ	甕	口縁		拓本17	
図N-21 9	図版116	I-47	III	1	Ⅵ	甕	口縁		拓本16	
図N-21 10	図版116	H-49	III	2	Ⅵ	甕	口縁		拓本21	
図N-21 11	図版116	H-49	III	2	Ⅵ	甕	口縁		拓本21	
図N-21 12	図版117	H-48	III	1	Ⅵ	甕	脇		拓本32	
		H-49	III	9						
図N-21 13	図版117	H-49	III	1	Ⅵ	甕	口縁		拓本19	
図N-21 14	図版117	F-53	III b	1	Ⅵ	甕	口縁		拓本18	
図N-21 15a	図版117	H-49	III	2	Ⅵ	甕	脇	器面調整:ハケメ	拓本30	
		I-50	III	1						
図N-21 15b	図版117	H-49	III	2	Ⅵ	甕	脇		拓本30	
図N-21 16	図版117	H-49	III	1	Ⅵ	甕	底		拓本31	
図N-21 17	図版117	G-55	III	3	Ⅵ	甕	脇		拓本34	
図N-21 18	図版117	G-55	III	2	Ⅵ	甕	脇		拓本34	
図N-21 19	図版117	J-47	III	1	Ⅵ	杯	口縁		拓本26	
図N-21 20	図版117	I-46	III	1	Ⅵ	杯	口縁	内面黒色処理	拓本22	
図N-21 21	図版117	I-47	III	1	Ⅵ	杯	口縁	内面黒色処理	拓本29	
図N-21 22	図版117	H-47	III	1	Ⅵ	杯	口縁		拓本27	
図N-21 23	図版117	H-49	III	1	Ⅵ	杯	口縁		拓本28	
図N-21 24	図版117	H-46	III	1	Ⅵ	杯	口縁		拓本23	
図N-21 25	図版117	H-47	III	1	Ⅵ	杯	口縁	内面黒色処理	拓本25	
図N-21 26	図版117	I-47	III	1	Ⅵ	杯	口縁		拓本24	

V 自然科学的分析

1 放射性炭素年代測定

(財)北海道埋蔵文化財センターより株式会社加速器分析研究所へ、下記の試料の年代測定を委託した。結果は次ページ以降に掲載した。
(村田)

表 V- 1 放射性炭素年代測定分析試料一覧

試料番号	試料種類	測定法	採取地点	採取層位	取上番号	推定時期	重量	備考
KA- 1	炭化材	AMS	KH- 2	床面	9	1200yBP	15.6g	スノコ状?
KA- 2	炭化材	AMS	KH- 3	床面	4	1200yBP	15.8g	土留め板?

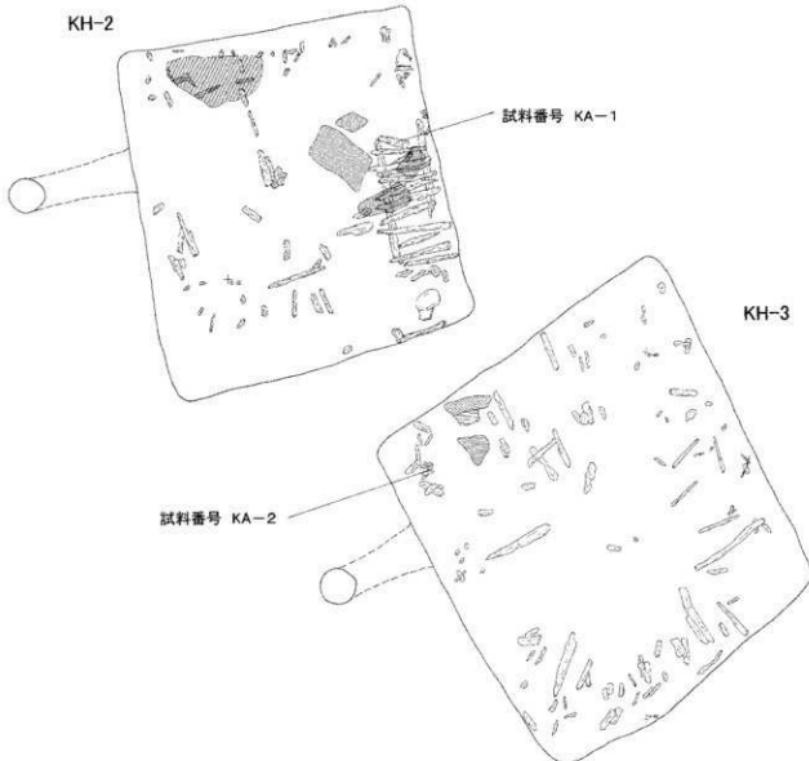


図 V- 1 放射性年代測定試料採取位置図

年代測定結果報告書

- 1) 年代値の算出には、Libby の半減期 5568 年を使用しています。
- 2) BP 年代値は、1950 年からさかのぼること何年前かを表しています。
- 3) 付記した誤差は、次のように算出しています。
複数回（通常は 4 回）の測定値について χ^2 検定を行い、通常報告する誤差は測定値の統計誤差から求めた値を用い、測定値が 1 つの母集団とみなせない場合には標準誤差を用いています。
- 4) $\delta^{13}\text{C}$ の値は、通常は質量分析計を用いて測定しますが、AMS 測定の場合に同時に測定される $\delta^{13}\text{C}$ の値を用いることもあります。
 $\delta^{13}\text{C}$ 補正をしない場合の同位体比および年代値も参考に掲載しておきます。

同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差 (‰ ; パーミル) で表したものです。

$$\delta^{14}\text{C} = [({}^{14}\text{As} - {}^{14}\text{Ar}) / {}^{14}\text{Ar}] \times 1000 \quad (1)$$

$$\delta^{13}\text{C} = [({}^{13}\text{As} - {}^{13}\text{APDB}) / {}^{13}\text{APDB}] \times 1000 \quad (2)$$

ここで、
 ${}^{14}\text{As}$: 試料炭素の ${}^{14}\text{C}$ 濃度 : $({}^{14}\text{C}/{}^{12}\text{C})_S$ または $({}^{14}\text{C}/{}^{13}\text{C})_S$
 ${}^{14}\text{Ar}$: 標準現代炭素の ${}^{14}\text{C}$ 濃度 : $({}^{14}\text{C}/{}^{12}\text{C})_R$ または $({}^{14}\text{C}/{}^{13}\text{C})_R$

$\delta^{13}\text{C}$ は、質量分析計を用いて試料炭素の ${}^{13}\text{C}$ 濃度 (${}^{13}\text{As} = {}^{13}\text{C}/{}^{12}\text{C}$) を測定し、PDB (白亜紀のペレムナイト (矢石) 類の化石) の値を基準として、それからのずれを計算します。

但し、IAA では加速器により測定中に同時に ${}^{13}\text{C}/{}^{12}\text{C}$ も測定していますので、標準試料の測定値との比較から算出した $\delta^{13}\text{C}$ を用いることもあります。この場合には表中に [加速器] と注記します。

また、 $\Delta^{14}\text{C}$ は、試料炭素が $\delta^{13}\text{C} = -25.0$ (‰) であるとしたときの ${}^{14}\text{C}$ 濃度 (${}^{14}\text{As}$) に換算した上で計算した値です。(1) 式の ${}^{14}\text{C}$ 濃度を、 $\delta^{13}\text{C}$ の測定値をもとに次式のように換算します。

$${}^{14}\text{As} = {}^{14}\text{As} \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C} / 1000))^2 \quad ({}^{14}\text{As} \text{ として } {}^{14}\text{C}/{}^{12}\text{C} \text{ を使用するとき})$$

または

$$= {}^{14}\text{As} \times (0.975 / (1 + \delta^{13}\text{C} / 1000)) \quad ({}^{14}\text{As} \text{ として } {}^{14}\text{C}/{}^{13}\text{C} \text{ を使用するとき})$$

$$\Delta^{14}\text{C} = [({}^{14}\text{As} - {}^{14}\text{Ar}) / {}^{14}\text{Ar}] \times 1000 \quad (\text{‰})$$

貝殻などの海洋が炭素起源となっている試料については、海洋中の放射性炭素濃度が大気の炭酸ガス中の濃度と異なるため、同位体補正のみを行なった年代値は実際の年代との差が大きくなります。多くの場合、同位体補正をしない $\delta^{14}\text{C}$ に相当する BP 年代値が比較的よくその貝と同一時代のものと考えられる木片や木炭などの年代値と一致します。

${}^{14}\text{C}$ 濃度の現代炭素に対する割合のもう一つの表記として、pMC (percent Modern Carbon) がよく使われており、 $\Delta^{14}\text{C}$ との関係は次のようになります。

$$\Delta^{14}\text{C} = (\text{pMC} / 100 - 1) \times 1000 \quad (\text{‰})$$

$$\text{pMC} = \Delta^{14}\text{C} / 10 + 100 \quad (\%)$$

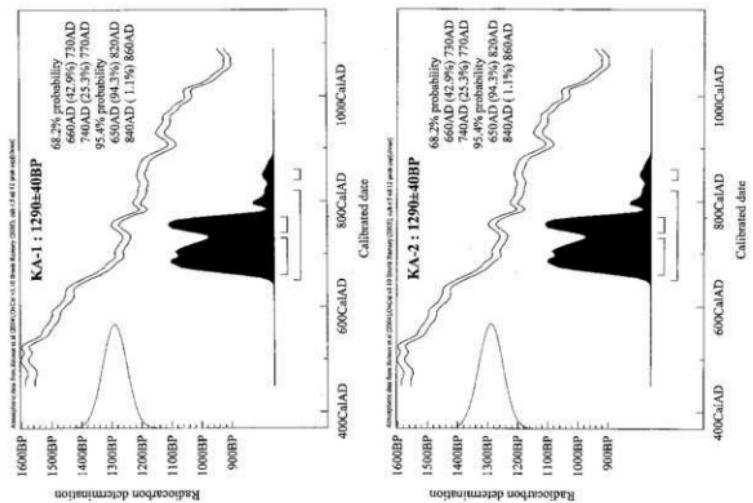
国際的な取り決めにより、この $\Delta^{14}\text{C}$ あるいは pMC により、放射性炭素年代 (Conventional Radiocarbon Age ; yrBP) が次のように計算されます。

$$T = -8033 \times \ln [(\Delta^{14}\text{C} / 1000) + 1]$$

$$= -8033 \times \ln (\text{pMC} / 100)$$

IAA

IAA Code No.	試 料	BP 年代および炭素の同位体比
IAAA-51668 #1094-1	試料採取場所 : 北海道恵庭市	Libby Age(yrBP) : 1,290 ± 40
	試料形態 : 炭化材	$\delta^{13}\text{C}(\text{‰})$ 、(加速器) = -26.34 ± 0.92
	試料名(番号) : KA-1	$\Delta^{14}\text{C}(\text{‰})$ = -148.9 ± 3.8
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	pMC(%) = 85.11 ± 0.38
IAAA-51669 #1094-2	試料採取場所 : 北海道恵庭市	$\delta^{14}\text{C}(\text{‰})$ = -151.2 ± 3.4
	試料形態 : 炭化材	pMC(%) = 84.88 ± 0.34
	試料名(番号) : KA-2	Age (yrBP) : 1,320 ± 30
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	Libby Age(yrBP) : 1,290 ± 40
	試料採取場所 : 北海道恵庭市	$\delta^{13}\text{C}(\text{‰})$ 、(加速器) = -31.94 ± 0.96
	試料形態 : 炭化材	$\Delta^{14}\text{C}(\text{‰})$ = -148.1 ± 3.9
	試料名(番号) : KA-2	pMC(%) = 85.19 ± 0.39
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}(\text{‰})$ = -160.2 ± 3.5

[註] age: yr BP; δ¹³C: ‰; Δ¹⁴C: ‰; pMC: ‰; calibrated date: cal yr BP

2 炭化樹種同定

財北海道埋蔵文化財センターより株バレオ・ラボへ、下記の試料の樹種同定を依頼した。結果は次ページ以降に掲載した。
(村田)

KH-2



表V-2 KH-2採取炭化材同定分析試料一覧

試料番号	採取地点	採取部位	備考
1	KH-2	床面	2 西壁際 立柱?
2	KH-2	床面	6 北端 スコット
3	KH-2	床面	16 北壁 スコット 天板
4	KH-2	床面	19 西壁 スコット
5	KH-2	床面	20 西壁 スコット 天板
6	KH-2	床面	23 東壁 窓枠?
7	KH-2	床面	29 南V付 壁アーチ?
8	KH-2	床面	32 西壁 窓枠?スノコ、ゴザ板より上位
9	KH-2	床面	37 西壁 立柱?
10	KH-2	床面	38 西壁 スコット 旗脚材?ゴザ板より下位

KH-3



図V-2 炭化樹種同定試料採取位置図

表V-3 KH-3採取炭化材同定分析試料一覧

試料番号	採取地点	採取部位	備考
11	KH-3	床面	西壁際 立柱?
12	KH-3	床面	6 南V付 壁アーチ?
13	KH-3	床面	3 西壁 立柱?
14	KH-3	床面	10 東西南 窓枠?
15	KH-3	床面	13 やや中央上部 節枝のもの
16	KH-3	床面	14 やや中央より 単軸性のもの
17	KH-3	床面	15 やや中央より 単軸性のもの
18	KH-3	床面	24 東壁 窓枠?
19	KH-3	床面	26 墓室 旗脚材?セミ園錐?
20	KH-3	床面	29 東壁 旗脚材?セミ園錐?

恵庭市柏木川 4 遺跡竪穴住居跡出土炭化材の樹種同定

株式会社パレオ・ラボ 植田弥生

1.はじめに

ここでは、擦文時代の竪穴住居跡 2 軒(KH- 2、KH- 3)から出土した炭化材の樹種同定結果を報告する。

2 軒は、出土考古遺物から 8 世紀中ごろに比定されている。住居跡の床面から出土した炭化材は、すのこ状のものや、柱、立杭、屋根材などの構築材である。住居構築材にはどのような樹種の材を選択利用していたのかを明らかにする目的で、樹種調査は実施された。

2.試料と方法

炭化材の保存状態は良好であったため、取り上げられた一部破片ではあるが、木取りや破片に含まれる年輪数を記録した。

同定は、炭化材の横断面(木口)を手で割り実体顕微鏡で予察し、管孔配列が特徴的で実体顕微鏡下の観察で同定可能な分類群については、この段階で同定した。それ以外の試料は、材の 3 方向(横断面・接線断面・放射断面)の断面を作成し、走査電子顕微鏡で拡大された材組織を観察した。走査電子顕微鏡用の試料は、3 断面を 5 mm 角以下の大さに整え、直径 1 cm の真鍮製試料台に両面テープで固定し、試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡(日本電子株製 JSM-T100型)で観察と写真撮影を行った。

同定した炭化材の残り破片は、北海道埋蔵文化財センターに保管されている。

3.結果

同定結果の一覧を、表 1 に示した。

KH- 2 の 10 試料と KH- 3 の 10 試料は、すべてブナ科のコナラ属コナラ亜属コナラ節であった。

KH- 3 の試料 13 は太い柱?で、試料は半径 6 cm 以上のみかん割りの形状をなしていた。従って、みかん割りで利用していたか、芯持ち丸木で利用していたが炭化後に割れてみかん割りの形状で残った可能性も考えられる。KH- 3 の試料 11 は西壁際の立杭?で、炭化材の観察からは角材のようであった。それ以外の試料は、柵目分割や柵目板状と推測される破片であった。KH- 2 の試料 2 には、樹皮が認められた。

炭化材の年輪は、1 年輪が 1 mm 前後で年輪幅が非常に狭いぬか目材が、ほとんどであった。破片に含まれる年輪数は、50 年輪前後あるものが多く、KH- 3 の試料 13 と試料 20 は 75 年輪が数えられた。

以下に同定根拠とした材組織の特徴を記載し、材組織写真を提示する。

コナラ属コナラ亜属コナラ節 *Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 図版 1

1a- 1c(試料 2) 2a(試料 1) 3a(試料 12) 4a(試料 13) 5a(試料 17)

年輪の始めに大型の管孔が 1~2 層配列し、その後は急の径を減じて薄壁で多角形の非常に小型の管孔が火炎状・放射状に配列する環孔材である。道管の壁孔は交互状、穿孔は単穿孔、内腔にチロスがある。放射組織は単列のものと細胞幅が非常に広い複合状のものがある。

コナラ節は暖帯から温帯に生育する落葉高木でカシワ・ミズナラ・コナラ・ナラガシワがある。

4.まとめ

8世紀中ごろの擦文時代の堅穴住居跡2軒(KH-2、KH-3)から出土したすのこ状のものや、柱、立杭、屋根材などの20試料を調査した結果、すべてがコナラ節であった。従ってこの2軒は主にコナラ節の材を利用して構築されていたと考えられる。炭化材の横断面で数えた年輪数は50年輪前後やそれ以上のものが多いことから、伐採した木はかなり樹齢が多い木であったと推測される。そして、その材を製材加工して利用していたことも確認された。すのこ状や井桁状の材も芯持ち丸木を組んでいたのではなく、製材した分割材を利用していった。

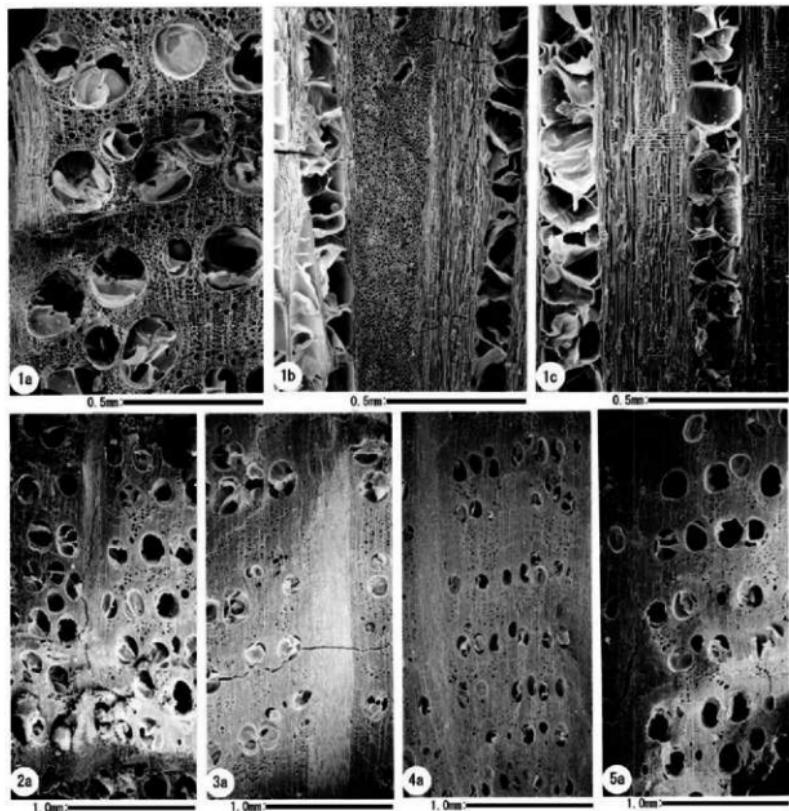
擦文時代前期の住居跡である恵庭市の中島松5遺跡と柏木川11遺跡では、トネリコ属が優占しそのほかにも複数種類の落葉広葉樹が出土している(山田、1993)。当遺跡ではコナラ節が優占的に利用されていたが、地域内では特異的な事例なのか、コナラ節が主体の住居跡も多いのかは、情報をあまりしらないので判断できなかった。

引用文献

山田昌久(1993)日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成-用材から見た人間・植物関係史・植物生史研究 特別第1号

恵庭市柏木川4遺跡出土炭化樹種同定結果

試料番号	遺構名	採取位置	取り上げNo.	樹種	木取りなど	横断面形状 放射径×接線径(cm)	要化材の 年輪数	出土状況
1	KH-2(擦文住居)	床面	2	コナラ節	胚目 分割 剥め切削痕あり	6.2×4.2	60mmで50年輪	西壁際 立杭?
2	KH-2(擦文住居)	床面	8	コナラ節	胚目 分割 剥皮あり	2.5×1.5	25mmで51年輪	北壁 スノコ状
3	KH-2(擦文住居)	床面	16	コナラ節	胚目 分割	6.2×4.2	35mmで40年輪	北壁 スノコ状 天板
4	KH-2(擦文住居)	床面	19	コナラ節	小破片		ぬか目	北壁 スノコ状
5	KH-2(擦文住居)	床面	20	コナラ節	胚目 分割	3.5×2.5	35mmで55年輪	北壁 スノコ状 天板
6	KH-2(擦文住居)	床面	23	コナラ節	胚目 分割	3.2×2.2	ぬか目	東壁 屋根材?
7	KH-2(擦文住居)	床面	29	コナラ節	胚目 分割	3.5×1.5	24mmで24年輪	カマド様 カマド周辺?
8	KH-2(擦文住居)	床面	33	コナラ節	胚目 板状	6.0×2.5	50mmで51年輪	西壁 屋根材?スノコ、敷物より上位
9	KH-2(擦文住居)	床面	37	コナラ節	胚目 板状	4.2×2.2	35mmで45年輪	西壁際 立杭?
10	KH-2(擦文住居)	床面	39	コナラ節	胚目 板状	4.7×1.5	46mmで56年輪	西壁 スノコ状 屋根材?敷物より下位
11	KH-3(擦文住居)	床面	1	コナラ節	胚目 角材	3.0×2.0	26mmで43年輪	西壁際 立杭?
12	KH-3(擦文住居)	床面	6	コナラ節	胚目 板状	4.5×1.3	45mmで34年輪	カマド様 カマド周辺?
13	KH-3(擦文住居)	床面	9	コナラ節	みかん割り	6.0×4.5	60mmで10年輪以上	西壁 太い柱?
14	KH-3(擦文住居)	床面	10	コナラ節	胚目 板状	4.2×2.2	38mmで39年輪	北西角 屋根材?
15	KH-3(擦文住居)	床面	13	コナラ節	胚目 板状	5.5×3.0	55mmで73年輪	やや中央より 板状のもの
16	KH-3(擦文住居)	床面	14	コナラ節	胚目 板状	2.0×0.8	20mmで36年輪	やや中央より 井桁状
17	KH-3(擦文住居)	床面	15	コナラ節	胚目 板状	2.2×0.5	22mmで38年輪	やや中央より 井桁状
18	KH-3(擦文住居)	床面	24	コナラ節	胚目	1.4×0.7	14mmで10年輪	東壁 屋根材?
19	KH-3(擦文住居)	床面	28	コナラ節	胚目 板状	3.5×2.0	25mmで49年輪	東壁 屋根材?土壇板?
20	KH-3(擦文住居)	床面	29	コナラ節	胚目 板状	4.0×2.0	40mmで75年輪	東壁 屋根材?土壇板?



図版 1 柏木川 4 遺跡竪穴住居跡出土炭化木材組織の走査電子顕微鏡写真

1a- 1c: コナラ節 (試料 2) 2a: コナラ節 (試料 1) 3a: コナラ節 (試料 12)

4a: コナラ節 (試料 13) 5a: コナラ節 (試料 17)

a: 横断面 b: 接線断面 c: 放射断面

3 炭化種実同定

財北海道埋蔵文化財センターより株パレオ・ラボへ、下記の試料の炭化種実同定を依頼した。結果は以下に掲載した。
(村田)

柏木川4遺跡から出土した炭化種実

株式会社パレオ・ラボ 新山雅広

1.はじめに

恵庭市に所在する柏木川4遺跡の擦文住居から出土した炭化種実を検討し、利用植物の推定を試みた。

2. 試料と方法

炭化種実の検討は、擦文住居のKH-2およびKH-3から出土したものについて行った(No.1~10)。検討したのは、2.00mm(No.1、3、5、7、9)および0.425mm目(No.2、4、6、8、10)の篩を用いてフローテーションを行った結果回収された浮遊物試料である。試料の詳細は、以下の通りである。

KH-2:採取された場所(採取量、試料No.)は、カマド(1.5l、No.1、2)、カマド焚口(7.0l、No.3、4)、カマド火床(試料7.5l、No.5、6)である。回収された浮遊物は、No.1は6.4g、No.2は51.1g、No.3は42.6g、No.4は16.5g、No.5は10.1g、No.6は9.9gである。

KH-3:採取された場所(採取量、試料No.)は、カマド焚口(6.5l、No.7、8)、カマド火床(6.0l、No.9、10)である。回収された浮遊物は、No.7は2.4g、No.8は12.8g、No.9は、9.5g、No.10は11.7gである。

上記浮遊物試料を実体顕微鏡下で検鏡し、炭化種実などを拾い上げ、同定・計数を行った。

3. 出土した炭化種実

全試料で同定された分類群は、木本がキイチゴ属の1分類群、草本がキビ、アワ、タデ科の3分類群であり、他に菌核も得られた。以下に、各住居の炭化種実を記載する。

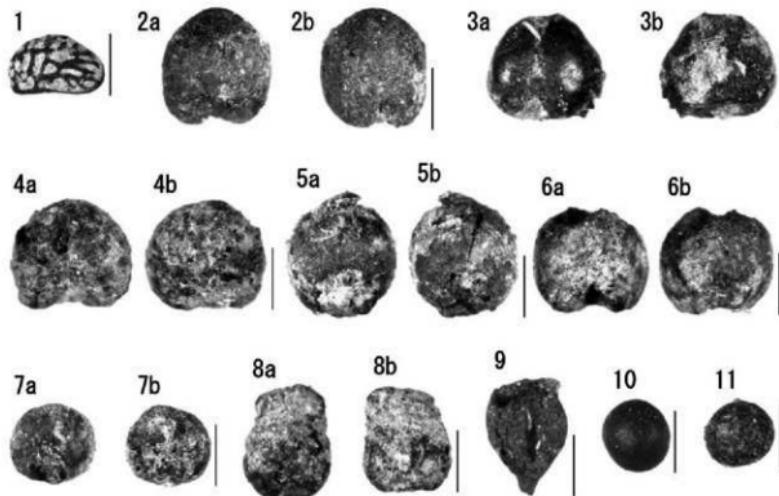
KH-2:キイチゴ属、キビ、菌核が少量得られた。カマドからはNo.2でキイチゴ属、菌核、カマド焚口からはNo.3でキビ、カマド火床からはNo.6でキビ、菌核が得られた。

KH-3:キビ、アワ、タデ科、菌核が少量得られた。カマド焚口からはNo.7、8共にキビ、アワが得られ、No.8では菌核も得られた。カマド火床からはNo.10でタデ科が得られた。

4. 形態記載

(1) キイチゴ属 *Rubus* 炭化核

長さ1.5mm、幅0.5mm程度の歪んだ橢円形ないし腎形。断面は両凸レンズ形。表面には網目紋が散在する。



図版1 出土した炭化種実(スケールは1mm)

1. キイチゴ属、炭化核、No.2 2. キビ、炭化胚乳、No.3 3. キビ、炭化胚乳、No.6 4. キビ、炭化胚乳、No.7 5. 6. キビ、炭化胚乳、No.8 7. アワ、炭化胚乳、No.7 8. アワ、炭化胚乳、No.8 9. タデ科、炭化果実、No.10 10. 菌核、No.2 11. 菌核、No.6

炭化種実出土一覧表 数字は個数を示す

遺構名	KH-2 (推文住居)						KH-3 (推文住居)					
	カマド		カマド焚口		カマド火床		カマド焚口		カマド火床			
サンプル量(1)	1.5		7.0		7.5		6.5		6.0			
筋目	2.00mm	0.425mm	2.00mm	0.425mm	2.00mm	0.425mm	2.00mm	0.425mm	2.00mm	0.425mm		
浮遊物(g)	6.4	51.1	42.6	16.5	10.1	9.9	22.4	12.8	9.5	11.7		
分類群・部位	試料	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	
キイチゴ属	炭化核		1									
キビ	炭化胚乳			1			3	1	2			
アワ	炭化胚乳							1	3			
タデ科	炭化果実											1
	菌核		1				2		1			

(2) キビ *Panicum miliaceum* Linn. 炭化胚乳

側面觀は卵円形、断面は厚みがある。胚は幅が広く、長さは胚乳の長さの $\frac{1}{2}$ 程度。腹面下端中央にうちわ型の臍がある。長さ1.6~2.0mm、幅1.8~2.1mm程度。

(3) アワ *Setaria italica* Beauv. 炭化胚乳

側面觀は円形ないし卵円形。小さい割に厚みがある。胚の長さは胚乳の長さの $\frac{1}{3}$ 程度。腹面下端中央の窪んだ位置に、本来は細長い橢円形の小さな臍があるが、明瞭に確認できるものはない。長さ1.0~1.2mm、幅1.1~1.3mm程度。なお、No.7は腹面に顆が少し付着していた。

(4) タデ科 *Polygonaceae* 炭化果実

三稜形で表面は平滑。先端は少し欠損し、残存長2.0mm、幅1.3mm程度。

(5) 菌核

径1.0~1.2mm程度の概ね球形(仁丹状)。表面は平滑か微細な皺がある。

5. 考察

浮遊物の主体を成す炭化物は炭化材であり、炭化種実は少なかった。しかし、キイチゴ属、キビ、アワ、タデ科、菌核が含まれてあり、利用植物の一端を明らかにすることができた。栽培植物のキビ、アワは、キビがKH-2のカマド焚口、カマド火床、KH-3のカマド焚口から出土した。アワは、KH-3のカマド焚口から出土した。柏木川11遺跡では、擦文時代の住居跡から出土した多量の種実が検討されており、アワ、キビを主体にマタタビ属、アサ、ブドウ属などが検出された(吉崎、1990)。雑穀として、アワ、キビが多量に検出されたにも関わらず、明確な形でのヒエが検出されていない。種実の出土量に著しい差はあるが、本遺跡においてもキビ、アワの出土に対して、ヒエは出土しないという点で、柏木川11遺跡との類似性が認められる。KH-2のカマドから出土したキイチゴ属は、主食に成り得るようなものではないが、果実は生食可能であり、果実酒などに利用できることから、何らかの形で利用されていた可能性が考えられる。KH-3のカマド火床から出土したタデ科は、現段階では種類が分からず、実体は不明である。しかし、炭化したもののが栽培・利用植物と描ってしばしば遺跡から出土することから、食用などにされていた可能性がある分類群である。本遺跡においても何らかの形で利用されていた可能性があるだろう。菌核は、KH-2、KH-3のいずれからも少量出土したが、カマドで燃やされた材に付着していたものが焼け残ったのであろう。

6. おわりに

擦文時代の住居跡(KH-2、KH-3)から出土した炭化種実を検討した結果、栽培植物のキビ、アワが利用されていたと考えられた。また、キイチゴ属、タデ科も何らかの形で利用されていた可能性が考えられた。

引用文献

吉崎昌一(1990)北海道恵庭市柏木川11遺跡の植物遺体。北海道恵庭市発掘調査報告書、柏木川11遺跡。pp.104~113

VI 小 括

1 遺跡について

検出した遺構は、縄文時代のものは、竪穴住居跡1軒、土壙211基、焼土85カ所、集石1カ所、小ピット4基。擦文時代のものは、竪穴住居跡2軒、集石2カ所である。以下、時期別に述べる。

縄文時代

竪穴住居跡は、平面形が隅丸方形に近い楕円形を呈し、掘り込みのない地床炉を持つ。床面からⅡ群b類植苗式の土器片がまとまって出土しており、前期後半のものである。土壙は、中期に属すると考えられるものが5基ある。KP-85は長径2m程で、大形の貯蔵穴と思われる。後期のものは1基で、形態から後期後葉の土壙墓と推定している。A地区の段丘縁辺部からⅣ群c類堂林式の土器がまとまって出土している。晩期のものと考えられるものは205基で、そのうち土壙墓または土壙墓の可能性があるものは22基である。平面形が楕円形を呈し、長軸1m前後のものはA地区の北側に多い。KP-113・162からは土器の胴部破片が、表を上にして並べられた状態で出土した。KP-140は壙底に2個対になる小ピットがある。KP-152の壙底からは大洞C₁相当の条痕文の土器が出土した。KH-2の掘り上げ土から同種の土器が出土していることから、周辺に同時期の土壙墓が存在していた可能性がある。KP-166からは完形の双口土器が出土した。壙底に段状の構造をもち、土器がまとまって出土する例は、千歳市ママチ遺跡のBP-16・25などに類似がある。KP-167からは赤彩が施された土器が1個体まとめて出土している。性格の特定できない土壙は、小形で円形のものが大半で、覆土は流入土と崩落土の互層で、遺物の出土は少ない。焼土は、調査区のほぼ全域に分布しており、焼けて白色化した動物骨・魚骨が含まれるものが多い。

擦文時代

2軒の竪穴住居跡は、出土した土器からいずれも8世紀中葉のもので、焼失住居である。覆土に被熱し赤色硬化した土や焼土が見られることから、土葺きの屋根を持っていたと考えられる。主柱穴が外に4本あるいわゆる「カリンバ型」と呼ばれるものである。形態、出土遺物、構造材などの材の選択、年代測定結果などから、ほぼ同時期に存在し、住居廃用時期も同じ頃であったと推定できる。

2 付 記

北埋報211集『柏木川4遺跡・柏木川13遺跡(2)』に補足があるので、以下について記す。

調査面積について

平成16年度の調査面積について、第1章第1節の表と報告書抄録には、8,470m²とある。第1章第2節の(1)と第2章第2節の(2)に8,128m²とある。最終的な調査面積は8,470m²である。

平面直角座標系について

第2章第2節の(1)で、座標系の記載がないが、平面直角座標系は第Ⅲ系である。記載したSP-200とSP-300の座標は、日本測地系である。SP-300の杭番号M-15は、M-20が正しい。

包含層出土遺物の分布について

V群土器については第2章第6節で、記述と図が掲載されている。他の時期の土器および石器等については、記載がないので、調査区ごとの出土遺物一覧表を掲載することとした。 (村田)

表 VI- 1 平成16年度包含層出土遺物一覧(1)

表 VI- 1 包含層出土遺物一覽(2)

参考文献

- 恵庭市 1979『恵庭市史』
横山英介 1990『擦文文化』 ニュー・サイエンス社
- 恵庭市教育委員会 1988『柏木川8遺跡 柏木川13遺跡』
恵庭市教育委員会 1989『中島松5遺跡A地点』
恵庭市教育委員会 1990『柏木川11遺跡』
恵庭市教育委員会 1990『中島松5遺跡B地点 中島松7遺跡C地点』
恵庭市教育委員会 1992『西島松17遺跡 西島松18遺跡』
恵庭市教育委員会 1992『中島松1遺跡 南島松4遺跡 南島松3遺跡 南島松2遺跡』
恵庭市教育委員会 1995『柏木川11遺跡(Ⅱ)』
恵庭市教育委員会 2003『柏木川13遺跡(Ⅱ)』
恵庭市教育委員会 2004『柏木川7遺跡』
恵庭市教育委員会 2005『柏木川13遺跡』
恵庭市教育委員会 2005『柏木川13遺跡(Ⅲ)』
- 北海道埋蔵文化財センター 2002『恵庭市 西島松5遺跡』 北埋調報178集
北海道埋蔵文化財センター 2002『恵庭市 西島松9遺跡』 北埋調報179集
北海道埋蔵文化財センター 2003『恵庭市 西島松5遺跡(2)』 北埋調報194集
北海道埋蔵文化財センター 2004『恵庭市 西島松5遺跡(3)』 北埋調報209集
北海道埋蔵文化財センター 2005『恵庭市 西島松5遺跡(4)』 北埋調報224集
北海道埋蔵文化財センター 2003『恵庭市 柏木川13遺跡』 北埋調報203集
北海道埋蔵文化財センター 2004『恵庭市 柏木川4遺跡・柏木川13遺跡(2)』 北埋調報211集
北海道埋蔵文化財センター 1993『美沢川流域の遺跡群X・VII』 北埋調報89集
北海道埋蔵文化財センター 1982『ママチ遺跡』 北埋調報9集
北海道埋蔵文化財センター 1987『千歳市 ママチ遺跡(III)』 北埋調報36集
北海道埋蔵文化財センター 2001『穂香豎穴群』 北埋調報170集
北海道埋蔵文化財センター 2002『穂香豎穴群(2)』 北埋調報184集
北海道埋蔵文化財センター 2003『穂香豎穴群(3)』 北埋調報198集

写 真 図 版

図版 1



(平成16年度撮影) SE→NW



伐採終了状況(平成16年度撮影) S→N

調査前状況

図版 2



N → S



E → W

調査風景（1）



NW → SE



S → N

調査風景（2）

図版 4



A 地区 SW→NE



C 地区 N→S

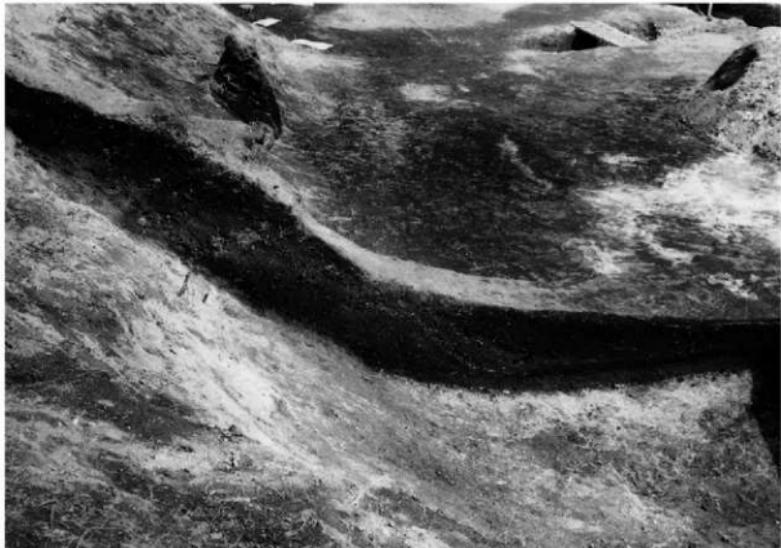
調査終了状況



51ライン西側 SW→NE



51ライン東側 SW→NE



51ライン東側斜面部 SW→NE

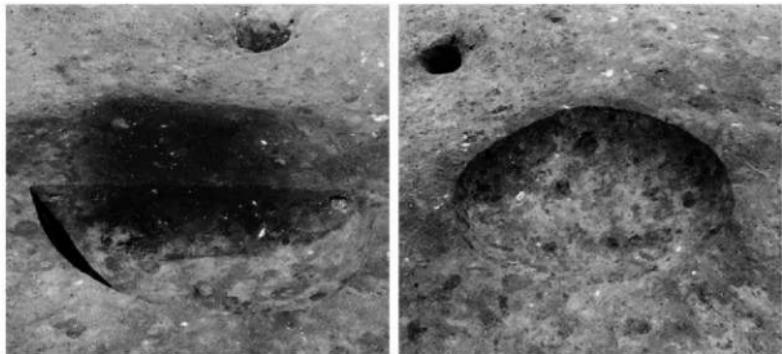
基本土層

図版 6



KH- 4

完観 N→S



KP- 79セクション SW→NE

KP- 79完掘 W→E



KP- 80(右)・80(左)セクション SW→NE



KP- 80(右)・80(左)完掘 W→E

土壤(1)

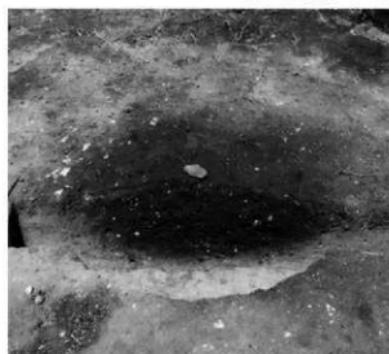
図版 8



KP-81完掘 E→W



KP-82セクション W→E



KP-83セクション SW→NE



KP-82完掘 W→E



KP-83完掘 W→E

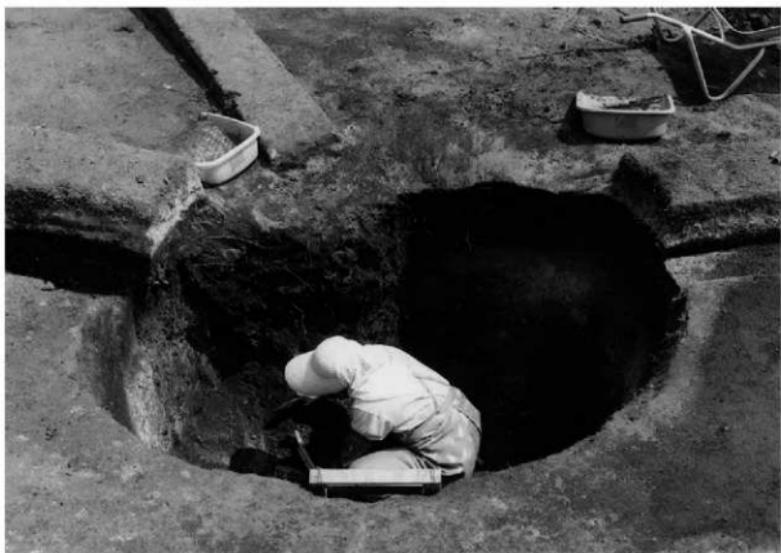
土壤(2)



KP-84完掘 SW→NE



KP- 85セクション SW→NE



KP- 85調査風景 SW→NE

土壤 (3)

図版10

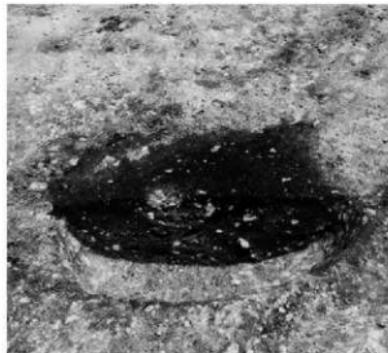


KP- 85完掘 W → E

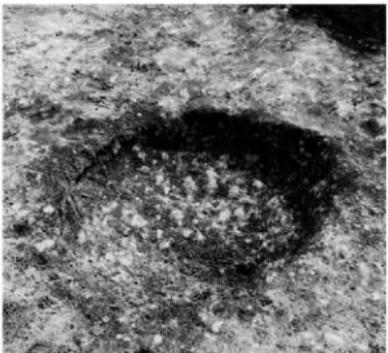


KP- 85掘上げ土検出状況 S → N

土壤 (4)



KP- 87セクション S→N



KP- 87完掘 W→E



KP- 88セクション S→NW



KP- 88完掘 NW→SE



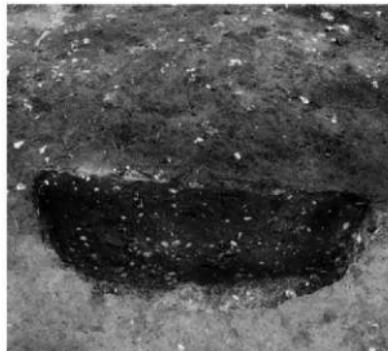
KP- 89セクション NW→SE



KP- 89完掘 S→N

土壤 (5)

図版12



KP-90セクション W→E



KP-90完掘 SE→NW



KP-91セクション W→E



KP-91完掘 E→W



KP-92セクション NW→SE

土壤(6)



KP-92完掘 S→N



KP- 93完掘 N→S



KP- 94セクション SW→NE



KP- 95セクション SW→NE

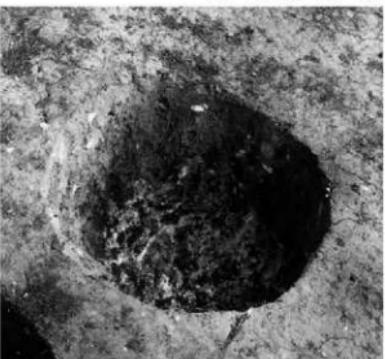


KP- 95完掘 NE→SW



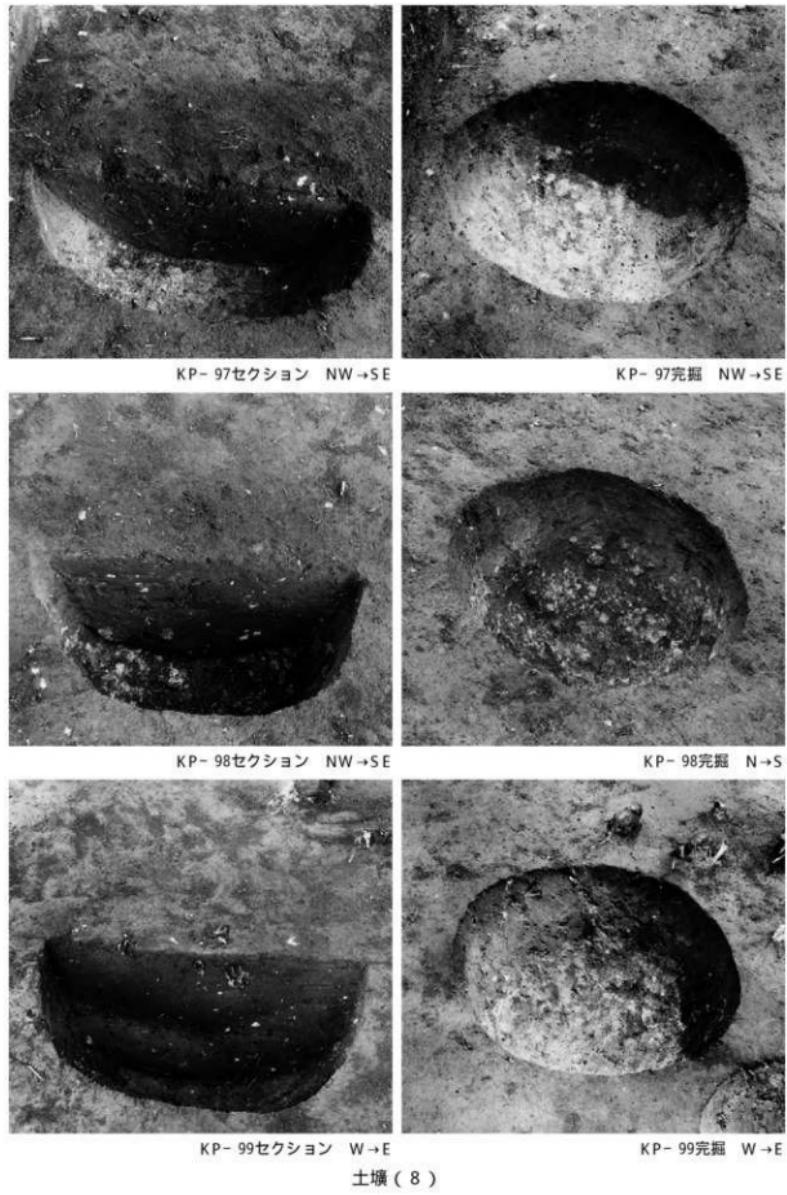
KP- 96セクション SW→NE

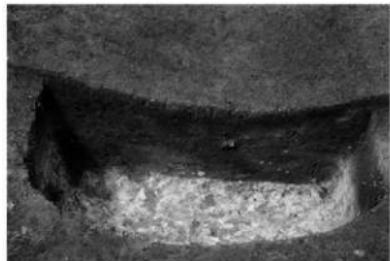
土壤 (7)



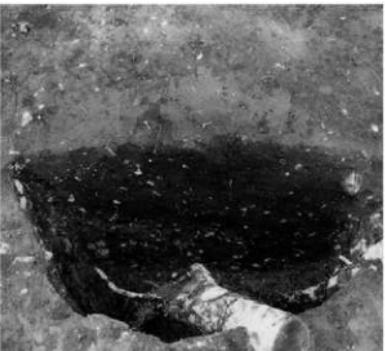
KP- 96完掘 N→S

図版14





KP- 100セクション SW→NE



KP- 101セクション W→E



KP- 100完掘 N→S



KP- 101完掘 NE→SW



KP- 102セクション W→E

土壤 (9)



KP- 102完掘 SW→NE

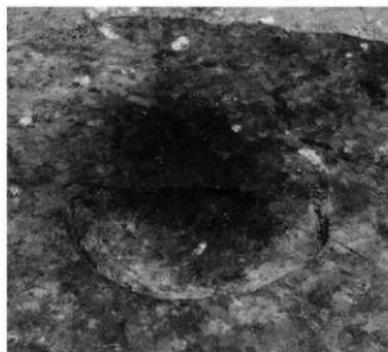
図版16



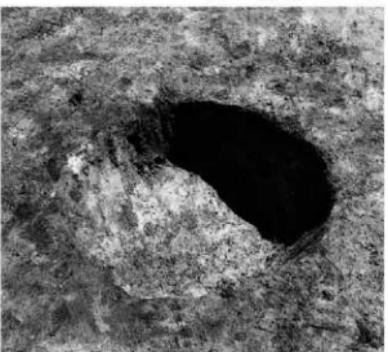
KP- 103セクション SW → NE



KP- 103完掘 NW → SE



KP- 104セクション SE → NW

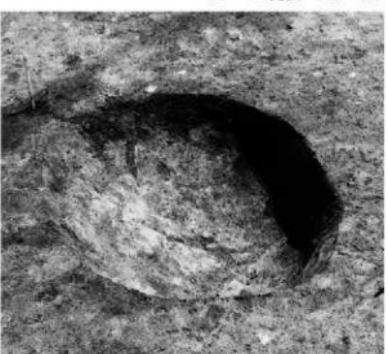


KP- 104完掘 SW → NE



KP- 105セクション SE → NW

土壤 (10)



KP- 105完掘 W → E



KP- 106セクション SE → NW



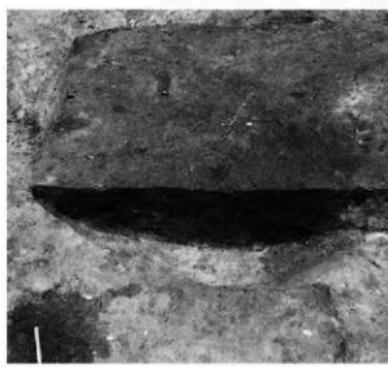
KP- 106完掘 N → S



KP- 107セクション SE → NW



KP- 107完掘 N → S



KP- 108セクション SE → NW



KP- 108完掘 N → S

土壤 (11)

図版18



KP- 109セクション S→N



KP- 109完掘 N→S



KP- 110セクション S→N



KP- 110完掘 N→S



KP- 111セクション NW→SE

土壤 (12)



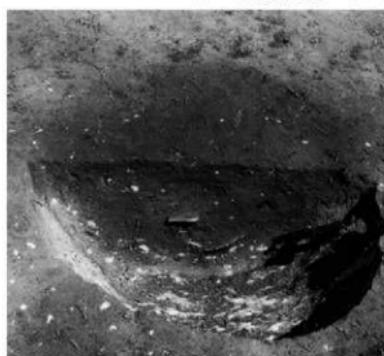
KP- 111完掘 NW→SE



KP- 112セクション W→E



KP- 112完掘 N→S



KP- 113セクション NW→SE



KP- 113完掘 E→W



KP- 114セクション NW→SE

土壤 (13)



KP- 114完掘 S→N

図版20



KP- 115セクション NW→SE



KP- 115完掘 N→S



KP- 116セクション W→E

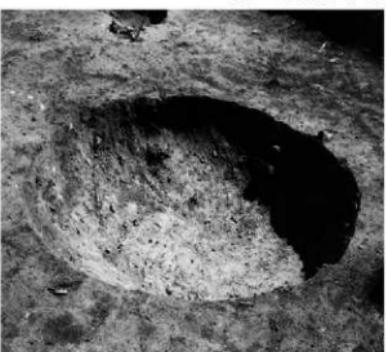


KP- 116完掘 N→S



KP- 117セクション S→N

土壤 (14)



KP- 117完掘 N→S



KP- 118セクション W→E



KP- 118完掘 SW→NE



KP- 119セクション SW→NE



KP- 119完掘 N→S



KP- 120セクション SW→NE

土壤 (15)



KP- 120完掘 W→E

図版22



KP- 121セクション SW → NE



KP- 121完掘 S → N



KP- 122セクション W → E



KP- 122完掘 W → E



KP- 123セクション W → E

土壤 (16)



KP- 123完掘 NW → SE



KP- 124セクション W→E



KP- 124完掘 SE→NW



KP- 125セクション S→N



KP- 125完掘 NE→SW



KP- 126セクション SW→NE

土壤 (17)



KP- 126完掘 NE→SW

図版24



KP-127セクション S→N



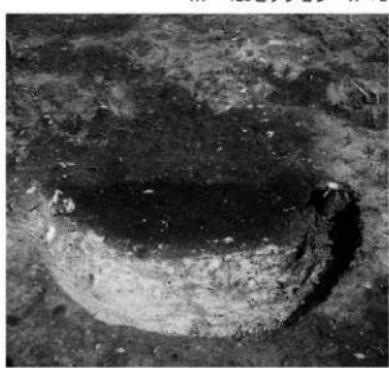
KP-127完掘 W→E



KP-128セクション W→E



KP-128完掘 E→W



KP-129セクション W→E

土壤 (18)



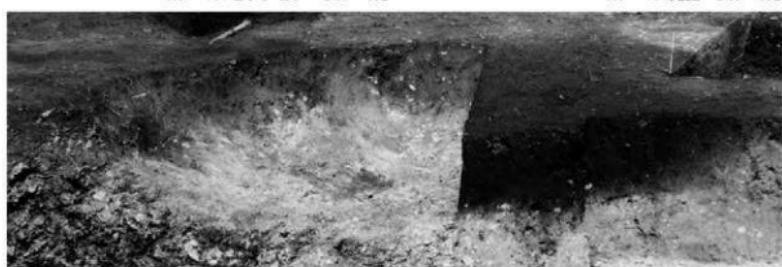
KP-129完掘 E→W



KP- 130セクション SW→NE



KP- 130完掘 SW→NE



KP- 131セクション SE→NW



KP- 131完掘 SW→NE



KP- 132完掘 NE→SW

図版26



KP- 133セクション S → N



KP- 133(奥)・134(中)・135(前)完掘 E → W



KP- 134(左)・135(右)セクション SW → NE



KP- 137セクション SE → NW

土壤 (20)

KP- 137完掘 N → S



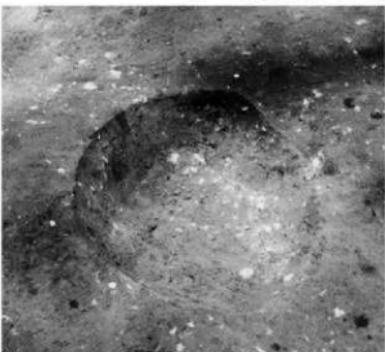
KP-138上面遺物出土状況 NW→SE



KP-138セクション S→N



KP-139上面遺物出土状況 NW→SE



KP-138完掘 E→W



KP-139セクション W→E
土壤(21)



KP-139完掘 N→S

図版28



KP- 140セクション SW→NE



KP- 140完掘 N→S



KP- 14(右)・14(左)セクション W→E



KP- 14(前)・14(奥)完掘 SE→NW

土壤 (22)



KP- 143セクション SE→NW



KP- 144セクション SW→NE



KP- 144完掘 SE→NW



KP- 145セクション SW→NE



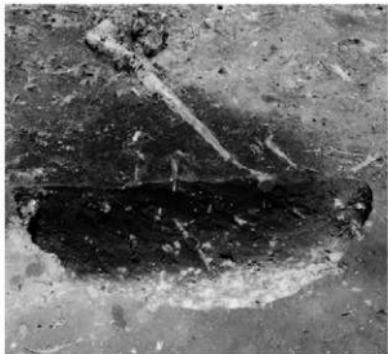
KP- 145完掘 E→W



KP- 146セクション SW→NE

土壤 (23)

図版30



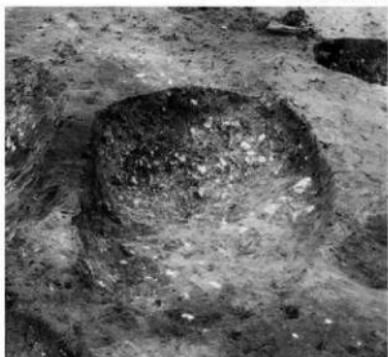
KP-147セクション SW→NE



KP-147完掘 E→W



KP-148・149(内右側)セクション SE→NW



KP-148・149(内側奥)完掘 W→E

土壤 (24)



KP-151セクション SW→NE



KP- 150(右)・151(左)セクション NW→SE



KP- 150(前)・151(奥)完掘 W→E



KP- 152完掘 SW→NE



KP- 139(前)・153(奥)完掘 N→S

土壤 (25)

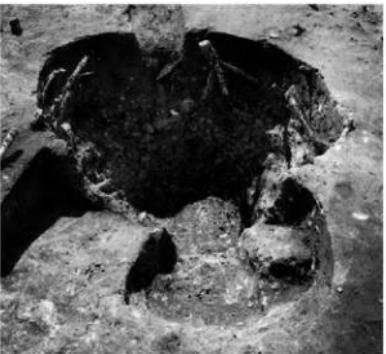


KP- 152セクション SW→NE

図版32



KP- 154(左)・156(右)セクション W→E



KP- 154(前)・156(奥)完掘 N→S



KP- 155セクション NW→SE



KP- 155完掘 NW→SE

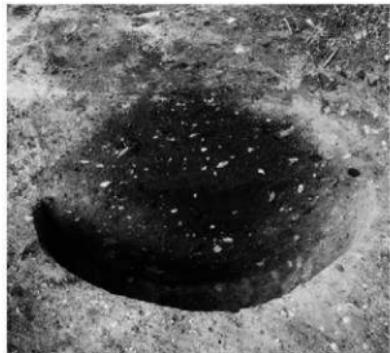


KP- 157セクション S→N

土壤 (26)



KP- 157完掘 E→W



KP- 158セクション SW → NE



KP- 158完掘 N → S



KP- 159セクション SW → NE



KP- 159完掘 W → E



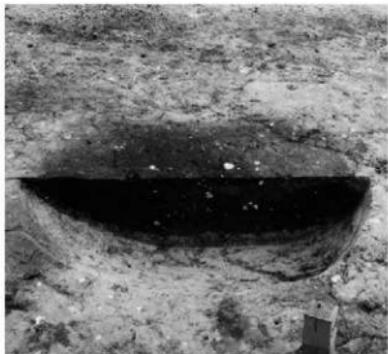
KP- 160セクション S → N

土壤 (27)



KP- 160完掘 SE → NW

図版34



KP- 161セクション S → N



KP- 161完掘 NW → SE



KP- 162セクション SW → NE



KP- 162完掘 S → N



KP- 163セクション NW → SE

土壤 (28)



KP- 163完掘 SE → NW



KP-164(左)・165(右)セクション SE→NW



KP-164(前)・165(奥)完掘 W→E



KP-166セクション W→E



KP-166遺物出土状況 S→N

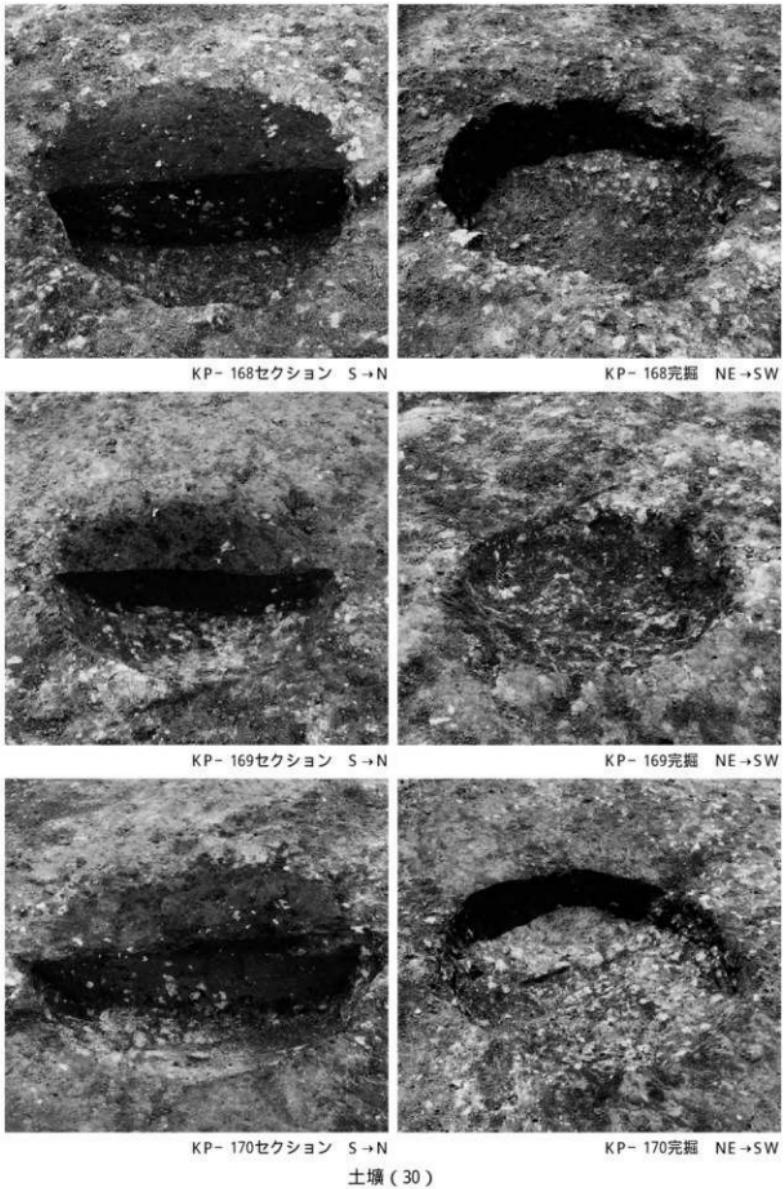


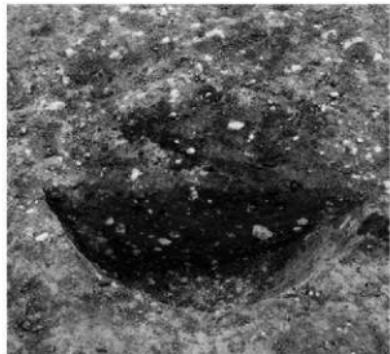
KP-166完掘 NW→SE



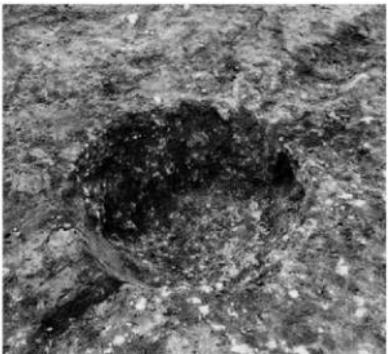
KP-167遺物出土状況 E→W

図版36





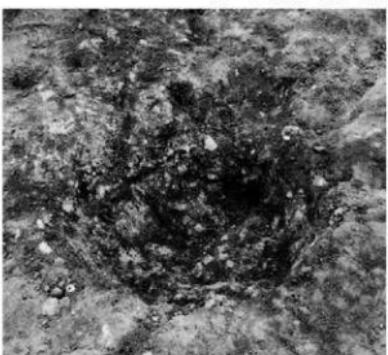
KP- 171セクション SE→NW



KP- 171完掘 NE→SW



KP- 172セクション S→N



KP- 172完掘 NE→SW



KP- 173セクション SW→NE

土壤 (31)



KP- 173完掘 NE→SW

図版38



KP- 174セクション SE→NW



KP- 174(中奥)・175(中前)・
176(前)・177(奥)完掘 E→W



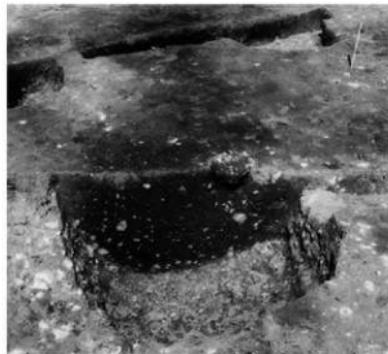
KP- 175セクション SE→NW



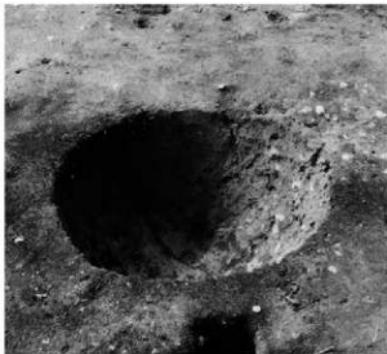
KP- 176セクション SE→NW

土壤 (32)

KP- 177セクション SW→NE



KP- 178セクション W→E



KP- 178完掘 SE→NW



KP- 179セクション SW→NE

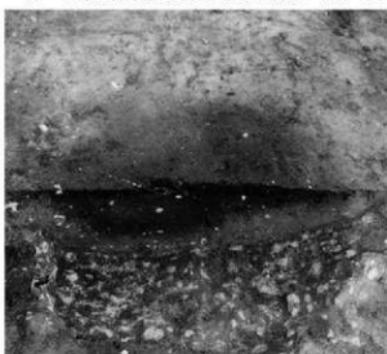


KP- 179(前) 180(奥左) 181(奥右) 完掘 NW→SE



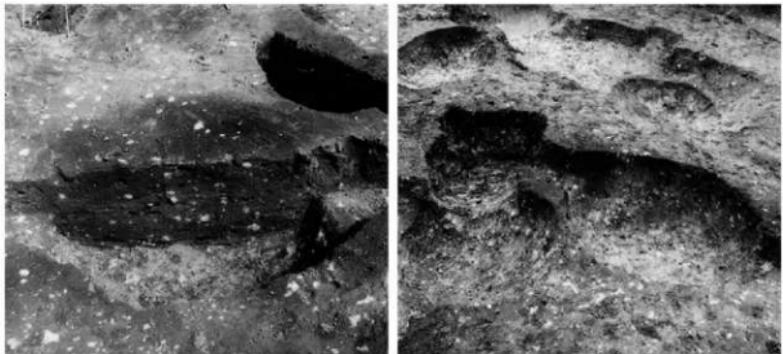
KP- 180セクション NW→SE

土壤 (33)



KP- 181セクション NW→SE

図版40



KP- 182(右)・183(左前)・184(左奥)完掘 NW→SE



KP- 183セクション SW→NE



KP- 184セクション SE→NW

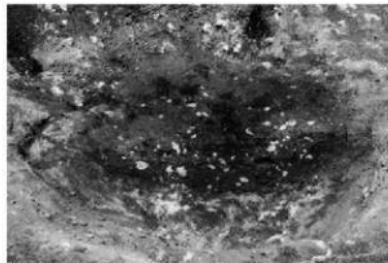


KP- 185(右)・186(左)セクション W→E

土壤 (34)



KP- 185(左)・186(右)完掘 E→W



KP-187セクション S→N



KP-188セクション SW→NE



KP-187(内側)・87(外側)・187(奥)完掘 W→E



KP-188完掘 SW→NE



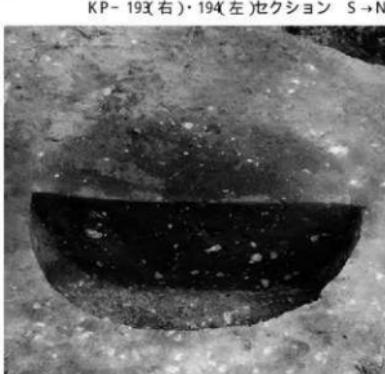
KP-189セクション W→E

土壤(35)



KP-189完掘 S→N

図版42



土壤 (36)



KP- 196セクション SW → NE



KP- 197完掘 N → S



KP- 198セクション SW → NE



KP- 198完掘 E → W



KP- 199セクション SW → NE

土壤 (37)



KP- 199完掘 SW → NE

図版44



KP- 200セクション S→N



KP- 200完掘 N→S



KP- 201セクション W→E

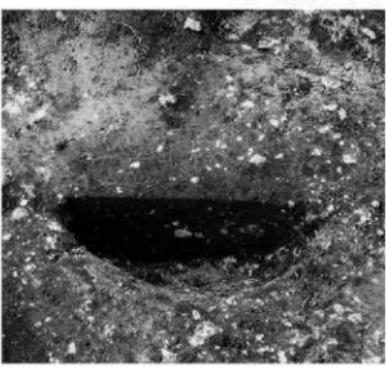


KP- 201完掘 N→S



KP- 202セクション W→E

土壤 (38)



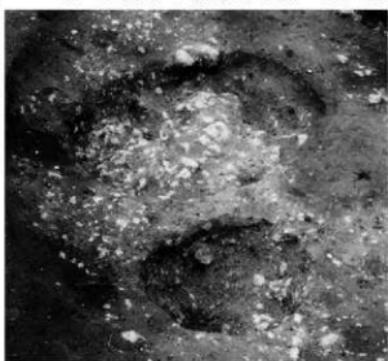
KP- 203セクション S→N



KP- 20X(前)・20X(奥)完掘 W → E



KP- 20X(奥)・20X(前)セクション SW → NE



KP- 20X(前)・20X(奥)完掘 NW → SE



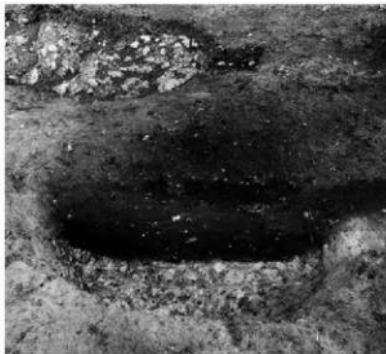
KP- 206セクション SW → NE

土壤 (39)



KP- 206完掘 SE → NW

図版46



KP- 207セクション SW→NE



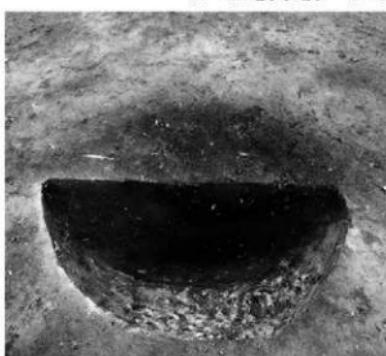
KP- 207完掘 E→W



KP- 208セクション W→E



KP- 208完掘 SW→NE



KP- 209セクション W→E

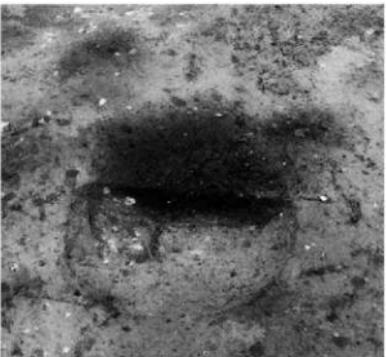
土壤(40)



KP- 209完掘 SW→NE



KP- 210(左)・211(右)セクション SE→NW



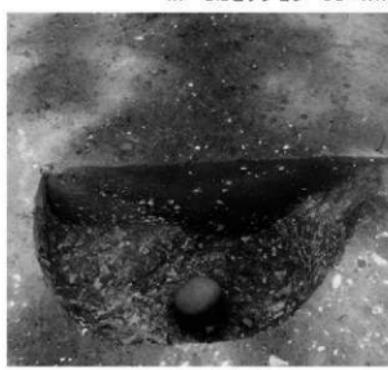
KP- 213セクション SE→NW



KP- 212セクション SE→NW



KP- 212完掘 S→N



KP- 214(新)・232(古)セクション SW→NE



KP- 214完掘 SW→NE

土壤 (41)

図版48



KP- 215セクション W→E



KP- 215完掘 W→E



KP- 216セクション W→E



KP- 216完掘 SW→NE



KP- 218セクション S→N

土壤 (42)



KP- 218完掘 N→S



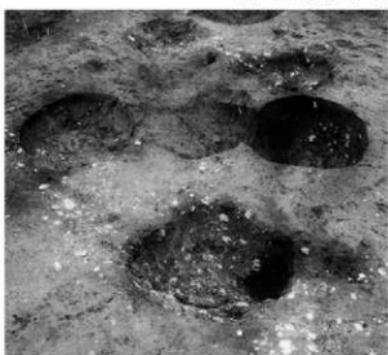
KP- 219セクション S→N



KP- 219完掘 N→S



KP- 217セクション S→N

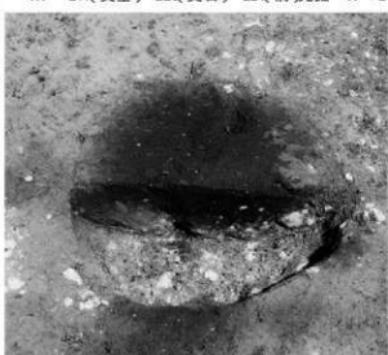


KP- 217(奥左)・220(奥右)・221(前)完掘 W→E



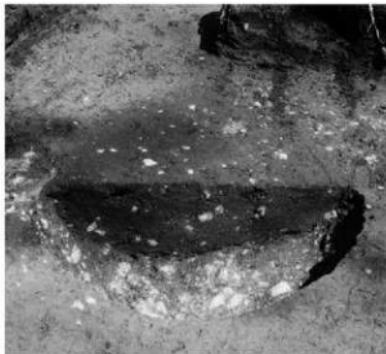
KP- 220セクション S→N

土壤 (43)



KP- 221セクション S→N

図版50



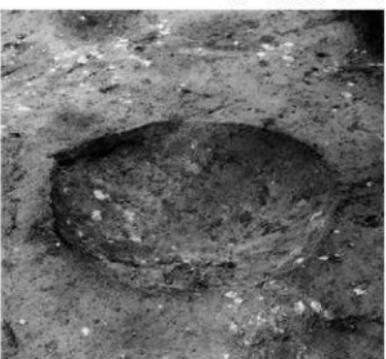
KP- 222セクション S → N



KP- 222完掘 W → E



KP- 223セクション SE → NW



KP- 223完掘 NW → SE



KP- 224セクション SE → NW

土壤 (44)



KP- 224完掘 E → W



KP- 224・225・226・227 右から 焙出状況 E→W



KP- 225セクション SE→NW

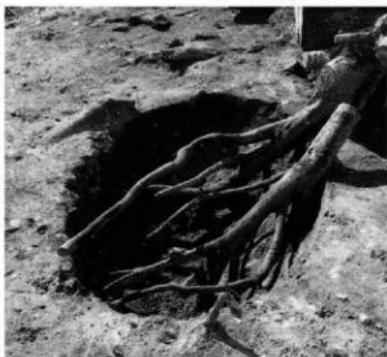


KP- 225完掘 SE→NW



KP- 226セクション S→N

土壤 (45)



KP- 226完掘 SE→NW

図版52



KP- 227セクション S → N



KP- 227完掘・226検出状況 S → N



KP- 228セクション SE → NW



KP- 229セクション W → E



KP- 228完掘 N → S



KP- 229完掘 NE → SW



KP-230セクション S→N



KP-230(奥)・231(前)完掘 E→W



KP-231セクション S→N



KP-214(新)・232(古)セクション SW→NE

土壤(47)



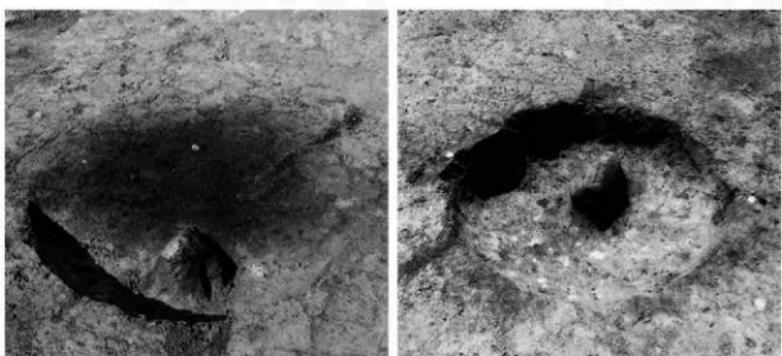
KP-232完掘 S→N

図版54



KP- 233セクション SW→NE

KP- 233完掘 SE→NW



KP- 234セクション SW→NE

KP- 234完掘 NE→SW



KP- 236セクション S→N

土壤 (48)

KP- 236完掘 E→W



KP-238(左)・238(右)セクション SE→NW



KP-238(奥)・238(前)完掘 E→W



KP-239セクション SW→NE



KP-239完掘 SE→NW



KP-240セクション SW→NE

土壤 (49)



KP-240完掘 E→W

図版56



KP-24(右)・24(左)セクション S→N



KP-24(前)・24(奥)完掘 E→W



KP-24(左)・24(右)セクション NW→SE



KP-24(前)・24(奥)完掘 N→S

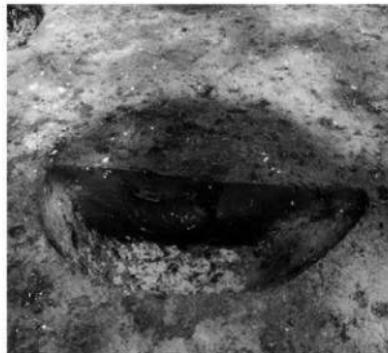


KP-24(左)・24(右)セクション SE→NW



KP-24(奥)・24(前)完掘 NE→SW

土壤(50)



KP- 247セクション W→E



KP- 247完掘 E→W



KP- 248(左)・249(右)セクション W→E



KP- 248(奥)・249(前)完掘 SE→NW



KP- 250セクション W→E

土壤 (51)



KP- 250完掘 W→E

図版58



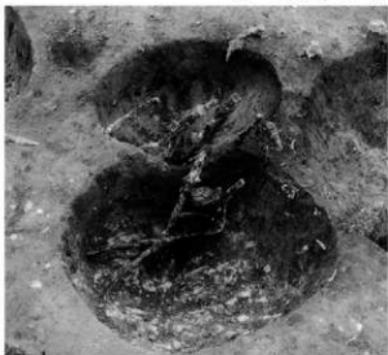
KP- 251セクション S→N



KP- 251完掘 E→W



KP- 252(左)・253(右)・245(奥)セクション SE→NW



KP- 252(奥)・253(前)完掘 NE→SW



KP- 255セクション W→E

土壤 (52)



KP- 255完掘 NE→SW



KP- 256セクション S→N



KP- 256完掘 NE→SW



KP- 257セクション SW→NE



KP- 258セクション SW→NE

KP- 258(奥)・258(前)完掘 SE→NW

図版60



KP- 259セクション S→N



KP- 259完掘 NE→SW



KP- 260セクション S→N

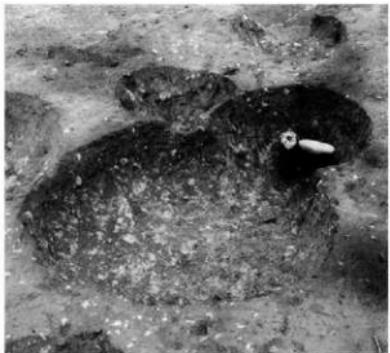


KP- 260(奥)・270(前)完掘 SE→NW

土壤 (54)



KP- 254セクション W→E



KP- 254・261・263・264(奥から)完掘 SE→NW



KP- 261セクション W→E



KP- 263(左)・264(右)セクション NW→SE



KP- 262セクション SW→NE

土壤(55)



KP- 262完掘 E→W

図版62



KP- 265(左)・266(右)セクション NW→SE



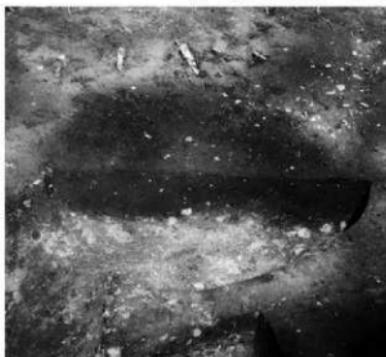
KP- 265(前)・266(奥)完掘 E→W



KP- 267セクション W→E



KP- 267完掘 NE→SW



KP- 268セクション S→N

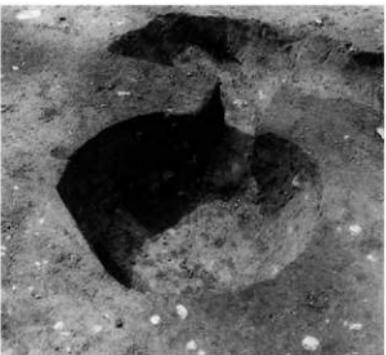
土壤 (56)



KP- 268完掘 N→S



KP- 269セクション S→N



KP- 269完掘 E→W



KP- 270セクション S→N



KP- 270完掘 N→S



KP- 271セクション SE→NW

土壤 (57)



KP- 271完掘 SE→NW

図版64



KP- 272セクション W→E



KP- 272完掘 E→W



KP- 273セクション W→E



KP- 273完掘 E→W

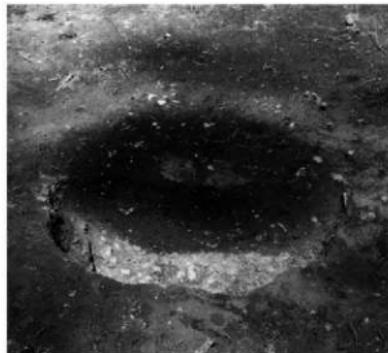


KP- 274セクション SW→NE

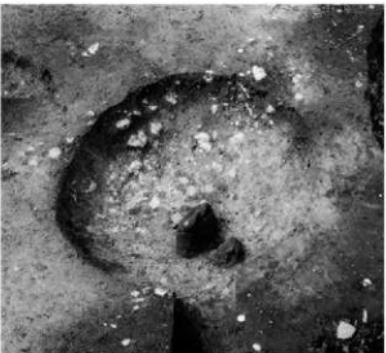
土壤 (58)



KP- 274完掘 N→S



KP- 275セクション S→N



KP- 277完掘 E→W



KP- 278セクション SE→NW

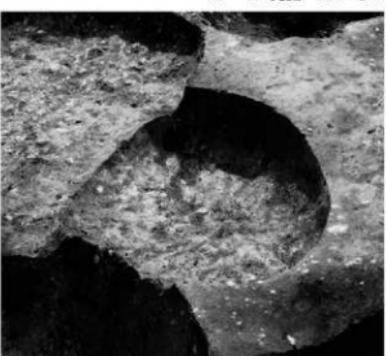


KP- 278完掘 NE→SW



KP- 279セクション SE→NW

土壤 (59)



KP- 279完掘 N→S

図版66



KP- 280セクション SE→NW



KP- 280(前)・KP- 281(奥)完掘 N→S



KP- 281セクション S→N



KP- 282完掘 N→S



KP- 282セクション SW→NE



KP- 283(右)・285(左)セクション NW→SE

土壤 (60)

KP- 283(奥)・285(前)完掘 N→S



KP- 284セクション SW→NE



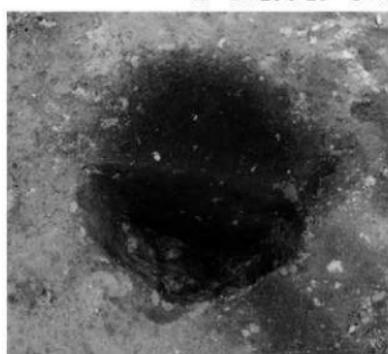
KP- 284完掘 SW→NE



KP- 286セクション S→N



KP- 286完掘 N→S



KP- 287セクション S→N
土壌 (61)



KP- 287完掘 N→S

図版68



KP- 288セクション S→N



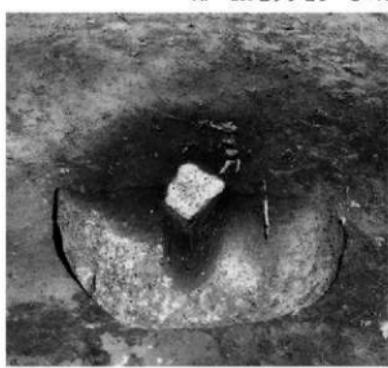
KP- 288完掘 E→W



KP- 289セクション S→N

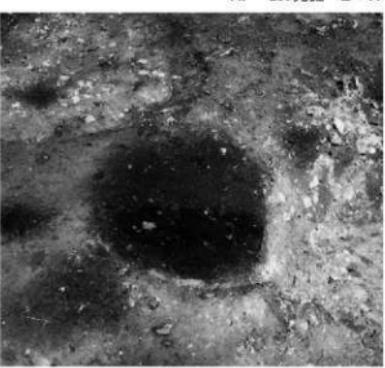


KP- 289完掘 E→W



KP- 290セクション S→N

土壤 (62)



KP- 291セクション SW→NE



KF- 29セクション SE→NW



KF- 56・KP- 197セクション N→S



KF- 70セクション SW→NE



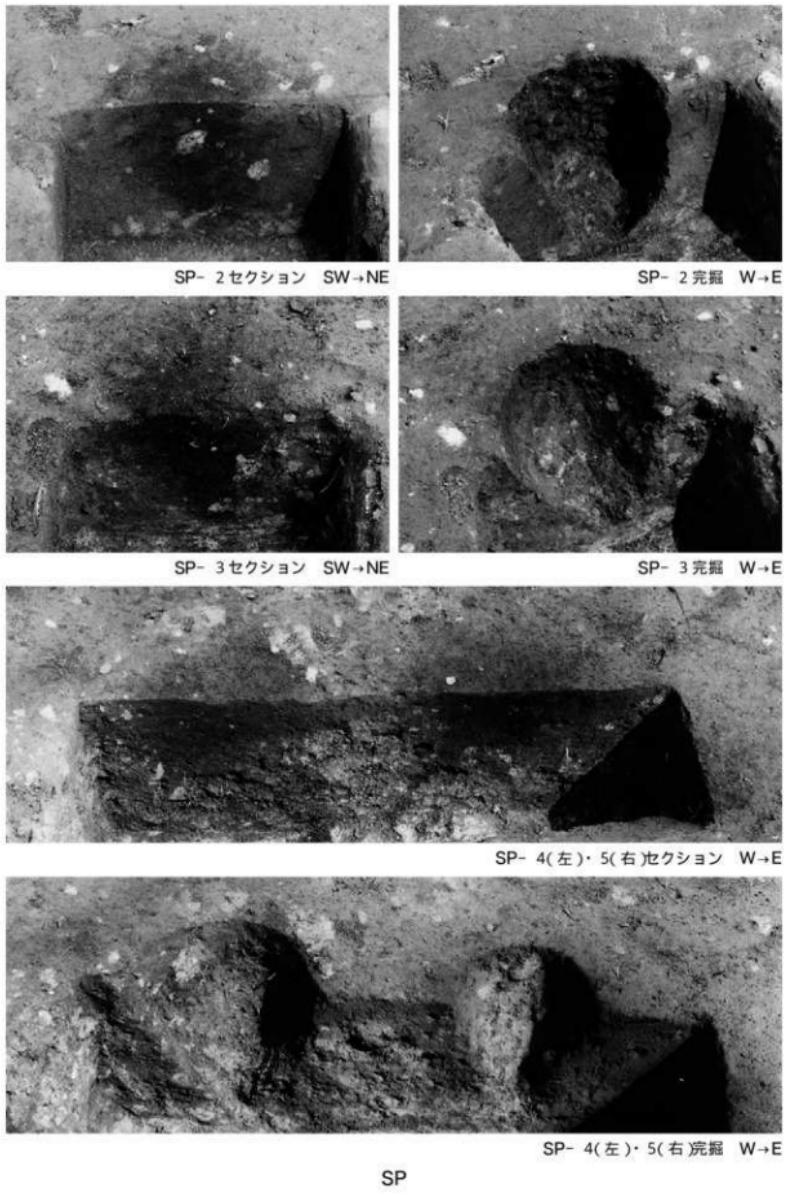
KF- 104セクション W→E

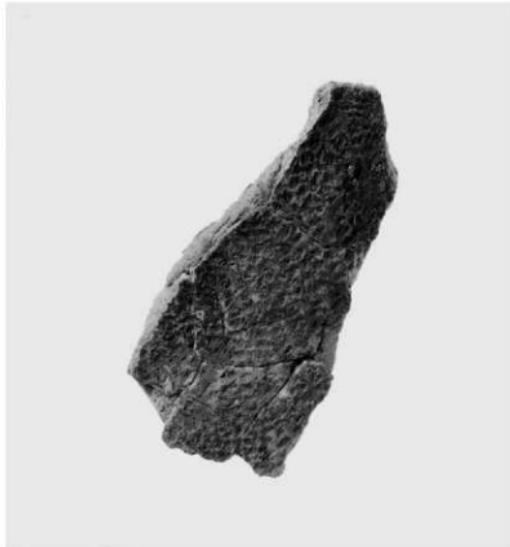


KS- 3 検出状況 NW→SE

KF KS- 3

図版70





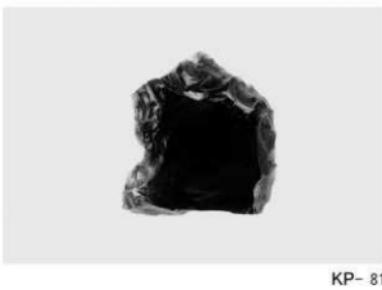
KH- 4



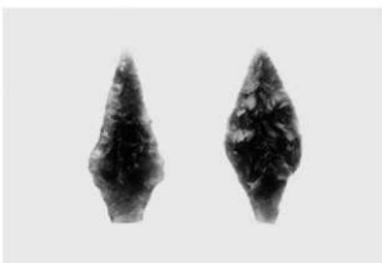
KP- 80



KP- 81



KP- 81



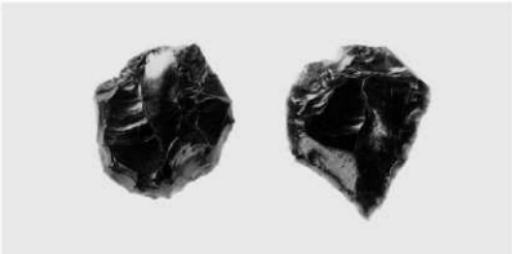
KP- 82

遺構出土の遺物（1）

図版72



KP- 83



KP- 85



KP- 85



KP- 85



KP- 91



KP- 91

遺構出土の遺物（2）



KP- 92



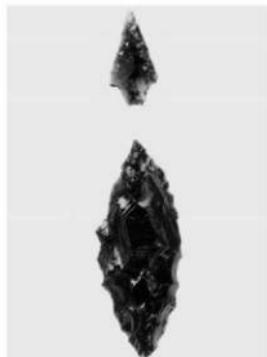
KP- 94



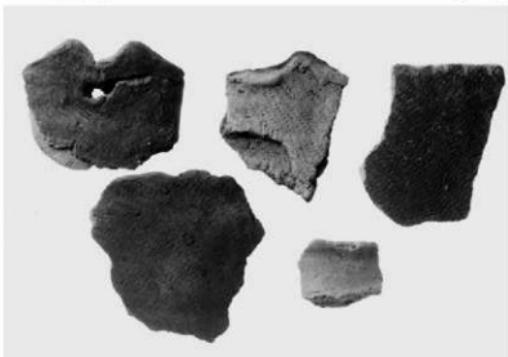
KP- 93



KP- 96



KP- 100



KP- 101

遺構出土の遺物（3）

図版74



KP- 102

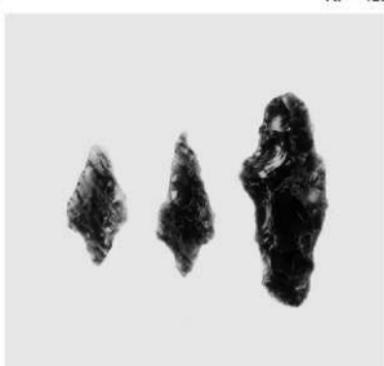
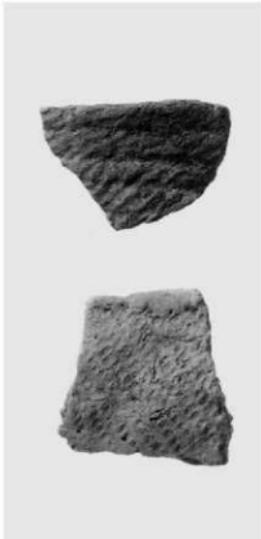


KP- 113

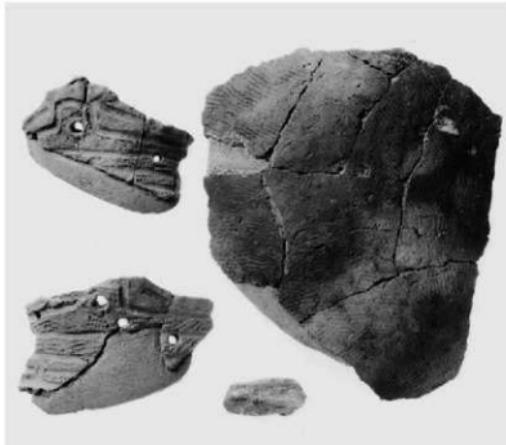


KP- 121

遺構出土の遺物(4)



遺構出土の遺物（5）



KP- 130



KP- 131



KP- 138



KP- 131



KP- 135



KP- 138

遺構出土の遺物（6）



KP- 139



KP- 139



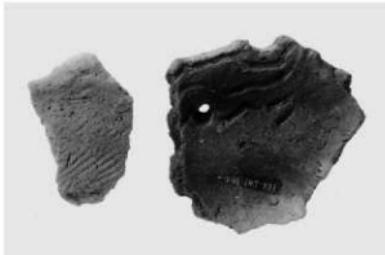
KP- 139



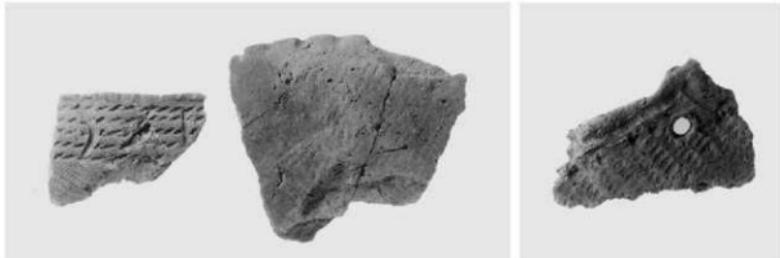
KP- 139

遺構出土の遺物（7）

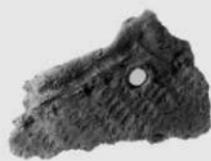
図版78



遺構出土の遺物（8）



KP- 156



KP- 178



KP- 162



KP- 163

KP- 167

遺構出土の遺物（9）

図版80



KP- 166



KP- 166



KP- 166



KP- 166

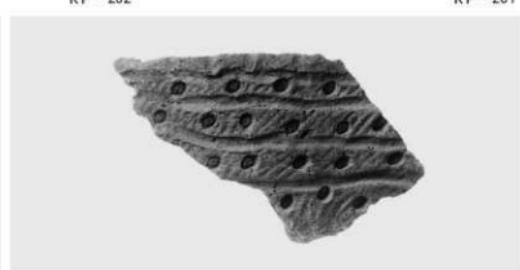
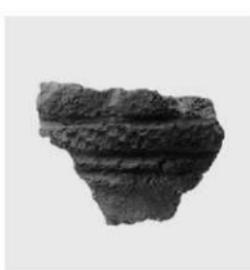
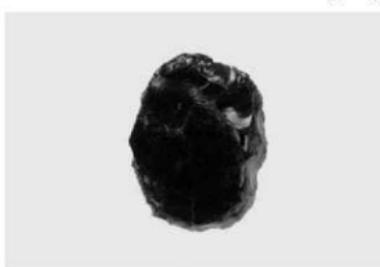


KP- 166



KP- 166

遺構出土の遺物 (10)



遺構出土の遺物 (11)

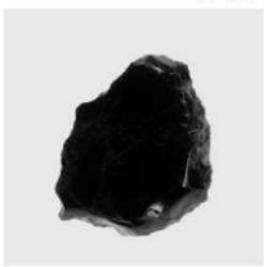
図版82



KP- 214



KP- 214



KP- 214



KP- 225

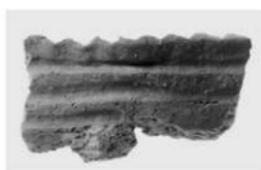


KP- 213



KP- 227

遺構出土の遺物 (12)



遺構出土の遺物（13）



KP- 249



KP- 246



KP- 250



KP- 251



KP- 253



KP- 254

遺構出土の遺物 (14)



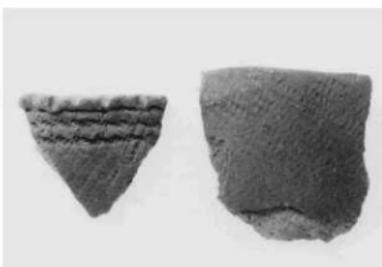
KP- 263



KP- 263



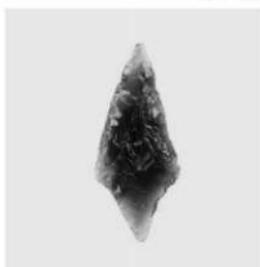
KP- 263



KP- 270

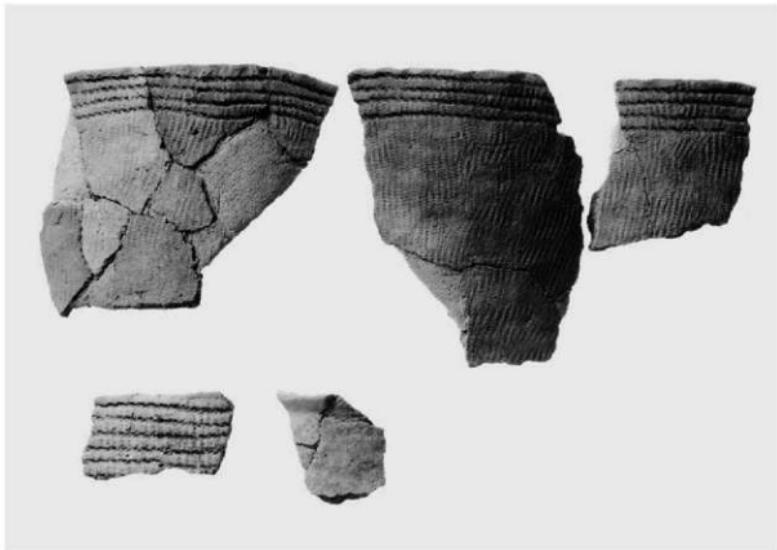


KP- 262



KP- 274

遺構出土の遺物 (15)

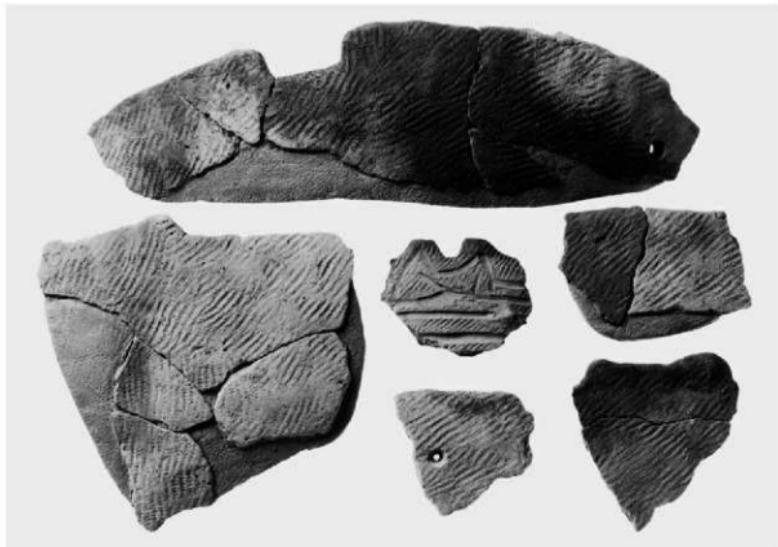


KP- 271

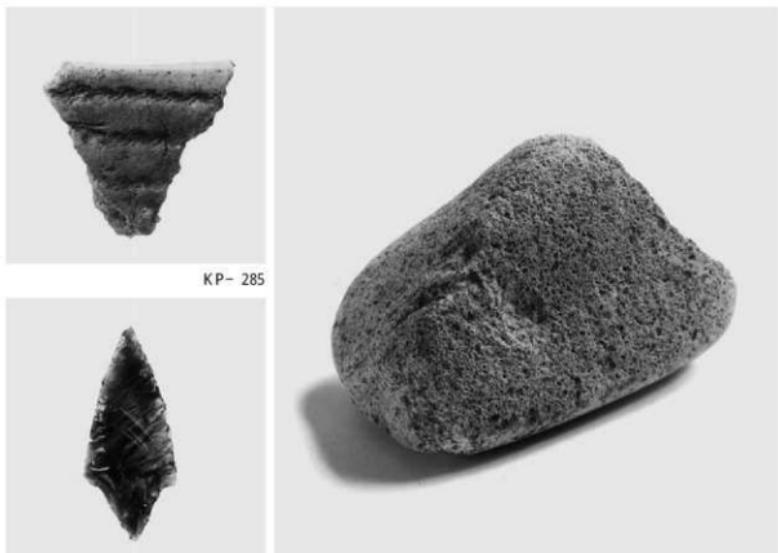


KP- 272

遺構出土の遺物（16）

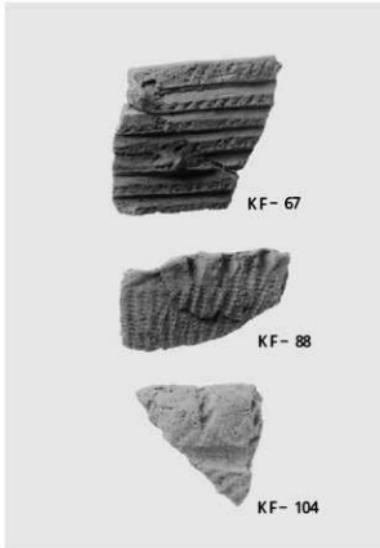


KP- 283



遺構出土の遺物 (17)

図版88



KF 出土の土器



KF 出土の石器



KS - 3

遺構出土の遺物 (18)



調査開始状況 S → N



Ta-a 除去終了状況 S → N

KH- 2 (1)

図版90



セクション W→E



セクション N→S



焼土検出作業 S→N

KH- 2 (2)



炭化材検出状況 E→W



土器・炭化材検出状況 NW→SE



炭化材検出状況 NE→SW



紡錘車・炭化材検出状況 NE→SW



床面・掘上げ土検出状況 S→N



竪周辺遺物出土状況 N→S



竪検出土状況 N→S



火床西側棲出状況 NW→SE



竈セクション N→S

KH- 2 (5)

図版94



煙道セクション NW→SE



煙道セクション SW→NE

KH- 2 (6)



煙出しセクション N→S



煙道・煙出し完掘 NW→SE



住居東側掘上げ土下出土土器 N→S

KH- 2 (7)



HP- 1 完掘 SW→NE

図版96



HP- 2 セクション S→N



HP- 3 セクション SW→NE



HP- 4 セクション S→N



HP- 4 完掘 S→N



KH- 2(右側)・KP- 85(左側)ismaneセクション E→W
KH- 2 (8)

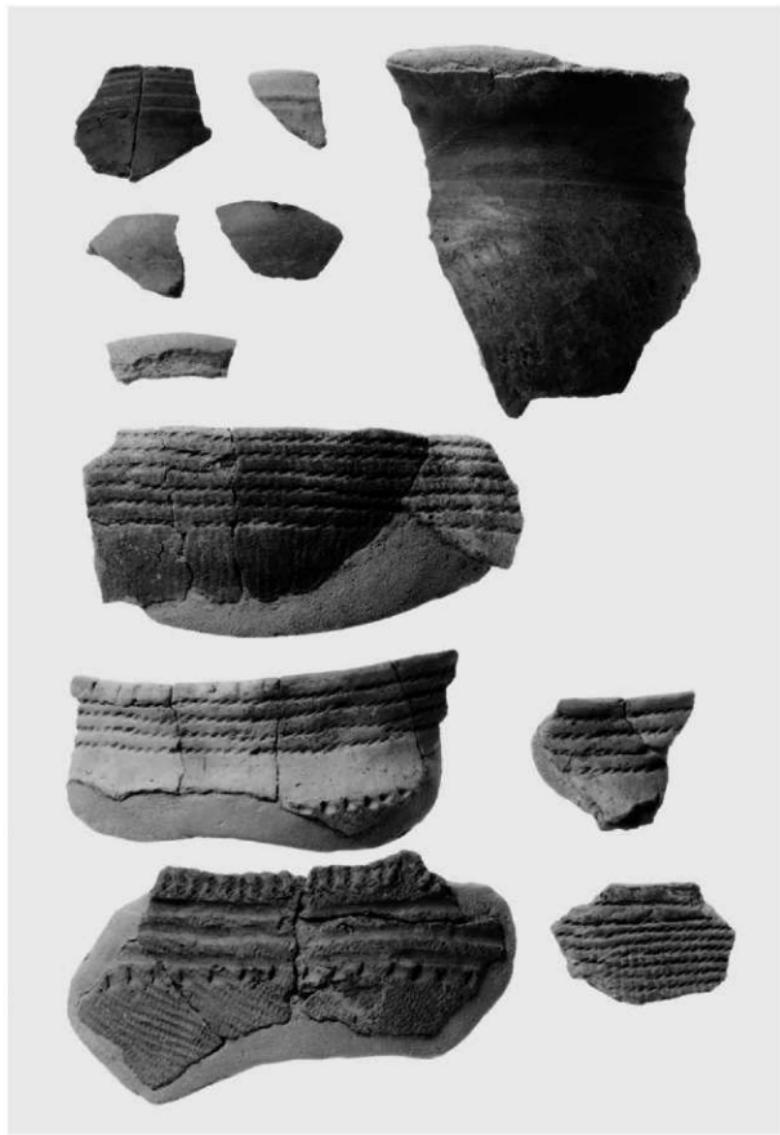


KH-2出土の遺物(1)

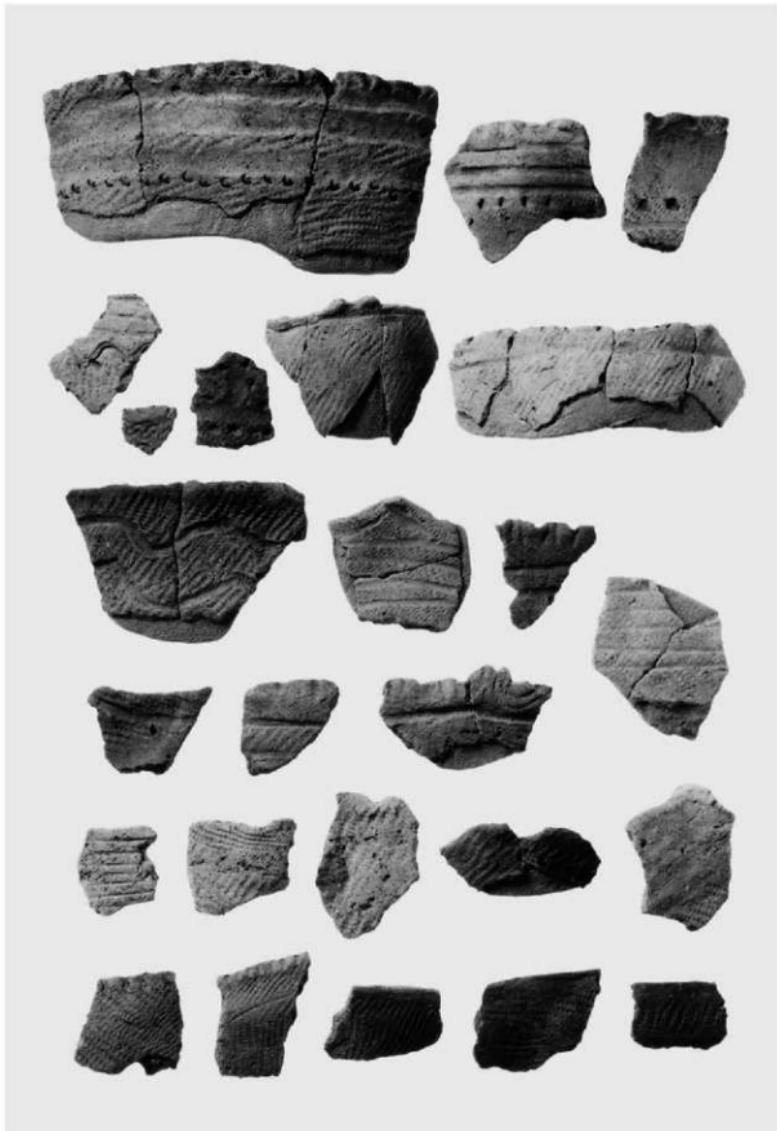
図版98



KH-2出土の遺物(2)



KH-2出土の遺物(3)

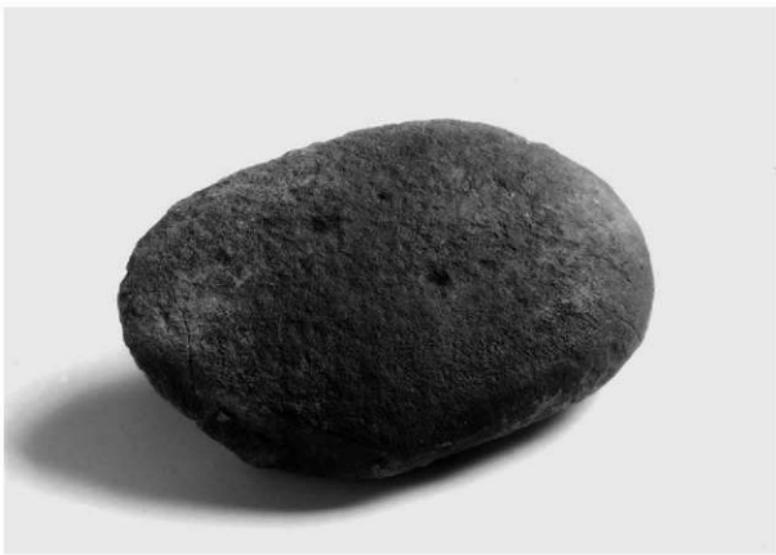


KH-2 出土の遺物 (4)



KH-2出土の遺物(5)

図版102



KH-2出土の遺物(6)



調査風景(Ta-a 除去終了後) E→W



セクション S→N



セクション W→E

KH- 3 (1)

图版104



烧土・遺物検出状況 E→W



土器出土状況 SE→NW

KH- 3 (2)



土器出土状況 W→E



炭化材検出作業風景 SE→NW



炭化材検出作業風景 S→N



炭化材検出状況 NE→SW

KH- 3 (3)

図版106



床面・掘上げ土検出状況 奥 KH-2 SW→NE



竪検出状況 N→S

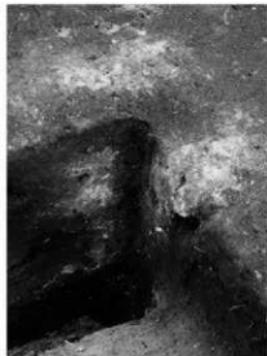
KH-3(4)



竪・煙道半裁状況 N→S



竪セクション N→S



煙出しセクション NW→SE



煙道セクション SW→NE

KH- 3 (5)

図版108



煙道・煙出し完掘 W→E



HP- 1 検出状況 SE→NW

KH- 3 (6)



HP- 2 セクション SW→NE



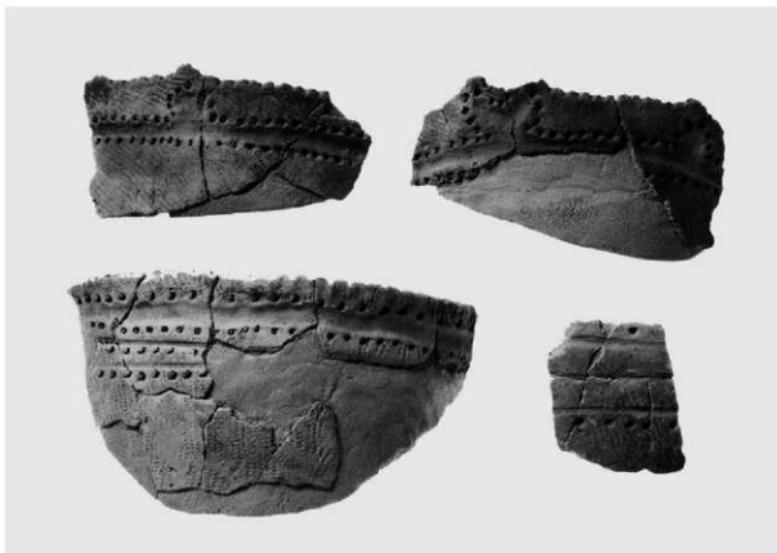
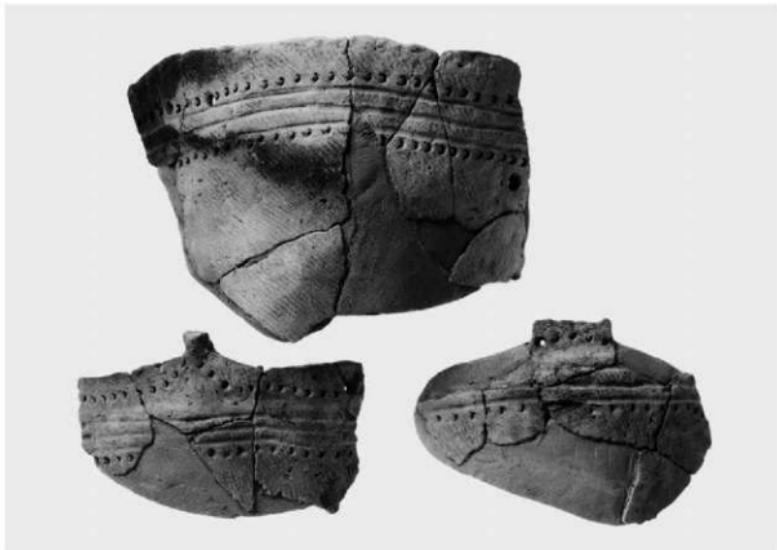
KH-3出土の遺物(1)



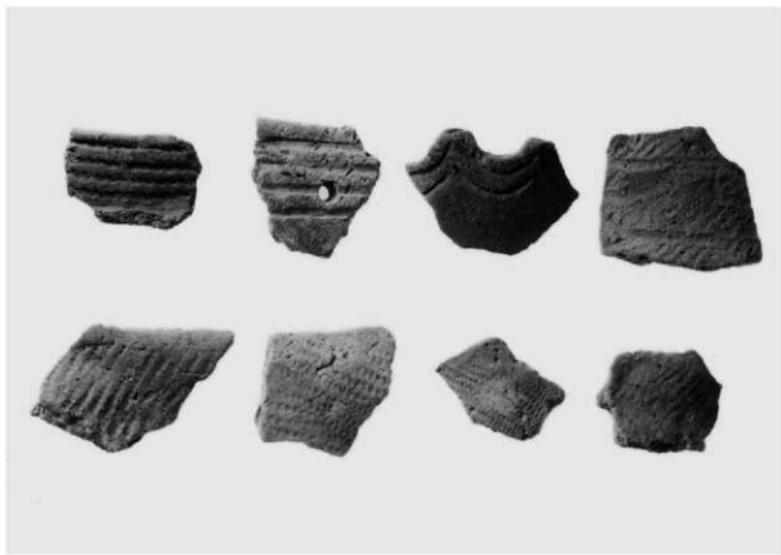
KH-3出土の遺物(2)



KH-3出土の遺物(3)

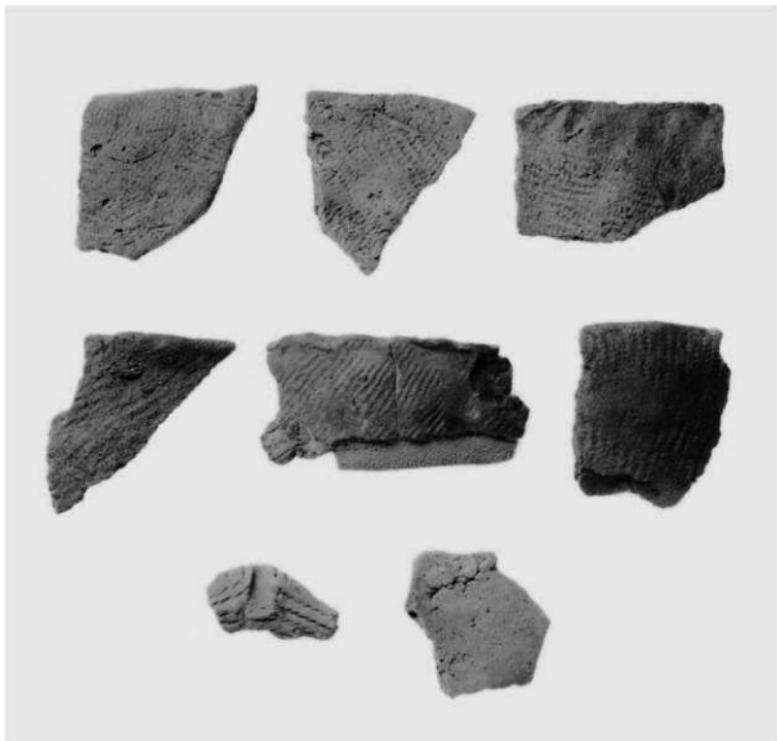


KH-3出土の遺物(4)

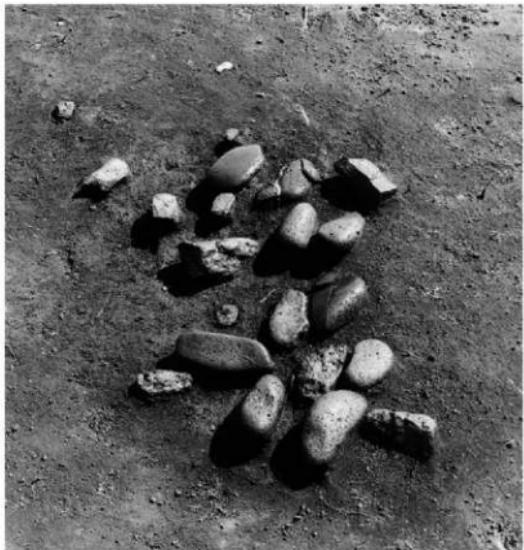


KH-3出土の遺物(5)

図版114



KH-3出土の遺物(6)

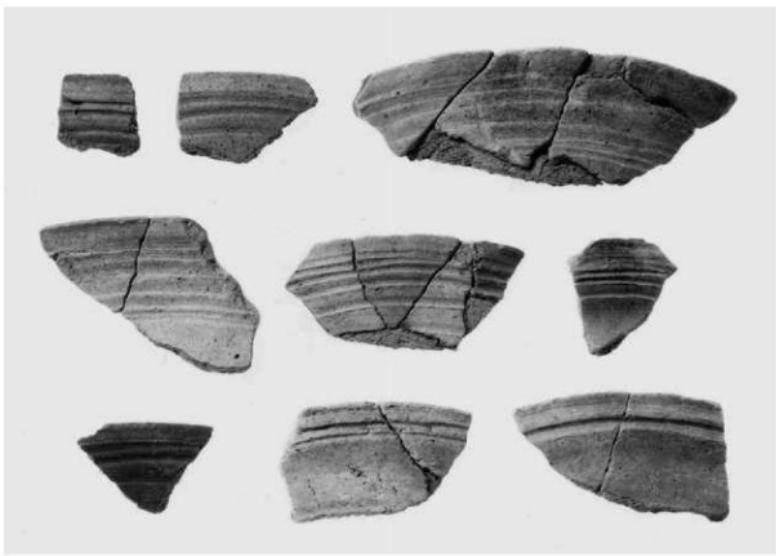


KS-4 検出状況 N→S

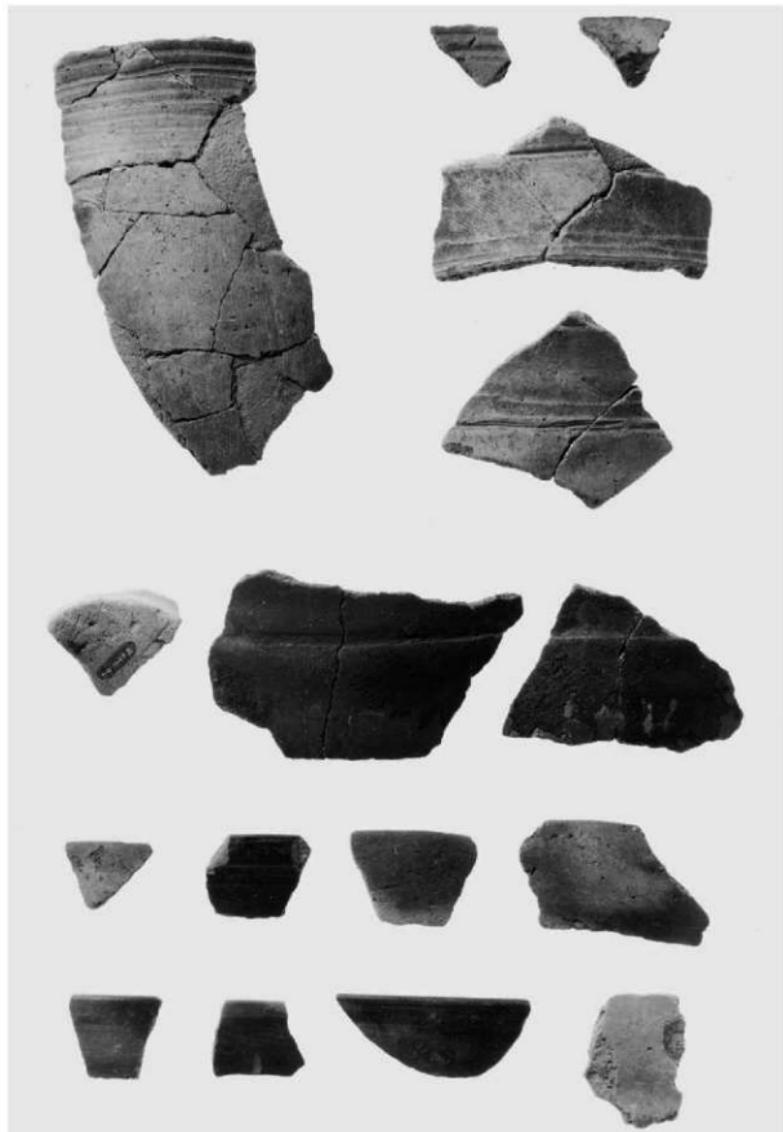


KS-5 検出状況 N→S

KS-4・5



包含層出土のⅦ群土器（1）



包含層出土のⅦ群土器（2）

報告書抄録

ふりがな	えにわしかしづわがわよんいせきかっこに えーしーちく							
書名	恵庭市柏木川4遺跡(2) - A C地区-							
副書名	柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	北海道埋蔵文化財センター調査報告書(北埋調報)							
シリーズ番号	第229集							
編著者名	村田 大、吉田裕吏洋							
編集機関	財団法人北海道埋蔵文化財センター							
所在地	〒069-0832 北海道江別市西野幌685番地1 TEL. 011-386-3231							
発行年月日	西暦2005年6月30日							
所収遺跡名	所収遺跡名 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
柏木川4遺跡	北海道 恵庭市 柏木町 610 612ほか	01224	A-04-21	42° 53' 19"	141° 33' 16"	20050509 ~ 20051028	14,140m ² (報告はA C地区的 5,460m ²)	柏木川基幹河 川改修工事に 伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
柏木川4遺跡	集落跡	縄文時代 前期・中期 後期・晚期	竪穴住居跡1軒 土壙 211基 焼土 85ヵ所 集石 1ヵ所 柱穴状の小ビット4基		土器 縄文早期東釧路IV式 縄文前期植苗式 縄文中期北筒式 縄文晚期幣舞式 タンネトウL式 石器 石鎚・石錐・スクレイバー・ つまみ付きナイフ・ 石斧・たたき石・すり石 ・砥石・台石・石皿ほか		焼失住居	
			竪穴住居跡2軒 集石 2ヵ所		土器 擦文土器(8C中葉) 石器 砥石・台石・石皿ほか 金属製品			

北海道埋蔵文化財センター調査報告書第229集

恵庭市

柏木川4遺跡(2)-AC地区-

- 柏木川基幹河川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 -

発行年月日 平成18年6月30日

編集・発行 財団法人 北海道埋蔵文化財センター

〒069- 0832 江別市西野幌685番地- 1

TEL(011)386- 3234(代表) FAX(011)386- 3238

URL <http://www.domaibun.or.jp>

印 刷 株式会社北海道機関紙印刷所

〒060- 0806 札幌市北区北6条西7丁目

TEL(011)716- 6141

FAX(011)717- 5431
